



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 7 月 8 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 21) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード B301) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ポリビア | 土木 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) オキナワ市役所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サンタクルス県オキナワ市 JICA事務所の所在地(ラバス市)から 南東 方向 800 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 沖縄出身者の日系移住地を中心に発展した地域で、陸稲、麦、大豆等の栽培が盛んである。配属先には、情報管理、公共事業、健康と食、物流の4課があり、公衆衛生、インフラの維持管理などの行政サービスを提供している。配属部署の公共事業課は、道路、公共施設等の計画立案、施行と維持管理等を行っている。年間予算は283万USD。市の人口は約15000人。現在、同市に保健師日系SV(至2014年6月)、保健師JV、土木JV(至2014年3月)が派遣中。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先では、道路工事や公共施設建設などの公共事業を行っている。しかし、現場監督や土木技師は、公共事業に関する計画立案・設計・実施に必要な技術・ノウハウ・経験が十分ではない。したがって、行政区内のインフラ工事の立案から施工までの過程における一貫した技術指導を期待し、今回の要請となった。前任者の土木JVは、市役所の改築及び日本庭園設営に向けた計画立案・設計作業を行っている。なお、同移住地では道路建設計画もあり、それら実施への支援も期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の公共事業全般に対するアドバイザー・監督支援的位置付けで、以下の活動を行う。 1.市役所が実施する公共事業(道路整備や公共施設の維持管理等)の計画立案に際して、カウンターパートの建築家や技師へ支援・助言を行う。 2.実際の工事現場での施行・管理に関して、現場監督や技師へ支援・助言を行う。 3.公共事業実施に関する計画立案から施工・管理について、研修会等を実施し、現場監督や技師の能力向上を図る。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、GPS、移動用の車両 | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 現場監督(男性:50歳)経験12年、配属先での経験は約1年 技師(男性:33歳)経験8年 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:活動上必要なため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 6 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード B301) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| マラウイ | 土木 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| 年 月 から | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治体・農村開発省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) リロングウェ市役所土木局 <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 リロングウェ市 JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 北 方向 0 . Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 リロングウェ市役所土木局は、土木部、機械・電力部、消防部から構成されており、同市内の道路建設、維持管理、同市所有の建物、市場の維持管理、修理、下水処理施設の運営、下水計画等を行っている。道路事業、維持管理については、2010年にJICAの協力により策定された同市開発計画マスタープランに従って実施しているものの、人材、機材、技術、予算不足などから十分に実施されていない状況である。機械・電力部については、公用車、建設機械の維持管理、街路灯の建設を行っている。建設機械に関しては、大半が故障しており、実際の事業実施の際には民間企業からのレンタルに頼っている状況である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 現在、JICAにより市計画開発局及び、市土木局をパートナーとして、同市の都市開発・開発管理能力向上プロジェクトが実施されている。同プロジェクトでは市開発基準・ガイドラインの策定、地区別詳細土地利用計画の作成とともに、小規模な道路施設などのパイロットプロジェクトを実施する予定である。また、同プロジェクト終了後、策定された市開発基準・ガイドラインの活用や、実施されたパイロットプロジェクトを他地区でも実施していくためには、同市土木局の継続的な能力強化が必要であり、ボランティアが派遣されることで、現在、実施中の技術協力プロジェクトとの連携及び、同プロジェクトの終了(2015年)後の持続的開発が図れることから、今回の要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) JICAにより実施中のリロングウェ市都市計画・開発管理能力向上プロジェクトと連携して、以下の活動を行う。 ①市土木局の実施能力の強化(道路施設) ②市開発基準・ガイドラインの普及、理解促進 ③実施されたパイロットプロジェクトの維持管理、他地域への普及 ④道路計画・設計に関連するソフトウェア(CAD)の使い方の支援 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 JICAプロジェクトがソフト等購入する予定 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 受入責任者:土木局長 男性40代 カウンターパート:土木局副局長 男性30代 その他スタッフ | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (土木工学) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 現場での経験実績が必要 CADが使える事 理由: スタッフへの指導のため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 特になし | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 5 月 23 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 527 - 13- B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード B301) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ナミビア | 土木 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方開発省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ヘンティスベイ町役場 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 エロンゴ州ヘンティスベイ JICA事務所の所在地(ウィントフック)から 東 方向 400 Km 主要都市(スワコブムンド)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 大西洋に面するヘンティスベイ町行政機関である。周辺人口は約8千人である。年間予算は2,900万ナミビア・ドル(約306万米ドル)。2013年5月から前任が活動しているが、その他海外からの援助はない。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同役場は、同町内の都市計画、区画整理、宅地造成、及び下水道敷設等多くの工事を行っており、工事に必要な多くの機材も所有している。しかし、同役場職員には開発計画の実施・管理に必要な技術・ノウハウ・経験を有する技術者がいない上、当国全体の技術保有者の人材難から外注することもままならない。本件要請はJVを派遣することで開発計画を円滑に進め、また同庁役場職員の能力向上を図ろうとするものである。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・活動は現場が中心で主として管轄地域内の下水道工事(簡単な電気工事を含む)の施工管理を支援する。下水管敷設のための測量も行う。業務は役場職員と協働で行い役場職員のスキルアップも期待される。 ・区画管理、造成工事の計画立案・設計・施工に関する助言をする。 ※活動範囲が多岐にわたっているが、主に自身の得意とする業務を担当することとなる。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 汚水処理施設、貯水施設。測量機材、製図に必要な設備は今後購入予定。 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 上司(技術責任者)40代土木技術者。同僚9名(うち女性1名。28~58歳。全員が3~30年の現場経験あり。) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の希望 ・学歴 (大卒) (土木工学) 理由: 専門的知識が求められるため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 業務遂行上不可欠と判断される理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(乾燥サバンナ気候) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 527 - 13- B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード B301) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ナミビア | 土木 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方開発省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ゴバビス町役場 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オマヘケ州ゴバビス JICA事務所の所在地(ウイントフック)から 東 方向 210. Km 主要都市(ウイントフック)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 人口3~4万人程度のゴバビス町行政機関であり、財務・行政事務・技術・人事・保健の5部門から構成される。職員総数165名、内30名程度が女性職員。今後リストラが行われる予定で、職員数も約80名になる可能性がある。過去にオランダの姉妹都市から物資支援(机、椅子、大型トラックなど)を受けたことがある。同姉妹都市からのボランティアを受け入れた経験もある。現在JOCV(土木)が活動中である。2011年6月まではJOCVコンピュータ技術隊員も活動していた。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同役場技術部は総勢50名程度、うち土木課(建築班)は16名程度の職員がいる。今後リストラにより大幅に人員が減る可能性がある。日本の役所は普通入札のみで施工は実施しないが、当国では役場で入札だけでなく施工も行う。配属先には施工・維持管理に関しての技術を持った職員もいるが高い専門性は無く、特に設計(測量も含む)や、真空式下水道のメンテナンス、機械の修理(高度な知識、技術が必要、または部品の調達ができないもの)、などは、外部業者に委託している。これが財政圧迫をもたらし同時に人材育成を妨げる結果となっている。前任は下水道の施工に従事しており、同時に同僚に測量を教えたり、施工方法をアドバイスを行っている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・活動は現場が中心で主として管轄地域内の下水道工事(簡単な電気工事を含む)の施工管理を支援する。 ・区画管理、造成工事の計画立案・設計・施工に関する助言をする。 ※活動範囲が多岐にわたっているが、主に自身の得意とする業務を担当することとなる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 製図機器、測量機器(ダンピーレベル)。また隊員は運転しないがショベルカー、ローラーなどの建設機械もある。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 直轄作業員、職長など高卒程度、20~50歳代 個々の技術レベルはしっかりしているが、数学力の低さから、設計、計画能力が低い。また、土木技師は不在。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の希望 ・学歴 (大卒) (土木工学) 理由: 専門的知識が求められるため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 業務遂行上不可欠と判断される理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(乾燥サバンナ気候) 気温(10~40 °C位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|--------------------|
| 要請番号(JL 051 - 13- B - 38) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード B332) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 9 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| バングラ デシュ | 造園 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 住宅・公共事業省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 建築局 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 南ダッカ市内 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 南 方向 10 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 住宅公共事業省・建築局は、各省庁の依頼による公共施設(学校、駅、合同庁舎、市役所、官舎等)の設計等を行う250名程度の組織である(建築士は約50名)。同局には過去にJV(建築・電気・造園・室内装飾等)が派遣されていた実績もあり、今現在も隊員が活動中。予算は年間58万米ドル。(2008年) http://www.architecture.gov.bd/index.html | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 建築局では、1977年より8人のJV(造園)が派遣され、その時代ごとに建築局が設計する公共施設(合同庁舎、市役所、官舎、病院、公園施設、モニュメント等)の外郭空間の外構設計、及び植栽計画に携わった。 建築局では、今後も多くの場所で造園を行っていくが、同局担当者として協力してそれらの設計を行うためボランティアが要請された。バングラデシュ建築デザインの多様化により、造園分野においても新たなアイデアが期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 担当者と協力し公共施設(合同庁舎、市役所、官舎、病院、公園施設、モニュメント等)の外構設計を行う。 2. 担当者とともに必要に応じて現場を訪問し、指導を行う。 3. 担当者とともに必要に応じて会議に出席し、公共施設の造園に関するアイデアを考え、提案、及び設計を行う。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CADソフト(AUTO CAD)、製図道具一式 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 次席建築技師(女性、課長、40代) アシスタント建築技師(男性、30代) その他スタッフ 数名 | | | 5) 活動使用言語 (ベンガル語) 6) 生活使用言語 (ベンガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 技術者への指導を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域 概況 | 気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号 (JL 548 - 13 - B - 82) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード B332) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| タンザニア | 造園 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| | | | | | 年 月 から |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 首相府地方自治庁 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 首都開発局 環境管理部 景観課 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ドドマ州ドドマ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 西 方向 400 Km 主要都市(ドドマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 首都開発局にはJV配属先の環境管理部の他、宅地開発部、計画部、工事部、経理総務部があり、首都ドドマ市の都市計画を立案する機関であり、同局が作成した都市計画やインフラ設計を基に、首都開発局自身でその実施監督指導も行う。特に都市景観や都市緑化、又、それに伴うインフラ整備にも重点を置いている。2012年度予算は約16億円(33,362,112,561.00タンザニアシル)。 |

| | |
|--|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 首都開発局では、首都及び周辺地域の緑化推進を目的とした首都圏緑化プロジェクト(1986-1998)が実施され、この実施期間中に造園をはじめとして、測量・森林経営・自動車整備等の約40名のJVが派遣された。首都圏の緑化・都市計画に大きく貢献したこれらの派遣は同局から現在も高い評価を受けている。その後、適切な景観設計(景観と調和のとれた公園等の公共移設の設計施工)の重要性が認識され、造園業務全般の質の向上のためJVが要請された。前任JVのデザイン性の高い公園設計等の活動は高く評価されており、今回引き続きその交代が要請されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 新規景観設計対象地区に対して、デザイン性を重視した設計を行う。 ② 上記設計の施工に関して助言する。 ③ 業務遂行と同時に、同僚に対する助言・指導を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 設計室における図面作成用デスク、設計に必要最小限の製図機器、公用車(共用)、パソコン等。Auto-CADの導入が予定されている。 |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 景観課オフィサー10名以上(40~50代、女性2名、男性8名以上) 景観課長はじめ、5名程度が日本にて研修の経験あり | 5) 活動使用言語 (スワヒリ語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 業務遂行上の理由 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

| | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--|---------|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 527 - 13 - B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード B351) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ナミビア | 測量 | | | 1 | ● 2 年 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | ○ 1 年 | 26 / 2 | |
| 3 | ○ ヶ月 | 26 / 3 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方行政・住宅・地域開発省 | | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) オブラ町役場 | | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 クネネ州オブラ JICA事務所の所在地(ウイントフック)から 北西 方向 680 Km 主要都市(ウイントフック)までの交通手段及び所要時間(車 で約 8 時間) | | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、牧畜を営むヒンバ族、ヘレロ族等の多人種が多数居住するクネネ州都行政機関である。周辺人口は約2万人である。年間予算はN\$100,000,000程度で、職員数は28名である。現在JOCV建築隊員が活動中。その他海外からの援助はなし。 | | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 2011年12月までJOCV都市計画隊員が同町の既存開発計画の実施・管理及び新規開発計画の作成・提案を行っていた。しかし同役場職員には開発計画の実施・管理に必要な技術・ノウハウ・経験を有する技術者がいない上、財政事情・当国全体の人材難などから外注することも期待できない。本件要請は同部門職種JOCVを継続して派遣することで開発計画を円滑進め、また同町役場職員の能力向上を図ろうとするものである。 | | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同町の既存開発計画の実施・管理を同役場職員との協働作業で担当する。具体的には次のとおり。 ・既存区画内・区画整理地内の境界整備への管理・向上手法の説明・助言・提案。 ・同僚または「建築」隊員(現在要請中)との連携により新規区画開発の計画・実施・管理。 ・町役場・議会などに対する開発計画の妥当性・必然性などについて専門的見地からの説明・助言・提案。 | | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、AutoCAD、Total Station(測量隊員派遣決定後購入予定) | | | | | | |
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 40代男性職員の技術部門チーフ20代男性職員の不動産管理スタッフ(大卒で専門的知識があり実務経験もある)20代男性職員ワーカー(土木関係の実務経験があり、測量に関する基礎知識もある) | | | 5) 活動使用言語 (英語) | | | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (英語) | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 活動上の單車/自転車の必要性 | | | |
| | ・免許 () 又は (測量士または測量士補) | | | <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | | |
| | ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (土木工学) 理由:専門性の高い知識が求められる ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:様々な状況への対応が求められる 理由: | | | 現職教員特別参加制度 | | | |
| | | | ○ 可 ● 不可 | | | | |
| 地 域 概 況 | 気候(乾燥高原サバンナ気候) 気温(10~40 ℃位) | | | 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | | |
| 特 記 事 項 | | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 12 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード B351) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 測量 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 首相府地方自治庁 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) バガモヨ県庁(土地環境局 GIS部) | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 プワニ州バガモヨ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 北 方向 60. Km 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 県は主に初等中等教育、村落給水、保健サービス、農業普及、地方道路の建設保守管理の事業を実施している。 配属先(県庁)全体における2012/2013年の年間予算は約330億タンザニアシリング(約17億円)。 土地環境局では、地域開発に必要な測量データの収集と地域開発プランの設計を行っている。 2012年6月に、初代JV(測量)が配属し、測量データ処理能力の向上を目的に、同僚職員に対して技術指導を行っている。 JICA以外の外国の援助は無し。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 バガモヨ県では、ダルエスサラーム市との隣接部で無秩序に居住地域が広がっていることと、バガモヨ中心市街地区での無計画な都市開発が問題になっている。同局では、正確な測量データや登記情報を収集して、固定資産税や土地取得税などの県独自の安定財源確保に繋げること、また、地域開発と都市開発計画を推進していきたいと考えているが、地理情報システム(GIS)や測量機器(トータルステーションやGPS)を十分利用した計画立案のレベルには至っていない。測量機器の適切な使用と地理情報システム活用のためのトレーニングの実施、測量技術とデータ処理についての実践的な指導が期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 測量技術者の技術向上のためのトレーニングを実施する。 2. 複数の地理データを含む地図の作成を支援する。 3. 地域開発のために適切な測量データが蓄積されるように指導する。 4. 測量機器と地理情報システムが適切に取り扱われるようにアドバイスする。 5. 不動産情報などの登記データが適切に管理・蓄積されるように指導する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ハンディGPS(頻度高)、ディファレンシャルGPS(中)Total Station SOKIA APS33(低)、PC2台(ArcGISとAutoCADインストール済)、プリンター、航空写真。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 測量技術者、設計士、登記官等、約20名の同僚(20~50代) | | | 5) 活動使用言語 (スワヒリ語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(専門学校卒) () 理由: 専門的な知見が必要 ・経歴(実務経験) (3年以上) 理由: 幅広い知識・経験を要する 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(海岸性気候) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード B421) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| マラウイ | 放送技術・設備 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 情報省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) マラウイ放送協会 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ブランタイヤ市 JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南 方向 320 Km 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 マラウイ放送協会は、1999年(当時テレビマラウイ)に設立されたマラウイで唯一の放送局で、テレビ・ラジオを通して公共放送のサービスを提供している。主な責務として、娯楽、教育、情報番組を通して、国内への質の高いサービスの提供や、社会経済の発展に寄与することになっている。番組制作においては、これまでにJICAの技術研修が実施されたり、文化無償資金協力にて番組制作ソフトが供与されたりと緊密な協力関係が図られてきた。現在はJV2代目が派遣され、活動を展開している。年間予算約9億円。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は、当国唯一のテレビ局であり、テレビ放送に関する全般の業務を行っているが、同放送に関連する番組制作の構成、編集、機材メンテナンス等、支援が必要な分野が残されている。現在、2代目のボランティアが同テレビ局制作部に籍をおき、2013年3月に携行機材としてデジタルカメラを購入し番組制作を支援している。今回の要請は、当国も2014年に向け、テレビ及びラジオのデジタル化に移行することになっているため、ボランティアにはITの部署に籍を置き、同デジタル化プロジェクトに加え、スタジオの基盤整備等に必要テクノロジーの支援が依頼された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①デジタル化移行に向けた関連業務 ②スタジオ機材の評価 ③スタジオ基盤整備に必要なテクノロジーの推奨、機材導入 ④上記問題解決に向けたデザインや費用についての提案 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Studio Audio mixer-analog, Studio workstation-DADPRO/Adobe premier, Date Video switcher -SE900等 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 受入責任者:技術部長 男性50代、カウンターパート:技術調整 男性40代、同僚:技術部スタッフ6名(10年以上勤続)、その他制作部プロデューサー、カメラ、編集担当者20名程度 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: スタッフへの指導のため 放送業界の経験 理由: 活動上必要なため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) | | 電気 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | | |
| 特記事項 | 特になし | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 051 - 13- B - 35) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| バングラ デシュ | 稲作栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 26 / 1 <input type="radio"/> 26 / 2 <input type="radio"/> 26 / 3 | 1 |
| 年 月 日 から | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 首相府 NGO局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ブラック | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ガジプール県シドール郡 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 北西 方向 50. Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 BRAC(Bangladesh Rural Advancement Committee)はバングラデシュに拠点を置き、貧困削減を目指してアフリカやアフガニスタンなどでも活動を展開している国際的にも知名度の高いNGOである。1972年に設立され、コミュニティレベルにおいて農業、保健・衛生、青少年活動などへの支援、人材研修や調査研究などを実施。またこうした活動においてマイクロファイナンスの提供も行っており、自立的なコミュニティ発展を長年支援している。JICAの支援としては、2013年1月よりJICAボランティアの派遣が始まっている。年間予算規模600億円超、職員9万人超。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 BRACの農業・食の安全プログラム(Agriculture & Food Security Program:AFS)は、農業開発、高品種種子の生産・販売、そして確立された農業技術や農業用マイクロファイナンスを展開し、バングラデシュ全土の貧困層の農民支援、食糧安全保障に寄与している。1996年よりAFSの研究部門では農業省等の協力のもと、米、トウモロコシ、野菜に特化した研究を進めており、2カ所の調査研究センターでは同系交配、異種交配の品種改良、植物細胞培養を行い、8種のイネの異種交配(ハイブリッド)種、3種のハイブリッドトウモロコシ品種と9種の野菜種子(F1、OP種)の開発に成功。現在、洪水頻発地域や、塩分を多く含んだ地域における冠水耐性、塩分耐性米の導入を進めるため研究が進められており、2010年よりAFSにおいて進められているイネの寒冷耐性品種の開発・改良に貢献することが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <input type="checkbox"/> ガジプール試験所にあるイネ品種の寒冷地耐性品種、栽培技術の開発のための栽培試験場において、他の研究者等とともに、科学的・作物学的な視点からイネの研究に携わる。 <input type="checkbox"/> 生育環境とそれに対する生育反応を調査する。 | | | | |
| 要 求 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 研究設備(植物バイオテクノロジー実験室、生物技術ラボ、土壌テスト実験室) Grain Moisture meter, Weight Machine、顕微鏡等 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 BRAC AFS ダッカ本部:上司 男性 50代 博士号(政府研究機関出身)、他28名女性2名、男性26名 ガジプール研究所:上司 男性 60代 博士号(研究経験35年)、研究者11名(米)、全研究者20名(野菜種子・細胞培養ラボ等を含める) | | | 5) 活動使用言語 (ベンガル語) 6) 生活使用言語 (ベンガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由:専門的知識が必要なため ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:職員等への指導を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記 事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 515 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ケニア | 稲作栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 2 2 / 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・水産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ケニア農業研究所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 キリニャガカウンティ、ムエア JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 東 方向 100 Km 主要都市(エンブ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はケニア国においてGDPの27%、外貨獲得の60%を占め、国家経済の重要な役割を果たす農業セクターの作物生産政策の中心となる作物局。2008年に国家コメ振興計画(NRDS)を策定し、稲作振興ユニット(Rice Promotion Unit)を中心としてコメ増産政策を推進している。同ユニットの独自事業予算は年間約300万円(2011-12年)。また同ユニットではJICA個別専門家(稲作振興アドバイザー)、技術協力プロジェクト(Rice-MAPP:稲作を中心とした市場志向農業振興プロジェクト)等による協力が実施されており、2013年5月から要請の背景となった国際共同研究協力が開始された。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ケニアは立地条件や気象など自然環境的に東アフリカの代表的な国であり、そこで開発されるイネ品種や栽培技術は東アフリカの国々に普及する可能性がある。配属先は2013年5月から日本と国際共同研究プロジェクトを開始しており、その中でケニア向けイネ品種の中間母本作出と栽培技術の開発を目的とする栽培試験を現地(ムエア西県ムエア灌漑開発地区)の圃場で実施する計画である。そこでイネの生育環境とそれに対する生育反応を土壌肥料学および作物学的な視点で解析・調査する必要がある。本要請による派遣者は、この調査に主体的に関わるとともに、イネ品種維持管理システムの構築に対する協力を行う。現地活動先となる機関は、ケニア農業研究所ムエア支所であり、同ムエア灌漑開発地区には1989年からさまざまなスキームでのJICA支援が実施されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①現地イネ栽培圃場の生育環境と生育状況の調査、水田での栽培試験の実施 ②イネ品種維持管理システムの構築に対する協力 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ・調査圃場(KARIムエア支所内、近隣地域の農家圃場) ・機器類:冷蔵庫、乾燥機、脱穀機、秤 | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ケニア農業研究所ムエア支所 センター長 1名(博士号、40代) ケニア農業研究所ムエア支所 農業専門職員 10名(大卒以上、30代~40代) 圃場職員 約30名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ケニア農業研究所ムエア支所 センター長 1名(博士号、40代) ケニア農業研究所ムエア支所 農業専門職員 10名(大卒以上、30代~40代) 圃場職員 約30名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門技術研究に従事するため ・経歴 () () 理由: ・イネの生理・栽培・育種等を専攻 理由: 専門技術研究に従事するため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門技術研究に従事するため ・経歴 () () 理由: ・イネの生理・栽培・育種等を専攻 理由: 専門技術研究に従事するため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(高原) 気温(10-25 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 配属先で実施される予定の国際共同研究には、ケニア国内および日本の関連研究機関から派遣された研究者が参加する。本ボランティアは、この国際共同研究チームの一員として活動する。 | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 4 月 29 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|---|--|---------|
| 要請番号 (JL 527 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ナミビア | 稲作栽培 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| 年 月 日 から | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ナミビア大学オゴンゴキャンパス <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 オムサティ州オゴンゴ JICA事務所の所在地 (ウイントフック) から 北西 方向 800 Km 主要都市 (オシャカティ) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ナミビア国における唯一の4年生総合大学で約1万人の学生を擁する。オゴンゴ校は、季節湿地への稲作導入を含む乾燥地作物生産に関する技術開発を担い、ナミビア国の作物生産効率を高めることを目的としている。地球規模課題対応国際科学技術協力事業(SATREPS)がH24年より実施されており、近畿大学を始めとする5大学の教員、大学院生らが頻繁に滞在している。ナミビア大学オゴンゴキャンパスの年間経常予算は、300万ナミビア・ドル(約30万米ドル)で、JV以外の外国からの援助は無し。JVは、24年度1次隊で稲作栽培(前任)、25年度1次隊で稲作栽培(トウジンビエの栽培担当)の2名が活動している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 オゴンゴ校が位置するオムサティ州は、年間降水量が約400mmの半乾燥地であるが、雨季になると隣国からの洪水を受け、広大な季節湿地が形成される。現地の自給自足農家は乾燥地での栽培に適したトウジンビエ栽培と放牧を生業としているが、季節湿地は十分には活用されていない。現地大学では、洪水や干ばつに対応する新しい農法の開発を目指したSATREPSプロジェクトが運営されており、新規作物として稲を導入しつつ、ヒエと混作する研究が実施されており、多くの現地農家が稲の栽培を望んでいる。そこで、ナミビア大学から初代稲作隊員に対する交代隊員の派遣が要請された。カウンターパートと相談しながら、農家と学生への展示圃場を運営する。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SATREPSプロジェクトと連携して以下の5つの課題を実施する。 ・稲作関連圃場を管理運営。 ・農家と学生に対する稲栽培啓発活動。 ・稲展示圃場で、観察した稲の生育をもとに栽培技術の協議 ・現場での講習会の企画運営。 ・大学の技術職員との協同作業を通じて現地の湿地に適した品種群の展示圃場の管理運営。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 SATREPSプロジェクトにより提供された、トラクター(1台)、ハンドトラクター(6台)、稲刈り機(3台)、脱穀機(3台)、籾摺り精米機(2台) | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・指導対象者の農家と学部学生、いずれも稲の栽培経験がほとんどないため、技術レベルは極めて初歩的なレベルといえる。 ・配属先の大学スタッフは30数名いる。カウンターパートは、大学の技術職員で元JICA研修員であり、技術レベルは初中級程度である。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の要望 ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門的知識を必要とするため ・経歴 () () 理由: 稲栽培の経験 理由: 圃場の運営管理をするため | | | 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 地 域 概 況 | 気候(乾燥サバンナ) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特 記 事 項 | 同配属先で活動する他隊員と共同生活をするため、トイレ、シャワー、台所等は共用となる。 | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|--|--------|--------|
| 要請番号(JL 545 - 13- B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ウガンダ | 稲作栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 2 |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| | | | | 3 | / | |

| | |
|---|--|
| 配 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・水産省 |
| 属 | 2) 配属先名 (日本語) 国立半乾燥資源研究所 <input type="radio"/> NGO |
| 先 | 3) 任地 セレレ県セレレ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北東 方向 400 Km 主要都市(ソロティ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) |
| 概 | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・畜産・水産省によって1950年代に設立された農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた農業試験場。研究者18名、スタッフを含むと約50名。JICAは2004年6月からウガンダに稲作栽培に関する個別専門家を継続的に派遣し、現在はネリカ米の普及を含む「コメ振興プロジェクト」(2011年～2016年)を実施中である。JICAは配属先である農業試験場と協力を行い、ウガンダ北東部の農業指導者への訓練や農業従事者への研修を行っている。 |

| | |
|---|---|
| 要 | 1) 要請理由・背景 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2011年より「コメ振興プロジェクト」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は周辺の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、セレレ県周辺における稲作にも興味を示している。しかしながらまだコメ農家の技術には改善の余地があり、適正な栽培方法の指導が求められることから、ボランティアの継続要請がなされた。 |
| 請 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 研究所内でのプロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施。 ② 近隣農家との協力による農家圃場での実証試験の実施。 ③ コメ振興に関わるボランティアや活動地域の農業普及員とともに、稲作栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。 |
| 概 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式 |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 研究所長: 女性(40～50代) 1名 稲作試験に関わる研究員: 1名 |

| | | |
|---|---|---|
| 資 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| 格 | ・免許 () 又は () | <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) |
| 条 | ・性別 () 理由: | |
| 件 | ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 栽培試験等を行うため | 現職教員特別参加制度 |
| 等 | ・経歴 () 理由: | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| | 理由: | |

| | |
|---|--|
| 地 | 気候(常初夏) 気温(15～30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 域 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 概 | 状況 |
| 況 | 特記事項 活動地域の道路の大半は未舗装、未整備である。 |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 545 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 稲作栽培 | | | 1 | 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| | | | | 3 | / | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・水産省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北 方向 30. Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある国立作物資源研究所は、食用作物全般の主研究実施機関である。JICAは同研究所の協力を得て、ネリカの品種試験、研修や種子の配付を通じた普及活動を展開している。2004年6月から個別専門家を継続的に派遣しており、2008年からはコメ振興プログラムのもと「ネリカ米振興プロジェクト」を実施した。現在はネリカ米の普及を含む「コメ振興プロジェクト」(2011年～2016年)を実施中である。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は、ウガンダ全国の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、品種改良・栽培方法の改善を目的とした圃場での様々な実証実験が求められることから、ボランティアの継続要請がなされた。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 研究所内でのプロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施。 ② 近隣農家との協力による農家圃場での実証試験の実施。 ③ コメ振興に関わるボランティアや活動地域の農業普及員とともに、稲作栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 稲作試験に関わる研究員: 8名 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 栽培試験等を行うため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 活動地域の道路の大半は未舗装、未整備である。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|-------------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 24) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 稲作栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 首相府地方自治庁 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) マサシ県庁農業・畜産開発・協同組合局(ムウエナ郡事務所) | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムトワラ州マサシ県ムウエナ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 南 方向 440 Km 主要都市(マサシ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はマサシ県の農業、畜産、協同組合に係る行政業務を執り行っている。15名の県庁オフィス所属職員、34名の県内の郡事務所勤務する農業普及員がいる。JVが活動するムウエナ郡では、コメ増産を通じた農村住民の所得向上を目的に「ンダンダ灌漑事業」がすすめられている。灌漑施設の完成後、年2回の耕作が可能となり、875世帯が各1エーカー(約0.43ha)の土地を割り当てられる予定。活動先となる郡事務所(4名体制)には、住民の組織化支援、農業等に関する技術指導を行っている農業普及員(1名)が勤務している。同普及員は県庁農業・畜産開発・協同組合局職員とともに同事業の監督も行っている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 全人口の約3/4が農村住民であるタンザニアにおいて農業は、国内総生産の約1/4を占める基幹産業であるなど、食糧安全保障、農村住民の貧困削減そして国家経済の成長において重要な分野である。JICAは1970年代から同分野への資金協力、技術協力を継続して行っており、2000年代に入ってからタンザニア政府が推進する農業セクター開発プログラム(ASDP)を支援する主要ドナーである。近年、タンザニア政府は、農業開発政策の一環として各地での灌漑事業を推進しているが、ンダンダ灌漑事業は、政府の県農業開発基金等から資金をえて建設されている。コメ増産が期待されており、それを達成するため、灌漑組合の能力強化や稲作栽培技術のトレーニングを現場で行う人材が求められている。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 現地の稲作栽培の現状把握を通じた各農家が抱える課題の整理 2. 整理した課題をもとに、アクションプランを作成 3. 農家どうしの稲作栽培技術の相互学習を促進する研修会の開催と各農家への助言 4. 同僚農業普及員の稲作栽培指導に関する能力強化 5. 同配属先へ派遣予定のJV(コミュニティ開発)と連携した活動(情報共有、現場研修の共同実施、社会調査作業の分担など)、及び農業分野JICA専門家との情報共有 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ムウエナ郡事務所。地域住民が使用する伝統的な農機具などが手に入る。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・ 県庁農業・畜産開発・協同組合局: 職員15名(20代～50代)うち、ンダンダ灌漑事業担当職員は2名。 ・ ムウエナ郡事務所: 農業普及員1名(女性、20代)。そのほか郡行政官、地域開発官、教育調整員が各1名勤務している。 ・ 活動対象: 灌漑事業に関わる875世帯を含むムウエナ郡住民 | | | 5) 活動使用言語 (スワヒリ語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門知識を必要とするため ・ 経験 () () 理由: 稲作栽培に関する知識 理由: 業務上遂行上必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性気候) 気温(15～30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 活動では、自転車で郡内の農家を巡回する。自転車で移動可能な範囲が活動範囲となるため、体力に自信があることが望ましい。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|--|--------------------|
| 要請番号(JL 560 - 13- B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| ベナン | 稲作栽培 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・漁業省 | | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) グランボポ村落開発支所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3)任地 グランボポ JICA事務所の所在地(コトヌー)から 西 方向 85. Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) | | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 グランボポ村落開発支所は、モノ・クッフオ県地域農業促進センターが管轄する部署の一つで1970年に設立。グランボポ地区内の農業促進と地域発展を支援する組織である。具体的には、地域内の農業、畜産、水産(養殖)の促進と技術向上支援、農作物等の生産に関する監督、管理、行政手続等を行っている。現在、JV1名(食用作物・稲作栽培)が活動中。更に、コミュニティ開発JV1名を派遣予定である。また、水産担当の同僚が2013年度の本邦研修に参加した実績がある。グランボポ村落開発支所の予算は、モノ・クッフオ県地域農業促進センターに包括されており独自の予算はない。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 グランボポ市は海岸線に位置する人口約4万人の地方市である。海岸沿いにはホテルが立ち並び種々なリゾート地でもある。モノ県に属する同市の面積は約290Km ² 、7つの行政区分を管轄する。同村落開発支所は、漁業、農業に従事する約6千名を対象に専門技官等が配置され、技術指導等を行っている。農民のほとんどが小規模農業を営んでおり、同時期に同じ収穫物が取引されるため、収入は不安定である。主となる農作物は穀物(稲・トウモロコシ等)と羊類を含む野菜類である。稲作専門農家はない。ベナン国は米生産量が不足しており、輸入に頼っている現状がある。前任者となるJV(食用作物・稲作栽培)が現在活動中。害虫対策、栽培時期のアドバイス等を通して、稲作と野菜栽培の普及、生産物の保存、加工食品の普及を目指して活動している。安全性が高くかつ安定した農業生産を目標にするとともに、収入向上に貢献するJVの継続活動が期待されている。 | | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.地域内の農家を巡回し、稲作栽培に関心を持つ農家の件数を増やし、稲作栽培の普及を行う。 2.田植えをせずに田んぼに種まきを行う農家もある。害虫対策、種まきや田植えの適切な時期等のアドバイスをを行い、収穫高の向上を目指した支援を行う。稲作栽培を行わない時期には、野菜等他の作物への栽培支援に協力する。 3.活動状況を報告するとともに支所内の同僚とともに、現状確認、課題とその対応策を共有する。 | | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所内執務席 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 ディレクター(男性 30歳代 経験10年) 専門技術技官 10名、アドバイザー 10名(女性・男性20歳代~50歳代) 地域農民 | | | 5)活動使用言語 (フランス語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (いへん: C) 又は (いへん:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) () 理由:専門的な知識・経験が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 通信 | (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|----------------------------------|--------------------|
| 要請番号(JL 560 - 13- B - 21) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 / | 日系/短期 年 月 から |
| ベナン | 稲作栽培 | | | | | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業省 2) 配属先名 (日本語) コメ村落開発支所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コメ JICA事務所の所在地(コトヌー)から 西 方向 65 Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 モノ・クッフォ県農業促進センターの管轄の下、政策実施機関として各地方自治体毎に設置された。地域の農・畜・漁業の農民を対象に、農業技術普及・指導、研修(農薬・肥料等を使用した栽培技術の普及等)、肥料・種子の販売等を行っている。同支所の年間予算は約500万円。2010年6月より、JICAの内水面養殖振興技術協力プロジェクトが開始され、同支所はプロジェクトの実施対象地域となっている。支所長、同僚二名が本邦研修に参加。(2009年、2011年) | | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国でのコメ自給率は47%であり、年々消費量が増加し、不足分は輸入に依存している。同国は米や農作物の安定供給と貧困削減への貢献を目指し、CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)のコメ生産拡大に向けた取組を強化している。同支所は、農業・牧畜・漁業省の政策実施機関として、農民に対する技術指導を行うべく農業普及員が配置されているが、独自の予算がないことや農業普及員の知識不足、農民の運営能力の低さ、期待されている農民への技術指導は十分に行われていない。支所長、同僚が本邦研修参加をきっかけに、米の増産・生産性向上に向けた技術指導、ネリカ米の紹介・普及への支援に対して強い要望があり、本要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 農業普及員の指導レベルの改善、農民の収入向上を目的として、以下の活動を行う。 1. 農民との関係構築、情報収集、問題点の把握 2. 稲作の普及、技術指導 3. 収入向上に向けたアイデア、改善策の提案 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農民はセンバコギなど旧式で手作りの簡易器具を使用している。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 支所長(女性・30代) 農業普及員(男・女性、30~40代) 活動対象者:センター長、農業普及員、農民 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・稲作(栽培)に関する知識と経験 理由:活動上不可欠 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 活動上の交通手段は自転車のみに限られるため、その範囲で活動を行う。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 560 - 13 - B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 2年 | 1 26 / 1 |
| ベナン | 稲作栽培 | | | 1年 | 2 26 / 2 |
| | | | ヶ月 | 3 / | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジャコトメ村落開発支所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ジャコトメ JICA事務所の所在地(コヌー)から 北西 方向 145 Km 主要都市(コヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 モノ・クッフォ県農業促進センターの管轄の下、政策実施機関として各地方自治体毎に設置された。地域の農・畜・漁業の農民を対象に、農業技術普及・指導、研修(農薬・肥料等を使用した栽培技術の普及等)、肥料・種子の販売等を行っている。2010年6月より、JICAの内水面養殖振興技術協力プロジェクトが開始され、同支所はプロジェクトの実施対象地域となっている。支所長が本邦研修に参加。(2012年) | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国でのコメ自給率は47%であり、年々消費量が増加し、不足分は輸入に依存している。同国は米や農作物の安定供給と貧困削減への貢献を目指し、CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)のコメ生産拡大に向けた取組を強化している。同支所は、農業・牧畜・漁業省の政策実施機関として、農民に対する技術指導を行うべく農業普及員が配置されているが、独自の予算がないことや農業普及員の知識不足、農民の運営能力の低さ、期待されている農民への技術指導は十分に行われていない。支所長の本邦研修参加をきっかけに、米の増産・生産性向上に向けた技術指導、ネリカ米の紹介・普及への支援に対して要望があり、本要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 農業普及員の指導レベルの改善、農民の収入向上を目的として、以下の活動を行う。 1. 農民との関係構築、情報収集、問題点の把握 2. 稲作の普及、技術指導 3. 収入向上に向けたアイデア、改善策の提案 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農民はセンバコギなど旧式で手作りの簡易器具を使用している。 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 支所長(女性・30代) 農業普及員(男・女性、30~40代) 活動対象者:支所長、農業普及員、農民 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 稲作(栽培)に関する知識と経験 理由:活動上不可欠 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 活動上の交通手段は自転車のみに限られるため、その範囲で活動を行う。 | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------------|----------------------|------------------------|---|-------------|
| 要請番号(JL 560 - 13- B - 25) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | ○ グループ型 ● 個別 | ○ 新規 ● 交替 4 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ベナン | 稲作栽培 | | | ● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | / | 年 月 日 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ダンボ村落開発支所 | | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 ダンボ JICA事務所の所在地(コトヌー)から 北東 方向 45 Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ダンボ村落開発支所は、ウエメ・プラトー県地域農業促進センターが管轄する部署の一つである。ダンボ地区内の農業促進と地域発展を支援する組織である。具体的には、地域内の農業、畜産、水産(養殖)の促進と技術向上支援、民間も含めた農作物等の生産に関する監督、管理、行政手続等を行っている。ダンボ村落開発支所の予算は、ウエメ・プラトー県地域農業促進センターの年間予算約3億8千万円の中に含まれる。2010年6月より、JICAの内水面養殖振興技術協力プロジェクトが開始され、同支所はプロジェクトの実施対象地域となっている。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国でのコメ自給率は47%であり、年々消費量が増加し、不足分は輸入に依存している。同国は米や農作物の安定供給と貧困削減への貢献を目指し、CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)のコメ生産拡大に向けた取組を強化している。同支所は、農業・牧畜・漁業省の政策実施機関として、農民に対する技術指導を行うべく農業普及員が配置されているが、独自の予算がないことや農業普及員の知識不足、農民の運営能力の低さ、期待されている農民への技術指導は十分に行われていない。同支所には、現在3代に渡りJVが派遣され、米の増産・生産性向上に向けた技術指導、ネリカ米の紹介・普及、有機農法の紹介等の活動を実施しているが、今後も継続的な支援が必要であるため、後任要請に至った。農業普及員の指導レベルの改善、農民の収入向上を目的として、以下の活動を行う。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 農業普及員の指導レベルの改善、農民の収入向上を目的として、以下の活動を行う。 1. 農民との関係構築、情報収集、問題点の把握 2. 稲作の普及、技術指導 3. 収入向上に向けたアイデア、改善策の提案 *活動上の交通手段は自転車のみに限られるため、その範囲で活動を行う。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農民はセンバコギなど旧式で手作りの簡易器具を使用している。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 支所長(男性、40代) 農業普及員(男性、30~40代) 活動対象者:支所長、農業普及員、農民 | | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 稲作(栽培)に関する知識と経験 理由:農業普及員との活動も含むため | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ● 自転車 ○ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | | 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | |
| 特記 事項 | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 636 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ルワンダ | 稲作栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ガツボ郡庁 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 東部県ガツボ郡 JICA事務所の所在地(キガリ)から 北東 方向 80. Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 東部県7郡の1つであるガツボ郡は14個の行政単位「セクター」で構成され、人口は約40万人を数える。丘陵地域ではコーヒーが栽培され、低地の湿地帯では大規模な水田が広がっている。1994年の盧殺前までは国立公園の一部であったが、その後開発・移住が進められた。移住してきた人々には牛飼いが多く、現在ガツボ郡は国内でも有数の牛乳・牛肉の産地となっている。また、畜産、野菜栽培、稲栽培、果樹栽培の混合農業が成功している農業地域である。現在までにボランティアは派遣されていない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ガツボ郡は稲作が盛んな地域の一つである。稲作関連の大規模な共同組合も存在し、収量の増加・品質の改善をめざし、郡の農業技官が組合を巡回し、技術的サポートを提供している。しかし郡庁では人手が不足しており、すべての農家・組合の状況を把握できていない状態である。農民の栽培技術は未だ低く、種の選択・植え方・移植・病虫害・施肥の方法・タイミング等の知識も少ないため、サポートが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同郡の稲作共同組合に属する農家を訪問、技術的サポートを行う 2. 郡庁の農業技官に現状報告を行う 3. 協同組合への運営サポート | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所(椅子・机) | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 郡庁農業技官 各セクターの農業技官 共同組合の農業技官 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 同僚と同等以上 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践による指導力が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 稲作がおこなわれている地域までは公共バスを使用し、最寄のバス停から徒歩(2~3キロ)で訪問する地域も多い。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 636 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C101) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規、 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| ルワンダ | 稲作栽培 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| 3 | / | ○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キレヘ郡庁 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 東部県キレヘ郡 JICA事務所の所在地(キガリ)から 南東 方向 150 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 東部県7郡の一つであるキレヘ郡は東部県の最南端に位置し、12個の行政単位「セクター」で構成され、人口は約29万人を数える。タンザニアとの国境があり、物流の行き来も多い交通の要所である。郡庁は教育・人材・保健・農業など8つの課で構成され、住民の生活全般に対する各種サービスを提供している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 キレヘ郡は北西にあるのンゴマ郡との郡境周辺に大規模な湿地帯を有し、稲作が盛んな地域の一つである。稲作関連の大規模な共同組合も存在し、収量の増加・品質の改善をめざし、郡の農業技官が組合を巡回し、技術的サポートを提供している。しかし郡庁では人手が不足しており、すべての農家・組合の状況を把握できていない状態である。農民の栽培技術は未だ低く、種の選択・植え方・移植・病虫害・施肥の方法・タイミング等の知識も少ないため、サポートが求められている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同郡の稲作共同組合に属する農家を訪問、技術的サポートを行う 2. 郡庁の農業技官に現状報告を行う 3. 協同組合への運営サポート | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所(椅子・机) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 郡庁農業技官 各セクターの農業技官 共同組合の農業技官 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(大卒) (農学) 理由: 同僚と同等以上 ・経験(実務経験) (2年以上) 理由: 実践による指導力が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 稲作がおこなわれている地域までは公共バスを使用し、最寄のバス停から徒歩(2~3キロ)で訪問する地域も多い。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|---|-------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C102) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| モンゴル | 花き栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | 3 26 / 3 | |
| 配属先 1) 受入省庁名 (日本語) 労働省 2) 配属先名 (日本語) ドルノド県技術カレッジ <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ドルノド県チョイバルサン JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 北東 方向 660 Km 主要都市(チョイバルサン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1924年設立の同校は88年の歴史を持つ東部地域主要の技術専門学校で、国内企業から機械・農業系の労働人材育成を請け負っている。年間予算は約1,000万円。今年度は、22の専門クラスに677名、技術クラスに55名、職業訓練クラスに307名、合計1039名の学生が在籍しており、初級・中級・上級レベル別の専門的技術教育を実施、要請のある企業へ卒業生を就職させている。総務部、鉱山・石油部、農業産業部、技術サービス部に総勢52名の教師、31名の職員が在籍している。 | | | | | |
| 要請 1) 要請理由・背景 同校では農業・鉱山分野を主要分野と位置づけており、国内の企業から人材育成の依頼を受け、育成した人材を就職させている。2007年から情報技術、機械修理、英語、農業分野で米国ピースコー、韓国ボランティア(KOICA)を受け入れてきた結果、教師陣と学生の質が高まり、教育環境が改善される等、ボランティア活動から高い成果を得てきたと感じている。今回新たな分野でJICAボランティアを受け入れ、花き栽培コースでのレベルアップを計りたいと考えている。教育環境は整っているが花き栽培における幅広い知識と専門的人材育成の必要性から今回派遣を要請した。JVから経験と知識を吸収し、教師陣の質と学生たちの技術を向上させたいと考えている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 対象学生に対し以下の内容を指導する。 *午前～午後2時頃まで講義型の授業、午後は畑などでの実習授業が主となる ① ビニールハウス内や畑でガーデニング、花や樹木の栽培の実習科目を担当し、実技を指導する。 ② 花き栽培の専門科目を教える。 | | | | | |
| 要 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ビニールハウス、草刈り機、耕運機、播種機、土壌作り用ミキサー、ガーデニング用機材一式 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 同僚教師(女性、20代、自然保護、植林クラス、畑・ビニールハウス作業) (女性、50代、ガーデニング、農業専門、ファーム運営クラス担当) 活動対象者 生徒(16～35歳、1クラス約20～25名) | | | | | |
| 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(大陸性) 気温(-30～30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 242 - 13 - B - 24) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C102) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ジャマイカ | 花き栽培 | | | ● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保険省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会 | | | | ● NGO |
| | 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同協会は1956年に知的障害者への教育を政府に先立って始めたNGOである。1974年に教育省が特別支援教育に参入し、現在では同協会と共同で全国28か所の拠点において無償で教育を提供している。一昨年、学校教育を終えた卒業生が通える作業所が開設された。年間予算は約1億3千万円で過去に20名を超えるボランティアが派遣され、現在は2拠点で4名のボランティアが活動している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 花き栽培は生徒への授業及び卒業生対象の職業訓練所での訓練科目であるが、適切な技術を持つ教師が不足しているため、ボランティアの要請となった。農業科教師と協働して授業をする他に系列学校教師の技術向上のために、同協会が開催するワークショップでの技術の共有が求められている。しかし、卒業後に学校で習った技術を使って就職することは困難で、卒業後就職できずに家に引きこもる障害者も多い。障害者が卒業した後、社会的生活を送る機会が減少する現実を少しでも改善して障害者の人生を意味のある物にしたいという願いから各校で作業所を開設し、アクセサリーの製作が始まっている。今後は、木工製品、観葉植物などの商品も生産する計画である。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同協会本部に派遣されているSVや他校のボランティアと連携して、以下の活動をする。 1. 同僚教師と共同して花き園芸の授業を行い、ワークショップを通じて系列他校の教師とも技術を共有する。 2. 遮光ハウスを利用した栽培計画の作成を支援する。 3. 知的障害者の自立に繋がるような栽培指導法を研究する。 4. 卒業生の作業所となるように環境を整備する。 栽培品種は約25種でランタナ、デュランタ、プラムパーゴ、ホーリー、カラテア、シュフレラ、ドラセナなどの花木、観葉植物である。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 遮光ハウス100㎡程度、園芸用の機材等 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 本部:事務局長(女性)教育開発担当(女性)など計7名。学校:校長教員、スタッフ80名、生徒数300名、1クラス生徒数約10名。職業訓練所:訓練生15名、教員2名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 花き園芸の実務・実習経験 理由:栽培の指導をするため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(22~32 ℃位) | | 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | |
| 特記事項 | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 □ 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 21) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| インドネシア | 野菜栽培 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 26 / 3 |
| 年 月 から | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局 <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 1400 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 南スラウェシ州南部に位置するバンタイン県は州内で最も小さい県で、人口18万人、その75%が農業に従事しており、県収入のほとんどを農産物が占めている。県農業局は、競争力があり、持続可能で環境に優しいアグリビジネス・システムの開発による農家の収入向上を目指しており、このために資源(土地及び水)の利用の最適化、農産物の生産性改善、川上産業(特に種苗場等)の開発等に力を入れている。県農業局の年間予算は計約3億6,000万円(国家予算7,000万円、州予算1億1,000万円、県予算1億5,000万円、特別予算3,000万円)。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 バンタイン県では従来、ジャガイモ、トマト、人参、キャベツ等の野菜が栽培されてきたが、今般新たに里芋を導入し、里芋は輸出を含めた新たな収入源として期待されている。現在派遣されているJVも里芋の品質改善のために尽力し、バンタイン県における里芋の品質は改善してきているが、現状では、輸出可能なスタンダードに達してはならず、また十分な生産量も確保されていない。このため、県農業局では、引き続き里芋の品質向上及び生産量増加のための技術指導をできる人材を求めて今回、JVの後任を要請することとなった。JVにはさらに、高地野菜(キャベツ、ポテト、人参、大根、チコリ、にら等)の栽培に関する技術指導を行うことも求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・農家に対し、主に里芋の品質改善及び生産量増加のための技術指導(栽培、収穫、ポストハーベスト)を行う。 ・高地野菜(キャベツ、ポテト、人参、大根、チコリ、にら等)の栽培に関して農家に技術指導を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な農機具。 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:男性3人(いずれも30歳代、大卒)。 活動対象者:農家(40歳代の農家が多い)。 | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) | | |
| | | 6) 生活使用言語 (インドネシア語) | | | |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (イベ: D) 又は (イベ:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 活動上の単車/自転車必要性 | |
| | ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 支援対象が男性農家であるため。 ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門的な知識が必要。 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 理由: | | | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(18~25 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| インドネシア | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 2) 配属先名 (日本語) エンレカン県農業局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 南スラウェシ州エンレカン県 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 1500 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4.5 時間) | | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 農業が主要産業であるエンレカン県において、農業基盤の強化と環境にやさしいアグロビジネスの実現のために、農業インフラの改善、農業技術の指導等を行う。年間予算は、国家予算が約1億円、県予算が約1億1千万円、特別予算が約4,000万円。農業局の職員数は49名。同県は12の地区に分かれており、県の管轄下にある農業普及所には計170人の普及員がいる。隊員が所属する予定の園芸作物部の職員数は10名で、職員の平均年齢は約45歳。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 エンレカン県の人口は約24万人で、80%が農業に従事している。主要作物は、ジャガイモ、赤玉ねぎ、キャベツ、人参、トマト等で、これらの野菜の栽培面積は約7,000 haとなっている。県農業局では、ほかしや、トリコデルマ菌、MOL、EM4を利用した有機農法の開発プログラムを実施しており、農家及び職員に対してトレーニングを行っている。県農業局によると、農家は有機農法の利点について理解しており、県農業局でも安全な有機野菜の栽培を奨励しているが、有機農法に関する知識・技術はまだ農家には浸透していない。このため、県農業局では、特に農業普及員及び農家に対して有機農法の指導のできる人材を求めて、今回JVの派遣を要請することとなった。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 県農業局が優先地区とみなす地域で以下の活動を行う。 ・農家及び農業普及員に対して、赤玉ねぎ、ジャガイモ、キャベツ、人参、トマト、唐辛子等の野菜について、有機農法の指導(コンポストや有機堆肥の作り方、トリコデルマ菌の使用法等)をする。 ・上述の野菜について、栽培、収穫、ポストハーベストの全ての時期について、品質改善及び生産量増加のための技術指導を行う。 | | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な農機具。 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:園芸・苗課長(男性、40歳代)、園芸作物生産課長(男性、40歳代、院卒)、農業普及員(男性、40歳代、大卒) 活動対象者:農業局職員、農業普及員、農家、農家グループ | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 男性農家を活動対象とするため。 ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門的な知識を必要とするため。 ・経験 () () 理由: ・ 有機農法に関する知識・経験 理由: 活動内容上必須。 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 農家にホームステイしながら僻地で活動することも考えられるため、このような環境に耐えることのできる人材が望ましい。 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|--|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 012 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| フィリピン | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ディオス マバロス ポ 基金 | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アルバイ州ダラガ町 JICA事務所の所在地(マニラ)から 南東 方向 350 Km 主要都市(レガスピ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は2007年に恵まれない子供に対する人道的支援を目的に設立されたNGO。名前のディオス マバロス ポは“ありがとう”を意味する。保健部、栄養部、教育部の3部門をもち、栄養部では栄養失調の子供たちに対する食料支援対策、保健部では口蓋裂の子供への手術機会の提供、教育部では食糧安全保障プログラムとして子供及び親に正しい栄養摂取の重要性を教えるとともに、学校/家庭での有機肥料を利用した菜園作りや薬用植物栽培の推進などを行っている。地域の地方自治体や国際NGO等の事業の実施請負機関としても機能する、地域において影響力の大きいNGOである。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は、設立当時から栄養失調の子供に対する食料の直接支援事業を実施してきたが、特に栄養の重要性について学校等で子供とその両親に対して教育する場を提供することでより実効性/持続性のある食料安全保障事業の実施に踏み出すため教育部を設置した経緯がある。その一環として家庭菜園普及活動を実施しており、特に有機肥料を利用した安全な作物づくりを推進している。配属先代表者が、地域で開催されたJICA技術協力プロジェクトのセミナーに出席したおり、近隣地域のNGOで活動するJV(野菜栽培)と出会う機会があり、同JVの推進していた高倉式コンポスト技術を知ったことがきっかけとなって、当該技術の地域での普及を配属先の教育部の活動として取り入れた。同JVの支援が高く評価されたこともあり、有機肥料生産推進支援と、生産された有機肥料を利用した野菜栽培及び薬用植物栽培の普及支援のため今回の要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①有機肥料の生産及び利用に係る技術的支援を行う。 ②有機肥料の生産及び利用普及のためのマニュアルやビデオ作成、及びセミナーやワークショップの実施を支援する。 ③学校及び家庭における有機野菜栽培及びハーブ/薬用植物栽培の普及活動とそれらの栽培に係る技術的支援を行う。 ④有機野菜栽培及びハーブ/薬用植物栽培普及のためのデモファームの運営管理を支援する。 なお、現在有機肥料は高倉式コンポストを推進。ハーブ/薬用植物は、ペパーミント、ハネセンナ、スナゴショウ、フクマンギ等。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター、プロジェクター等事務機器。農作業用具は一通りそろっているが、動力を利用する農機は無い。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 代表理事:60代女性(本NGO創設者) 教育部:農業技術者1名、30代男性。栄養指導者2名、看護師2名、いずれも20代女性。なお、本NGOには全20名の職員がいるが大部分が20代の若い職員。 活動対象者:地域住民/農家及び児童/生徒 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 有機農業経験(2年程度) 理由: 経験に基づいた指導が必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(25-35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 026 - 13 - B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| 東ティモール | 野菜栽培 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 26 / 3 |
| | | | | | 年 月 日から |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・雇用国務長官府 |
| | 2) 配属先名 (日本語) コミュニティ開発センター <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 バウカウ JICA事務所の所在地(デリ、ファロール)から 東 方向 110 Km 主要都市(バウカウ中心部)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.25 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、バウカウ県を中心として地元産品の生産者グループを対象に、トレーニングや食品加工機材などの供与、活動のモニタリングを通じて、地域経済の発展を支援するNGO。11の生産者グループの内、3つは農作物生産(トマト、パイナップル、イネなど)を行い、8つは女性グループで、トマトソース、フルーツジャム、ココナッツ油など地元産品の加工と販売を行っている。商品はバウカウ及び首都デリのスーパーや小売店で販売。配属先数地内では、野菜、果樹の有機栽培また養蚕を試験的に行っている。フランス、イギリス、イタリアなどのカトリック系NGOから財政支援を受けている。年間予算は、約US\$170,000。 |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 東ティモール国では、農業以外の産業がまだ発展しておらず、高い失業率は国造りを進める上で大きな課題となっている。農業は全国的に行われているが、自給自足的な要素が強く、栽培技術には改善の余地がある。配属先では、既に生産者グループに対し野菜栽培技術の指導などを行っているが、同僚がより質の良い指導ができるよう、苗作りから収穫まで一連の栽培活動をサポートすることが必要となっている。生産者グループの自立と地域住民の収入向上を目指し、配属先の活動に貢献する意欲を持った隊員が求められている。配属先の農地(3-4ha)では、コンポストを取入れ、トマト、ナス、レタス、ニンジン、チリ、タマネギ、葉菜類、その他豆類を栽培している。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先農地で同僚と野菜栽培 ・ 配属先と協力し、生産者グループへ野菜栽培指導 ・ コンポストを使用した有機栽培方法の確立 ・ 同僚と共に 生産者グループに向けた野菜栽培指導のマニュアルやトレーニング向けカリキュラム作り |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 機、イス、コンピュータ、カメラ、生産者グループ訪問のための配属先車両 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 職員数:25名 野菜栽培トレーナー① 30歳代男性、大卒、経験年数10年 野菜栽培トレーナー② 20歳代男性、大卒、経験年数10年 その他 生産グループメンバー複数 |

| | |
|-------|--------------------------|
| 資格条件等 | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) |
| | 6) 生活使用言語 (その他) |

| | |
|-------|--|
| 資格条件等 | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
| | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |

| | |
|-------|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: () ・ 学歴 () () 理由: () ・ 経歴 () () 理由: () ・ 農業の知識と経験を有すること 理由: 活動上必要なため |
| | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(熱帯性半乾燥気候) 気温(18~33 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|--|-----------------------------|
| 要請番号(JL 027 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ベトナム | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) クアンニン省人民委員会 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 農業農村開発局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 クアンニン省ハロン市 JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 東 方向 170 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4.0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同局は、農林水産業振興、灌漑施設の維持管理、農村開発、農林水産物の生産から市場までの管理と、農林水産物の安全性に関するモニタリングと改善施策の提案・実施を行っている。 ボランティアは同局の中で、農林水産業普及センターにおいて活動を行うこととなる。同センターは総務課、技術移転課、啓発課、研修課の4課から成り、啓発や研修等を通じた、農家等の関係者への技術・知識の普及を主な業務としている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国では年々高まる農産物の需要と作物の栽培規模の拡大に伴い、農薬や化学肥料等の使用量が増大し、農産物の安全性確保が課題となっている。安全性の高い作物栽培に関する知識と技術を農家へ指導することが最重要課題であり、同省人民委員会や配属先が中心となって、適切な農薬の使用による野菜栽培への取組を実施してきているが、まだ十分な成果が得られていない。要因としては農家の知識不足が挙げられるが、一方で、配属先を持つ技術と知識を十分に農家に対して指導・普及できていない現状がある。この点を配属先としても課題と考えており、農家への支援を充実させることを目的とした本件要請が提出された。ボランティアは農薬の使用方法や病虫害防除等に関する知識を有し、効果的な普及・啓発活動を支援できることが期待されている。なお野菜の種類の例として、かぼちゃ、トマト、きゅうり、キャベツ・空芯菜等の葉菜類がある。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築、現状把握に重点を置きつつ、以下の活動を同僚と協力して行う。 ・農家を対象とした安全な野菜栽培技術の普及活動を支援する。特に農薬の適切な使用方法や病虫害防除に関しての支援を行う。 ・上述支援内容の定着・普及のため、農家を巡回し、モニタリングを行う。 ・現行の安全性の高い野菜栽培モデル作り等への改善支援・助言等を行う。 ・農家や配属先同僚に対し、日本の野菜栽培に関する技術・知識・経験を共有する。 ・配属先が取り組む、農薬を適正に用いた安全性の高い野菜栽培に関する啓発活動等の取り組みを支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、プリンターなどの一般事務機器 | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長(男性/50代前半/農学大卒/業務経験25年) ・副センター長(女性/50代後半/農学修士/業務経験28年) ・センター職員5名(男性3名、女性2名/20代~50代/学士) ・農家や村における普及員(農業・水産) ・ほか、農家などの関係者 | | | 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 活動上専門性が必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 普及に関する業務を行うため ・ 病虫害予防・農業の知識 理由: 業務上必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨) 気温(10~35℃位) | | 電気 | <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道 | <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|--|--------|---------|-------|----|
| 要請番号(JL 060 - 13 - B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ネパール | 野菜栽培 | | | 2 | 26 / 1 | 年 月 | から |
| | | | | 3 | 26 / 3 | | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) シンズリ郡農業開発事務所 ラタンチュラ支所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 シンズリ郡 ラタンチュラ カニヤカルカ JICA事務所の所在地(ライトプール)から 南東 方向 135 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はネパール政府農業局の普及拠点として郡に配置されている農業開発事務所。当配属先配賦年間予算は1400万円円で農業普及プログラムには320万円を支出している。活動地は同事務所の下部組織である6つの支所のうちの1つである。活動地の支所では農民に対して農業技術支援、病虫害対策、研修、種子の配布等を行っている。 |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 近年物価の高騰による生活必需品の価格上昇、子女教育等に現金が必要であるが、配属先管内では伝統的な自給自足農業が行われているため農業による収入のみでの生活が困難となってきている。農家の現金収入向上が課題となっており、生産性の向上、換金作物として園芸作物の普及を促進するためにボランティアが要請された。また、同地域はJICAのプロジェクトである「シンズリ道路建設計画」及び「シンズリ道路沿線高価値農業普及促進マスタープラン作成プロジェクト」の実施地域であり、これらと連携した作物の販路開拓等の相乗効果が期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.シンズリ郡農業開発事務所が行うプログラムの補佐 2.農家や配属先スタッフに対して野菜の生産性向上、栽培管理のアドバイス及びトレーニングの実施 3.端境期野菜へのアドバイスと技術普及 4.農業を通じた現金収入向上、貧困削減をめざし、農家の意識を変える啓発活動 5.農作物の販路の開拓 6.果樹栽培の盛んな地域であるため、シンズリ郡派遣予定の果樹栽培JVと協力し、農家指導を行う |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし |

| | |
|--|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(30代、男性) 技官、技官補(野菜、果樹、植物病理、農業普及等20~40代 男性)23名 他スタッフ(20~40代 男女)12名 支所には技官(40代、男性)1名、技官補(30代、男性)1名、サポートスタッフ1名が駐在 | 5) 活動使用言語 (ネパール語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|--|--|

| | | |
|-------|--|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 学歴社会であるため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な指導を行うため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(0~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | |
|--|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 060 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ネパール | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) ドラカ郡農業開発事務所 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| 3) 任地 ドラカ郡チャリコト JICA事務所の所在地 (ライトプール) から 北東 方向 130 Km 主要都市 (カトマンズ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 7 時間) | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はネパール政府農業局の普及拠点としてドラカ郡に配置されている農業開発事務所、当配属先配賦年間予算は1,190万円である。同事務所は4つの支所を通じて管轄内農家に対して農業技術サポート、病虫害対策、研修、種子の配布等を行っている。活動地は1,900mの高地に位置しているジャガイモの栽培が盛んな地域である。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 配属先は管轄内農家に対し高地の利点を活かしたビニールハウスによる園芸作物栽培の普及を通じて農家の現金収入向上をめざしている。また、高地の特性を活かし出荷時期をずらし、付加価値をつけた作物の生産、普及、販路開拓を検討しているが、これらにつき十分な知識がないため、ボランティアの要請に至った。また病虫害対策やその他作物栽培上で起こる問題の解決、通常業務である農家巡回、モニタリングの改善も求められている。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) | | | | | |
| 1. 園芸作物のビニールハウス栽培、端境期野菜の導入及び普及 2. 上記及び病虫害対策等における研修の計画及び実施 3. 農業普及、その他プログラム策定の補助 4. 農家巡回及びモニタリング | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(40代、男性) 技官、技官補(野菜、果樹、植物病理、農業普及等20代~50代 男性)22名 他スタッフ(20~40代 男女)11名 | 5) 活動使用言語 (ネパール語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の單車/自転車の必要性 | | | | |
| ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 学歴社会であるため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な指導を行うため 理由: | <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(-5~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 060 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ネパール | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 中央種子センター、ニガレ農場 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 シンドバルチヨーク郡ニガレ JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 東 方向 110 Km 主要都市(カマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は首都にある中央種子センターの圃場の1つである。標高2,300メートルに位置するこの圃場は高地の利点を活かし、ジャガイモの種子栽培、研究、有機栽培、園芸作物の実証栽培を行っている。また並行して、農家への技術支援、病虫害対策、研修等を行っている。当配属先配賦年間予算は500万円。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先は敷地内の圃場でジャガイモの研究及び種子生産を行っているが、同時に端境期野菜、園芸作物の実証栽培にも取り組んでいる。配属先周辺は高地であり、農家がビニールハウス栽培技術を習得することで現金収入の向上が図れると配属先は考えている。また、高地の特性を活かした園芸作物の導入、出荷時期をずらし、付加価値をつけた作物の生産、普及、販路開拓を検討しているが、これらにつき十分な知識がないため、ボランティアの要請に至った。他には病虫害に強い品質の高い作物を生産するための接木苗技術についてもボランティアからの技術移転を望んでいる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.高地でのビニールハウス栽培の普及 2.接木苗技術の指導及び普及 3.有機栽培の普及 4.上記活動内容における人材育成 5.端境期野菜に対するアドバイス及び普及 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 農場長兼技官(40代、男性) 技官(20~40代、男性)2名 技官補(20~40代 男性)3名 他スタッフ(20~40代 男女)3名 | | | 5) 活動使用言語 (ネパール語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 学歴社会であるため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な指導を行うため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(-5~30 ℃位) | | 電気 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| | 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) | | 水道 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 060 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 派遣希望時期 | 派遣希望時期 |
| ネパール | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 26 / 3 | |
| | | | | 3 / | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合・貧困緩和省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ネパール農業協同組合中央連合会 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 北 方向 1. Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業協同組合の全国連合会として農業開発銀行、小規模農家開発銀行や財務省との連携のもとに2008年に設立された新組織である。現在270組合が加盟している。ドイツやカナダの援助機関の支援を受け、マイクロファイナンス事業を柱に、会員組合に対する運営指導や農産物のマーケティング、収入向上につながる換金作物や有機栽培などの指導を行っている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先では信用貯蓄活動の他に傘下組合に対する運営指導、マーケティングなどを行っているが後者に関しては未熟な状態である。農家の現金収入向上のため換金作物や有機栽培の普及、販路拡大に取り組もうとしているが、十分な知識がないためボランティアの要請に至った。ネパールの人口の80%は農民であり、配属先は農業協同組合を通じた農民の現金収入向上をめざしており、農民の組織化も推進している。前任者はカトマンズから西へバスで2時間ほどのダディン郡をフィールドとして主に農民の野菜栽培支援、農民の組織化を行った。配属先本部はカトマンズであるが、フィールドでの活動が中心となる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 傘下協同組合への有機野菜栽培指導等 2. 有機野菜栽培の研修、啓発活動 3. 実証栽培 4. 上記におけるモニタリング及びフォローアップ 5. 農民の組織化支援、販路の模索 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理事長(男性 40代) 専務理事(男性 40代) スタッフ 8名(男性 3名、女性 5名 20~30代) | | | 5) 活動使用言語 (ネパール語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 学歴社会であるため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な指導を行うため ・有機栽培の知識 理由: 有機栽培普及をめざしているため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---------------|--------------------------------------|--|-----------|
| 要請番号(JL 060 - 13- B - 23) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ○グループ型 ●個別 | ○新規 ●交替 4 代目 | ○2年 | ○1年 |
| ネパール | 野菜栽培 | | | 1 | 2 |
| | | | | JOCV/SV | 日系/短期 |
| | | | | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 26 / 3 | |
| | | | | / | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業開発省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) バクタプール郡農業開発事務所 | | | | ○NGO |
| | 3)任地 バクタプール郡バクタプール JICA事務所の所在地(ライトプール)から 東 方向 10 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 郡内に本部の他に6つのサービスセンターを持ち、郡内の農業普及事業、灌漑事業、種子配布、高付加価値穀物普及事業を実施している。年間予算は約1100万円で、郡内スタッフ数は32名。日本の柿、梨の普及を通して農民の収入向上をめざし、2007年7月まで実施されていたボランティアプロジェクト「園芸普及計画」の対象エリアの一つとして、これまで数代にわたり野菜隊員が派遣されている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 バクタプール地域は首都カトマンズに隣接しており、JICAが建設したバクタプール道路により首都へのアクセスが大幅に改善された地域である。配属先及び農家は市場のニーズに応えられる有機栽培の普及をめざしているが、有機栽培に関する十分な知識がないためJVの支援を求めている。現在活動中のJV(2014年1月まで)は有機施肥の作成及び有機栽培の普及、一村一品運動、日本の柿・梨販売における農家のサポートを行っている。ボランティアには有機栽培技術の普及、市場開拓、一村一品運動などへの支援が求められている。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアには以下の活動が期待されている。 1.有機栽培の促進及び技術の普及 2.有機栽培作物の販売先開拓支援 3.減農薬、農薬の正確な知識の普及 4.日本の柿・梨販売支援 5.一村一品運動支援 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 所長1名(50代) 企画・計画、病虫害、果樹、普及セクションに普及員もしくは普及員補、事務スタッフ等25名 | | | 5)活動使用言語 (ネパール語) 6)生活使用言語 (ネパール語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(専門学校卒)(農学) 理由:専門知識が必要なため ・経歴() () 理由: 有機栽培の経験 理由:有機栽培普及が求められる為 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○単車 ○自転車 ●不要 現職教員特別参加制度 ○可 ●不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) | | 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 水道(○安定 ●不安定 ○なし) | | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25年 8月 5日

| | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|--|---------|------------------------|
| 要請番号 (JL 106 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| フィジー | 野菜栽培 | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 年 月 から |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化・芸術省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ヴィヴェカナンダ職業訓練校 <input type="radio"/> NGO | | | | | |
| | 3) 任地 ナワイゾンバ JICA事務所の所在地(スパ市)から 北西 方向 185 Km 主要都市(ナンディ町)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1984年に設立された、インド系職業訓練校(生徒はフィジー人も多い)。ナンディより13km離れた農村部に位置している。家政、自動車整備、農業コースを有しており、貧困層を対象とした支援も行っている。2012年からは、農業コースを開始した。主に学業からドロップアウトした生徒を対象としている。全生徒数は150名で、併設されているスワミ・ヴィヴェカナンダ高校は930名の生徒が学んでいる。ヨーロッパ連合、ニュージーランド等の資金援助を受けている。自動車整備JVを3名派遣した経緯あり。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 フィジーでは青年層の失業者が多く、10年前と比較して失業率が2倍に悪化したとの統計データも報告されている。教育省では職業訓練を推進、雇用促進・自営のためのスキルトレーニングを提供してきたが改善の兆しは見られず、農村部では雇用の機会に限られるため、人口流出の問題も起きている。よって、都市部で雇用を求めるのではなく、農村に残り農業で生計を立てられるような職業訓練が求められている。 フィジーの農業生産は大洋州内では比較的多様であるが、ニュージーランドやオーストラリアからの野菜・果物の輸入も多い。国内産の野菜の品種や質を改善し、より収入を上げられる農家の育成を目指し、ボランティアの要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚教師3名とともに、以下の業務を担当する。 1. ヴィヴェカナンダ職業訓練校農業コースならびにスワミ・ヴィヴェカナンダ高校の農業科の生徒に対して、野菜栽培技術の指導を行う。農場は、土壌の問題から、スワミ・ヴィヴェカナンダ高校に併設している(ナンディから4kmの距離)。自家消費のためではなく、商品としての野菜栽培技術の指導が期待される。観光都市も近いので、高品質の野菜のニーズは高い。 2. 水耕栽培の普及も試みようとしているため、指導できれば、なお良い。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な農機具、トラクター、温室、水耕栽培施設 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師4名(男性2名、女性2名:20代~30代:実務経験2~11年) 活動対象者は、ナワイゾンバ職業訓練校 生徒20名(フルタイム)ならびにスワミ・ヴィヴェカナンダ高校 生徒240名(選択科目としての農業) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (農学) 理由: 訓練校での指導に必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実習での指導に必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|---------------|--------------------------------------|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 106 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ○グループ型 ◎個別 | ◎新規 ○交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| フィジー | 野菜栽培 | | | ◎2年 ○1年 ○ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化・芸術省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ラトゥ・カンダブレブ中高等学校 | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 タイレブ JICA事務所の所在地(スパ市)から 北東 方向 60 Km 主要都市(スパ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1924年に設立された男子校で、多くの政治家を輩出し、ラグビーの名門校でもある。幹線道路から10kmほど外れた海沿いの丘の上に位置しており、自然に囲まれた環境。全生徒数は600人で、職業訓練も有している。職業訓練には農業コースのほかに、自動車整備、溶接、木工コースがあり、2学年制。同校の農業コースは、フィジー教育省の職業訓練規格に沿って運用されており、同校にてStage1、2を学び、Stage3~5は大学に編入して学ぶことができるシステムとなっている。過去、自動車整備JVが2代に渡り派遣された経緯がある。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 フィジーでは青年層の失業者が多く、10年前と比較して失業率が2倍に悪化したとの統計データも報告されている。教育省では職業訓練を推進、雇用促進・自営のためのスキルトレーニングを提供してきたが改善の兆しは見られず、農村部では雇用の機会に限られるため、人口流出の問題も起きている。よって、都市部で雇用を求めるのではなく、高校卒業後は地域に残り、農業で生計を立てられるような職業訓練が求められている。 同校農業コースでは、講義と実習を組み合わせたトレーニングを提供しているが、より市場価値の高い野菜の栽培技術の指導のために要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚教師4名とともに、以下の業務を担当する。 1.農業コースYear1、2(高校2,3年生に相当)の生徒に対して、週3日の講義と週2日の実習を担当する。生徒数は2012年において、Year1が25名、Year2が12名。 2.土曜日は、全校生徒の半分が参加する農業実習を担当する(2時間のみ)。 3.農業実習では栽培される野菜の多様化、栽培の効率化を指導する。栽培された野菜を地域で販売することで収益を上げ、学校施設の改善や、給食で野菜を使うことも計画されている。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な農機具、トラクター | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師4名(男性:40代1名、30代2名、20代1名:実務経験1~15年) 活動対象者は、農業科の生徒37名、普通科の生徒300名(週1回のみ) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 僻地のため ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 高校での指導に必要 ・経歴 () () 理由: ・ 実務経験 2年以上 理由: 実習での指導に必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○単車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし) | | |
| 特記事項 | 通信(☑インターネット可 ☑電話可 ☐無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 124 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| パプア ニューギ ニア | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) クワトコミュニティー専門学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アロタウ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 南東 方向 360 Km 主要都市(アロタウ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 キリスト教系の3年制技術専門学校。教会では他にも乳児園と幼稚園の運営も行っている。2013年度の生徒数は151名(内寮生36名)、男女比は半々。木工・建築・観光・家政のコースが実施されている。12歳から受け入れており、中学・高校での学業不振により編入する生徒も多い。1年目は全コースの基礎を受講し、2~3年生で各コースに編入されていく。2006年開学で教員もボランティアであったが、2012年に学校として正式登録され、教師の雇用を進めている。年間予算はK200,000(約920万円)で、学費に加えて教会メンバーからの寄付も募っている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 援助機関や政府からの支援を受けて学校施設は整備されており、近々コンピュータ教室も開く予定で40台のパソコンも準備されている。しかしながら、ボランティア教員による学校運営であったために、授業が開かれにくいことも多く運営が安定していなかった。正規学校となり、教員採用を進めているが有能な教員確保に苦慮している。学生の実家は農業や漁業などの第一次産業に従事しており、将来的に家業を継ぐことも多い。多雨な地域ではあるが、土が粘土質で痩せている地域であり、農業への知識も乏しいため十分な収穫が得られていない。野菜栽培に関しては、栽培計画から土壌改良、肥料などの知識全般が不足している。肥料や農薬なども全てが輸入品であり、小作農には手が届かないため、身の回りの物を活用して改善できる農業の知識が求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 派遣されるボランティアには下記の活動が期待されている。 ①農業コースでの授業運営・授業改善のための助言 ②研修用の畑の開拓、野菜類・陸稲などの栽培管理 ③土壌改善や肥料開発などの情報収集と試行(経験・知識は不要) 国内において、NGOの農業研修学校や各州農業局にJICAボランティアが派遣されており、技術的な相談などは可能である。また、現地に根差した農業を、NGOで受講することも検討できる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、事務用品、共用パソコンなど。農機具は最低限しかなく、派遣後に学校側と相談して導入を進める。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長・副校長+教員数8名で25-45才 ほとんどの教員は、大卒で本業の傍らで教鞭をとるボランティア。今後、正式な教員として採用を進める。農業コースは、担当できる教員が不在となってしまったため、追加採用する予定。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) () 理由: 治安上の理由 ・学歴 (高卒) (農学) 理由: 農業関連の学歴が必要 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 127 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ソロモン | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) イザベル州 農業普及課 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 プアラ JICA事務所の所在地(ホニアラ)から 北西 方向 120 Km 主要都市(プアラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 イザベル州内の農業普及全般に係る事業を行っている。職員数は35名。州内を18地域に区切り、それぞれに普及技術員を置いている。州内Gozoruru地区に栽培試験場を有しており、米や野菜の試験栽培、地元農家への栽培技術、育成技術の指導をしている。栽培試験場全体の面積は約3000haであるが、現在までの開墾済み面積は十数ha。将来的には100haほどの農園を開墾する予定。米作は台湾による技術指導を受けている。年間予算は約2300万円。機材として、ボート(船外機付き)、トラクターを所有している。ブルドーザ等の重機は台湾から借用している。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 栽培試験場を有し、米や野菜、果樹の栽培・普及プロジェクトを昨年より実施している。運営メンバーは、農業省、イザベル州政府(農業普及課)、台湾技術団、近隣村から成る。現在栽培しているのは、米(台湾の指導)とピーナッツなど若干の作物のみ。 地元の土地にあった農作物や果樹を調査、選定し、試験栽培から本格的な栽培へと指導できる人材がいなかったことから、JICAボランティアの要請となった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 栽培試験場において果樹または野菜の指導が求められている。 配属先の職員と共に、 ①地元の作物や土壌の現状調査 ②地元に適した作物の選定・提案 ③同僚や農家に対する栽培方法の指導を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般事務用品、一般農機具 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 課長(男性、50才、大卒)、所員4名(男性、40~50才、高卒) 職員数は全35名、ただし2012年11月時点で14名が首都で勉学のため休職中 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (ハハ: C) 又は (ハハ:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:現場での経験実績が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(23~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 果樹または野菜の指導が求められている。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--------------------------------------|--------|
| 要請番号(JL 130 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| トンガ | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) トンガ青少年国民会議 | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ババウ JICA事務所の所在地(ヌクアロファ)から 北東 方向 300 Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1991年に設立されたNGOで、首都に運営管理事務所、エウア、ハーパイ、ババウなどに地方組織があり、青少年の育成を目的に様々な研修などを行っている。ババウ島に野菜栽培隊員が派遣されている。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先は就業機会が少ないババウ島農村部の青少年育成と生計向上のために、各地の青少年グループへの有機農業の普及に取り組んでいる。現在、農場では鶏糞とコンポストを使用した無農薬、無化学肥料で、パクチョイ、ロケットサラダ、ミズナ、白菜、キャベツ、レタス、インゲン、ピーマン、オクラ、ニンジン、ハーブ(コリアンダー、バジル)とバニラが栽培されている。これまで隊員は自家採取を推進し、オクラ、インゲン、バジルとコリアンダーの自家採取が出来るようになってきている。今後、農村部の青少年グループに対する有機農業研修コースの開催を計画しているが、スタッフの有機農業に関する経験、技術と知識がまだまだ不十分であるため、引き続き後任が要請された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①スタッフへ有機農業の技術指導を行う。 (栽培技術、入手可能な原材料使用したコンポストの作り方、混植(コンパニオンプランツ)の知識、自家採取方法など) ②スタッフとともに青少年グループの農場を巡回し技術指導を行う。 ③有機農業の研修コースを開催する。 ④自家採種を推進し、実践する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 グリーンハウス(遮光ネットで作られたハウス)約2,000㎡、露地1,000㎡、耕運機、草刈機、レーキ、シャベル、ブッシュナイフ、ホース、水道 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:事務管理担当マネージャー1名(女性、30代)、畑担当マネージャー1名(男性、30代、農業の基本的な知識はある) | | | 5) 活動使用言語 (英語) | | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (その他) | | |
| 地域概況 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:実際の栽培経験が必要 理由: | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 | | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 気候(亜熱帯) 気温(15~33 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 待記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|----------|----------|
| 要請番号(JL 233 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| グアテマラ | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 3 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 大統領府企画庁 | | | | | |
| 概要 | 2) 配属先名 (日本語) プルラー市生活向上協会 | | <input checked="" type="radio"/> NGO | | | |
| 要請 | 3) 任地 パハベラバス県プルラー市 JICA事務所の所在地(グアテマラ市)から 北 方向 171 Km 主要都市(サラマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は先住民族(マヤ系)が多く占めるプルラー市民の生活向上のため2000年に組織された団体であり、現在約150の農家を中心とする住民が会員となっている。配属先では同地域の農作物の改良、農産物の加工・販売、織物製品の製作・販売を手掛けている。農家が中心の組織であるため、配属先自身の年間予算は少なく約600米ドルのみで、これらは事務所の光熱費等に充てられている。また、これまでベルギーのNGO団体から支援を受けた経験がある他、現在はスイスの団体より各種野菜の種の提供を受けている(2014年までの予定)。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 同市は先住民族が多く住む地域であり、国内でも貧困地域と言われている。そのため同地域住民の収入向上及び生活改善のために組織された配属先には、多くの農家を中心とする住民が登録しており、キャベツ・人参・カリフラワー・ブロッコリーなどを生産し、同市内を中心に販売して生計を立てている。また、協会内では、農産物を利用したジャム等を製造・販売することによって、同市民の生活向上に務めている。しかしながら、これまでのところ、農家はより良い農作物の栽培方法を習得していないため品質は決して良いとは言えず、高価で取引することができていない。また、販売ルートも乏しいことから、農作物や協会内で製造した商品を大量に販売するには至っていない。そのため、この度、上記課題を解決するために農作物の栽培方法に関する知識を有し、かつ、それを販売につなげる知識を持つJICAボランティアの要請がなされた。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①各農家からの聞き取り調査や実際の栽培状況を確認し、栽培方法の改善案・気候に適したその他の農作物栽培の検討を行う。 ②上記の点に関して、農民グループに対し、栽培方法の研修会を開催する。 ③栽培された農作物のより良い販売方法(適性価格設定や販売ルート開拓)について検討し、提案する。 | | | | | |
| 要請 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 協会内に事務用品一般 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同協会会長(C/P) 男性 50代 同協会コーディネーター 女性 30代 同協会に登録している農家数 約150 ※先住民族(マヤ系)が多くを占め、現地語(ケクチ語)のみ話す住民もいる。 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 地域概況 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 農業従事者への指導を行うため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 特記事項 | 気候(高山) 気温(5~20℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

| | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|--|
| 要請番号(JL 233 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| グアテマ ラ | 野菜栽培 | | | 年 月 から | 年 月 から |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 全国協同組合庁 | | | | 2) 配属先名 (日本語) シンカステラモンターニャ農業組合 | |
| 3) 任地 サンタロサ県チキムリージャ市シナカンタン地区 JICA事務所の所在地(グアテマラ市)から 南 方向 122 Km 主要都市(クイラバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は2012年11月正式に農業組合として設立された組織であり、組合員が栽培した農作物の販売・農業技術にかかる研修会を全国協同組合庁の支援を受けながら企画・実施している。チキムリージャ市内の山間部に位置する6地域に居住する32農家にて構成されており、組合農家の多くはコーヒー栽培を主にトウモロコシ、コメ、豆類、トマト、ズッキーニ、レタスなども栽培している。年間予算は6万5千米ドル。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 組合農家の多くはコーヒーが主な収入源であったが、近年さび病発症により収穫量が激変している状況である。チキムリージャ市街地では野菜の単価が高く取引されているため、コーヒーの代替作物として野菜栽培の強化を実施している。しかしながら、組合員の中で専門的な農業技術を有している人材はおらず、同地に適した野菜の選定等、効果的な栽培はなされていない状況であるため、新たな野菜栽培の可能性および栽培技術の向上への支援が求められ、本要請に至った。また、組織化されて日も浅いことより、農業組合の組織強化・組合員数の増加にかかる支援も期待されている。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 対象組合員32農家に対して、同僚とともに以下の活動を行う。 ①同地に適した新たな野菜栽培の選定および栽培支援 ②農家・農地を巡回し、作物栽培状況の確認および農業技術に関する助言 ③農業技術にかかる研修会の企画・実施に関する支援 ④組合農家数の増加、研修会等への参加者促進、運営強化などに関する、農業組合の組織強化に関する支援 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な事務用品 | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 組合長:男性50代 C/P:男性30代 農業組合員32農家(30~50代、大半が男性) | | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 農業従事者への指導を行うため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(サバナ) 気温(20~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 住居は農業組合員の家庭にホームステイとなる。 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|---|--|--|---|--------|----------|
| 要請番号 (JL 242 - 13 - B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | ● 2 年 | ○ 1 年 |
| ジャマイカ | 野菜栽培 | | | ○ ヶ月 | 1 26 / 1 |
| 要請理由・背景 | | JOCV/SV | | | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 農業水産省 | | 日系/短期 | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ セントアン フォーエイチクラブ | | ● NGO | | | |
| 3) 任地 セントアン教区ブラウNSTOWN JICA事務所の所在地(キングストン)から 北西 方向 111 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 ジャマイカ・4Hクラブは1940年に米国から導入された青少年育成団体で、農業や家政の教育プログラムを通じて青少年の健全な育成と農業の振興を目的としている。全国の学校やコミュニティに生徒・学生の課外クラブ、地域の青年団として4Hクラブがあり現在メンバー数は7.7万人。野菜栽培、食品加工、縫製、料理、廃棄物リサイクル工作など約20の教育プログラムについて、メンバーに対するトレーニングを実施し、教区レベル、全国レベルのコンペで各クラブがそれぞれ成果を競うことで若者への教育を行っている。農業水産省からの交付金を中心に約1.8億円の予算がある。配属先は98のクラブ、約5000名の会員を擁している。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 公立学校すべてにスクールガーデン、家畜飼育施設を設置する目標を達成するためにクラブメンバーの生徒・学生のトレーニングを強化する必要がある。小規模な農業以外これといった産業もなく雇用も限られている地域で、若者が農業に携わることで地元で定着できる機会を高める目的もある。地元で職に就けない若者が都市へ流れ、ゲットーに住み着きギャングとのかかわりを持つ者が後を絶たないため、へき地、農村の青少年対策と雇用創出は同国にとって重要な課題である。そのため、様々な機関で職業訓練が盛んであるが、全国的に雇用機会が不十分である現状において、地方では農業の振興が鍵となる。これらことから配属先は農業技術、特に野菜栽培の技術を持ったボランティアが要請された。4Hクラブ本部のグループファシリテーターや他教区に派遣されるボランティアと協力して活動することが必要である。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. スクールガーデン プログラム実施校数を増やす。 2. ワークショップを開催しクラブのリーダーである教員を対象としたトレーニングを実施する。 3. 気候変動が及ぼす農業への影響、農業の正しい使用方法、廃品を利用した種苗ポットの作成、コンポスト利用などのトレーニングを通じて野菜栽培プログラムへ環境配慮の要素を取り入れる。 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 教区デベロップメントオフィサー 活動対象者: 教員、学生、コミュニティの人々 | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (V/N: C) 又は (V/N:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 □ 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------|--|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 242 - 13- B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ジャマイカ | 野菜栽培 | | | ● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業水産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ ウェストモアランド フォーエイチクラブ | | | | ● NGO |
| | 3) 任地 ウェストモアランド教区サブ라마 JICA事務所の所在地(キングストン)から 西 方向 206 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ジャマイカ・4Hクラブは1940年に米国から導入された青少年育成団体で、農業や家政の教育プログラムを通じて青少年の健全な育成と農業の振興を目的としている。全国の学校やコミュニティに生徒・学生の課外クラブ、地域の青年団として4Hクラブがあり現在メンバー数は7.7万人。野菜栽培、食品加工、縫製、料理、廃棄物リサイクル工作など約20の教育プログラムについて、メンバーに対するトレーニングを実施し、教区レベル、全国レベルのコンペで各クラブがそれぞれ成果を競うことで若者への教育を行っている。農業水産省からの交付金を中心に約1.8億円の予算がある。配属先は62のクラブ、4800名のメンバーを擁している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 公立学校すべてにスクールガーデン、家畜飼育施設を設置する目標を達成するためにクラブメンバーの生徒・学生のトレーニングを強化する必要がある。小規模な農業以外これといった産業もなく雇用も限られている地域で、若者が農業に携わることで地元で定着できる機会を高める目的もある。地元で職に就けない若者が都市へ流れ、ゲットーに住み着きギャングとのかかわりを持つ者が後を絶たないため、へき地、農村の青少年対策と雇用創出は同国にとって重要な課題である。そのため、様々な機関で職業訓練が盛んであるが、全国的に雇用機会が不十分である現状において、地方では農業の振興が鍵となる。これらのことから配属先は農業技術、特に野菜栽培の技術を持ったボランティアが要請された。4Hクラブ本部のグループファシリテーターや他教区に派遣されるボランティアと協力して活動することが必要である。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. スクールガーデン プログラム実施校数を増やす。 2. ワークショップを開催しクラブのリーダーである教員を対象としたトレーニングを実施する。 3. 気候変動が及ぼす農業への影響、農業の正しい使用方法、廃品を利用した種苗ポットの作成、コンポスト利用などのトレーニングを通じて野菜栽培プログラムへ環境配慮の要素を取り入れる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:教区デベロップメントオフィサー 活動対象者:教員、学生、コミュニティの人々 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) | | 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 242 - 13 - B - 25) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ジャマイカ | 野菜栽培 | | | ● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業水産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ・ポートランドフォーエイチクラブ | | | | ● NGO |
| | 3) 任地 ポートランド教区ポートアントニオ JICA事務所の所在地(キングストン)から 北東 方向 95 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 4Hクラブは1940年にアメリカから導入された青少年の農業指導者を育成するプログラムで、農業や家政のトレーニングを通じて青少年の健全な育成と農業の振興を目的としている。全国の学校やコミュニティに4Hクラブがあり現在約7万人のメンバーがいる。配属先では、これといった産業のない地元で農業振興を強化したい意向がある。そのため農業の専門性を持った人材の確保が必要となっている。スクールガーデンプログラムでの野菜栽培支援を中心として農業一般について支援が期待されている。配属先の年間予算は約5百万円。現在、環境教育ボランティアが活動している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 地域内にある49の公立学校すべてにスクールガーデン、家畜飼育施設を設置する目標を達成するためにクラブメンバーの生徒・学生のトレーニングを強化する必要がある。小規模な農業以外これといった産業もなく雇用も限られている地域で、若者が農業に携わることで地元で定着できる機会を高める目的もある。地元で職に就けない若者が都市へ流れ、ゲッターに住み着きギャングとのかかわりを持つ者が後を絶たないため、へき地、農村の青少年対策と雇用創出は同国にとって重要な課題である。そのため、様々な機関で職業訓練が盛んであるが、全国的に雇用機会が不十分である現状において、地方では農業の振興が鍵となる。これらのことから配属先は農業技術、特に野菜栽培の技術を持ったボランティアが要請された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.スクールガーデンを中心とした農業関連の4Hクラブ活動支援 2.その他農業プログラムの支援 3.農業省管轄の農業普及機関との連携 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な農具 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 男性 農業学士 30代 秘書 女性 短大卒 30代 補助員 女性 高卒 30代 生徒、学生、ボランティア、教員、農業普及員、役場職員 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) | | 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | |
| 特記事項 | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|--|-------------------|-----------------|--------------------|--|----------|
| 要請番号(JL 242 - 13- B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | ● 2 年 | ○ 1 年 |
| ジャマイカ | 野菜栽培 | | | ○ ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 3 26 / 3 | 日系/短期 |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 農業水産省 | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ・マンチェスター フォーエイチクラブ | | | | | ● NGO |
| 3) 任地 マンチェスター教区マンデビル JICA事務所の所在地(キングストン)から 西 方向 100 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 4Hクラブは1940年にアメリカから導入された青少年の農業指導者を育成するプログラムで、農業や家政のトレーニングを通じて青少年の健全な育成と農業の振興を目的としている。全国の学校やコミュニティに4Hクラブがあり現在約7万人のメンバーがいる。配属先が提供する約20のプログラムで学校間でのコンテストを実施しており、地域の優勝クラブは全国大会で技術を競い合う。配属先は過去5年間全国最優秀の成績を収めている。配属先の年間予算は約5百万円。2013年10月に環境教育のボランティアが派遣される予定。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 地域内にある68の公立学校すべてにスクールガーデン、家畜飼育施設を設置する目標達成のためにクラブメンバーの生徒・学生(5歳~21歳)のトレーニングを強化する必要がある。小規模な農業以外これといった産業もなく雇用も限られている地域で、若者が農業に携わることで地元で定着できる機会を高める目的もある。地元で職に就けない若者が都市へ流れ、ゲットーに住み着きギャングとのかかわりを持つ者が後を絶たないため、へき地、農村の青少年対策と雇用創出は同国にとって重要な課題である。そのため、様々な機関で職業訓練が盛んであるが、全国的に雇用機会が不十分である現状において、地方では農業の振興が鍵となる。これらのことから配属先は農業技術、特に野菜栽培の技術を持ったボランティアを要請した。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) | | | | | |
| 1. スクールガーデンを中心とした農業関連の4Hクラブ活動支援では、作付計画、栽培記録管理、会計、土地の浸食防止方法、農薬の適切な使用方法、プランター栽培、施肥方法、育苗などの農業技術の指導が求められる | | | | | |
| 2. その他農業プログラムの支援では、養鶏、ヤギ、ウサギの飼養などの知識も必要とされる | | | | | |
| 3. 農業省管轄の農業普及機関との連携 | | | | | |
| 4. 生徒が楽しくなるような農業実習ができること | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な農具 | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 女性 学士 40代 秘書 女性 短大卒 30代 補助員 女性 高卒 30代 生徒、学生、ボランティア、教員、農業普及員、役場職員 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 | |
| ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | | | | ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 | |
| | | | | ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 気候(熱帯海洋性) 気温(19~32 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 8 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|--|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ボリビア | 野菜栽培 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省 |
| | 2)配属先名 (日本語) オキナワ市役所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 サンタクルス県オキナワ市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 800 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 沖縄出身者の日系移住地を中心に発展した地域で、陸稲、麦、大豆等の栽培が盛んである。配属先には、情報管理、公共事業、健康と食、物流の4課があり、公衆衛生、インフラの維持管理などの行政サービスを提供している。配属部署の公共事業課は、道路、公共施設等の計画立案、施行と維持管理等を行っている。年間予算は283万USD。市の人口は約15000人。現在、同市に保健師日系SV(至2014年6月)、保健師JV、土木JV(至2014年3月)が派遣中。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 同市内には、学校菜園15箇所及び女性グループが管理する菜園が5箇所ある。これらの菜園は、貧困層を支援するため、自家消費用及び現金収入源として野菜栽培を普及する目的で作られたものであるが、指導者の知識不足と人材不足により継続的・効果的な指導ができず、有効に活用されていない。配属先では、地域経済開発計画の一環として今後有機野菜の栽培を取り入れ、特に女性グループが管理する菜園の活性化を図りたいとしており、有機農業の知識を持つボランティアが要請された。栽培種については、トマトやレタスなど一般的に消費されているもので、かつ任地の気候に合ったものを調査した上で確定する。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において以下の活動を行う。 1.現存の菜園において有機栽培の導入を支援する。 2.女性グループ及び市内の小規模生産者を対象に有機栽培についての講習会を実施する。 3.有機野菜の特徴を生かした販売方法について助言を行う。 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター |

| | |
|---|---|
| 4)配属先同僚及び活動対象者 助役(男性、50代、日系人) カウンターパート(男性、40代、大卒、ボリビア人) | 5)活動使用言語 (スペイン語) 6)生活使用言語 (スペイン語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|---|---|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 有機農業の経験 理由:活動上必要なため | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 336 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ベネズエラ | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) フェ・イ・アレグリア財団 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ヘス・オブレロ高等専門学校グアナリート分校 | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ポルトゥゲサ州グアナリート市 JICA事務所の所在地(カラカス)から 西 方向 490 Km 主要都市(グアナレ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 フェ・イ・アレグリア財団は南米14か国で人的資源開発関連事業を行っており、ベネズエラでは年間約10万人に職能開発や基礎教育を実施している。本グアナリート校は、教育省に開設申請し認可された工業機械、農牧生産、植林の3科のうち、農牧生産科と植林科の2課程を2009年から開始した。330haの農地を有し学生数は150名、教員数は24名。3年制を半年毎に進級する「6学年制」を採っている。学生の大半が高校卒業後に入学するため、年齢層は17歳から22歳が大多数を占める。年間事業予算は約24万米ドル。前任JVが任期満了(H22-3次隊 2011年1月~2013年1月)。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 任地は野菜栽培適地であるものの、農牧や粗放農業が主に行われている状況であることから、配属先は、野菜関連授業や活動の強化を通じて任地の野菜栽培の活性化を図りたいとしており、その一環として施設栽培の授業への導入や農家への紹介を行いたいと考えている。しかしながら、野菜担当教員には施設栽培の知識・経験に乏しいことから、引き続きJVの助言等の支援が必要とされた。前任者は着任当初存在しなかった実習圃場を作ることから始め、農牧生産科の野菜栽培の授業として、担当教員と共に週2時間の座学と2時間の実習を行うまでに至った。2年間で、トマト、ミニトマト、ナス、トウガラシ、ピーマン、キュウリ、インゲン、ズッキーニ、ネギ、フダンソウ、コリアンダー、パリ、リーキ、セロリ、二十日大根、レタス、キャベツ、サトイモなどを栽培した。有機農業の導入も行って来た。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 週4時間の野菜栽培の授業(2時間の座学と2時間の実習)を同僚教師と共に担当し、授業内容の改善を支援する。 2. 施設栽培(ハウス栽培、養液栽培、灌水)の開始と授業へ導入に協力する。 3. 有機農業に関する助言を行う。 4. 学校で実施する周辺小規模農家向け野菜栽培講座を側面支援する。 ※実際に作業をする圃場は約3ha。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 トラクター2台、播種機、耕運機、噴霧器、トラック、その他基本的な農機具 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教員は2名 20代男性農学士 実務経験2年 30代女性農学士 実務経験5年 他に野菜栽培担当労働者(30代男性)が圃場作業を支援する。 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 社会的、地域的背景による ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 実践的な内容の指導に必要 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 蚊が多い。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--------|---|------------------------|
| 要請番号(JL 515 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV 26 / 1 | 日系/短期 年 月 から |
| ケニア | 野菜栽培 | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | | 3 | 26 / 3 | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ・文化・芸術省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ユナイテッドミッションフォーニーティ <input checked="" type="radio"/> NGO | | | | | |
| | 3) 任地 カカメガカウンティ カカメガ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 西 方向 450 Km 主要都市(キスム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるNGOは、特に貧困層の地域住民の生活や生活環境向上を目的に2001年5月に設立された。活動実績として、これまで主に西部州のスラム地域における水・衛生関連のプロジェクトを行ってきた。また、現在は就学前の子ども達を対象にした教育プロジェクト及び農家を対象とした収入向上プロジェクトを行っている。年間予算は180万ケニアシリング(日本円で約170万円) | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同NGOが活動する当該地域では、遺産相続により農地が分割され各農地面積が小さくなるケースが多く、これまで主流であったサウキビ栽培では生計を立てることが困難となり農家の貧困化が進んでいる状態である。このため、今般、新たに日本のNPO法人と協力し、同地域の農家を対象に農業面での支援を開始した。具体的には栽培作物をサウキビから他作物へ変更し、かつ、小面積でも収益が上げられるよう作物に付加価値をつけるためビニールハウスによる栽培技術の普及を目的としており、現在、10グループ(15名/1グループ)に対してセミナーなどを開催している。しかしながら、同NGOには栽培技術の普及が出来る人材がいなかったため、今般の要請となった。なお、現在短期ボランティアを要請中(平成25年6月以降派遣される見込み)である。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚と共に以下の活動に取り組む。 ・配属先のデモンストレーションサイトを利用して、トマト、玉ねぎ及び大豆等のビニールハウス栽培を行う。 ・地域の農家グループを対象に、上記栽培方法の紹介・普及を目指した活動(セミナー等の開催)を行う。 ・対象農家に対して栽培に関するアドバイスをを行う。 ・配属先スタッフの栽培技術向上を目指した指導を行う。 ・現地の材料を使った経済的(安価)なビニールハウス作成方法を検討する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 デモンストレーション用農地、クワ、スコップ等の農機具 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 NGO代表 60代 男性 博士課程在学中 農業スタッフ 20代 男性3名 高校卒 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:要請内容による 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(高原) 気温(10~30 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 524 - 13- B - 79) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| マラウイ | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 |
| | 2)配属先名 (日本語) ムジンバ県南部農業開発事務所チカンガワ農業普及所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ムジンバ県チカンガワ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 北 方向 300. Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3.5 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 ムジンバ県南部農業開発事務所は、13の農業普及所を統括し、食糧安全保障、人材育成、マーケティング、食糧と栄養、ジェンダーについて取り組んでいる。チカンガワ農業普及所は、6つのセクションと呼ばれる区域を管轄し、同事務所に10名の職員、各セクションに1名の農業普及員を配置している。主な活動は、農民研修の実施、農業生産のモニタリング、ヨーロッパ共同体が出資する農業所得多様化プログラムの支援がある。年間予算は約1千万円 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 2005年から2012年まで公益社団法人青年海外協力協会が「農民自立支援プロジェクト」を実施した。同プロジェクトは、物の支援はせず、地域資源を活用して、農民の自主性を促し、食用作物や、野菜、スパイス等の農業生産、小規模灌漑、グループ組織運営、農業経営、マーケティング等の分野にて、対象農家に対しソフト面の支援を行ってきた。また、学んだ農業技術を他の農民に伝える「伝達農家」を育成してきた。現在同農家により、技術面の共有や共同活動を目的に組織された委員会が、自主的に運営しているが、運営・管理面での継続した支援を必要としている。同様に家畜執行委員会、小規模地域の伝達農家ゾーン委員会への支援も求められている。同配属先より、当該プロジェクト終了後のフォローアップとして、同委員会活動および、各農民グループ活動への継続した支援が依頼され、今回のボランティアの要請に至った。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①現在栽培しているトウモロコシ、トマト、ジャガイモ、タマネギ、キュウリ、葉物野菜、ニンニク等の継続した生産を支援する。 ②マーケティングのボランティアと協働で、付加価値のある新規野菜を導入していく。 ③デモンストレーション畑で、対象農家への研修を支援する。 ④輪作及び、種子選定など総合的害虫管理に関する支援を行う。 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし |

| | |
|--|---|
| 4)配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:県農業事務所長 男性(50代)1名 カウンターパート: 農業普及所長 女性(50代)1名 農業普及員 30~50代 6名 | 5)活動使用言語 (その他) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|--|---|

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:野菜の基礎知識、輪作、害虫理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|---|--|

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 7 月 21 日

| | | | | | | |
|---|--|--|---|--|-----------------------------------|--------------------|
| 要請番号(JL 539 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 / 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| 南アフリカ共和国 | 野菜栽培 | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育訓練省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) エシャンゼニ職業訓練校(ムティンバ・キャンパス) | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ムプマラガ州エシャンゼニ郡ムボンベラ町ヘイジービュー JICA事務所の所在地(プレトリア)から 東 方向 350 Km 主要都市(ルスブリック(ムボンバ))までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は同国に50ある公立職業訓練校(FET College)の一つであるエシャンゼニ職業訓練校の1キャンパスであり、農業に特化したコースを提供している。生徒は9学年修了資格(日本の中学校卒業相当)以上保有者。各学年で国家資格NCV (National Certificate (Vocational))レベル2~レベル4の取得を目的とするNCVプログラムとなっている。2013年学校年度における生徒数は約250名。職員数約30名。年間予算は約35百万円。これまでに野菜栽培(H22/3)、理数科教師(H22/3)隊員が派遣され、本要請は野菜栽培隊員の後任要請となる。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国では1994年以降人種間格差是正を課題とした貧困層・弱者集団への富の再配分に重点を置いた政策を推進してきている。産業の発展に貢献する人材の育成を国家開発計画の中の一つとして取り組んでおり、また、若年層の失業率が20%を超える現状への取り組みの一つとしても、職業訓練校の拡充に注力している。JICAでは、2006年以来、職業訓練校にボランティアを派遣し、職業訓練校における実習授業の向上や基礎科目である数学の講師・生徒の技能向上に取り組んでいる。本キャンパスの1年生にとって必修科目で野菜栽培の実習を円滑に行うため、講師、学生、作業員と協力して作物に応じた土壌管理から収穫後のパッケージングや販売等に協力する。また、第2学年では果樹栽培を学ぶため、マンゴー等の果樹の育成、管理等についても知識があるとよい。他の職業訓練校派遣ボランティアとの相互協力も求められる。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 講師と協働もしくは分担して下記事項に取り組む。 1. 現地講師の授業補佐 2. 実習場の管理・助言や必要機材リストを含む整備案等の提示 3. マーケティングに基づく作付計画、土壌管理、日頃の手入れ、販売等を取り入れた実習の立案と実践 4. 授業環境整備(生徒個人ファイル整理方法の改善、授業時間確保のための庶務補助等) (2013学校年度におけるの主な野菜は、キャベツ、トウガラシ、トウモロコシである。) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な農具、コンピュータ(インターネット可)、コピー機等 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 数学講師:40代 男性 生徒:一クラス約60人(第1学年)、約20人(第2学年、第3学年)、年齢は16歳から20代前半 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (英語) | | |
| 地域概況 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上 ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 配属先要件 ・経歴 (実務経験) () 理由: 実践に基づく取組みのため 理由: | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| 特記事項 | 住居は配属先教員住宅となりますが、隊員同士、もしくは現地講師とのルームシェアになる予定です。 | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| | | | | | | |
| 気候(温暖) 気温(5~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-------|
| 要請番号 (JL 545 - 13 - B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | |
| ウガンダ | 野菜栽培 | | | 1 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | 年 月 から | | | | |

| | | |
|-----------------------|--|---------------------------|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ワキソ県庁 | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ワキソ県ワキソ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北西 方向 20. Km 主要都市(ワキソ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ワキソ県は首都近郊に位置する県であり、21の郡を持つ。人口約120万人。農家数は8万戸。同県では、食用作物(サツマ、イモ、メイズ、大豆、落花生、バナナ等)や換金作物(綿、珈琲豆等)が栽培されている。また、一大消費地である首都に近いことから野菜栽培(トマト、玉ねぎ、キャベツ等)が精力的に行われている。また、ワキソ県では現在2名のボランティアが活動中である。 | |

| | | |
|------------------|--|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ウガンダはアフリカでも珍しく食料生産に適した土壌を有しており、就業人口の約80%が農業従事者である。農業による食料の生産性・生産量の増加が、農村部の所得向上そして国全体の経済成長を進める上で重要である。本要請では、ウガンダ(特に首都カンバラ)での野菜の消費量の増加が見込まれることを受け、短期間で栽培が可能である多様な種類の野菜の栽培に関し、栽培知識・技術、流通・市場開拓、食品加工等について、農家の状況に合わせたボランティア活動が求められている。 | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 活動地域の野菜栽培の状況を調査・把握した上で野菜栽培に関心のある農家を選定し、農家の状況に合わせて以下の中から主となる活動を選んで活動を行う。 ①野菜栽培に必要な知識・技術を農家に伝える。 ②野菜栽培後の流通・市場開拓にかかる問題点を把握し、改善に努める。 ③野菜栽培後の加工にかかる問題点を把握し、改善に努める。 | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 生産局長: 男性(40~50代) 1名 農業課長: 女性(30~40代) 1名 配属先関係者や農業普及員から情報を収集しながら、近隣の農家と共に活動を行う。 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | | |
|-----------------------|---|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 野菜栽培の活動を行うため 理由: | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-----------------------|---|--|--|

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) |
|----------|--|

| | |
|----------|------------------------|
| 特記 事項 | 活動地域の道路の大半は未舗装、未整備である。 |
|----------|------------------------|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|--|---|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 49) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料保障・協同組合省 | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) ウヨレ農業研修所 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| 3) 任地 ムベヤ州ムベヤ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 南西 方向 700 Km 主要都市(ムベヤ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食料保障・協同組合省の農業研修局では、国内で12か所の農業研修所を運営し、農業普及員の育成を行っている。 ウヨレ農業研修所は、タンザニアの一大農業生産地域であるムベヤ州に3つある研修所で最大の規模を誇り、現在は約 350人の生徒が全寮制2年コースで農業全般(農地利用、灌漑、家畜、作物、食品生産等)を理論、実技を通して学んでい る。教員数33名。 研修コースは、日本の高校2年生修了者対象のCertificateコース、大学1年修了者対象のDiplomaコースがある。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 タンザニアにおける農業セクターは国内総生産の約1/4を占める基幹産業であり、全人口の約3/4が農村地域に居住し、 その4/5以上が農業関係に従事している重要なセクターとなっている。 JICAは1970年代から農業セクターへの資金協力、技術協力の一連の支援を開始し、2000年代に入ってからタンザニア 政府が推進する、農業セクター開発プログラム(ASDP)を支援する主要ドナーであり、タンザニア政府から高い評価を得て いる。 その中で、農業研修所から農業普及員育成支援として、特に野菜栽培に関する指導者として要請があった。派遣後は、配 属先での授業のほか、JICAの技術協力とも連携した活動も期待されている。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 学生に対して、授業や実習を通して野菜栽培(主な野菜は、トマト、キャッサバ、ジャガイモなど)に関して指導する。 ② 教員に対しても野菜栽培に関するアドバイスや技術を共有する。 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、実験室(作物栽培、乳製品等)、実習場など | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:3名(30~40代)、その他30名の教師(多くが農業系大卒以上、20~50代)(2012年現在) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | |
| 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由:業務遂行上必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:業務遂行上必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | | |
| 地域概況 気候(内陸性) 気温(15~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 551 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ザンビア | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ルウイング郡農業事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 北部州ルウイング郡ルウイング JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北東 方向 1030 Km 主要都市(カサマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 全国10州に州農業事務所が配置されており、ルウイング郡農業事務所は、北部州農業事務所の管轄にあり、ルウイング郡の農業行政を所管している。同事務所には郡農業調整官のもと、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の専門職員が配置され、主任農業官のもと、地域を16に区分けし、農業普及員による農民に対する支援を行っている。同配属先には、これまでに1名の野菜栽培、1名のコミュニティ開発のJICAボランティアが普及員としての活動を行った。同郡はJICAの技術協力プロジェクト(農村振興能力向上プロジェクト、~2014)の対象地域となっており、農業調整官や普及員に対するトレーニングも行われている。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 これまで北部州のカサマ郡、ルウイング郡およびムチンガ州チンサリ郡農業事務所に野菜栽培とコミュニティ開発のJVが派遣され、普及員や農業研修所スタッフとともにトマト栽培およびきのこ栽培に関するガイドブックを作成し、また養蜂に関わる現地調査を行い、普及員や農民を対象とするワークショップ等を実施し普及活動を行ってきた。前任者にあたるJVは養蜂、稲作の普及を中心に普及員と共に活動を展開し活性化させ、これらの活動が高く評価され、さらに幅広く作物、園芸、稲作や地域開発等に関する配属先スタッフの知識および能力向上を目指す為にルウイング郡農業事務所より、継続してJVが要請された。通常、普及員は複数の対象地域を担当しているが、ボランティアは郡農業事務所に拠点を置き主任農業官と活動内容を調整したうえで1~2の対象地域(50~100の農村)に対して集中的に普及活動を行う事となる。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地普及員および同僚JV(コミュニティ開発)と協力しながら主に以下の活動を行う ・担当する対象地域の農民に対する栽培巡回指導 ・村落部における農民の収入向上につながるアドバイスやワークショップの実施 ・同僚現地普及員に対する新しい作物の紹介やその栽培指導 ・主任農業官に対する対象地域の状況および活動報告 ・州農業事務所開催の郡農業普及員向けトレーニングへの参加および運営サポート ・その他、郡農業事務所における日常業務のサポートも行う | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農業事務所内の執務スペース(机、椅子など) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 主任農業官 男性1名 大卒 40代 各部門職員 男女3名 短大卒 30代 現地普及員 男女13名 短大卒 30代 JVと活動を共にしている現地普及員 2名 短大卒 40代 その他、活動対象地域の農民 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (いへん: C) 又は (いへん:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(専門学校卒) (農学) 理由: 農民を対象に指導を行うため ・経歴(実務経験) (2年以上) 理由: 農民を対象に指導を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 対象作物については多岐にわたっており、野菜以外にも稲作、果樹、きのこ、養蜂等を行った経験や知識があれば望ましい。住居は、配属先近くのゲストハウスの一部屋(ワンルーム別棟)を使用する予定。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|---|---|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 551 - 13 - B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ザンビア | 野菜栽培 | | | 1 | 26 / 3 | 年 月 から |
| | | | | 2 | / | |
| | | 3 | / | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムポロコソ郡農業事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 北部州ムポロコソ郡ムポロコソ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北東 方向 1050 Km 主要都市(カサマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 全国10州に州農業事務所が配置されており、ムポロコソ郡農業事務所は、北部州農業事務所の管轄にあり、ムポロコソ郡の農業行政を所管している。同事務所には郡農業調整官のもと、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の専門職員が配置され、主任農業官のもと、地域を22に区分けし、農業普及員による農民に対する支援を行っている。同郡はJICAの技術協力プロジェクト(農村振興能力向上プロジェクト、2009~2014)の対象地域となっており、農業調整官や普及員に対するトレーニングも行われている。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 これまで北部州のカサマ郡、ルウイング郡およびムテンガ州テンサリ郡農業事務所に野菜栽培やコミュニティ開発のJVが派遣され、普及員や州農業研修所スタッフとともにトマト栽培およびきのこ栽培に関するガイドブックを農業・畜産省の協力のもと作成し、また養蜂に関わる現地調査を行い、普及員を対象とするワークショップ等の普及活動を実施してきた。また、現在活動を展開しているJVは、各地で養蜂や稲作の普及を中心に普及員と共に活動を展開し活性化させ、これらの活動が高く評価されている。今後はザンビア北部の農業事務所同士が情報共有を行い配属先スタッフの知識および能力向上を一体と目指す為同郡農業事務所より、新規JVが要請された。通常、普及員は複数の対象地域を担当しているが、JVは農業事務所に拠点を置き主任農業官と活動内容を調整したうえで1~2の対象地域(目安として50程度の村)に集中的に普及活動を行う事となる。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地普及員および同僚JV(コミュニティ開発)と協力しながら主に以下の活動を行う ・担当する対象地域の農民に対する栽培巡回指導 ・村落部における農民の収入向上につながるアドバイスやワークショップの実施 ・同僚現地普及員に対する新しい作物の紹介やその栽培指導 ・主任農業官に対する対象地域の状況および活動報告 ・州農業事務所開催の郡農業普及員向けトレーニングへの参加および運営サポート ・その他、郡農業事務所における日常業務のサポートも行う | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農業事務所内の執務スペース(机、椅子など) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 主任農業官 男性1名 大卒 40代(他郡事務所にてJVと活動した経験あり) 各部門職員 男女3名 短大卒 30代 現地普及員 男女13名 短大卒 30代 JVと活動を共にしている現地普及員 2名 短大卒 40代 その他、活動対象地域の農民 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (農学) 理由: 農民を対象に指導を行うため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 農民を対象に指導を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域 概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記 事項 | 対象作物については多岐にわたっており、野菜以外にも稲作、果樹、きのこ、養蜂等を行った経験や知識があれば望ましい。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------|--------------------|--|---------|
| 要請番号(JL 551 - 13 - B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ザンビア | 野菜栽培 | | | ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 | | | | |
| 概 | 2) 配属先名 (日本語) ムバラ郡農業事務所 ○ NGO | | | | |
| 要 | 3) 任地 北部州ムバラ郡ムバラ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北東 方向 1030 Km 主要都市(カサマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 全国10州に州農業事務所が配置されており、ムバラ郡農業事務所は、北部州農業事務所の管轄にあり、ムバラ郡の農業行政を所管している。同事務所には郡農業調整官のもと、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の専門職員が配置され、主任農業官のもと、地域を18に区分けし、農業普及員による農民に対する支援を行っている。 | | | | |
| 要 | 1) 要請理由・背景 これまで北部州のカサマ郡、ルウィング郡およびムチンガ州チンサリ郡農業事務所に野菜栽培やコミュニティ開発のJVが派遣され、普及員や州農業研修所スタッフとともにトマト栽培およびきのこ栽培に関するガイドブックを農業・畜産省の協力のもと作成し、また養蜂に関わる現地調査を行い、普及員を対象とするワークショップ等の普及活動を実施してきた。また、現在活動を展開しているJVは、各地で養蜂や稲作の普及を中心に普及員と共に活動を展開し活性化させ、これらの活動が高く評価されている。今後はザンビア北部の農業事務所同士が情報共有を行い配属先スタッフの知識および能力向上を一体と目指す為に同郡農業事務所より、新規JVが要請された。通常、普及員は複数の対象地域を担当しているが、JVは農業事務所に拠点を置き主任農業官と活動内容を調整したうえで1~2の対象地域(目安として50程度の村)に集中的に普及活動を行う事となる。 | | | | |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地普及員および同僚JV(コミュニティ開発)と協力しながら主に以下の活動を行う ・担当する対象地域の農民に対する栽培巡回指導 ・村落部における農民の収入向上につながるアドバイスやワークショップの実施 ・同僚現地普及員に対する新しい作物の紹介やその栽培指導 ・主任農業官に対する対象地域の状況および活動報告 ・その他、郡農業事務所における日常業務のサポートも行う | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農業事務所内の執務スペース(机、椅子など) | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 主任農業官 男性1名 大卒 40代 各部門職員 男女3名 短大卒 30代 現地普及員 男女13名 短大卒 30代 JVと活動を共にしている現地普及員 2名 短大卒 40代 その他、活動対象地域の農民 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (農学) 理由: 農民を対象に指導を行うため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 農民を対象に指導を行うため 理由: | | | 活動上の單車/自転車/自転車の必要性 ● 單車 ○ 自転車 ○ 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | | | | |
| 特記事項 | 対象作物については多岐にわたっており、野菜以外にも稲作、果樹、きのこ、養蜂等を行った経験や知識があれば望ましい。 | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 551 - 13 - B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ザンビア | 野菜栽培 | | | 2 | 日系/短期 |
| | | | 3 | 26 / 1 | 年 月 日 |
| | | | | 26 / 2 | から |
| | | | | 26 / 3 | |

| | |
|---|--|
| 配 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 |
| 属 | 2) 配属先名 (日本語) ムブルング郡農業事務所 <input type="radio"/> NGO |
| 先 | 3) 任地 北部州ムブルング郡ムブルング JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北東 方向 1070 Km |
| 概 | 主要都市(カサマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間) |
| 要 | 4) 配属先の規模・事業内容 全国10州に州農業事務所が配置されており、ムブルング郡農業事務所は、北部州農業事務所の管轄にあり、ムブルング郡の農業行政を所管している。元々はムバラ郡の一部であったものの、政権交代による郡の新設により新しく設定された。同事務所には郡農業調整官のもと、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の専門職員が配置され、主任農業官のもと、地域を14に区分けし、農業普及員による農民に対する支援を行っている。 |

| | |
|---|---|
| 要 | 1) 要請理由・背景 これまで北部州のカサマ郡、ルウィング郡およびムチンガ州チンサリ郡農業事務所に野菜栽培やコミュニティ開発のJVが派遣され、普及員や州農業研修所スタッフとともにトマト栽培およびきのこと栽培に関するガイドブックを農業・畜産省の協力のもと作成し、また養蜂に関わる現地調査を行い、普及員を対象とするワークショップ等の普及活動を実施してきた。また、現在活動を展開しているJVは、各地で養蜂や稲作の普及を中心に普及員と共に活動を展開し活性化させ、これらの活動が高く評価されている。今後はザンビア北部の農業事務所同士が情報共有を行い配属先スタッフの知識および能力向上を一体となって目指す為に同郡農業事務所より、新規JVが要請された。通常、普及員は複数の対象地域を担当しているが、JVは農業事務所に拠点を置き主任農業官と活動内容を調整したうえで1~2の対象地域(目安として50程度の村)に集中的に普及活動を行う事となる。 |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地普及員と協力しながら主に以下の活動を行う ・担当する対象地域の農民に対する栽培巡回指導 ・村落部における農民の収入向上につながるアドバイスやワークショップの実施 ・同僚現地普及員に対する新しい作物の紹介やその栽培指導 ・主任農業官に対する対象地域の状況および活動報告 ・その他、郡農業事務所における日常業務のサポートも行う |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農業事務所内の執務スペース(机、椅子など) |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 主任農業官 男性1名 大卒 40代 各部門職員 男女3名 短大卒 30代 現地普及員 男女13名 短大卒 30代 JVと活動を共にしている現地普及員 2名 短大卒 40代 その他、活動対象地域の農民 |
| | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (V/N: C) 又は (V/N:) |

| | | |
|---|--|---|
| 資 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車/必要 |
| 格 | ・免許 () 又は () | <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 |
| 条 | ・性別 () 理由: () | |
| 件 | ・学歴 (専門学校卒) (農学) 理由: 農民を対象に指導を行うため | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| 等 | ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 農民を対象に指導を行うため 理由: () | |

| | |
|---|---|
| 地 | 気候(サバナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 域 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 概 | |
| 況 | |
| 特 | 対象作物については多岐にわたっており、野菜以外にも稲作、果樹、きのこ、養蜂等を行った経験や知識があれば望ましい。 |
| 記 | |
| 事 | |
| 項 | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 560 - 13- B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ベナン | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ポベ村落開発支所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ポベ JICA事務所の所在地(コトヌー)から 北 方向 110 Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ポベ村落開発支所は、ウエメ・プラトー県地域農業促進センターが管轄する部署の一つである。ポベ地区内の農業促進と地域発展を支援する組織である。具体的には、地域内の農業、畜産、水産(養殖)の促進と技術向上支援、民間も含めた農作物等の生産に関する監督、管理、行政手続等を行っている。ポベ村落開発支所の予算は、ウエメ・プラトー県地域農業促進センターの年間予算約3億8千万円の中に含まれる。2010年6月より、JICAの内水面養殖振興技術協力プロジェクトが開始され、同支所はプロジェクトの実施対象地域となっている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国は米や農作物の安定供給と貧困削減への貢献を目指し、農業セクターへの取組を強化し重要課題に掲げている。同支所は、農業・牧畜・漁業省の政策実施機関として、農民に対する技術指導を行うべく農業普及員が配置されているが、独自の予算がないことや農業普及員の知識不足、農民の運営能力の低さ、期待されている農民への技術指導は十分に行われていない。また、任地の住民の多くは農業(トマト、ピーマン、イモ類、アブラヤシ)に従事しているが、安定した十分な収益を上げている農民は少ない。農民の安定的な生産、生産量増加に向けての技術指導及び現金創出活動に取り組む農民の生活向上に向けた支援のニーズは高く、本要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 農業普及員の指導レベルの改善、農民の生産量増加及び収入向上を目的として、以下の活動を行う。 1. 農民との関係構築、情報収集、問題点の把握 2. 野菜栽培の技術指導、助言、改善策の提案 3. 病害虫への効果的な対処方法についての助言 4. 生産野菜の貯蔵方法についての助言 *活動上の交通手段は自転車のみに限られるため、その範囲で活動を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 得になし | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 支所長(男性、40代) 農業普及員(男性、30代) 活動対象者:支所長、農業普及員、農民 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (V^N: C) 又は (V^N:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 野菜(栽培)に関する知識と経験 理由: 農民等への助言を行うため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 563 - 13- B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ブルキ ナファン | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) バレ県事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 バレ県ボロモ市 JICA事務所の所在地(ワガドゥグ)から 西 方向 180 Km 主要都市(ワガドゥグ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同省の政策や方針に基づいて同配属先は事務課、事業フォロー・評価課、農地整備・生産課、水資源管理課の4つの課、計22人の体制で、県内の農業および水利に関連する事業の実施支援と、市・町・村レベルで活動する農業技術普及員に対する技術指導支援、情報提供、機械化促進等の活動を行っている。2015年までの開発計画として未耕作地の整備や技術講習会の実施、融資支援制度活用支援等が計画されているが、本省から配賦される予算や機材はまだ十分ではない。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ボロモ市は首都と第2の都市ボボデュラツソの中間点に位置する人口約2万9千人の小都市である。交通の要所ではあるものの、目立った産業もなく同地域内での貧困は大きな課題となっている。同市が属するバレ県は年間降水量600mm~900mmかつムーウン河が流れていることから、水資源の優位性を活かした年間を通しての野菜栽培振興による経済的発展が望まれる。しかし未耕作農地も多く、栽培技術が未成熟で、期待される生産量に達していない。また時期によって野菜の供給不足あるいは過剰が発生し、取引価格の動きも不安定である。同配属先には技術指導員はいるものの、現場での実践的な指導能力が低い、農民組織が存在しない等が原因で、講習会や適切な技術指導の実施には至っていない。国内外の市場のニーズに合わせた生產品の選択、病害に強い品種の紹介、安定生産のための技術的支援を行い、生産効率と収入の向上に貢献することが期待される。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 技術アドバイザーとして農業技術普及員とともに地域の野菜栽培サイトを巡回し、以下のような多品目栽培による収入安定を目指す取り組みの支援を行いながら、彼らの実践的指導能力の向上に貢献する。 ①野菜栽培従事者を対象に、栽培技術に関する技術的支援や提案を行う。 ②市場取引価格の動向に合わせて、時期により取引に有利な栽培作物の選択に関する提言を行う。 ③上記の2点を踏まえて、試験圃場を作成し、新品種の紹介や導入を図る。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 簡単な農機具 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 男性・30代 農業技官 7名 男・女 20~50代 その他農業技術普及員 男・女 20~50代 12名 野菜栽培農家 男性・20~40代 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 大学や農場等で実地の栽培経験 理由: 実践的技術支援のため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域 概況 | 気候(スーダン・サヘル) 気温(13~45 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記 事項 | 住居は同任地隊員と同居の可能性もある。 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|---|---|--|
| 要請番号 (JL 569 - 13 - B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 2 2 26 / 3 3 / / |
| カメルーン | 野菜栽培 | | | 日系/短期 年 月 から | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・農村開発省 2) 配属先名 (日本語) エコアクション・コミュニティ教育・開発センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 中央州ニヨン・ケレ県マカック郡エコアクション JICA事務所の所在地(ヤウンデ)から 南西 方向 75. Km 主要都市(ヤウンデ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・農村開発省は1970年代より各地にコミュニティ教育・開発センターを設立し、村落地域の社会・経済的発展の支援を行っている。地方分権化促進を目的に現場において村落開発を支援する地方自治体との連携を行うべく、2006年にセンターの構造改革を行い、市長が委員長とするセンター管理委員会を設置。配属先は、農業指導を中心にコミュニティのグループ等と連携しながら、地域住民の自立的発展の支援を行っている。配属先年間予算は約40万円。野菜栽培JVが活動中。平成25年度秋募集でコミュニティ開発JVも併せて要請中。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 村落地域においては、農業が主な産業となっている。任地は首都に近いこともありヤシ油やトマトを首都に出荷しているが、その他の野菜(トウモロコシ、トウガラシ、オクラなど)は、自家消費中心である。農民たちは経験を基に野菜栽培を行っているが、新たな技術を習得する機会を求めている。配属先はセンター長1名で広範囲の村々をカバーしているため、十分な農業指導を行っておらず、引き続きボランティアの協力が求められている。前任者はネリカ米栽培の普及、堆肥作りや木酢液作りの紹介・普及活動を行っている。 | | | | |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先センター長と協働し、地域農民に対して以下の活動を行う。 ①野菜栽培にかかる技術支援 ②ネリカ米栽培支援 ③有機栽培農業の促進 ④病虫害への効果的な対処方法についての助言 | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農具(ナタ、鍬)、センター保有の農地(298ha) | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長:男性、30代 農民: 男性、女性 | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は、 (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・野菜栽培に関する知識と経験 理由:活動上必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | ネリカ米栽培の技術習得は、赴任後に任国内研修や在外研修等で可能。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|---|--|--|---------------------------|---------|
| 要請番号(JL 630 - 13 - B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> 1ヶ月 | JOCV/VS | 日系/短期 | |
| モザンビーク | 野菜栽培 | | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 1 | 年 月 日から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | 3 | 26 / 3 | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジャンガモ郡経済活動事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 イニャンバネ州ジャンガモ郡 JICA事務所の所在地(マプト)から 北東 方向 400 Km 主要都市(マシシ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 イニャンバネ州ジャンガモ郡における農業、畜産、林業、漁業、観光などの経済活動の開発を担う農業省の出先機関。基本的には農業を中心に、畜産、林業、漁業の各分野を担当する課があり、それぞれの課に所属する普及員、技術者が郡内各地域を巡回し農民、漁民等への指導、支援を行っている。なお、イニャンバネ州内の他の郡経済活動事務所で5名のJICAボランティアが活動中。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同郡人口の90%にあたる農家がキャッサバ、とうもろこし、米などの農作物を中心に農業を行っている。この農家に対して当事務所の農業普及員が各村落を巡回し、作物の品質向上のため農作物の育て方、農薬の使い方などの指導、種・農薬・資材の販売(供与)、家畜への予防接種などの支援を行っているが、その指導が農民に十分に行き届いていない現状がある。それに加え、未開拓の土地が非常に多く、水が豊富にある低湿地帯も十分に活用できていない。また小規模灌漑、作物の保存・加工方法や種の管理などの技術も十分とは言えない。このため、これらの課題に農業普及員とともに取り組むボランティアが要請された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚である農業普及員とともに、郡内農村を巡回し、農民および農業普及員に対して野菜栽培の技術を指導し、その生産性向上を図る。 ・小規模灌漑の紹介による野菜栽培(たまねぎ、にんじん、トマト、豆など)の指導、および稲作にかかる簡単な指導。 ・病害虫の同定および対処法の指導。 ・輪作・マルチング・堆肥作りの指導。 ・種、肥料、農薬等販売および販売システムの構築支援。 ・養蜂を営む農民への支援。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 車両1台、バイク10台、簡単な農機具 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 農業普及員7名(内女性3名) | | | 5) 活動使用言語 (ポルトガル語) 6) 生活使用言語 (ポルトガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) (農学) 理由: 同僚と同等の学歴が必要な為 ・経歴 (社会経験) (2年以上) 理由: 同僚と業務を円滑に行う為 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| | 地域概況 気候(サバナ) 気温(5~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | イニャンバネ州内の他の郡経済活動事務所で5名のJICAボランティアが活動中。 当要請の主な活動地域は、ジャンガモ郡クンバナ地区となる。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 630 - 13- B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| モザンビーク | 野菜栽培 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ナカラ郡経済活動事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ナンプラ州ナカラ JICA事務所の所在地(マプト)から 北東 方向 2300 Km 主要都市(ナンプラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ナカラ郡経済活動事務所は、ナカラ郡全体の農業普及活動を行っている。対象となる農民は、同郡総人口207,000人のうち38%に当たる78,000人となっている。事務所の年間予算は8,897,000MT(約2500万円)である。また、当事務所が所在するナカラ市はマプト、ベイラに次ぐモザンビーク第3の港町であり、現在JICAでは、ブラジルと連携して、ナカラからナンプラを經由してニアサ州や隣国マラウイに続く港湾や道路、およびその周辺地域(ナカラ回廊)の相互的な開発を目的とする、ナカラ回廊開発・整備プログラムを実施している。また、多数の援助団体がナカラ回廊地域への援助を行っている。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同配属先はキャベツ、白菜、ニンジン、トマト、キュウリ、ピーマン、レタス、サツマイモ、ジャガイモといった作物の栽培に力を入れているが、現在、14の管轄対象農業組合に対して普及員が2名しかおらず、十分な巡回指導ができない状況にある。そこで、両普及員の担当組合数を減らし、巡回頻度を高めるために、JICAに対してボランティア派遣の要請行われた。また、JICAはナカラ回廊開発・改善プログラムの中で農業開発研究能力の向上を図るプロジェクトを実施しているが、同プロジェクトで得られた成果を、ボランティアを通じて小規模農民へ波及させることで、草の根レベルの技術支援を実現し、ボランティア派遣と、同プログラムの実施効果を相互に高めることが期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ナカラ郡内の農業組合を巡回して、野菜栽培指導を行う。 ・上記農業組合に対して、販売促進、収支計算といった農業経営指導を行う。 ・他農業普及員との技術交換を行い、配属先の技術力向上に貢献する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC(3台、メーカー:HP)、プリンタ(1台、HP)、コピー機(1台、Panasonic) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 局長:男性(30代後半) 同僚職員:37名、平均年齢:30歳前後、高校卒、又は農業専門学校卒、職歴平均4年 指導対象:農民、普及員 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ポルトガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 同僚と同等以上の学歴が必須 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバナ) 気温(5~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 636 - 13- B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ルワンダ | 野菜栽培 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) カヨンザ郡庁 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 東部県カヨンザ郡カヨンザ JICA事務所の所在地(キガリ)から 東 方向 70 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 東部県7郡の1つであるカヨンザ郡は12個の行政単位「セクター」で構成され、人口は約26万人を数える。北はウガンダ、南はタンザニアからの幹線道路が交わる交通の要所である。同郡庁は教育・人材・保健・インフラなど8つの課で構成されており、ボランティアが配属となる農業課には現在までに2代の協力隊員「野菜栽培」が派遣されている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同郡の人口の95%は農業従事者であり、低湿地を中心に野菜栽培・稲作が営まれている。栽培可耕面積は約400haで、首都キガリへのアクセスが良いことから、農産物の生産地として近年農業開発が進んでいる。しかし、同地域は個人農家が多く、生産量の大幅増を見込めないのが現状である。今後、トマトやインゲンなどの従来栽培野菜の生産量増加や新作物の導入、また共同組合数増により、郡の野菜栽培を活性化させて行くことが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.各農家・農業共同組合へ輪作体系を含めた野菜栽培指導(主な作物:トマト、インゲン、キャベツ、ピーマン、ナス等) 2.新規作物の導入による現金収入源の開拓 3.共同組合の運営サポート(帳簿のつけ方指導やミーティングにおける課題の洗い出し他) 4.同郡の農業技官へ活動報告を随時行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所(椅子・机)、郡庁の車両(週に一度) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 郡庁農業技官 各セクターの農業技官 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(大卒) (農学) 理由: 同僚と同等以上 ・経歴(実務経験) (2年以上) 理由: 実践による指導力が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 野菜栽培がおこなわれている地域までは公共バスを使用し、最寄のバス停から徒歩(2~3キロ)で訪問する地域も多い。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-------|
| 要請番号(JL 636 - 13- B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | |
| ルワンダ | 野菜栽培 | | | 1 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| 3 | / | 年 月 日から | | | | |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ブゲセラ郡庁 <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 東部県ブゲセラ郡 JICA事務所の所在地(キガリ)から 南東 方向 40. Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.75 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 東部県7郡の1つであるブゲセラ郡は15個の行政単位「セクター」で構成され、人口は約30万人を数える。首都キガリからほど近く、南はブルンジ国と国境を分け、比較的高度が低く豊かな水資源に恵まれた地域である。ボランティアが配属となる農業課への隊員派遣は今までにないが、同郡内に現在までに3名の村落開発普及員、1名の稲作普及隊員が派遣されている。また同郡内では2013年まで技術協力プロジェクト「東部県農業生産向上計画」が実施された。 | |

| | | |
|------------------|---|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同郡には湖沼、河川等豊富な水資源や多くの湿地が存在し、また首都キガリへのアクセスが良いことから、農業ポテンシャルが高い地域として近年農業開発が進んでいる。トマト・キャベツ・スイカ・タマネギ等の野菜、バナナ、湿地帯では稲の二期作も行われている。しかし農民の栽培技術は未だ低く、種の選択・植え方・移植・病虫害などの知識も少ない。トマトやキャベツなどの従来栽培野菜の生産量増加や新作物の導入、また共同組合数の増加により、郡の野菜栽培を活性化させて行くことが求められている。 | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.各農家・農業共同組合へ輪作体系を含めた野菜栽培指導(主な作物トマト・キャベツ・スイカ・タマネギ等) 2.同地域のコミュニティ開発隊員と協働し、各種農業協同組合のサポートを行う(帳簿のつけ方指導やミーティングにおける課題の洗い出し他) 3.新規作物の導入による現金収入源の開拓 4.同郡の農業技官へ活動報告を随時行う。 | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所(椅子・机) | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 郡庁農業技官 各セクターの農業技官 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 同僚と同等以上 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践による指導力が必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|---|
| 特記事項 | 野菜栽培がおこなわれている地域までは公共バスを使用し、最寄のバス停から徒歩(2~3キロ)で訪問する地域も多い。 |
|------|---|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------|--|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 642 - 13 - B - 56) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | ○ グループ型 ◎ 個別 | ◎ 新規 ○ 交替 代目 | ◎ 2 年 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| セネガル | 野菜栽培 | | | ○ 1 年 | |
| | | | ○ ヶ月 | 年 月 から | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・農村施設省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ルーガ県農村開発事務所 | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 ルーガ州ルーガ県ルーガ市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北東 方向 200 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同事務所は、県の農業開発計画立案への参画と実施支援、農業基本データの収集を行う機関である。野菜栽培JVと村落開発普及員JVが配属されており、共にルーガから車で30分程度離れたコキ郡農村開発支援センターに出向となっているが、同事務所とは良好な関係を保ち、情報の共有を行いつつ活動を進めている。ルーガ州では、2008年から2012年3月までJICA技術協カプロジェクト「農村自立発展プロジェクト」が展開され、住民の生活・生計向上を目指した取組みが行われた。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 現在同事務所に配属されているJVは、ルーガ市から30~40km程離れた村に居住し、プロジェクトが支援した村落を中心に巡回しながら活動を展開している。本要請のJVは、配属先事務所のあるルーガ市内に居住し、配属先との連携関係を強化しながら、ルーガ市内やこれまでJV支援が届いていない市周辺地域の野菜栽培支援に取り組む。また、配属先と県内派遣のJVの連携強化、情報共有や活動計画策定の効率化に資する役割も期待される。ルーガ県内に派遣されていた家畜飼育JV、野菜栽培JV、村落開発普及員JVは、互いに協力し合い、マイクロジアルディナビ(野菜栽培と養鶏を同時に行う改良鶏舎)の導入検証を行い、各任地に適合する形で普及させる取組みを行った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 同県で小規模野菜栽培を行っている農業者を巡回しながら、雨季栽培や節水栽培等の技術的な支援を行う。 ② 女性グループや住民組織等のグループや、個人を対象とした農業技術に関する研修の企画・実施を支援する。 ③ 市内や県内に派遣予定の野菜栽培JV、家畜飼育JV、コミュニティ開発JVと連携した取組みを行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ルーガ県農業開発事務所: 所長、農業技官 活動村住民、女性グループ、水管理組合 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 野菜栽培に関する知識 理由: 野菜栽培指導を行うため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ◎ 単車 ○ 自転車 ○ 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可 | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) | | 電気(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし) 水道(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし) | | |
| 特記事項 | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 745 - 13- B - 19) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C103) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| キルギス | 野菜栽培 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 26 / 3 |
| | | | | | 年 月 から |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ナリン州政府 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ナリン県事務所農業開発経営課 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ナリン州ナリン市 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 南東 方向 320 Km 主要都市(ナリン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ナリン州は、5つの県から成り立っており、ナリン県事務所は、州都ナリン県ナリン市にある。ナリン県事務所は、市および村の各行政部と協同し、住民の生活に必要な各種公共サービスを提供している。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先のあるナリン州ナリン市は、キルギスの中央部に位置し、海拔2000mの標高にあり、周囲3000m~4000mの山々に囲まれている。農作物の栽培よりも牧畜業が盛んであるが、このような条件の中でもナリン地域では全般的にジャガイモ栽培が盛んである。現地の状況や住民・農家の調査を行い、ナリンでの野菜栽培の普及活動の可能性について配属先農業開発課へ情報共有、協働を行いつつ、野菜栽培に関する知識の伝達や、ジャガイモ以外の野菜栽培の可能性の調査および栽培の指導、普及活動等が期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先と協働し、以下の活動を行う。 1) 農業開発経営課が管轄している近隣農家へ調査を行い、野菜栽培に関する指導及び野菜栽培に関するカリキュラム、教材の作成等を行う。 2) 農業開発経営課と協働して、長期的展望にたった野菜栽培が行える体制を整え、運営して行く。 3) 配属先、関連する隊員と協働し、農業を活かした地域活性化に繋がる活動も期待される。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 野菜栽培に必要な農機具 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:4名 ナリン県農業開発経営課 課長 1名(農業大卒・家畜専攻) 50代 ナリン県農業開発経営課 係員 1名(農業大学卒) 40代 指導対象層:ナリン市近隣農家およびナリン県農業開発経営課 | 5) 活動使用言語 (キルギス語) |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由:専門的知識が要求されるため ・経歴 () () 理由: 理由: | 6) 生活使用言語 (キルギス語) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(内陸性) 気温(-25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|---------------|
| 特記事項 | 村でのホームステイとなる。 |
|------|---------------|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 38) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C104) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ポリビア | 果樹栽培 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

配属先概要

1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省

2) 配属先名 (日本語) コマラバ市役所 NGO

3) 任地 サンタクルス県コマラバ市
 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 800 Km
 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)

4) 配属先の規模・事業内容
 コマラバ市は人口約19千人(2012年)、イチゴ、リンゴ、モモ等の果樹栽培が盛んである。配属先は職員数60名体制で農業担当は1名。市の年間予算は約380万US\$(2013年)。同市には、保健師1名(1998~2000:病院)、村落開発普及員2名(2002~2004:市庁、2005~2007:市役所)の3名のボランティアが派遣された。草の根技術協力事業「バジェグランデ市を対象にしたごみリサイクルプロジェクト」の実施団体であるDIFAR(Desarrollo Integrado Familia Rural in Bolivia/峡谷地帯高地総合女性開発プロジェクト)との連携した活動も期待されている。

要請概要

1) 要請理由・背景
 同市では、農業担当職員が市役所が管轄する試験圃場で、農業学校の学生と共に果樹の試験栽培等を行い、そこで得た果樹の効率的な栽培方法やより品質の良い果樹を地域の農家へ指導している。また、同市では市場や家庭の生ごみを堆肥化し、地域の農家に販売しているが、生産物毎に適した堆肥の選び方やその堆肥の使用法に関する知識が乏しく、果樹栽培に有効的に活用されていない。そこで、カウンターパートと共に圃場での試験栽培を通し、地域に適した高品質な果樹の選定、市内で生産された堆肥を有効活用した果樹の栽培指導、有機栽培指導等が期待され今回のボランティアの要請に至った。なお、同市には、2014年7月に環境教育ボランティアが派遣予定、また、土壌肥料の協力隊員が同時に要請されており、生ごみ堆肥の有効活用等の活動が、地域の環境改善の一助となるよう、各職種のボランティアとの連携した活動が期待されている。

2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
 カウンターパートと地域の農家を巡回し以下の活動を行う
 1.市内の圃場にて、カウンターパートや学生に対し、市内で生産された堆肥を有効活用した果樹の試験栽培等を通して、より地域の環境に適した、高品質な果樹の選定支援等を行う。
 2.カウンターパートと市内の農家へ、果樹毎に適した堆肥の選び方と有効活用の方法等の指導を行う。
 3.カウンターパートと市内の農家への有機果樹栽培指導を行う。
 4.カウンターパートが農家への果樹栽培指導を自ら行えるよう教材作成や活動支援を行う。

要請概要

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
 市役所内執務室、事務機、パソコン、プリンタ

4) 配属先同僚及び活動対象者
 ・カウンターパート:農業担当、男性、20代(経験4年)
 ・市内の農家
 ・市内の農業学校の学生

5) 活動使用言語 (スペイン語)
 6) 生活使用言語 (スペイン語)
 7) 選考指定言語
 英語 (レベル: D)
 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許 ()
 又は ()

・性別 () 理由: ()

・学歴 () () 理由: ()

・経歴 () () 理由: ()

・ **果樹栽培と有機農業の経験2年以上** 理由: 住民への指導が必要なため

活動上の單車/自転車の必要性
 單車 自転車 不要

現職教員特別参加制度
 可 不可

地域概況

気候(亜熱帯) 気温(10~35 ℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 通信(インターネット可 電話可 無線) 水道(安定 不安定 なし)

特記事項
 巡回型(市役所備上の車両にて移動)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 636 - 13 - B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C104) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| ルワンダ | 果樹栽培 | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 3 | | |
| | | 3 | / | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ファイエ郡庁 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 東部県ファイエ郡 JICA事務所の所在地(キガリ)から 南 方向 150 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 南部県8郡の1つであるファイエ郡は14個の行政単位「セクター」で構成され、人口は約32万人を数える。南のブルンジ国まで続く幹線道路が郡内を通過し、当国最高学府である国立ルワンダ大学や国立博物館も同郡に在ることから、多くの学生や観光客が集まるルワンダ有数の大都市である。郡では2006年以降、主に情報技術分野での人材育成に力を入れているが、メインの産業は農業であり、現在も人口の90%以上が農業に従事し、多くの農業関連組合が郡庁に登録されている。コーヒーの産地であり、主要コーヒー関連組合が6組、またその他に民間企業、規模の小さな組合など、コーヒー産業従事者が郡内に多く存在している。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ファイエ郡は丘陵を利用したコーヒーの栽培が盛んで、コーヒー豆は換金作物として重宝されるが、ルワンダ人の多くがコーヒー豆の品質・味に関する知識を持たず、また栽培技術も未発達のため品質・収量ともに未だ改善が求められている。現在、民間企業もCSR(corporate social responsibility/企業の社会的責任)活動の一環として各郡・セクターの農業課と協力し、コーヒー農家を対象に栽培技術指導研修を行っており、郡やセクター、農家からの評価も高い。研修後のフォローアップや農家訪問のスタッフとして同組織と連携しての活動が期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 任地のコーヒー農家を訪問し、協働、サポートする。 2. コーヒー農家・組合が抱える問題を明確化し、適宜提言を行う。 3. 同郡の農業技官へ活動報告を随時行う。 4. 農業隊員、コミュニティ開発隊員と情報共有し、協働する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし。資料・機材に関しては関連施設にて借用可能。 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 民間農業研修センター総務担当(女性)・農業技官(男性) 郡庁農業技官・セクター農業技官 コーヒー組合関係者 NAEB(農業輸出振興局)農業技官(南部県コーヒー担当) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) () 理由: 即戦力が必要なため ・ (コーヒー産業・農業への関心) 理由: 業務上必須 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

特記事項 農家訪問の際は公共バスを使用し、最寄のバス停から徒歩(2,3キロ)で訪問する地域も多い。赴任後上記の民間企業の農業研修センターにてルワンダにおけるコーヒー産業について学習する。



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|---|---|
| 要請番号 (JL 009 - 13 - B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C106) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| マレーシア | きのこ栽培 | | | 年 月 日 から | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) サバ州農業・食料局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 地域開発公社ボルネオマッシュルーム <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 サバ州クダサン JICA事務所の所在地(クアラランプール)から 北東 方向 1700 Km 主要都市(コタキナバル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はサバ州政府の管轄機関の一つで、低所得農民の収入向上を目的に養蜂、養鶏、パニラ栽培、きのこ栽培等のプロジェクトを実施している。きのこ栽培は1989年にプロジェクトが開始され、現在約200戸のシイタケ栽培農家があり、シイタケ菌床の生産、農家への菌床の配布、生産されたシイタケの集荷・販売、農家への栽培技術の指導が主な事業。また、新品種の導入試験や他のきのこ栽培の研究等の業務も行っている。従業員は作業員も含めると約100名、7名が政府機関職員で他の職員はプロジェクトが直接雇用している。年間予算は約1億円(シイタケの売上代金含)、他国からの技術者派遣等の援助は無い。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先は、約200戸の農家に対して一戸当たり年間6000個のシイタケ菌床を配布し、農家の収入向上を支援している。しかし、種菌の培養技術が低く十分な量の種菌を生産できないことと、生産の過程で菌床に雑菌が混入しシイタケが生育しないことで、配布農家数を拡大できていない。農家の栽培技術が未熟なため、配属先で一か月保管したシイタケ菌床を配布しているが、一つの菌床からの生産量が150~250g程度と少なく、約2リットルの大きさがあるシイタケ菌床の保管場所の確保も、配布数を増やせない一因となっている。シイタケ菌床配布農家数の拡大と、種菌の培養技術の向上、生産性の向上のため、ボランティア要請に至った。なお、本件に先行して同配属先に短期JV(きのこ栽培)を派遣予定。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 雑菌を混入させない培養技術と種菌の増産技術の指導。 2. シイタケの生産性の向上への支援。 3. シイタケ以外のきのこ栽培実験。 ※現在はひらたけやキクラゲ等の生産実験を行っているが、野生きのこの栽培実験の実施と商品化が望まれている。 ※シイタケ菌床は製材所から出たおがくずをビニールバックに詰めた物を使用している。原木栽培は原木の入手が困難なため実施の予定はない。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 種菌培養のための実験室、オートクレーブ、クリーンベンチ | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンタート1名(種菌培養担当者、女性、20代、経験3年) 配属先の責任者(女性、40代、経験20年) 配布農家は現在200戸、主に女性が栽培を担当している | | | 5) 活動使用言語 (マレーシア語) 6) 生活使用言語 (マレーシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンタート1名(種菌培養担当者、女性、20代、経験3年) 配属先の責任者(女性、40代、経験20年) 配布農家は現在200戸、主に女性が栽培を担当している | | | 5) 活動使用言語 (マレーシア語) 6) 生活使用言語 (マレーシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚への研修を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚への研修を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(15℃~25℃ ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 住居は施設内の寄宿舍となり、近隣の村からも離れているため、生活環境は厳しい。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 527 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C106) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ナミビア | きのこ栽培 | | | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 青少年スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ナショナルユースサービス | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 エロンゴ州ヘンティスベイ JICA事務所の所在地(ウイントフック)から 北西 方向 450 Km 主要都市(スワポムンド)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 当国は人口の多くを若者が占めているが、失業率が高く、その結果アルコールや薬物に汚染される若者も多い現状がある。政府はビジョン2030(国家長期政策構想)の中で、社会経済開発構想として、若者に対する教育とトレーニングの機会の提供を謳っており、2005年ナミビア青少年スポーツ省の外郭団体としてナショナルユースサービスが設立された。ホスピタリティー、配管工、金属加工、レンガ工、理髪、自動車整備、オフィスマネージメント等のコースがある。これまでに海外援助団体からの支援等なし。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ナショナルユースセンターは、職業技術訓練(教育)を通し、ナミビアの社会経済開発に貢献できる人材を育てるための様々なコースを持っている。また、全国に5つの農場を持っており、研修生は農業の知識も学ぶことができる。各トレーニング設備では、多くの若者が研修に取り組んでいるが、専門的な知識を有するスタッフが少なく、また同国内に専門技術を持った人材が少ないため青年海外協力隊の要請となった。現在はナミビア大学との連携で農作業の指導をしている。活動先のヘンティスベイには200ヘクタールの農地があり現在25名の研修生が、1年間のコースで複数の野菜栽培技術を学んでいる。今後(2013年度予算で)キノコ栽培にかかる環境整備を行い、同研修生が温室でのキノコ栽培も学ぶことになる。ボランティアは赴任後活動の半分はキノコ栽培の環境整備、約半分が研修員とのキノコ栽培を行う予定。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ナショナルユースサービス研修所のあるヘンティスベイで次の業務を行う。 ・キノコ栽培のための環境整備準備補助(農場整備にかかる、キノコ栽培の視点からのアドバイス等) ・キノコ栽培に係る必要機材調達補助 環境整備が整った後は、 ・研修員とキノコ(オイスターマッシュルームヒラタケ)栽培を行い、共同作業を通じ技術を伝える。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ヘンティスベイにある200ヘクタールの農場。今後建築予定のキノコ栽培施設 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 スタッフ45名(22~42歳)農業の知識、野菜栽培、マーケティングの知識を持っている。 ナミビア大学からの技術的支援を受けている。 研修員は毎年25名程度。(1年コース) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門的知識を必要するため ・経歴 () () 理由: キノコ栽培の経験 理由: 業務上必要なため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(乾燥サバンナ) 気温(10~40 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 通信 | (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|--|----------|-----------|
| 要請番号(JL 560 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C107) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ベナン | 病虫害対策 | | | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 2 26 / 2 | | | |
| | | 3 / | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・漁業省 |
| | 2)配属先名 (日本語) ダンボ村落開発支所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ダンボ JICA事務所の所在地(コヌー)から 北西 方向 45 Km 主要都市(コヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 ダンボ村落開発支所は、ウエメ・プラトー県地域農業促進センターが管轄する部署の一つである。ダンボ地区内の農業促進と地域発展を支援する組織である。具体的には、地域内の農業、畜産、水産(養殖)の促進と技術向上支援、民間も含めた農作物等の生産に関する監督、管理、行政手続等を行っている。ダンボ村落開発支所の予算は、ウエメ・プラトー県地域農業促進センターの年間予算約3億8千万円の中に含まれる。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 ダンボ市はウエメ県に属し、人口約8万人、面積約150Km ² である。同村落開発支所は、約1万6千人の農業従事者を対象に農業技官等が配置され、技術指導等を行っている。農作物の収穫量を安定させるため、病虫害対策や土壌改良等の知識を必要としているが、地域内での需要を満たしていない現状がある。病虫害対策として、当支所では化学農薬の講習会を農民に行い、知識と普及に努めている。しかし、予算の関係から、農薬を使用できる農民は一部に限られている。また、農薬に比べて危険が少ない自然農薬への関心度を高め、安価な材料費で害虫を防ぐ効果を紹介、普及するJVの活動が期待されている。同支所に於いて、食用作物・稲作栽培JVが2013年6月まで活動した。堆肥、稲作における塩水選の普及、ビニール袋を活用した育苗等に取り組んだ。同支所の技術改良と農作物の収穫向上に貢献するJVの継続派遣が求められ要請に至った。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 地域内の病虫害(コナカイガラムシ、ヨトウムシ等)の実態調査を実施し、その対策を考える。 2 農業普及員、技官とともに、農民を対象とした化学農薬講習会に協力し、散布時期と回数、濃度、その際の注意点など適切かつ安全な農薬の使用法を指導し、普及させる。 3 安価な材料費、安全性の高い自然農薬を普及させ定着化を目指す。 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所内執務席 |

| | | |
|------------------|---|---|
| 要 請 概 要 | 4)配属先同僚及び活動対象者 ディレクター(男性 30歳代 経験11年) 専門技術技官 6名(男性20歳代~50歳代) アドバイザー 11名、監督者 6名(男性4名、女性2名 20歳代~30歳代) 地域農民 | 5)活動使用言語 (フランス語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|------------------|---|---|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:専門的な知識・経験が必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 224 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C108) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ドミニカ共和国 | 土壌肥料 | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 日系/短期 |
| | | | | | 年 月 から |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育科学技術省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ISA(イサ)大学 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サンティアゴ県サンティアゴ市 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 北西 方向 155 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1962年にISA(農業高等専門学校)が農村振興の目的で設立され、現在の組織になったのは2001年8月。広く国内外、都市、農村を問わない学生に門戸を開いている。学内に広大な圃場を持ち、カリブ諸国の大学の中では、特に農学の実践教育に重点を置いていることが特長である。JICAは、同大学と連携して、ハイチの農業人材育成を目的とした三角協力「対ハイチ農業技術研修コースプロジェクト」を2010年10月から2013年10月の期間で実施中。同大学にはプロジェクト専門家1名、土壌肥料隊員1名(24年度2次隊)が派遣中。学生数約1000名、教員数約100名、年間予算約288万米ドル。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 土壌分析、作物や食品の栄養成分分析のための設備・機材を保有しているが、それらの機器を使いこなし、専門的に分析できる土壌分析専門家がいらない。また、機材はあるが、その機材を利用して分析を行うための試薬がほとんどなく、その購入のための予算・知識共に不足している。土壌分析は、農林業を考える上での基礎情報を得るものであり、作物栽培可否判断のための重要なツールでもある。しかし、当国にはその土壌分析を実施できる専門家が不在であり、カリブ諸国の農業分野のリーダー的役割を担う同大学としては、その専門家を擁し、学内で土壌分析ができる人材を育成することを目指している。現在同分野の初代隊員1名が活動中であるが、化学の基礎から教える必要のある人材育成のためには地道な協力が必要であるため、その活動の継続が求められ、今回の要請となった。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学生及び関係者の土壌分析にかかる基礎的な知識・技術の習得支援のため、以下の協力活動が求められている。 1.化学の基礎を実験を通して教える。 2.基礎的土壌分析を実験を通して教える。 3.学内外の土壌・肥料などに関する会議への参加・情報交換を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、電話など |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 C/P:男性2名、30歳代、動物生産学・水質分析 その他同僚教師 6名(学士・修士)男女 農学、栄養学、動物科学 農学部学生 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:大学での指導に必要なため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由:経験に基づく指導が必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| | | |

| | |
|------------------|--|
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(18~ 34 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------------------|---|
| 特 記 事 項 | インターネット、電気、水道などの基本的インフラサービスはあるが、十分ではない。 |
|------------------|---|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|-----------------|--------------------|--|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 306 - 13 - B - 37) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C108) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ボリビア | 土壌肥料 | | | ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 環境・水資源省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) コマラパ市役所 | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 サンタクルス県コマラパ市 JICA事務所の所在地(ラバス市)から 南東 方向 800 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 コマラパ市は人口約19,000人(2012年)、イチゴ、リンゴ、モモ等の果樹栽培が盛ん。配属先は職員数60名体制で、コンポスト場の担当は1名である。同市では、NGOの支援により、ごみの分別回収やごみの堆肥化等の活動を実施し、生産された堆肥は市内の農家へ販売されている。市の年間予算は約380万米ドル(2013年)。また、同市には、保健師1名(1998~2000:病院)、村落開発普及員2名(2002~2004:市庁、2005~2007:市役所)の3名のボランティアが過去に派遣されていた。草の根技術協力事業「パジェグランデ市を対象にしたごみリサイクルプロジェクト」との連携した活動も期待されている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同市では、NGOが環境改善のプロジェクトを実施し、5000世帯中800世帯の家庭と市場で生ごみの分別回収が行われ、それらの生ごみは堆肥化(コンポスト)され、販売している。また、家庭のし尿を堆肥化する活動も行っている。販売している堆肥の質には改善の余地があり、適切なミネラルやイオン量等の成分を考慮した果樹栽培に適した堆肥となるよう、現状以上に水分・栄養・酸素のバランスを考えた堆肥作りの指導が期待されている。また、果樹農家へのミズ等を利用した有機肥料の作成指導、生ごみの分別回収率の向上なども期待され、今回のボランティアの要請に至った。なお、同市には、2014年7月に環境教育ボランティアが派遣予定、また、果樹栽培の協力隊員が同時に要請されており、生ごみの回収・堆肥化の活動が地域の環境改善の一助となるよう、各職種のボランティアとの連携した活動が期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 地域住民の環境に関する意識改革を促すために、カウンターパートと地域を巡回し以下の活動を行う。 1.生ごみの分別回収率の向上をめざし、地域住民に対し、生ごみの分別回収に関する講習会等を実施する。 ⇒市内の約5000世帯の1/3がごみの分別を行うようになる 2.市内のコンポスト場において、適切なミネラルやイオン量等の成分を考慮した果樹栽培に適した堆肥となるよう、現状以上に水分・栄養・酸素のバランスを考えた堆肥化を指導し、堆肥の質の向上支援を行う。 3.市内の農家への、ミズ等を利用した有機肥料の作成指導を行う。 4.カウンターパートが農家への有機肥料の作成指導を自ら行えるよう教材作成や活動支援を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 市役所内執務室、事務機、パソコン、プリンタ | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・カウンターパート:コンポスト場担当、男性、20代(経験1年:市営のコンポスト場を管理し、ごみの堆肥化を行っている) 地域住民と地域の農家等 | | | 5) 活動使用言語 (ス페인語) 6) 生活使用言語 (스페인語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・有機肥料の作成・使用経験2年以上 理由:農家への指導が必要なため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(10~35℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線) | | 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | | |
| 特記事項 | 巡回型(市役所備上の車両にて移動) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 9 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|-------------|
| 要請番号(JL 324 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C108) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| パラグアイ | 土壌肥料 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 日 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 企画庁 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) カトリック大学 カアグアス校 土壌分析室 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 カアグアス県コロネル・オビエド市 JICA事務所の所在地(アスンシオン)から 東 方向 130 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 カトリック大学は1960年にアスンシオン市に設立された私立大学。現在ではパラグアイ国内に7つの分校を持つ。カアグアス校は中規模都市のオビエド市に位置し、化学部、農学部、畜産学部、看護学部を有している。農学部では昨年農牧省の支援により、土壌分析研究室を建設。今年の7月には正式な運営が開始される予定。土壌分析のデータ収集と、地域農業への活用が期待されている。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 農学部では昨年9月に農牧省の支援により、土壌分析研究室が設置された。農学部学生の実習の場として、また近郊地域の農家や農業系企業からの土壌分析調査依頼に対応できる機関として期待されている。土壌分析室運営管理者として農業技師の女性職員が常勤しており、学生のアシスタントとともに分析調査と学生指導にあたるが、土壌分析の知識経験が浅い。分析機械を有効に利用しての正確な分析データの収集や分類に関して技術指導できる人材を求めていることから今回の要請となった。カウンターパートとなるこの女性技術者への技術移転とともに、土壌分析実習(選択制)の大学生に対しても、アドバイスや指導を行うことが期待される。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) カウンターパート及び大学生に対して以下の項目について指導する。 1.土壌分析調査方法についての知識・技術の伝授。 2.データの効率的な収集方法とその活用。 3.土壌分析機器の使用、メンテナンスについての助言。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電子天秤、UV分光器、水分蒸留機、原子吸収計、PHメーター その他分析業務に必要な試薬、実験器具一式 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 土壌分析室管理技術者(カウンターパート 30代 女性 農業学士) 技術アシスタント(学生数名) 土壌分析の実習授業を選択する農学部大学生 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 同僚が同等の学歴を持つ ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 大学生等への助言がもとめられる理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | カウンターパートと一緒に、大学生に向けて実習授業を行うこともある。活動には指導能力も必要とします。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|--|--|-----------------|
| 要請番号 (JL 745 - 13 - B - 21) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C108) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| キルギス | 土壌肥料 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 青年・労働・雇用省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 第43職業訓練校 <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 チュイ州ソクルク区 JICA事務所の所在地(ピシュケク市)から 西 方向 40 Km 主要都市(ピシュケク市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 若年層に対する職業訓練校(農業、観光・ガイド、縫製、調理、給仕コース等)。年間予算約11万ドル。過去にJICAの技術協力「バイオガス技術普及支援計画プロジェクト」によるバイオガスプラント設置支援の実績があり、JICA事業についての理解がある。米国ピースコーの受入経験がある(英語教師~2010年)。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同訓練校にはJICAの技術協力「バイオガス技術普及支援計画プロジェクト(2007-2011終了済)」によってバイオガスプラントの設置協力を行った経緯がある。同訓練校では、バイオガスを用いて温室の加温を実施し、温室野菜・きのこの栽培等、生徒への実習を行っている。バイオガスの副産物として、大量の消化液(液体肥料)が生産されているが、訓練校保有の畑で利用されているのみであり、近隣の農家等での活用は行われていない。そこで、同校農業コース履修生への実習指導および近隣農家へのバイオガス消化液を含む有機肥料の講習会等の実施を行うため要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先と協働して、以下の活動を実施する。 1) 農業コースにおける生徒への実習指導及び実習カリキュラム、教材の作成。 2) バイオガス液肥および堆肥・緑肥等の作成と展示圃の運営。 3) 近隣農家への有機肥料作成・施肥にかかる講習会の実施。 4) バイオガス液肥の近隣農家への紹介。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 バイオガスプラント(技プロ「バイオガス技術普及支援計画」2007~2011で設置)、同プロジェクトで購入したECメーター、PHメーター等 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:6名、30~55歳 専門学校卒/大卒 土壌肥料分野カウンターパート:女性 指導対象層:生徒15~20歳、農業コース履修生 20~30名程度、および職業訓練校近郊農家 | | | 5) 活動使用言語 (ロシア語) 6) 生活使用言語 (キルギス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 専門知識が必要なため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(-20~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 同訓練校内の寄宿舎(個室)に住むことになる。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 2 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 48) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C131) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マラウイ | 農業土木 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |

| | | |
|-----|---|--|
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 水開発・灌漑省 | |
| 概要 | 2) 配属先名 (日本語) ムランジェ県灌漑事務所 <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ムランジェ県ムランジェ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南東 方向 378 Km 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | |
| 要請 | 4) 配属先の規模・事業内容 JICAボランティアは南部7県を管轄するブランタイヤ灌漑サービス地区事務所 (Blantyre Irrigation Service Division) より要請され、傘下のムランジェ県灌漑事務所(年間予算約1万ドル)に配属される。同事務所は県農業開発事務所と同数地内に設置され、県全域の灌漑開発・修復を行っている。同地域には多くの外国援助機関やNGOの支援が入っており、JICAも技術協力プロジェクトを実施している。 | |

| | | |
|----|--|---|
| 要請 | 1) 要請理由・背景 当国では総労働人口の8割が農業に従事し、農業総生産の9割は小規模農家が担っている。貧困層人口の8割が農村部で生活しており、農業・農村開発は国家中期開発計画の最優先課題の一つに位置付けられている。小規模農家のほとんどは天水農業を営んでいるため、農業生産性の安定に課題がある。JICAは2011年6月から「中規模灌漑開発プロジェクト」を灌漑局、農業普及所と協働して実施し、灌漑面積10ha以上の農地の生産性を持続的に確保するため、外部からの投入資材を極力抑えるとともに受益農民の労働力を利用した灌漑施設の建設と運営改善及び全国灌漑情報システム構築に取り組んでいる。同プロジェクトは2014年5月に終了予定であるが、引き続き県灌漑技師の調査・計画・EIA・設計・施工・維持管理等、灌漑事業能力向上のための技術的支援が必要であり、JICAボランティアが要請された。同県には2か所のパイロット事業地がある。 | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①配属先の灌漑技師に対し、県内で展開されている灌漑開発・修復現場での業務を通して、中規模灌漑事業地を中心とした灌漑事業に必要な能力強化を行う。 ②JICAプロジェクト中規模灌漑パイロット事業地2か所(配属先から12kmと50km)の維持管理の支援 ③プロジェクトで開発したソフトを利用したムランジェ県全体の灌漑データの定期的情報収集と管理の支援 各種測量機器やPCの使用、AutoCADによる地図作成、水路設計等のうち、得意な分野を活かして活動すれば良い。JICAプロジェクト中規模灌漑パイロット事業地を管轄する2つの農業普及所に派遣(要請中)されるJICAボランティア(コミュニティ開発)とも情報共有をしながら連携して活動を実施することが期待される。 | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オートレベル、トータルステーション(Horizon HTS-580)、DGPS(Spectra Precision EPOCH50)、電子セオドライト(TOPCON, PENTAX等) | |
| 要請 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 【配属先同僚】 灌漑技師5名 20~50代 男性4名、女性1名、短大卒~大卒(灌漑・農業専攻)、経験年数4~26年 【活動対象者】農民グループ | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚とのバランス ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 即戦力が必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|---|--|

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~ 30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|------|
| 特記事項 | 特になし |
|------|------|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 56) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C131) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 3 / |
| タンザニア | 農業土木 | | | 1 2 3 | 日系/短期 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料保障・協同組合省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムトワラ農業研修所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムトワラ州ムトワラ県ナリエンデレ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 南 方向 400 Km 主要都市(ムトワラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食料保障・協同組合省の農業研修局では、国内で12か所の農業研修所を運営し、農業普及員の育成を行っている。 ムトワラ農業研修所は、タンザニアの南部にある唯一の研修所で、現在は約560人の生徒が全寮制2年コースで農業全般(農地利用、灌漑、家畜、作物、食品生産等)を理論、実技を通して学んでいる。教員数14名。 研修コースは、日本の高校2年生修了者対象のCertificateコース、大学1年修了者対象のDiplomaコースがある。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 タンザニアにおける農業セクターは国内総生産の約1/4を占める基幹産業であり、全人口の約3/4が農村地域に居住し、その4/5以上が農業関係に従事している重要なセクターとなっている。 JICAは1970年代から農業セクターへの資金協力、技術協力の一連の支援を開始し、2000年代に入ってからタンザニア政府が推進する、農業セクター開発プログラム(ASDP)を支援する主要ドナーであり、タンザニア政府から高い評価を得ている。 その中で、農業研修所から農業普及員育成支援として、特に土壌、灌漑など農業土木関連に関する指導者として要請があった。派遣後は、配属先での授業のほか、JICAの技術協力とも連携した活動も期待されている。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の項目のうち指導可能な科目を学生に指導する。 ① 土地資源計画と管理に関する理論(土壌組成と土壌形成因子、土壌の性質、土壌反応、土壌微生物の作用、土壌劣化の緩和策、土壌保全のための機械利用など)及び、測量器械を用いた農地測量の実技の指導 ② 小規模灌漑に関する理論(灌漑計画、水管理、灌漑施設の補修・管理、灌漑に起因する疾病などの理解など)及び実技指導(小規模灌漑) ※ 既存のテキスト・教材を参考にしながら現地教員と指導科目を分担するため、すべての項目を指導するわけではない。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、実験室、実習場など | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 14名の教師(多くが農業系大卒以上、20~50代、農業土木専門の教師は非常勤の1名) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) (農学) 理由:業務遂行上必要 ・ 経験 (実務経験) (3年以上) 理由:業務遂行上必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(海洋性) 気温(20~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 630 - 13- B - 19) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C131) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| モザンビーク | 農業土木 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ガザ州農業局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ガザ州シャインシャイ JICA事務所の所在地(マプト)から 北 方向 250 Km 主要都市(シャインシャイ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ガザ州農業局は、ガザ州11郡に設置されている経済活動事務所を統轄し、州内における農業・畜産業・林業に係る農業行政全般を司っている。局内には農業課、畜産課、普及課、森林課などがあり、年間予算は日本円で約1億円。同農業局への直接的な外国の援助はなく、現在、JICAを含めた他国からのボランティア派遣も行われていない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ガザ州農業局には灌漑技師が少なく、必要な灌漑スキームの調査、設計、施工の監督をすることができず、灌漑農業を拡大することが困難である。この様な状況の中、元JV(15/2、農業土木)が現在、他州農業局でEUからの資金援助を受けた灌漑プロジェクトにコンサルタントとして勤務し、設計・業者の入札作業等を一手に引き受けている。その活動が当国農業省内で評判となり、各州農業局へのJICAボランティア派遣による技術支援が望まれ、派遣先の精査の結果、ガザ州農業局からの要請することとなった。前任者は、ガザ州農業局が管轄するリンポポ川下流域灌漑公社において、幹線排水路、二次排水路の測量、設計、補修にかかわっており、事業の効率化を図っている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 州内の農業生産増産を図るため、同局スタッフと協力もしくは指導助言しながら、州内の灌漑農業を発展させる。 ①ガザ州全体の灌漑施設(浅井戸やため池を含む)の建設及び補修工事の実施 ②入札業者の実施する灌漑施設建設及び補修工事の管理 ③経済的で実施可能な灌漑工事及び補修工事などのなどのプロジェクトを企画・設計 ④旱魃や洪水被害地域の専門的調査の実施 ⑤同農業局よりリンポポ川下流域灌漑公社への技術支援依頼をされる可能性もある | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 測量機材(レベル、トータルステーション)、デスクトップPC、GPS Garmin | | | | |
| 要 求 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 男性30~50代(5名)農業開発及び土木を担当 | | | 5) 活動使用言語 (ポルトガル語) 6) 生活使用言語 (ポルトガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚と同等の学歴が必須 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚に指導できる経験が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(サバナ) 気温(5~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 048 - 13- B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C141) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ブータン | 農業機械 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 26 / 1 <input type="radio"/> 26 / 2 <input type="radio"/> 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農林省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) パロ農業機械化センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 パロ県パロ町 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 西 方向 50 Km 主要都市(パロ町)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.25 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 農業人口が減少傾向にあるなか、自給率の改善、換金作物の生産向上が開発課題となっている。効率的な農業技術開発並びに普及のため、農業機械化の促進を目指して農業機械化センター(AMC:Agriculture Machinery Centre)が1983年に設立され、農機具の販売や修理、トレーニングのフォローアップなどを継続して実施している。年間予算は約5,400万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 配属先では、農業従事者に対して耕運機やトラクターをはじめとする農業機械のメンテナンスや販売サービスを実施している。2013年7月から開始される第11次五か年計画においても換金作物の増産が目標の一つとなっており、機械の導入は課題達成のための効果的な手段として期待されている。また、現在、専門家の派遣を視野に入れたJICA技術協力プロジェクト「農業機械化強化フェーズⅡ」案件の採択待ちであり、将来的には同プロジェクトと連携した活動も期待されている。このような状況において農業従事者の視点に立った修理サービス向上という技術的な協力を行うと同時に、農業機械化促進のためのシステム構築、データ収集という役割を側面支援するためJVの要請に至った。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先スタッフと協力し以下の活動を行う。 1.農業機械(主に、耕運機やトラクター)の効率的な貸出、普及方法の構築ならびに維持管理のためのアドバイス、提言 2.上記機械における修理サービスの提供、および同作業を通じた配属先スタッフの能力強化、技術力向上支援 3.農業従事者に対する上記機械の使用、管理方法指導 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 耕運機(KUBOTA K120など)、日本製田植え機、インド製トラクターや精米機など、基本的な修理工具や農業機械 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(男性) ・同僚①(30代:男性)(実務経験14年)(日本での研修経験有り) ・同僚②(40代:男性)(実務経験23年) 主な活動対象者 ・配属先スタッフおよびブータン全土から講習等で集まる農業従事者 | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) (機械工学) 理由:専門的な知識が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:幅広い知識・経験を要するため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯性) 気温(-5~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 特になし | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|
| 要請番号(JL 048 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C141) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| ブータン | 農業機械 | | | | 年 月 から |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 2) 配属先名 (日本語) カンマ農業機械化センター 3) 任地 タシガン県カンマ村 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 東 方向 580 Km 主要都市(タシガン町)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 農業人口が減少傾向にあるなか、自給率の改善、換金作物の生産向上が開発課題となっている。効率的な農業技術開発並びに普及のため、農業機械化の促進を目指して農業機械化センター(AMC:Agriculture Machinery Centre)が1983年に設立され、農機具の販売や修理、トレーニングのフォローアップなどを継続して実施している。年間予算は約1,540万円。 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先では、農業従事者に対して耕運機やトラクターをはじめとする農業機械のメンテナンスや販売サービスを実施している。2013年7月から開始される第11次五か年計画においても換金作物の増産が目標の一つとなっており、機械の導入は課題達成のための効果的な手段として期待されている。また、現在、専門家の派遣を視野に入れたJICA技術協力プロジェクト「農業機械化強化フェーズⅡ」案件の採択待ちであり、将来的には同プロジェクトと連携した活動も期待されている。このような状況において農業従事者の視点に立った修理サービス向上という技術的な協力を行うと同時に、農業機械化促進のためのシステム構築、データ収集という役割を側面支援するためJVの要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先スタッフと協力し以下の活動を行う。 1. 農業機械(主に、耕運機やトラクター)の効率的な貸出し、普及方法の構築ならびに維持管理のためのアドバイス、提言 2. 上記機械における修理サービスの提供、および同作業を通じた配属先スタッフの能力強化、技術力向上支援 3. 農業従事者に対する上記機械の使用、管理方法指導 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 耕運機(KUBOTA K120など)、日本製田植え機、インド製トラクターや精米機など、基本的な修理工具や農業機械 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(男性:50代) ・同僚スタッフ総勢11名(全員男性:30~50代)(実務経験11年~30年) 活動対象 ・配属先スタッフおよびブータン全土から講習等で集まる農業従事者 | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (V・N: C) 又は (V・N:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) (機械工学) 理由: 専門的な知識が必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 幅広い知識・経験を要するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(温帯性) 気温(0~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 特になし | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 006 - 13 - B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| インドネシア | 農産物加工 | | | 2 | 日系/短期 |
| | | | 2年 | 1 | 26 / 1 |
| | | | 1年 | 2 | 26 / 2 |
| | | | ヶ月 | 3 | 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 1400 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 南スラウェシ州南部に位置するバンタイン県は州内で最も小さい県で、人口18万人、その75%が農業に従事しており、県収入のほとんどを農産物が占めている。県農業局は、競争力があり、持続可能で環境に優しいアグリビジネス・システムの開発による農家の収入向上を目指しており、このために資源(土地及び水)の利用の最適化、農産物の生産性改善、川上産業(特に種苗場等)の開発等に力を入れている。県農業局の年間予算は計約3億6千万円(国家予算7,000万円、州予算1億1,000万円、県予算1億5,000万円、特別予算3,000万円)。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 県農業局は、農加工品工場を所有しており、主に女性グループによって、農業局が農家から買い取った野菜(ジャガイモや人参、トウモロコシ等)の加工がおこなわれている。工場の機械はシンプルなものであるが、カッティングの厚さや大きさが均一でない、味付けが単調である等多くの課題を抱えている。県農業局では、農産品加工物の品質向上及び販路の拡大により、農家の収入を向上することを望んでおり、このために支援できる人材を求めて、今回JVの派遣を要請した。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の同僚とともに以下の活動を行う。 ・現在女性グループが生産する野菜チップス等の食品加工品に関する技術指導。 ・現在、県農業局が力を入れている里芋の加工のための技術指導。 ・衛生的な包装の指導。 ・農産物加工品の販促支援。 ・地元農産物を使用した新商品の開発。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 カッティング機、フライ機、パッケージング機等。 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:男性3名(うち1人は40歳代、2人は30歳代) 活動対象者:女性グループ(20歳代~40歳代) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 理由: | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (イハム: D) 又は (イハム:) | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 特記事項 | (ここに特記事項を記入してください) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|-----------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 28) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 農産物加工 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料保障・協同組合省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ウキリグル農業研究所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムワンザ州ミスンガイ県ウキリグル JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 北西 方向 850. Km 主要都市(ムワンザ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食料保障・協同組合省は、全国に16箇所の研究所を持ち、タンザニアにおける農業技術の向上、農民指導等を実施している。配属先は、ムワンザからシニャンガ方面へ約30kmに位置するレイクゾーン地区(ムワンザ州、カゲラ州、シニャンガ州、マラ州)最大の研究所で、3つのコース(Natural Resource, Crops, Social Economy)を約90名のスタッフで運営している。研究所は広大な研究用圃場、各コースのラボのほか、外部にも圃場、農製品開発・研修センターなどの設備を持っている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 タンザニアにおける農業セクターは国内総生産の約1/4を占める基幹産業であり、全人口の約3/4が農村地域に居住し、その4/5以上が農業関係に従事している重要なセクターとなっている。 JICAは1970年代から農業セクターへの資金協力、技術協力の一連の支援を開始し、2000年代に入ってからタンザニア政府が推進する、農業セクター開発プログラム(ASDP)を支援する主要ドナーであり、タンザニア政府から高い評価を得ている。その中で、農業研究所への派遣を通して、農産物製品に付加価値をつけ製品の品質向上への指導を配属先スタッフや農民等に対して実施するほか、JICAの技術協力プロジェクトとも連携した活動も期待されている。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 穀物(サツマイモ、キャッサバ、メイズなど)の研究を支援する 2. 特に、収穫後の製品に加工などを通して付加価値を付け、品質向上にかかる研究や技術指導を同僚と行い、農民への指導も行う 3. 配属先からの依頼やプログラムに応じて、農産物の加工に関する研究の実施や技術的アドバイスなども期待されている | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 食品加工用のラボ、農民への研修センター、PC(Windows) | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚は30~40代(2012年現在)女性2名。栄養学等履修者。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (V^N: C) 又は (V^N:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚と同等の経験が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号 (JL 548 - 13 - B - 81) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C151) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| タンザニア | 農産物加工 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| | | 3 | / | | | |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業天然資源省(ザンジバル政府) |
| | 2) 配属先名 (日本語) キズインバニ農業研究所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ザンジバル ウングジャアーバンウェスト州キズインバニ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 北東 方向 70 Km 主要都市(ストーンタウン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ザンジバルの中心地ストーンタウンから15km北東のキズインバニ村に位置する同研究所の歴史は、1933年にイギリス植民地下でのクローブ(ザンジバル名産のスパイスの一つ)の病気を管理するための機関に遡る。その後タンザニアの独立を経て、現在はザンジバル農業天然資源省下の研究機関となっている。農業研究所とはいえ、農業、畜産、林業、漁業を扱っており、ザンジバル各地に施設をもつ。隊員を要請しているキズインバニ研究所は主に農作物(米、メイズ、バナナ、キャッサバ等)の品種改良、農業普及員・農民の研修、関連情報の提供等に取り組んでいる。 |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 タンザニアにおける農業セクターは国内総生産の約1/4を占める基幹産業であり、全人口の約3/4が農村地域に居住し、その4/5以上が農業関係に従事している重要なセクターとなっている。ザンジバルの農業研究分野においてイネは最重要作物である。本研究所は、イネ部門では日本の技術協力が大きくかわるネリカ米(New Rice for Africa)に取り組んでいる。イネの研究におけるイネの農作物としての評価のための指標の一つがコメの性質であり、現在の研究チームは口コメの品質の分析および改良のための十分な技術と知識のあるスタッフを欠いておりJVが要請された。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① コメの品質の分析、収穫後の処理、品質改良等に携わるとともにスタッフの指導を行う。 ② 上記作業のための精米作業および精米機整備の指導と監督を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 テストミル(サタケTM05C)、硬度計(フジワラ)、マイクロメータ |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚(イネ研究部門): 30~40代の4人の研究者(院卒1、大卒1、専門学校卒2) (2012年現在) |

| | | |
|-------|--|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由:業務遂行上必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:業務遂行上必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(海岸性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 84) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 農産物加工 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 3 |
| 年 月 日 | から | | | | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 産業貿易省 2) 配属先名 (日本語) 中小企業開発機構 ムベヤ地域事務所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ムベヤ州ムベヤ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 南西 方向 700 Km 主要都市(ムベヤ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 中小企業開発機構(SIDO)は中小企業振興を目的とした政府機関であり、中小企業経営者や起業家に向けた技術支援、情報・施設の提供、各種トレーニングコースの実施等の総合的な支援事業を行っている。全国に21の地域事務所があり、1県1品運動による国内製品の生産、販売の促進も行っている。配属先のムベヤ地域事務所は農耕地帯ムベヤ州8県を統括している。また、配属先は技術開発センターを持ち、食品加工機械、農業機械等の開発製造販売も行っている。スタッフは、地域マネージャーのもと、約30人。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 SIDOの重要な戦略の一つが農村地域における技術促進による中小企業振興であり、全国の地域事務所種々の技能研修を行い生産技術向上、品質向上、商品開発・マーケティング技術向上を支援している。2011年より活動しているJVは地域の中小企業や女性グループに対し手工芸品づくり、デザイン、マーケティング、簿記、販路開拓などの指導を行っている。配属先のあるムベヤ地域は肥沃な農耕地帯で、SIDOが推し進める1県1品運動対象産物としては、ヒマワリ油、バナナ、米、ヤシ油、コーヒー、トマト、ピーナッツ、豆、アボガド、マンゴ等ほとんどが農産物である。このような状況下、適切に処理されず無駄になる農産物の有効利用のために農産物加工のJVが要請された。同配属先には、村落開発普及員が現在活動中であり、配属先からの希望もあり、後任は農産物加工の指導を行う。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 地域の農産物品の加工技術向上のための指導を行う。 ② 農産物加工品の品質管理の指導を行う。 ③ 地域産の農産物を利用した新しい加工品創出と製品化の支援をする。 ④ 5S-改善運動の導入による加工・ビジネス環境の改善を指導する。 (指導は、各地の現場および事務所にて行う) | | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 トレーニングセンター(椅子、机等あり)、PC、プリンター) | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 20代SIDO勤務5年の大卒女性、30代SIDO勤務8年の女性 活動対象者: 同僚、中小零細個人企業家、女性グループ、農民など | | 5) 活動使用言語 (スワヒリ語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:職務遂行上必要 ・経歴 () () 理由: ・ 農産物加工の知識 理由:活動上必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|------------------------|------------------|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 745-13-B-14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| キルギス | 農産物加工 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) イシククリ州政府 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジュテイオグス県庁農業局 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 イシククリ州クズルスー村 JICA事務所の所在地(ピシュケク市)から 東 方向 370 Km 主要都市(カラコル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 イシククリ州は、キルギスの代表的な観光地であるイシククリ湖の知名度を活用した地域活性化を推進しており、州政府は、JICAの技術協力による「OVOP(一村一品)プロジェクト」と共にOVOP組合を組織化し、一村品運動(ジャム等の食品加工、フェルト等の手工芸品)を推進している。既に派遣されている村落開発普及員および野菜栽培隊員により、村落での組織化、商品開発の基盤整備等の活動が進行中である。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 JICAの技術協力や村落開発普及員、野菜栽培隊員らの活動成果により、村落におけるコミュニティビジネス立ち上げのための組織化、商品開発、生産管理、販売といった一連のサイクルを現地の生産団体によって成り立ちはじめている。次のステップとしては、村落の組織化と商品開発を進めながら付加価値のついた商品開発の推進や、プロジェクトとや関連隊員との連携による普及活動を展開することが期待され要請に至った。また、現地では豊富な農産物(リンゴ、アンズ、ジャガイモ等)が入手可能であり、それらを活かした新アイデアが求められている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先との意見交換・情報共有・協働を行いつつ、関連隊員と協働して以下の活動を行う。 1) 農産物加工品の品質管理の指導を行う。 2) OVOP組合への、地域の農産物の加工技術向上のためのアドバイス。 3) 地域産の農産物を利用した新しい加工品の創出と製品化のアドバイス。 4) 商品の質向上や販売に関するアドバイス。 5) 新たにOVOP組合へ参加を希望するグループへのアドバイス等。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 なし |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 県庁農業局職員:全4名 局長 男性1名 50歳代 職員 男性2名 40-50歳代 秘書 女性1名 40歳代 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 農産物加工についての基礎知識・技術 理由: 専門知識・技術が求められるため | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(内陸性) 気温(-20~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|----------|--|

| | |
|----------|---------------|
| 特記 事項 | 村でのホームステイとなる。 |
|----------|---------------|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------|-------------------|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 012-13-B-13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| フィリピン | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 |
| | 2)配属先名 (日本語) 国家酪農局 ウバイ酪農牧場 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ボホール州ウバイ町 JICA事務所の所在地(マニラ)から 南東 方向 650 Km 主要都市(タグビラン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 フィリピンの酪農開発を担っている国家酪農局のプロジェクトサイトであるウバイ酪農牧場は、酪農事業である乳牛飼育及び生乳の生産を行っている。牧場の敷地面積は120ha、飼養している乳牛は300頭を超えている。プロジェクト予算は年間約1千万円、正規職員は所長1名、7人の非正規職員及び時期により37人の季節労働者を雇用している。これまでJVを受け入れた実績は無いが、フィリピンにおけるこれまでの酪農分野へのJVによる支援に関しては、JVチーム派遣の実施等活発に行ってきた経緯があり、サイトは異なるが同配属先もその恩恵を受けてきた経緯あり。 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 同牧場の正式な運営は2010年からとまだ新しく、広大な土地や搾乳機など牧場運営のための環境は比較的充実しているものの、抱えている技術的問題は多い。具体的には、発情鑑定技術、人工授精技術等が不十分であるため適切な繁殖管理が出来ず乳牛の空胎期間が長い。飼料給与技術に関しては、サイレージ製造技術が無いため乾季における質の高い粗飼料の確保がままならない、また、各生育ステージ/泌乳ステージでの適切な給餌手法が確立されていない、生乳管理技術については品質管理技術が不十分等が挙げられ、育種/繁殖、飼養管理、飼料生産、衛生管理、生乳管理のすべてにおいて、生産性を向上のための改善が必要な状況。今後、酪農牧場として、上記のような各種課題を解決し牧場の運営機能を強化していく必要があることからJVの支援が要請されている。なお、配属先には、家畜衛生分野のJVの配属も予定されている。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) JVは基本的に配属先の一員として牧場の運営をしつつ現場の問題点を把握し可能な範囲で以下の活動を展開する。 ① 低コストの発情の鑑定、人工授精、妊娠鑑定の手法等繁殖技術についての助言及び実施 ② 人工授精の実績に関するデータ分析のためのコンピュータシステム化 ③ 搾乳技術と乳質についての現状分析及び乳質向上への提言及び実施可能な活動についての協働 ④ 飼料、栄養についての現状分析及び改善に向けた提言及び実施可能な活動についての協働 ⑤ サイレージの導入についての可能性の検討 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務書用品、机、P/Cなど。搾乳施設はミルクパーラーあり(De Laval社製搾乳機)。 |

| | |
|--|--|
| 4)配属先同僚及び活動対象者 上司(牧場長)男性 50代 非正規職員 男性4名 女性3名 20~30代 季節労働者 男性36名 女性1名 20~50代 | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|--|--|

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由:人工授精、育種関連知識が要 ・経歴 () () 理由: ・ 実務経験 1年以上 理由:業務遂行上必須 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|---|--|

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(22~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|-----------------|----------------------|--------|----------|-----------|
| 要請番号(JL 012 - 13 - B - 19) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | ○ グループ型 ● 個別 | ○ 新規 ● 交替 9 代目 | ● 2 年 | 1 26 / 1 | |
| フィリピン | 家畜飼育 | | | ○ 1 年 | 2 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | ○ ヶ月 | 3 / | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 東ネグロス州獣医事務所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 東ネグロス州ドマゲッテ市 JICA事務所の所在地(マニラ)から 南東 方向 650 Km 主要都市(マニラ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.2 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は同州6市19町を所管する州の獣医事務所。同地域は1998年に終了した隊員グループ派遣「家畜人工授精強化プロジェクト」サイトの一つであり、同プロジェクト関連等でこれまで8名の家畜飼育隊員が活動してきた経緯あり。事務所は53名(うち人工授精師18名)のスタッフを有し、年間の酪農振興予算は300万円程度。現在同事務所は人工授精用精液ストロー生産及び配布の重要拠点となっている。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 東ネグロス州は「家畜人工授精強化プロジェクト」の成果もあり人工授精の一先進地域になっている。近年酪農にも力を入れ乳牛の大規模導入、酪農家戸数の増加、組合の形成、工場の設立、乳製品の製造、マーケティングなど規模を拡大し続けている。この酪農振興の進展に伴い、改善すべき問題点や課題もより多岐にわたり複雑になってきていることから、JVの更なる要請となった。なお近隣の国家酪農局東ネグロス州事務所には、2013年9月より家畜衛生分野のJVが配属となる予定。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 業務は地域を巡回し、酪農についての啓発・広報・助言指導を行うことで地域における酪農を振興し、定着に向けた支援をする。具体的に想定される活動内容は以下のとおり。 1. 飼育管理指導(生乳生産管理、衛生管理等) 2. 生産された牛乳を使用した乳製品(ヨーグルト・アイスクリーム等)開発のための助言 3. 乳房炎予防への助言 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、PC(共有)、顕微鏡 |

| | |
|--|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 人工授精・酪農普及コーディネーター 1名 男性 50代 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|--|--|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由:酪農振興のために知識が必要 ・経歴 () () 理由: ・ 実務経験 2年以上 理由:要請内容から実務経験は必要 | 活動上の單車/自転車の必要性 ● 單車 ○ 自転車 ○ 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 |
|-----------------------|---|--|

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(熱帯性) 気温(20~35 ℃位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○安定 ●不安定 ○なし) |
|----------|--|

| | |
|----------|--|
| 特記 事項 | |
|----------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 106 - 13 - B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| フィジー | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 第一次産業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 農業局 コロニア農業試験場 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ナウソリ町コロニア JICA事務所の所在地(スバ市)から 北 方向 16. Km 主要都市(スバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。コロニア農業試験場は、農業局研究部門を統括する機関であり、フィジー国内の農業振興プログラムの立案と実施のほかに、穀物、家畜の調査研究、農産物の分析実験、植物検疫も担っている。家畜部門においては、乳牛、豚を中心としており、飼料配合のための大型施設も2011年に建設された。過去(H6、H11、H13)、JV(家畜飼育)が派遣され、人工授精の導入に協力したことがある。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 フィジー政府はピチレブ島北東部地域に対して、農畜産物を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、農畜産物の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っている。畜産部門においては、特に、豚、乳牛の品質・生産量の改善のために、飼料の改善と人工授精を試みている。過去のJVの支援により、豚の人工授精は軌道に乗りつつあり、パイロット養豚農家向けの繁殖支援も行っている。しかしながら、繁殖用豚・牛の供給は十分ではなく、人工授精技術の確立による生産性向上が必要なため、JICAボランティアの要請に至った。同農場は、繁殖用豚は46頭(オス5頭、メス41頭)、繁殖用牛は39頭(オス3頭、メス36頭)を有する規模。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 優秀な繁殖用豚・牛の生産を目的として、以下の活動を行う。 1. 豚、牛の人工授精の行程を確立し、成功率を高めることで、繁殖用豚・牛の生産性を改善する。 2. 近隣の養豚・酪農家に対して、家畜の飼育方法指導や人工授精の巡回を実施する。 3. 海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から優良種の冷凍精液を輸入、品種改良も計画されており、アドバイスをを行う。また、受精卵移植も将来的に検討されており、受精卵の輸入、移植の可能性について模索する。 4. 他農業試験場を巡回、山羊・羊の人工授精の指導を行う。 5. 上記の活動を通じて、配属先スタッフのスキルの上昇を図る。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 人工授精に必要な機材一式(液体窒素、冷凍精子輸送用容器、種付け棒、オートクレーブ、保温器、妊娠判定機、顕微鏡、薬品等) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 シニアリサーチオフィサー男性2名(牧草・飼料分野1名、家畜分野1名:経験年数20年以上:40代) 家畜技師女性1名(豚人工授精担当:20代:経験3年) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (\checkmark) 又は (\checkmark) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実戦的な指導に必要 家畜人工授精師免許 理由: 活動に必要な資格 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | ※配属先から提供される住居に同性のJVと同居になる可能性あり。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 106 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| フィジー | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 第一次産業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 農業局 シンガトカ農業試験場 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 シンガトカ町郊外ナソソレブ JICA事務所の所在地(スバ市)から 西 方向 126 Km 主要都市(シンガトカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。シンガトカ農業試験場は、ピチレブ島西部に位置し、野菜、果樹の他に、家畜部門においては、鶏、牛、山羊、牧草の研究を行っている。台湾の援助により、野菜生産技術の普及に成功したほか、年間1万6千羽のヒヨコを供給している。 過去(H7、H13、H17)、JV(家畜飼育)が派遣され、人工授精の指導や牧草の研究を行った実績がある。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 フィジー政府はピチレブ島北東部地域に対して、農畜産品を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、農畜産品の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っている。畜産部門においては、特に、鶏、肉牛、山羊(食肉としての飼育)の品質・生産量の改善と、牧草の研究を行っている。このなかで、肉牛、山羊の生産・品種改良と牧草研究が遅れている。繁殖用牛、山羊の品種改良と生産が期待されているが、自然交配の管理を実施する程度である。また、畜産農家においては、飼料給与が適切に行われておらず、発育不良も多い。フィジーでは、配合飼料が高価であるため、農家が購入できないことが原因の一つとして考えられている。不足する栄養価の一部を牧草で補えるよう、牧草の普及は喫緊の課題であり、この研究・普及を支援する目的で、JICAボランティアの要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地に適した牧草の研究と普及を目的として、以下の活動を行う。 1.食肉用山羊・牛の飼育に適切な牧草の研究。農場内の圃場だけでなく、パイロット農家とも協力しつつ、調査を行う。 2.海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から牧草種子を輸入、フィジーの気候に適した品種の選択、種子生産についてのアドバイスが期待される。 3.農業試験場を統括するコロニビア農業試験場に配属予定のSVと協力しつつ、配合飼料による飼育試験を実施する(配合飼料はコロニビア農業試験場より配布される)。 4.上記の活動を通じて、配属先スタッフのスキルの向上を図る。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 トラクター等農作業に必要な機材・道具ならびに牧草研究用圃場。牧草や土壌の簡便な分析も行えるが、詳細な分析はコロニビア農業試験場の実験施設へ委託。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 リサーチオフィサー男性1名(牛担当:46歳、経験20年以上) 家畜技師男性1名(山羊担当:35歳、経験15年) 技師アシスタント女性1名(牧草担当:22歳、経験2年) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由:活動に必要な知識 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:実践的な指導に必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | ※配属先から提供される住居に同性のJVと同居になる可能性あり。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 106 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| フィジー | 家畜飼育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 第一次産業省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 農業局 シンガトカ農業試験場 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 シンガトカ町郊外ナソソレブ JICA事務所の所在地(スパ市)から 西 方向 126 Km 主要都市(スパ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。シンガトカ農業試験場は、ビチレブ島西部に位置し、野菜、果樹の他に、家畜部門においては、鶏、牛、山羊、牧草の研究を行っている。台湾の援助により、野菜生産技術の普及に成功したほか、年間1万6千羽のヒヨコを供給している。 過去(H7、H13、H13)、JV(家畜飼育)が派遣され、人工授精の指導や牧草の研究を行った実績がある。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 フィジー政府はビチレブ島北東部地域に対して、農畜産物を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、農畜産物の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っている。畜産部門においては、特に、鶏、肉牛、山羊(食肉としての飼育)の品質・生産量の改善と、牧草の研究を行っている。このなかで、肉牛、山羊の生産・品種改良と牧草研究が遅れている。繁殖用牛、山羊の品種改良と生産が期待されているが、自然交配の管理を実施する程度である。昨年度は、繁殖用牛の供給、冷凍精液の輸入は実施できず、繁殖用山羊を32頭出荷しただけに終わった(目標は60頭)。このような背景から、JICAボランティアの要請に至った。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 優秀な繁殖用山羊・牛の生産を目的として、以下の活動を行う。 1. 山羊、牛の人工授精の行程を確立し、成功率を高めることで、繁殖用山羊・牛の供給を改善する。 2. 近隣の養豚・畜産農家に対して、家畜の飼育方法指導や人工授精の巡回を実施する。 3. 海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から優良種の冷凍精液を輸入、品種改良も計画されており、アドバイスをを行う。また、受精卵移植も将来的に検討されており、受精卵の輸入、移植の可能性について模索する。 4. 他農業試験場を巡回、人工授精の指導を行う。 5. 上記の活動を通じて、配属先スタッフのスキルの向上を図る。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コロンビア農業試験場が所有する機材を共有(液体窒素、冷凍精子輸送用容器、種付け棒、オートクレーブ、保温器、妊娠判定機、顕微鏡、薬品等)。2013年度より順次、機材を同農業試験場でも調達計画。 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (2 年以上) 理由: 実戦的な指導に必要 ・ 家畜人工授精師免許 理由: 活動に必要な資格 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

特記事項 ※配属先から提供される住居に同性のJVと同居になる可能性あり。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 106 - 13- B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| フィジー | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 第一次産業省 |
| | 2)配属先名 (日本語) 農業局 ナワイゾンバ農業試験場 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ナワイゾンバ JICA事務所の所在地(スバ市)から 北西 方向 190 Km 主要都市(ナンディ町)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。ナワイゾンバ農業試験場は、ビチレブ島西部地域の内陸に位置し、家畜を中心とした調査研究を行うほか、海外から輸入された家畜の検疫業務も担っている。家畜部門においては、羊、山羊、牛牧草の研究を主に実施している。 384haの敷地を持ち(3分の1しか利用されていない)、羊620頭(雄羊84頭、雌羊309頭他)、牛200頭(雄牛11頭、雌牛137頭他)を有する規模の農場試験場である。 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 フィジー政府はビチレブ島北東部地域に対して、農畜産物を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、畜産品の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っており、特に、羊や山羊(食肉としての飼育)、乳牛、肉牛の品質・生産量の改善と、牧草の研究を行っている。フィジー国内で消費される羊肉は1万トン/年と算出されているが国内生産は75トンであり、農業省は2014年までに生産量を6千トンと掲げているが、繁殖用羊の供給が全く追いついていない。品種改良も期待されているが、自然交配の管理を実施する程度に留まっている。1991年、Fiji Fantasticという品種が開発されたが(Wiltshire HornとBarbados Black Bellyの交配)、以降、品種改良も進んでいない。このような背景から JICAボランティアの要請に至った。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 優秀な繁殖用羊、山羊の生産を目的として、以下の活動を行う。 1.羊、山羊の人工授精の行程を確立し、成功率を高めることで、繁殖用羊・山羊の供給を改善する。 2.近隣の養豚・畜産農家に対して、家畜の飼育方法指導や人工授精の巡回を実施する。 3.海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から優良種の冷凍精液を輸入、品種改良も計画されており、アドバイスをを行う。また、受精卵移植も将来的に検討されており、受精卵の輸入、移植の可能性について模索する。 4.他農業試験場を巡回、人工授精の指導を行う。 5.上記の活動を通じて、配属先スタッフのスキルの向上を図る。 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 トラクター等農作業に必要な機材・道具ならびに牧草研究用圃場。牧草や土壌の分析はコロニア農業試験場の実験施設へ委託。 |

| | | |
|------|--|---------------------------------------|
| 要請概要 | 4)配属先同僚及び活動対象者 リサーチオフィサー男性1名(羊担当:27歳、経験5年) 家畜技師男性1名(羊担当:51歳、経験30年) 技師アシスタント男性1名(羊担当:25歳、経験5年) | 5)活動使用言語 (英語) |
| | | 6)生活使用言語 (その他) |
| | | 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|--|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 僻地のため ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実戦的な指導に必要 ・ 家畜人工授精師免許 理由: 活動に必要な資格 | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | ※配属先から提供される住居に同性のJVと同居になる可能性あり。 |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 106 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| フィジー | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 第一次産業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 農業局 ナワイゾンバ農業試験場 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ナワイゾンバ JICA事務所の所在地(スバ市)から 北西 方向 190 Km 主要都市(ナンディ町)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。ナワイゾンバ農業試験場は、ビチレブ島西部地域の内地に位置し、家畜を中心とした調査研究を行うほか、海外から輸入された家畜の検疫業務も担っている。家畜部門においては、羊、山羊、牛牧草の研究を主に実施している。 384haの敷地を持ち(3分の1しか利用されていない)、羊620頭(雄羊84頭、雌羊309頭他)、牛200頭(雄牛11頭、雌牛137頭他)を有する規模の農場試験場である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 フィジー政府はビチレブ島北東部地域に対して、農畜産品を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、畜産品の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っており、特に、羊や山羊(食肉としての飼育)、乳牛、肉牛の品質・生産量の改善と、牧草の研究を行っている。フィジー国内で消費される羊肉は1万トン/年と算出されているが国内生産は75トンであり、農業省は2014年までに生産量を6千トンと掲げているが、繁殖用羊の供給が全く追いついていない。また、飼育農家においては、飼料給与が適切に行われておらず、発育不良も多いことが生産量の妨げにもなっている。フィジーでは、配合飼料が高価であるため、農家が購入できないことが原因の一つとして考えられている。不足する栄養価の一部を牧草で補えるよう、牧草の普及は喫緊の課題であり、この研究・普及を支援する目的で、JICAボランティアの要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地に適した牧草の研究と普及を目的として、以下の活動を行う。 1.食肉用羊、山羊の飼育に適切な牧草の研究。農場内の圃場だけでなく、パイロット農家とも協力しつつ、調査を行う。 2.海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から牧草種子を輸入、フィジーの気候に適した品種の選択、種子生産についてのアドバイスが期待される。 3.農業試験場を統括するコロンビア農業試験場に配属予定のSVと協力しつつ、配合飼料による飼育試験を実施する(配合飼料はコロンビア農業試験場より配布される)。 4.上記の活動を通じて、配属先スタッフのスキルの向上を図る。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コロンビア農業試験場が所有する機材を共有(液体窒素、冷凍精子輸送用容器、種付け機材、オートクレーブ、保温器、妊娠判定機、顕微鏡、薬品等)。2013年度より順次、機材を同農業試験場でも調達計画。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 リサーチオフィサー男性1名(羊担当:27歳、経験5年) 家畜技師男性1名(羊担当:51歳、経験30年) 技師アシスタント男性1名(羊担当:25歳、経験5年) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 僻地のため ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 活動に必要な知識 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実戦的な指導に必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温() 15~35℃位 | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | ※配属先から提供される住居に同性のJVと同居になる可能性あり。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 306 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ボリビア | 家畜飼育 | | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | 3 | 26 / 3 | | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) オルロ県庁農牧サービス局 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オルロ県庁農牧サービス局 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 230 Km 主要都市(オルロ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 オルロ県は標高3700~4000mの高地高原地域に位置しており、寒冷で降雨量が少ないことから、農業分野では、キヌア、じゃがいもなどの栽培や、乳牛・リヤマ・アルパカ・羊の飼育などで生計を立てる零細農民が多数を占める。配属先は、同県における農業振興を目的として、農民への技術支援や、政府や援助団体の資金協力によるプロジェクトの計画・実施などを行っている。2009~2011年にJICA技術協力プロジェクト「高地高原中部地域開発計画」から、地域の気候風土に適した小規模灌漑農業に関する技術指導を受けた。配属先の2013年の予算は約93万米ドル(約9,300万円)。 |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先が所有・管轄する「アンデス地域エコロジー農牧開発センター」は、県内の農牧業従事者に対し、研修の実施や展示農場などを通じて農牧技術の指導を行うことを目的として設立された。現在は乳牛約100頭及び羊約200頭を飼育し、配合飼料による栄養改善や人工授精に取り組んでいる。これにより、一日の搾乳量が180リットルから230リットルへ向上し(一頭当たり10.5リットル/日)、また今年は人工授精による双子の牛が初めて誕生するなど少しずつ成果が上がっている。しかし、センターの農業技術者の持つ家畜飼育についての知識や技術は十分とは言えず、またセンターの運営予算も限られていることから、配属先では、飼育環境、衛生管理、配合飼料などについての正しい知識や、限られた予算でも飼育状況を改善する方法があれば学び、また、これらの知識や技術についての簡単な講習会や展示会の実施を通じて地元の農家へ普及したいと考えている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先及び勤務地であるセンターの同僚と協力して、以下の活動を行う。 1.センターで飼育されている乳牛の飼育状況を観察し、飼育環境、栄養・衛生管理などについて、予算の乏しい農家などでも改善できるアイデアを提案し、現場で技術指導を行いながら実施を支援する。 2.周辺の農家を訪問し、乳牛の飼育の実態を把握した上で、改善指導が可能なテーマを設定し、センターで講習会や展示会などを開催し、技術の普及を支援する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 センター敷地内の施設・設備の全て(牛舎、管理棟、会議場、野菜栽培用温室、放牧地、飼料配合器、搾乳機、健康管理キット(家畜用体温計、聴診器、簡単な薬品やビタミンなど)) |

| | | |
|-------|--|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 同僚とのバランスから必要 ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 業務上必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(高地寒冷) 気温(-10~20 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | 標高3700~4000mの高地に位置し、年間を通じて寒冷な気候であるため、相応の体力が必要。 学歴については大卒-獣医学でも良い。 |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 318 - 13- B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| エクアドル | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ポリーバル県庁 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ポリーバル県庁経済・生産開発部 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ポリーバル県グアランダ市サン・シモン地区 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 260 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 当国山岳地域に位置するポリーバル県では、県民18万人のうち12万人が周辺村落に居住し、そのうち90%以上が貧困層(政府の設定する貧困ラインは2.54米ドル/日)である。県庁では貧困対策を最重要課題とし、インフラ整備、地場産業及び観光業の活性化等の事業を実施している。年間予算約12億円。日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力の実績あり(主に学校建設及び道路整備等)。韓国人ボランティア2名が農業・情報分野で活動中。また現在SV(~2015.1)が販売促進分野で活動中。http://www.gobiernodebolivar.gob.ec/ |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ポリーバル県では農業が主要産業であるが生産性は高いとは言えず、特に小規模農業生産者は十分な現金収入を得られていない。また、生産者の大部分が小規模農家であることから、設備投資などの資金も不足している。このため経済・生産開発部は小規模農家を対象とした各種農業生産物のプロジェクトを実施し、小規模農家の支援を行っている。養鶏に関しては、特に採卵鶏の生産に力を入れており、郊外にある配属先敷地内に鶏舎を建設し、高い産卵能力をもつイサブラウン種と高地寒冷気候に強い現地のアラウカノ種の交配種を飼育している。その成鶏を県内高地村落の小規模農家に配り、鶏卵販売による現金収入向上に取り組んでいる。このような状況下、鶏の飼育方法などに関して新しい知識が求められており、ボランティアの派遣が要請された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先職員と活動を共にしつつ、以下の支援を行う。 ① 鶏の交配などについて助言を行う。 ② 鶏の病気管理方法について助言を行う。 ③ 投与する薬品(雛～成鶏)について助言を行う。 ④ 餌の調合(雛～成鶏)について助言を行う。 ⑤ 鶏舎の管理方法について助言を行う。 ⑥ 配属先職員と協力して鶏の配布先小規模農家に対し講習会を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品一式 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 高度な技術が求められるため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 人材育成が求められるため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(山岳高地乾燥) 気温(5~20 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 318 - 13 - B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| エクアドル | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) サリナス農業学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ポリバル県グアラダ市サリナス地区 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 200 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は標高3500mの山岳地域にある農業学校で、1984に設立された。生徒数は中等部8年生～10年生117名、高等部1年生～3年生(農業畜産科、経理経営科)100名、教師数16名。年間予算は273,603米ドル。7haに及ぶ農場を有し、畜産部門ではホルスタイン雑種牛、ヒツジ、ヤギ、肉用鶏、食用モルモットの飼育を行い、作物部門ではアンデス固有のジャガイモやキヌアに加え、ソラマメ、トウモロコシ、食用ホオズキなどを栽培している。地区の主産業は酪農、農業、観光業であり、チーズ、チョコレートなどが特産品である。チーズ生産組合ほか32の協同組合が組織され、相互に協力し地域の発展に寄与している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 サリナス地区は標高3500mに及ぶ高度のため、作物栽培にあまり適しておらず、放牧を主とした酪農が主産業となっている。サリナス農業学校では、アンデス固有のジャガイモ、キヌア、オカ(Oxalis Tuberosa)など地域に適した作物栽培と、主産業である酪農業に焦点をあてた教育を行っている。地域の乳牛一頭あたりの乳生産量は8リットル程度と決して高くなく、生産性を高めるために放牧牛の衛生管理(寄生虫のコントロール)と飼養管理(飼料の貯蔵)技術の向上が課題となっており、JVには伝統的な飼育方法を尊重しつつも、改善策を提案・実践し、学生および周辺農家にその技術を定着させることが期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業や実習で、地域特性(土壌・気候)を考慮した簡便な乳牛の衛生管理方法(寄生虫コントロール)および飼養管理方法(サイレージ、乾草)を提案し、実践方法を指導する。 2. チーズ組合、酪農家、農業学校の3者が連携した生産量アップ、衛生向上のための活動に対する助言、支援を行う。 3. 地域の酪農生産技術の向上を目的に、同僚とともに乳生産農家を対象とした講習会を開催する。 4. 乳牛の遺伝的素因の改善を目指した人工授精技術の普及を支援する。(当地では人工授精がほとんど行われていないが、校長がイニシアチブをとり普及に努めている。人工授精によるメリットを説き、モデル農家を対象とした人工授精を行う。) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農場 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート: 校長:50代男性 教育学士 および農業畜産科教員:40代男性 農業技師 指導対象 農業畜産科学生:45名 地域の酪農家多数 (巡回地域の乳牛約600頭) | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 農業学校での指導であるため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 農業学校での指導であるため ・ 人工授精経験 理由: 指導上必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 3 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 524 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マラウイ | 家畜飼育 | | | 1 | 26 / 2 |
| | | 2 | 26 / 3 | | |
| | | 3 | / | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムテンジ県農業開発事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムテンジ県ムテンジ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 西 方向 110 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食糧安全保障省は、全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。配属先はカスング農業開発局の下部組織にあたる農業開発事務所(DADO)である。その傘下にある普及所(EPA)を指揮しながら、農業分野全般の事業を行っている。外国の援助やマライ国内外のNGOが様々な形で関連しているが、配属部署である畜産課への直接の援助はない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは、酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精の普及が期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAボランティアによる農人工授精師養成プロジェクトの実施に合意し、講義や研修を実施してきたが、2011年11月に終了した。現時点においても、配属先管轄地域には1名しか人工授精師がおらず、100頭以上の乳牛に対応できていない。現在1名の家畜飼育のボランティアが活動を展開しているが、他地域と比べても、人工授精及び飼育管理等酪農の知識、情報が不足しているため、引き続き、ボランティアの要請があった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 任地における酪農家の支援を中心に、できることから以下の活動を行っていく。 ①酪農家を巡回し、飼育管理の支援をする。 ②配属先における人工授精業務の支援をする。 ③人工授精師養成事業に関連する業務を支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 配属先が所有する人工授精に関する機材はないものの、今後購入する予定 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 受入責任者: 事務所長 男性50代 カウンターパート: アシスタント家畜衛生開発オフィサー(DAHLDO) その他農業普及員 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (その他) | |
| 地 域 概 況 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 活動上の單車/自転車の必要性 | |
| | ・免許 (家畜人工授精師免許) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (畜産学) 理由:人工授精に関する知識が必要 ・経験 () () 理由: 理由: | | | <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 ○可 ●不可 | |
| 特 記 事 項 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) | | | 水道(○安定 ●不安定 ○なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |
| 特になし | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---|----------------------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 75) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 マラウイ | 職種 (コード C201) 家畜飼育 | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 日 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) サリマ県農業開発事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 サリマ県サリマ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南西 方向 100 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業食糧安全保障省は、全国を8地域にわけ、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。サリマ農業開発局の傘下にサリマ県農業開発事務所(DADO)が設置されており、その管轄下に7つの普及所(EPA)がある。配属先は管轄内の普及員と連携し、農業作物、畜産、灌漑などの指導を行っている。畜産課の予算は年間1,500,000円。JICAボランティアとしては家畜飼育の隊員1名が活動しているが、2013年12月で活動期間終了。複数のNGOが様々な形でサリマ県農業事務所を支援しているが、畜産分野においては直接の外国の援助は無い。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精が有効な手段として普及が期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAは農民人工授精師養成プロジェクトの実施に合意し、講義や研修を実施してきたが、2011年11月に終了した。同プロジェクトの終了後も前任者は、他の家畜飼育のボランティアと協力し、同研修の支援及び、フォローアップ支援を行ってきた。また任地での活動は、酪農グループの支援、人工授精師の技術支援や業務体制の支援、酪農家に飼養管理指導を行っている。サリマ県の酪農家はまだまだ少なく、酪農グループは存在するものの機能していない状況であるが、酪農牛も少しずつ増えてきているため、同任地への継続した支援が必要であり、今回の後任要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 任地の人工授精師、酪農家の支援を基盤に、次のような業務を行う。 1. 農民人工授精師に対し、技術的な支援をする。 2. 酪農グループに対して、人工授精の普及を行い、定着にむけた活動を行う。 3. 同グループの近隣酪農家に対し、安定した飼料確保及び、牛の飼養管理技術を支援する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器、グループ等人工授精時に使用する道具、液状精液または凍結精液 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (家畜人工授精師免許) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (畜産学) 理由: 同僚が大卒のため ・経歴 () () 理由: ・ 実務経験1年以上 理由: 活動上必要なため | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域 概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--|---|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 76) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | 派遣希望 | 派遣希望時期 |
| マラウイ | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) カロンガ農業開発局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 カロンガ県カロンガ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 北 方向 530. Km 主要都市(カロンガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業食糧安全保障省は全国を8地域にわけ、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。その下には県農業開発事務所(DADO)、普及所(EPA)がある。配属先は管轄内の下部組織と連携して、畜産振興や農業関連技術(加工や栄養も含め)の支援を行っている。おもな産業は稲作・椰子油・キャッサバ・綿花であり、畜産、特に酪農振興は始まったばかりである。現在家畜飼育隊員が活動中である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精が有効な手段として普及が期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAは農民人工授精師養成プロジェクトの実施に合意し、講義や研修を実施してきたが、2011年11月に終了した。前任者の活動は、酪農グループの支援、農民人工授精師の技術支援や業務体制の支援、酪農家に飼養管理指導を行っている。カロンガ県の酪農家はまだまだ少なく、酪農グループは存在するものの機能していない状況であるが、酪農牛も少しずつ増えてきているため、同任地への継続した支援が必要であり、今回の後任要請に至った | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 任地の人工授精師、酪農家の支援を基盤に、次のような業務を行う。 1. 農民人工授精師に技術的な支援をする 2. 配属先の人工授精業務の管理運営を支援する(精液の確保及び管理等) 3. 農家において人工授精の普及、定着にむけた活動を行う | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器、グループ等人工授精に使用する道具 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先事務所長:男性1名 カウンターパート:男性1名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (イ・M: C) 又は (イ・M:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (家畜人工授精師免許) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (畜産学) 理由: 同僚が大卒のため ・経歴 () () 理由: ・ 実務経験1年以上 理由: 活動上必要なため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 通信 | <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 | | | | |
| 特記 事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 77) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| マラウイ | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムワンザ県農業開発事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムワンザ県ムワンザ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南西 方向 450 Km 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業食糧安全保障省は全国を8地域にわけ、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。ブランタイヤ農業開発局の下に配属先であるムワンザ県農業開発事務所(DADO)が配置されており、その管轄下に3つの普及所(EPA)がある。配属先は管轄内の普及所と連携し、農業関連技術の支援を行っている。2012年12月まで1名の家畜飼育隊員が活動した。その他村落開発普及員1名が2013年6月末まで活動中。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精が有効な手段として普及が期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAは農民人工授精師養成プロジェクトの実施に合意し、講義や研修を実施してきたが、2011年11月に終了した。同プロジェクトの終了後も前任者は、他の家畜飼育のボランティアと協力し、同研修の支援及び、フォローアップ支援を行ってきた。また任地での活動は、同研修で育成された農民人工授精師の技術支援や、配属先における人工授精業務体制の支援、巡回しながらの酪農家グループの支援をしてきた。ムワンザ県の酪農事業は、まだまだ発展段階であり、継続したボランティアの支援を必要としているため、今回の要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 任地の人工授精師、酪農家の支援を基盤に、次のような業務を行う。 1. 農民人工授精師に技術的な支援をする 2. 配属先の人工授精業務の管理運営を支援する(精液の確保及び管理等) 3. 農家において人工授精の普及、定着にむけた活動を行う | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器、グローブ等人工授精時に使用する道具、液状精液、凍結精液 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先事務所長:男性1名 カウンターパート:男性1名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (家畜人工授精師免許) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (畜産学) 理由: 同僚が大卒のため ・経験 () () 理由: ・ 実務経験1年以上 理由: 活動上必要なため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 85) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マラウイ | 家畜飼育 | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料安全保障省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) チョロ県農業開発事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 チョロ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南東 方向 350 Km 主要都市(プランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.6 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食料安全保障省は全国を8地域に分け農業開発局(ADC)を設置している。プランタイヤ農業開発局の傘下に配属先であるチョロ県農業開発事務所(DADO)が配置されており、その管轄下に7つの普及所(EPA)がある。同配属先は管轄内の普及所と連携し、農業委関連技術の支援を行っている。現在1名の家畜飼育隊員が活動し、2013年9月末まで活動予定。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 牛乳消費量の半分を輸入に頼っている同国では、酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性向上のために、人工授精が有効な手段として普及が期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAは農民人工授精師養成プロジェクトの実施に合意し、講義や研修を実施してきたが、2011年11月に終了した。チョロ県は牛乳生産の盛んな県であるが、小規模農家における乳牛の飼養管理技術は一般的に未熟である。現在、家畜飼育隊員は管内の農家を巡回し、飼養管理技術の指導、農民人工授精師への支援を行っており(2013年9月終了)、同任地へ継続した支援が必要であり、今回の要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 任地の人工授精師、酪農家の支援を基盤に、次のような業務を行う。 1. 農民人工授精師に対し、技術的な支援をする。 2. 酪農グループに対して、人工授精の普及を行い、定着に向けて活動を行う。 3. 同グループの近隣酪農家に対し、安定した飼料確保及び、牛の飼養管理技術を支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 県農業開発事務所長 男性 50代 畜産課職員は普及所を含めて男性6名、30~50代 同僚は畜産の一般的な知識と指導経験がある。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 家畜人工授精師免許 理由: 活動で実務指導が必要なため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 527 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 3 / |
| ナミビア | 家畜飼育 | | 1 2 3 | 年 月 日 から | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 青少年スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ナショナルユースサービス | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オジョソンジュバ州リエトフォンテイン JICA事務所の所在地(ウイントフック)から 北 方向 400 Km 主要都市(オジワロンゴ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 当国は人口の多くを若者が占めているが、失業率が高く、その結果アルコールや薬物に汚染される若者も多い現状がある。政府はビジョン2030(国家長期政策構想)の中で、社会経済開発構想として、若者に対する教育とトレーニングの機会の提供を謳っており、2005年ナミビア青少年スポーツ省の外郭団体としてナショナルユースサービスが設立された。ホスピタリティー、配管工、金属加工、レンガ工、理髪、自動車整備、オフィスマネージメント等のコースがある。これまでに海外援助団体からの支援等なし。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ナショナルユースセンターは、職業技術訓練(教育)を通し、ナミビアの社会経済開発に貢献できる人材を育てるための様々なコースを有し、多くの若者が研修に取り組んでいるが、専門的な知識を有するスタッフがいらない。また同国内に専門技術を持った人材が少ないため青年海外協力隊の要請となった。 同センターの同施設は、以前ナミビアの牛乳メーカーが所有しており、搾乳から生乳に係る機材は揃っている。現在建物を改装しており、それが終わり次第、牛乳製造に必要な機材(新しいタンク、冷蔵機器等)を購入する予定である。 同センターには、400頭の牛が放牧飼育されており、そのうち40頭が乳牛である。現在牛乳のみを生産しているが、将来的に(数年後)チーズ、バター等の乳製品加工を行い地域で販売したいと考えている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ナショナルユースサービス研修所のあるリエトフォンテインで次の業務を行う。 ・牛乳生産に必要な環境整備準備補助(機材の購入へのアドバイス等) ・ナミビア人スタッフ及び研修者と一緒に牛乳生産を行い、関係者のスキルアップを図る。 ・牛乳の生産及び販売ルートの確立をナショナルスタッフと行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 現在ある農場、及び今後購入予定の機材。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 スタッフ45名(22~42歳) 基本的な牛乳生産の知識を有する。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 (家畜人工授精師) 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 専門的な知識が必要なため ・ 経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実践的なノウハウが不可欠なため ・ 酪農に関する経験 理由: 経験に基づいた指導が必要 | | | 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 地域 概況 | 気候(乾燥サバンナ) 気温(10~40 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記 事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 20 日

| | | | | | |
|--|---|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 539 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 派遣希望時期 |
| 南アフリカ共和国 | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | / |
| | | | | 3 | / |
| 年 月 日 | | | | | |
| から | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) エシャンゼニ職業訓練校(ムティンバ・キャンパス) <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 ムプマラガ州エシャンゼニ郡ムボンベラ町ヘイジービュー JICA事務所の所在地(プレトリア)から 東 方向 350 Km 主要都市(ネルスプリット(ムボンベラ))までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は同国に50ある公立職業訓練校(FET College)の一つであるエシャンゼニ職業訓練校の1キャンパスであり、農業に特化したコースを提供している。生徒は9学年修了資格(日本の中学校卒業相当)以上保有者。各学年で国家資格NCV(National Certificate (Vocational))レベル2~レベル4の取得を目的とするNCVプログラムとなっている。2013年学校年度における生徒数は約250名。職員数約30名。年間予算は約35百万円。これまでに野菜栽培(H22/3)、理数科教師(H22/3)隊員が派遣された。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国では1994年以降人種間格差是正を課題とした貧困層・弱者集団への富の再配分に重点を置いた政策を推進してきている。産業の発展に貢献する人材の育成を国家開発計画の中の一つとして取り組んでおり、また、若年層の失業率が20%を超える現状への取り組みの一つとしても、職業訓練校の拡充に注力している。JICAでは、2006年以来、職業訓練校にボランティアを派遣し、職業訓練校における実習授業の向上や基礎科目である数学の講師・生徒の技能向上に取り組んできている。本キャンパスの学生にとって家畜飼育は必修科目であるが、養鶏以外は「農家の裏庭での家畜飼育レベル」にある家畜飼育実習授業の改善が必要とされている。育種は、乳牛、肉牛、豚、ヤギ、羊、鶏(ブロイラー、レイヤー)と多種にわたる。基礎的な知識があれば対応可能。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 講師と協働もしくは分担して下記事項に取り組む。 1. 現地講師の授業補佐 2. 家畜管理に関する助言・実践・マーケティング(数量としては養鶏がメインとなる) 3. 家畜飼育場の必要機材リストを含む整備案等の提示 4. 授業環境整備(生徒個人ファイル整理方法の改善、授業時間確保のための庶務補助等) なお、乳製品加工についての知識もあるとよい。他の職業訓練校配属ボランティアとの協力も求められる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な農具、ブロイラー用養鶏場設備、コンピュータ(インターネット可)、コピー機等 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 数学講師:40代 男性 生徒:一クラス約60人(第1学年)、約20人(第2学年、第3学年)、年齢は16歳から20代前半 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (英語) | |
| | | | 7) 選考指定言語 英語 (I・M: D) 又は (I・M:) | | |
| 地域概況 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 活動上の単車/自転車の必要性 | |
| | ・免許 () 又は () | | | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | ・性別 (男性) 理由: 治安上 | | | 現職教員特別参加制度 | |
| ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 配属先要件 | | | | | |
| ・経歴 (実務経験) () 理由: 実践に基づく取組みのため | | | | | |
| 理由: | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 気候(温暖) 気温(5~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 住居は配属先教員住宅となりますが、隊員同士、もしくは現地講師とのルームシェアになる予定です。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 59) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料保障・協同組合省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムトワラ農業研修所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムトワラ州ムトワラ県ナリエンデレ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 南 方向 400 Km 主要都市(ムトワラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食料保障・協同組合省の農業研修局は、国内で12か所の農業研修所を運営し、農業普及員の育成を行っている。 ムトワラ農業研修所は、タンザニアの南部にある唯一の研修所で、現在は約560人の生徒が全寮制2年コースで農業全般(農地利用、灌漑、家畜、作物、食品生産等)を理論、実技を通して学んでいる。教員数14名。 研修コースは、日本の高校2年生修了者対象のCertificateコース、大学1年修了者対象のDiplomaコースがある。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 タンザニアにおける農業セクターは国内総生産の約1/4を占める基幹産業であり、全人口の約3/4が農村地域に居住し、その4/5以上が農業関係に従事している重要なセクターとなっている。 JICAは1970年代から農業セクターへの資金協力、技術協力の一連の支援を開始し、2000年代に入ってからタンザニア政府が推進する、農業セクター開発プログラム(ASDP)を支援する主要ドナーであり、タンザニア政府から高い評価を得ている。 その中で、農業研修所から農業普及員育成支援として、特に家畜飼育に関する指導者として要請があった。派遣後は、配属先での授業のほか、JICAの技術協力とも連携した活動も期待されている。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 学生に対して、授業や実習を通して家畜飼育に関連する科目(家畜飼料、給餌、基礎保健、管理など)を指導する ② 教員に対しても①と同様分野のアドバイスや技術を共有する ③ 実習場の家畜管理員への助言 ※現在、家畜飼育に関連する科目は、非常勤講師が指導しており、同講師と科目を分担する予定であり、すべての授業を担当するわけではない。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、実験室、実習場(牛、山羊、羊、豚、家禽)など |

| | |
|--|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 14名の教師(多くが農業系大卒以上、20~50代、家畜関係を担当する教員は現在欠員であるが、配属先近隣にある畜産研究所の職員が非常勤講師として指導している) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |
|--|--|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由:業務遂行上必要 ・経験 () () 理由: ・ 実務経験 2年以上 理由:業務遂行上必要 | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(海洋性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

| | | | | | |
|------------------------|------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 551-13-B-08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| ザンビア | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 日系/短期 | |
| | | | | 年 月 から | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 |
| | 2)配属先名 (日本語) マザブカ畜産研究所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 南部州マザブカ郡マザブカ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 南西 方向 130 Km 主要都市(マザブカ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.25 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 同施設は広大な敷地を有し、1928年に東部・南部アフリカの広域畜産センターとして設立され、1950年頃まで、獣医の研究施設として使用されていた。現在は、敷地の規模は当時と比べ縮小しているものの、農業・畜産省管轄の畜産研究所として主に肉牛、乳牛の人工授精や鶏の交配に関する調査を行っている。2000年頃まではベルギー、最近までチエコの援助が入っており、人工授精に係る設備には比較的最新の機材が設置され同施設の研究スタッフが日々使用している。また、70年代中盤から90年代後半頃まで、南部州では多くの家畜飼育JVが活動を行っていた。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 ザンビア国の南部州では一般的に畜産農家が多く、放牧が盛んに行われている。しかし小規模農家レベルでは、自然交配を繰り返している為に純粋な良品種が減少している。同研究施設では、これまでも人工授精を通じたザンビア南部州の伝統的な品種の保存や、質の良い肉牛、乳牛の調査・研究を行っており、他国の支援を受け人工授精に関する情報や冷凍保存用の機材が導入・更新されている。調査を行う職員は農業大学や短期大学を卒業し、知識は身に付けているが、実務経験が浅く、経験豊富なスタッフが不足している。農業・畜産省畜産局の中にはJICAの制度にて日本で研修を受けた事もある職員が複数おり、長期間ザンビア国で指導できる経験豊富な人材を求めており、今回の要請へとつながった。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) テクニカルアドバイザーとしてこれまでの経歴をもとに、配属先同僚に対する以下の事を可能な範囲で行う ・家畜の人工授精や品種改良の指導 ・牧草栽培の指導 ・放牧地管理の指導 ・養鶏施設管理の指導 ・その他、配属先の日常業務や本配属先以外の関連機関においても配属先同僚と共に巡回指導が期待されている |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室(机、椅子など)、家畜人工授精に係る設備(採精所、人口腔、電子顕微鏡、ストロー印刷機、凍結器、保管庫など)、放牧農場、養鶏施設、牧草農地 |

| | | |
|---|--|---------------------------------------|
| 要 | 4)配属先同僚及び活動対象者 施設長 50代 男性 大卒(人口授精専門) 研究員 20代~40代 大卒5名 短大卒5名 その他、一般職員 20代~40代 男女 20名 | 5)活動使用言語 (英語) |
| | | 6)生活使用言語 (その他) |
| | | 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由:同僚が大卒レベルであるため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:指導に実務がともなうため ・人工授精、牧草管理、養鶏管理のいずれか 理由:期待されている業務であるため | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 特記事項 | 同配属先からSVの要請も上がっており、同僚として活動を共にする可能性あり。 配属先敷地内の職員住宅が提供される予定。 |
|------|---|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|--|-------|
| 要請番号(JL 551 - 13 - B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ザンビア | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 26 / 1 | 年 月 日 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムピカ農業短期大学 <input type="radio"/> NGO | | | | | |
| | 3) 任地 ムチンガ州ムピカ郡ムピカ郊外 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北東 方向 650 Km 主要都市(ムピカ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ザンビア全国に3カ所ある農業短期大学の一つ。ムピカ中心部から約20km離れた広大な敷地内に農園、農場、重機整備場等を構え、講師約15名、学生約300名の2年制及び3年制の農業短期大学。学生は、畜産、作物、農業工学、水工学、土壌科学、農業経営等の理論、実践を学んでいる。学生は、2年目に農業・畜産省下の北部州農業事務所農業研修所にて6週間の実地訓練を行っている。 また生産部門においては乳製品、鶏、豚、牛の肉等を取り扱っている。過去に農業共同組合のボランティアが活動しており、農業経済学の授業を担当していた。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアの農業短期大学では、優秀な人材が民間に流出したり、海外に留学したりと講師の絶対数が不足している。ボランティアは、一講師として幅広く畜産に関する実技および座学の授業を受け持つ他、敷地内の農園、農場および生産部門の運営に関するアドバイスも求められる。また、学生が2年目に行う実地訓練の施設でもある農業・畜産省北部州農業事務所が管轄する、農業研修所と協力し、学生に対する教育現場の実態と、農民・農業普及員に対して行っている研修を双方向から見直すため、州農業研修所と情報共有を行いながら、連携する事も求められる。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚講師と共に以下の活動を行う。 ・学生に対する畜産に係る実習および座学 ・敷地内にある農場運営および生産部門に関するアドバイス。また、同僚講師、上司と共に授業に関する実施要領の見直しや改訂作業、最新技術の情報共有 ・北部州農業事務所農業研修所との連携に伴う意見交換や情報提供 ・その他、配属先運営に係る一般業務のサポート | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プロジェクター、ホワイトボード、DVDプレーヤー、モニター等 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長(男性) 大卒レベル 同僚講師(30歳~50歳) 大卒レベル 学生(高卒レベル) | | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由:実技、座学を担当するため ・経歴 () () 理由: 家畜飼育に関連する経験1年程度 理由:実技、座学を担当するため | | | | 6) 生活使用言語 (その他) | |
| 地域概況 | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記事項 | 配属先敷地内にある職員住宅が提供される。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------|--|---|----------|
| 要請番号(JL 551 - 13- B - 23) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | ● 2 年 | ○ 1 年 |
| ザンビア | 家畜飼育 | | | ○ ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | JOCV/SV | |
| | | | | 日系/短期 | |
| | | | | 年 月 から | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ゴールデンバレー・アグリカルチュアル・リサーチ・トラスト | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 南部州チヨマ郡バトカ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 南西 方向 280 Km 主要都市(チヨマ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ザンビア政府支援の下、1993年に設立され、現在は独自にパブリック・プライベート・パートナーシップとして作物、畜産および綿花部門を有し、畜産の研究調査や小規模農民に対する各種支援を行っている。畜産部門は、9,070haの敷地に、肉牛、乳牛、山羊、鶏といった家畜を有し、品種改良や飼育に関する調査・研究を行うと共に飼料となる牧草についても独自に生産している。また、小規模酪農家に対し、乳製品共同組合と共に飼育技術のサポートを行うと共に疫病等に関するワークショップも実施している。年間予算は約40万ドルで、同組織の生産部門売上げと政府が約5割、ノルウェー、スウェーデン他からの援助が約5割となっている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアの南部州では、他の地域と比較して酪農が盛んに行われており、地方の小規模から商業用の大規模な農家まで家畜の飼育が盛んに行われている。同配属先には関連大学を卒業した職員が配置され、研究や調査および小規模農民に対するワークショップも実施できる設備が整っているものの、職員の実践的な知識がまだ十分なレベルとは言えない。小規模農家では家畜の交配に関し、伝統的な方法で行っており、山羊についてはザンビア以南のアフリカ地域で飼育されている同種と比較し、大きさだけでは無く、病気に対する免疫も十分では無い。今後、効果的に小規模農民に対し、飼育や疫病についてのワークショップを実施して行くために、職員の能力向上が必要とされている事、牧草や家畜の品種改良に係る知識が必要とされている事から、畜産の知識を持ったボランティアの要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚と共に以下の活動を行う。 ・配属先スタッフおよび周辺の小規模農民に対する飼育方法の指導 ・配属先農場にて栽培している牧草および飼料の管理 ・配属先がサポートする牛乳回収所と連携した小規模農民に対するトレーニングの実施 ・その他、配属先が行う日常業務のサポート | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 畜産にかかる一般的な機材一式 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長 男性 50代(大学院卒 家畜飼育分野での経験20年) 同僚 女性 30代(大卒 家畜飼育分野での経験 4年) 同僚 男性 30代(大卒 酪農分野での経験6年) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 同僚および農民へ指導する為 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚および農民へ指導する為 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ● 単車 ○ 自転車 ○ 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) | | 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | | |
| 特記事項 | 住居は、配属先内のゲストハウスを使用する予定。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 642 - 13 - B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| セネガル | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 畜産省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) テイエス県畜産局 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 テイエス州ティエス県ホンボル市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 東 方向 97 Km 主要都市(テイエス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ティエス県内の畜産を監督する機関。県内に4つの出張所を設置しており、それぞれ1名ずつの畜産技官が配置されている。畜産技師たちは、ウシ、ヒツジ、ヤギ、ニワトリ、ウサギ等の家畜飼育者に対する生産技術の向上、家畜の伝染病対策などのセミナーや啓発活動を行っている。年間予算は約40万円。現在外国からの援助はなし。同市には初めてのJICAボランティアの要請となる。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同地域はセネガル国土の中央部に位置し、収入創出の手段として広大な土地を利用したウシやニワトリ等の家畜飼育を営む住民、遊牧民が多い。また、管轄地域は首都ダカールや地方都市ティエスからさほど遠くないことから、国内でも有数の家畜市場が複数存在しており、畜産業は同地域にとって重要な産業の1つになっている。セネガル国政府自身もアフリカ開発銀行から支援を受けて、PAPEL2(牧畜支援プロジェクト)を2000年~2009年に実施し畜産業の生産技術向上に努めた。上述したように配属先は、県内に4つの出張所を設置して各畜産技官が巡回しているが、畜産農家が多いため十分な支援が行えていないのが現状である。こうした状況の中、管轄地域の中でも特に畜産農家が多いホンボル市を拠点に活動するのJVの要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ホンボル出張所とチエナバ出張所(ホンボル市から西に約10キロ)の畜産技官と協力しながら、以下の活動を行う。 ① 周辺地域のモチベーションの高い家畜農家を定期的に巡回し、生産・技術の指導やセミナー等を企画する。 ② 肉、卵、乳製品等の生産物の保管、移送等の品質管理に関する助言を行う。 ③ 販売促進等を行い、収入向上に貢献する。 ④ 地域の畜産業に関する現状把握を行い、任地から約30キロ離れたティエス市にある配属先と情報共有する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機やパソコン等、配属先にある事務機器。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先局長 : 女性、40代 出張所(ホンボル市): 男性、50代 活動対象者 : 家畜農家 | | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 農民対象指導のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------|---|--|---|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 642-13-B-44) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| セネガル | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 畜産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジュルベル州畜産局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ジュルベル州ジュルベル県ジュルベル市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 東 方向 150. Km 主要都市(ティエス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ジュルベル州内の畜産を監督する機関。下部組織として同州ジュルベル県、ンバケ県、バンベイ県の3県にの畜産局を設置している。さらにジュルベル県に2ポスト、ンバケ県に5ポスト、バンベイ県に3ポストの出張所を設置しており、ウシ、ヒツジ、ヤギ、ニワトリ、ウサギ等の家畜飼育者に対する生産技術の向上、家畜の伝染病対策などのセミナーや啓発活動を行っている。年間予算は約170万円。 同配属先はJICAボランティアを受け入れるのは初めてだが、州局長は前ポストでJICA「農村自立発展プロジェクト」(2008年～2012年)でJICAとの協力実績とJVの受入実績がある。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同地域はセネガル国土の中心に位置し、厳しい乾燥と水不足等により農業を継続することは難しく、収入創出の手段としてウシやニワトリ等の家畜飼育を営む住民、遊牧民が多い。また、政府に認定された畜産保護地域が多数あり、畜産業は同地域にとって重要な産業の1つになっている。セネガル国政府自身もアフリカ開発銀行から支援を受けて、PAPEL2(牧畜支援プロジェクト)を2000年～2009年に実施し畜産業の生産技術向上に努めた。 その中で同局は日々巡回指導を行っているが、州内全域を巡回することは容易ではなく十分な支援が行っていないのが現状である。こうした状況の中、ジュルベル州内でも特に家畜が盛んなジュルベル県ンディンディ郡を含む、ジュルベル市周辺地域のモチベーションの高い家畜農家に対する支援の必要性から本要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 各ポストの家畜飼育担当者とは協力しながら、以下の活動を行う。 ①ンディンディ郡等、周辺地域のモチベーションの高い家畜農家を定期的に巡回し、技術的な指導やセミナー等を企画する。 ②肉、卵、乳製品等の生産物の保管、移送等の品質管理に関する助言を行う。 ③販売促進等を行い、収入向上に貢献する。 ④地域の畜産業に関する現状把握を行い、配属先と情報共有する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機やパソコン等、配属先にある事務機器。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先局長 : 男性、50代、大卒 出張所スタッフ: 男性、50代(ンディンディ郡) 活動対象者 : 家畜農家 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (畜産学) 理由: 活動上不可欠 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 642 - 13 - B - 50) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| セネガル | 家畜飼育 | | | 1 | JOCV/SV | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 1 | |
| | | 3 | 26 / 2 | | | |
| | | | 〇 2 年 | 26 / 3 | | |
| | | | 〇 1 年 | | | |
| | | | 〇 ヶ月 | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 畜産省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) リンゲール県畜産局 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ルーガ州リンゲール県リンゲール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北東 方向 305 Km 主要都市(ルーガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 リンゲール県内の畜産を監督する機関。県内に14の出張所を設置しており、ウシ、ヒツジ、ヤギ、ニワトリ、ウサギ等の家畜農家に対する生産技術の向上、家畜の伝染病対策などのセミナーや啓発活動を行っている。また、JICA「農村自立発展プロジェクト」(2008年～2012年)が実施され、同局スタッフも同プロジェクトからの支援を受け研修等に参加した。現在、外国からの援助はなし。2012年予算は約40万円。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同地域は、厳しい乾燥と水不足等により農業を継続することは難しく、収入創出の手段としてウシやニワトリ等の家畜飼育を営む住民、遊牧民が多い。また、セネガル政府に認定された畜産保護区域が多数あり、畜産業は同地域にとって重要な産業の1つになっている。セネガル国政府自身もアフリカ開発銀行から支援を受けて、PAPEL2(牧畜支援プロジェクト)を2000年～2009年に実施し畜産生産技術向上に努めた。同局は日々巡回指導を行っているが、県内全域(約2万平方km)を巡回することは容易ではなく、モチベーションの高い家畜農家に対し十分な支援が行えていない。こうした状況の中、家庭での家畜飼育で特に需要のある養鶏のレベルアップを目的に、定期的に巡回可能で細かな指導ができるJVの要請に至った。また、平成24年度草の根無償資金協力「リンゲール畜産研修施設整備計画」が確定し、市内に研修施設が建設予定である。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先管轄地域を巡回しながら、以下の活動を行う。 ①モチベーションの高い家畜農家に対し、技術的な指導、支援を行う。 ②村落部ではセミナー等を企画し、養鶏を始めとした家庭での家畜飼育の普及を行う。 ③肉、卵、乳製品等の生産物の品質管理、販売促進等を行い収入向上に貢献する。 ④地域の畜産業に関する現状把握を行い、配属先と情報共有する。 ⑤草の根無償資金協力「リンゲール畜産研修施設整備計画」で建設される研修施設の運営補助を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機やパソコン等、配属先にある事務機器。 |

| | | |
|------------------|---|--|
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先局長 : 男性、50代、大卒 配属先スタッフ : 男性、30代 出張所スタッフ : 男性(14カ所に11名が配置) 活動対象者 : 家畜農家 | 5) 活動使用言語 (フランス語) |
| | | 6) 生活使用言語 (その他) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (畜産学) 理由: 活動上不可欠 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| | | |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15-45 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 642 - 13 - B - 59) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| セネガル | 家畜飼育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 畜産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ルーガ州畜産局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ルーガ州ルーガ県ルーガ市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北東 方向 193 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ルーガ州畜産局は、家畜飼育の生産技術向上、家畜の伝染病対策等、州内の畜産業(ウシ、ヒツジ、ヤギ、ニワトリ、ウサギ等)の管理・監督や畜産業従事者に対するアドバイスを行う行政機関である。2008年から2012年3月まで実施されたJICA技術協力プロジェクト「農村自立発展プロジェクト」はルーガ州を対象としており、住民の生活・生計向上を目指す取り組みのひとつとして、牧畜に関する活動も行われた。他、外国援助機関による伝染病対策などのセミナーも行われている。年間予算は約30万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ルーガ県においては、上記プロジェクトの他、野菜栽培JV、村落開発普及員JVが派遣され、住民の組織力を活用した野菜栽培、生活改善活動等、コミュニティレベルで活動を展開してきた。前任JVは、村落を巡回しながら、小規模な家畜飼育を行う住民に対し、生産性向上の技術支援を行ったり、上記他職種JVと連携し、マイクロジャルディナビ(野菜栽培と養鶏を同時に行う改良鶏舎)の導入検証を行った。特に中学校におけるマイクロジャルディナビの導入は、生徒に対する教育的効果と同時に、学校運営にあてる収入の創出を可能にし、今後のさらなる展開のため、ボランティアによる活動の継続が期待されている。同州内の農業省機関とも良好な関係があり、連携した活動展開も可能である。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①前任JVが発掘したマイクロジャルディナビの学校における展開可能性を検証し、発展させる。 ②活動地域における住民のニーズに基づき、小規模な家畜飼育(家禽類、ウサギ等)の普及を支援する。 ③収入向上や栄養改善等、生活改善に結び付くような家畜飼育の提案を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 局長 男性 50代 州内地域担当技官 6名 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 専門的な知識が必要 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---------|----------|
| 要請番号(JL 745 - 13- B - 20) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C201) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 2年 | 1 26 / 1 |
| キルギス | 家畜飼育 | | | 1年 | 2 26 / 2 |
| | | | 〇 〇ヶ月 | 年 月 日から | |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ナリン州政府 2) 配属先名 (日本語) ナリン県事務所農業開発経営課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ナリン市 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 南西 方向 320 Km 主要都市(ナリン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| 要請概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 ナリン州は、5つの県から成り立っており、ナリン県事務所は、州都ナリン県ナリン市にある。ナリン県事務所は、市および村の各行政部と協同し、住民の生活に必要な各種公共サービスを提供している。 |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先のあるナリン州ナリン市は、キルギスの中央部に位置し、海拔2000mの標高にある。周囲3000m~4000mの山々に囲まれており、牧畜業(羊、牛)が盛んである。しかし、ソ連崩壊後、集団農業経営の衰退と共に、農業、特に家畜に関する知識を持った農家による飼育がなされていない状況である。 |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先スタッフと協働して、以下の活動を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 配属先が管轄している近隣農家へ調査を行い、家畜飼育に関する指導。 2) 配属先と協力し、家畜を飼育している農家のために、家畜飼育に関するカリキュラム、教材等の作成。 3) 配属先と協働して家畜飼育に関するセミナー開催等の活動を実施する。 |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 家畜飼育に関する機材 |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:4名 ナリン県農業開発経営課 課長 1名(農業大卒・家畜専攻) 50代 ナリン県農業開発経営課 係員 1名(農業大学卒) 40代 指導対象層:ナリン市近隣農家およびナリン県農業開発経営課 |
| 要請概要 | 5) 活動使用言語 (キルギス語) 6) 生活使用言語 (キルギス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|---|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 専門的知識が要求されるため ・経歴 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|---|---|

| | | |
|------|---|--|
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(-25~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|--|

| | |
|------|---------------|
| 特記事項 | 村でのホームステイとなる。 |
|------|---------------|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|----------------------------------|---------------------------|
| 要請番号(JL 027 - 13- B - 24) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 / | 日系/短期 年 月 から |
| ベトナム | 家畜衛生 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ホーチミン市人民委員会 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ホーチミン市公営牧場 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ホーチミン市クチ郡 JICA事務所の所在地(ハノイ)から 南 方向 1700 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同牧場はベトナム戦争終結後、ホーチミン市中心部からの入植者により開墾され、1977年に設立された国営農場を前身とし、その後ホーチミン市へ移管、2007年に現在の名称に変更された。440haの牧草地、2,800haのゴムのプランテーションを含む総面積は約3,300ha。総職員数約1,500名。乳牛、肉牛、肉用山羊の生産、ゴムのプランテーション、蘭の栽培等を実施。牧場は5km圏内の7ヶ所に別れ、6牧場で乳牛約1,000頭、肉牛約2,000頭、1牧場で肉用山羊1,000頭を飼育。また外来優良乳牛(ホルスタイン種)の精子を用いた人工授精による交雑種(F1、F2)を生産し、周辺農家へも供給。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同市が運営する公営企業で、周辺地域の牧畜振興の他、市の財政にも大きく貢献している。更なる技術向上を目指しており、ボランティアと協働することで新しい技術や知識を習得することを要望している。特に乳牛の乳房炎や肢・蹄病のより適切な診断と治療、人工授精における受精・着床率の向上を目指している。周辺農家への研修や、学生実習等の受入も時に実施しており、同配属先の能力向上は地域全体の畜産振興に与える影響が大きい。 なお、牧場は5km圏内の7ヶ所に分かれているため、必要に応じてそれぞれの牧場を巡回する。それぞれの牧場あたりの従業員は、獣医師1名、技師1~2名、守衛1名を含む20~30名。ボランティアはそのうちの1牧場を中心に活動しながら、必要に応じて他の牧場へも巡回を行う予定。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、関係者との良好な関係構築、現状把握に重点を置く。その後以下の活動を配属先の一員として同僚とともに実施しながら、獣医師や技師の技術、知識の向上と牧畜振興を支援する。乳牛、肉牛、肉用山羊が生産されているが、対象は主に乳牛となる。 ① 獣医師として同僚獣医師、技師とともに診断、治療を実施する。 ② 協働による技術交流を通し、お互いに不足している部分の技術、知識の向上を図る。 ③ 問題点を分析し、実施可能な具体的改善策を提案する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 自動搾乳機システム1機、他は簡易搾乳機。 獣医師用の基本的な機材はあるが、超音波検査などの高度な設備、機材はない。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 本社技術部長(女性/40代/経歴15年) 中心となる牧場の班長(男性/40代/経歴20年)、副班長4名(男性) 獣医師(男性9名、女性1名/20代~40代) 技師2名 | | | 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (獣医師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 応用力が必要なため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバナ) 気温(20~35℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 牧場内の宿舎が提供される予定である。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 130 - 13 - B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| トンガ | 家畜衛生 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料・林業・水産省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 畜産局畜産センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 スクアロファ JICA事務所の所在地(スクアロファ)から 南西 方向 8 Km 主要都市(スクアロファ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 家畜センターは、農業・食料・林業・水産省の一部局で、主な業務は農業政策策定のための調査研究、生産性向上のための農家指導、家畜飼育の推進、すべての動物に関する獣医学上の対策などを行っている。トンガでは獣医師資格者はおらず、獣医師に代わる技術者が農家への指導や治療を行っている。センターの年間予算約2千万円。老朽化した建物や慢性的な予算不足で治療薬や検査薬は不足しており、同僚であるセンター職員と前任となる獣医師隊員はセンター運営の向上を図っている。ニュージーランドからの動物愛護団体SPAWの獣医とともに離島巡回診療に参加している。同僚2名は日本でJICA技術研修に参加した。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 トンガには獣医師がいないため獣医に関する業務が山積している。獣医師に代わる技術者と犬・猫などの去勢・避妊手術や病気の相談、牛や豚などの家畜を育てる農家への指導やトンガ王室所有の馬の健康管理など、獣医師としての活動が期待されている。現在活動している獣医師隊員は、家畜センターでの業務以外に、週2-3日の巡回指導しながら、家畜センター技術者への技術指導を行っている。また、同僚と共に、国立病院薬剤部やSPAWなどから薬剤を調達する努力をしながら、家畜センターの円滑な運営への提案も行っている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①ペット(犬・猫)、家畜(豚・鶏・牛・羊)の病気診断と治療、外科的処置(去勢・避妊手術を含む)などを同僚とともに進行。 ②ペットの飼主や家畜を飼育している農家へのアドバイス(講習会の開催など)を行う。 ③家畜センター職員への技術指導を行う。 ④動物の感染症予防対策のアドバイスを行う。 ⑤安全な食肉に関する情報提供を行う。 ⑥動物検疫を同僚とともに進行。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 診察治療用器具(手術用器具を含む)、顕微鏡、遠心分離機、冷蔵庫、洗濯機、PC、プリンター、コピー機など。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 畜産担当オフィサー代理(女性 50代) 獣医師に代わる技術者8名(男性30代~50代) コンピュータ担当1名(男性) 事務1名(女性) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:現場での経験実績が必要 理由:専門的な知識・経験を要する | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15~33 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|
| 要請番号 (JL 545 - 13 - B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| ウガンダ | 家畜衛生 | | | 日系/短期 年 月 から | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 2) 配属先名 (日本語) ムバレ県庁 3) 任地 ムバレ県ムバレ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 東 方向 260 Km 主要都市(ムバレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| 配属先概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 ムバレ県は、ウガンダ東部の人口41万人の県である。主産業は農業で、食用作物としてイモ類や豆類、換金作物として米、コーヒーなどが栽培されている。また、鶏・牛・ヤギ・豚などが飼育されており、農家の家畜に対する関心は高い。JICAは2010年より農業・畜産・水産省及びマケレレ大学と共同して技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を実施しており、同県はその対象県として支援を受けている。県庁獣医事務所は、県内農家に対して家畜疾病治療やワクチン接種などの家畜衛生サービスを提供している。現在、長期隊員が活動中で、ラボ機能強化や疾病診断能力強化などに協力している。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先は技術協力プロジェクトのターゲットエリアになっており、県庁獣医事務所は同プロジェクトの支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図っている。 配属先スタッフの業務を支援しながら、ラボラトリーの稼働率を上げ彼らの診断技術を向上させる事を目的として本要請がなされた。同プロジェクトは現在のところ、2014年8月に終了予定であるが、人材育成には時間を要するため、草の根レベルでのボランティアのきめ細やかな支援が必要とされている。 | | | | |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管内の畜産農家から病原体サンプルを入手し、事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 畜産農家への疾病対策普及指導に係るアドバイスをを行う。 | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡・遠心分離器・滅菌機・インキュベーター・オートクレーブ・ヘマトクリット遠心器 | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 3名(獣医師2名・ラボテクニシャン1名) | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (獣医師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 検査業務や疾病診断を行うため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 住居には水道・電気がない場合がある。活動地域の道路の大半は未舗装、未整備である。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|--|---|
| 要請番号(JL 545 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| ウガンダ | 家畜衛生 | | | 日系/短期 年 月 日 から | |
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) ムバララ県庁 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ムバララ県ムバララ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 南西 方向 300 Km 主要都市(ムバララ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 ムバララ県は、ウガンダ西部に位置する人口46万人の県である。主産業は農業と畜産で、作物としてはバナナ、イモ類、豆類や野菜が栽培されている。また、牛・ヤギ・羊・豚・鶏などが飼育されており、農家の家畜に対する関心は高い。JICAは2010年より農業・畜産・水産省及びマケレレ大学と共同して技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を実施しており、同県はその対象県として支援を受けている。県庁獣医師衛生事務所は、県内農家に対して家畜疾病治療やワクチン接種などの家畜衛生サービスを提供している。これまで、長期隊員がラボ機能強化や疾病診断能力強化などに協力していた。 | | | | |
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 配属先は技術協力プロジェクトのターゲットエリアになっており、県庁獣医師事務所は同プロジェクトの支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図っている。配属先スタッフの業務を支援しながら、ラボラトリーの稼働率を上げ彼らの診断技術を向上させる事を目的として本要請がなされた。同プロジェクトは現在のところ、2014年6月に終了予定であるが、人材育成には時間を要するため、草の根レベルでのボランティアのきめ細やかな支援が必要とされている。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管轄内の畜産農家から病原体サンプルを入手し、事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 畜産農家への疾病対策普及指導に係るアドバイスを行う。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡・遠心分離器・滅菌機・インキュベーター・オートクレーブ・ヘマトクリット遠心器 | | | | |
| 資格条件等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 2名(獣医師1名・畜産普及員1名) | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (獣医師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 検査業務や疾病診断を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 事務所スタッフが少ないため、他の獣医師が外勤の間、ボランティアがラボでの検査業務を主に行う必要がある。住居には水道・電気がない場合がある。活動地域の道路の大半は未舗装、未整備である。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 545 - 13 - B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 家畜衛生 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ワキソ県庁 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ワキソ県ワキソ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北西 方向 40. Km 主要都市(ワキソ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ワキソ県は、首都カンバラを取り囲むように位置する人口130万人の県である。主産業は農業で、食用作物としてイモ類や豆類、換金作物としてコーヒーや綿花などが栽培されている。また、鶏・豚・ヤギ・牛などが飼育されており、農家の家畜に対する関心は高い。JICAは2010年より農業・畜産・水産省及びマケレレ大学と共同して技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を実施しており、同県はその対象県として支援を受けている。県獣医衛生事務所は、県内農家に対して家畜疾病治療やワクチン接種などの家畜衛生サービスを提供している。現在、初代JVが活動中で、ラボ機能強化や疾病診断能力強化などに協力している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は技術協力プロジェクトのターゲットエリアになっており、県庁獣医事務所は同プロジェクトの支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図っている。 配属先スタッフの業務を支援しながら、ラボラトリーの稼働率を上げ彼らの診断技術を向上させる事を目的として本要請がなされた。同プロジェクトは現在のところ、2014年6月に終了予定であるが、人材育成には時間を要するため、草の根レベルでのボランティアのきめ細やかな支援が必要とされている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管轄内の畜産農家から病原体サンプルを入手し、事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 畜産農家への疾病対策普及指導に係るアドバイスを行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡・遠心分離器・滅菌機・インキュベーター・オートクレーブ・ヘマトクリット遠心器 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 県獣医事務所のスタッフとして3名(獣医師3名) その他サブカウンティに3名の獣医師が配置されている他、畜産指導員が20名程配置されている。年齢層は30~40代 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (獣医師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 検査業務や疾病診断を行うため 理由: | | | 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 地 域 概 況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) | | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 住居には水道・電気がない場合がある。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 6 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|--|----------|
| 要請番号 (JL 545 - 13 - B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| ウガンダ | 家畜衛生 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 2 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | 3 26 / 3 | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 2) 配属先名 (日本語) ムビジ県庁 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ムビジ県ムビジ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 南西 方向 40 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 ムビジ県は、広さ1500km ² 、人口20万人の県で、主産業は農業で、さつまいも、豆、バナナ、コーヒーや綿花などが栽培されている。また、鶏・肉牛・乳牛・豚・ヤギなどが飼育されており、農家の家畜に対する関心は高い。JICAは2010年より農業畜産水産省及びマケレレ大学と共同して技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を実施しており、同県はその対象県として支援を受けている。県獣医師衛生事務所は、県内農家に対して家畜疾病治療やワクチン接種などの家畜衛生サービスを提供している。家畜飼育隊員が派遣された後、現在は獣医師が活動中で、ラボ強化や疾病診断能力強化などに協力している。 | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 配属先は技術協力プロジェクトのターゲットエリアにある獣医事務所として、同プロジェクトの支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図っている。配属先所属の獣医師や畜産普及員は、県内畜産農家の巡回を行っており、事務所併設のラボラトリーでの業務に専念することは難しい。このため、配属先スタッフの業務を支援しながら、ラボラトリーの稼働率を上げ彼らの診断技術を向上させる事を目的として本要請がなされた。同プロジェクトは現在のところ、2014年6月に終了予定であるが、人材育成には時間を要するため、草の根レベルでのボランティアのきめ細やかな支援が必要とされている。 | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管轄内の畜産農家から病原体サンプルを入手し、事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 畜産農家への疾病対策普及指導に係るアドバイスを行う。 | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ヘマトクリット遠心器、顕微鏡、オートクレーブ、インキュベーター、遠心分離器 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 獣医師4名(うち3名はサブカウンティにて活動) 畜産普及員6名(うち4名はサブカウンティにて活動) | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (獣医師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 検査業務や疾病診断を行うため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 水道はなく、近くの水タンクから汲んできて、ため水を使用する。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 545 - 13 - B - 28) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ウガンダ | 家畜衛生 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) チボガ県獣医事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 チボガ県チボガ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北西 方向 120 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 チボガ県は首都カンバラの北西に位置し、2010年に2県に分県化された。人口は約14万人。主産業は農業と畜産業である。県人口の80%がこれに従事しており、特に西部では畜産業が盛んである。JICAは2010年より技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を開始し、農業畜産水産省とマケレレ大学との協働を通じた国レベルの家畜疾病診断体制強化を行っている。その中で、同県は対象地域に選定され、疾病診断技術の向上等にかかる支援を受けている。配属先は農家に対する家畜衛生サービス(疾病治療、ワクチン接種、農家指導)を主業務としている。これまで短期隊員が派遣されており、長期隊員は今回が初めてとなる。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は技術協力プロジェクトのターゲットエリアにある獣医事務所として、技術協力プロジェクトにより支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図っている。また、配属先スタッフは周辺畜産農家の巡回を行っており、事務所併設のラボラトリーでの業務に専念する事は難しい。この為、配属先スタッフの業務を支援しつつ、ラボラトリーの稼働率と彼らの技術向上を目的として本要請がなされた。これまで、短期ボランティアが数名入っており、今回が初代の長期ボランティアとなる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管内の畜産農家から病原体のサンプリングと事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 農家への疾病対策普及指導を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ヘマトクリット遠心器、顕微鏡、オートクレーブ、インキュベーター等 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 獣医師(3人 このうち2名はサブカウンティにて活動) | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (獣医師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 検査業務や疾病診断を行う為 理由: | | | 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記事項 | 住環境が厳しく、トイレが屋外設置の可能性はある。また、技術協力プロジェクトとの情報共有が望まれる。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 40) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 家畜衛生 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料保障・協同組合省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ウキリグル農業研修所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムワンザ州ミスンガイ県ウキリグル JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 北西 方向 850 Km 主要都市(ムワンザ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食料保障・協同組合省の農業研修局では、国内で12か所の農業研修所を運営し、農業普及員の育成を行っている。ウキリグル農業研修所は、現在は約200人の生徒が2年コースで農業全般(家畜、作物等)を理論、実技を通して学んでいる。教員数約20名。取り扱っている家畜は牛、鶏、豚、羊、ヤギ、ロバ。 研修コースは、日本の高校2年生修了者対象のCertificateコース、大学1年修了者対象のDiplomaコースがある。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 タンザニアにおける農業セクターは国内総生産の約1/4を占める基幹産業であり、全人口の約3/4が農村地域に居住し、その4/5以上が農業関係に従事している重要なセクターとなっている。 JICAは1970年代から農業セクターへの資金協力、技術協力の一連の支援を開始し、2000年代に入ってからタンザニア政府が推進する、農業セクター開発プログラム(ASDP)を支援する主要ドナーであり、タンザニア政府から高い評価を得ている。 その中で、農業研修所から農業普及員育成支援として、特に畜産学に関する指導者として要請があった。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生に対して、授業や実習を通して畜産学(家畜の改良、管理など)に関して指導する 2. 教員に対しても1と同様分野のアドバイスや技術を共有する | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 焼き印用のこて、スペキュラ、トリミングナイフ、耳輪、鼻輪、ミルク缶など。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は20～60代(2012年現在)。 同僚教師は約20名(内畜産学正教員2名、臨時教員2名)。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚と同等の経験が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15～30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 80) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C211) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| タンザニア | 家畜衛生 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | 3 | 26 / 3 | 年 月 から |
| | | | | / | |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食料保障・協同組合省 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) イロンガ農業研修所 <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 モロゴロ州キロサ県イロンガ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 西 方向 270 Km 主要都市(ダルエスサラーム市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農業・食料保障・協同組合省の農業研修局では、国内で12か所の農業研修所を運営し、農業普及員の育成を行っている。イロンガ農業研修所は、タンザニア内陸部にある研修所で、現在約330人の生徒が全寮制2年コースで農業全般(農地利用、灌漑、家畜、作物、食品生産等)を理論、実技を通して学んでいる。教員数24名。研修コースは、日本の高校2年生修了者対象のCertificateコース、大学1年修了者対象のDiplomaコースがある。 | |

| | | |
|------------------|---|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 タンザニアにおける農業セクターは国内総生産の約1/4を占める基幹産業であり、全人口の約3/4が農村地域に居住し、その4/5以上が農業関係に従事している重要なセクターとなっている。JICAは1970年代から農業セクターへの資金協力、技術協力の一連の支援を開始し、2000年代に入ってからタンザニア政府が推進する、農業セクター開発プログラムを支援する主要ドナーであり、タンザニア政府から高い評価を得ている。その中で、農業研修所から農業普及員育成支援として特に家畜衛生に関する指導者として要請があった。派遣後は、配属先での授業のほか、JICAの技術協力とも連携した活動も期待されている。 ※JICAはASDP推進支援とコメ生産能力強化支援を実施中(財政支援、技術協力プロジェクト、専門家派遣、研修等)。 | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 研修生に対する家畜衛生(家畜の病気、予防、治療)に関する理論と実技の指導を行う。 ② 研修生の成績評価を行う。 ③ 農民に対する家畜衛生に関する指導を行う。 ④ JICAの技術協力プロジェクトと連携した活動も期待されている。 | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、図書室、インターネット、農園 | |

| | | |
|---|---|--|
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 24名の教師(多くが農業系大卒以上、20~50代) | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由:業務遂行上必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:業務遂行上必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(内陸性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|---|--|---|---|-------------------|----------------------|
| 要請番号 (JL 306 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C221) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV 26 / 1 | 日系/短期 年 月 日 から |
| ポリビア | 畜産・乳製品加工 | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | | 3 | 26 / 3 | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省 2) 配属先名 (日本語) オロロ県庁農牧サービス局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 オロロ県庁農牧サービス局 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 230 Km 主要都市(オロロ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 オロロ県は標高3700~4000mの高地高原地域に位置しており、寒冷で降雨量が少ないことから、農業分野では、キヌア、じゃがいもなどの栽培や、乳牛・リヤマ・アルパカ・羊の飼育などで生計を立てる零細農民が多数を占める。配属先は、同県における農業振興を目的として、農民への技術支援や、政府や援助団体の資金協力によるプロジェクトの計画・実施などを行っている。2009~2011年にJICA技術協力プロジェクト「高地高原中部地域開発計画」から、地域の気候風土に適した小規模灌漑農業に関する技術指導を受けた。配属先の2013年の予算は約93万米ドル(約9,300万円)。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先が所有・管轄する「アンデス地域エコロジー農牧開発センター」は、県内の農牧業従事者に対し、研修の実施や展示農場などを通じて農牧技術の指導を行うことを目的として設立された。現在は畜産事業(乳牛)を中心に行っており、乳牛およそ100頭を飼育する他、絞った牛乳をチーズ・ヨーグルト・プリンに加工し販売を行っている。チーズは低温加熱殺菌して塩を加えホエーを抜くだけで、風味を加えたり熟成させたりといった工程はなく、1日で完成する。ヨーグルトも同様に簡単な製造工程で作っている。市場価格よりもやや安く販売しているため毎日ほぼ完売しているが、配属先では製品の質を向上させ、付加価値をつけられるよう、日本人ボランティアから技術指導を受けたいと考えており、これにより同センターの運営予算増につなげると同時に、将来的には地域の酪農業者や乳製品加工に携わる人たちに技術移転をしていきたいと希望している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先及び勤務地であるセンターの同僚と協力して、以下の活動を行う。 1.センターで作っている乳製品(チーズ・ヨーグルト・プリン)の加工プロセスをチェックし、衛生面、効率性、食品としての質の面から、改善点を提案する。 2.地域で販売されている乳製品と比較し、地元で入手しやすい材料を使用してさらに付加価値の高い乳製品とするためのアイデアを提供し、試作を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理場(コンロ、冷蔵庫、洗い場など)、調理道具一式、チーズ製作用の型など 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長(40代、男性、大学院卒、農業・高地高原の畜産が専門) アンデス地域エコロジー農牧開発センター職員(20~50代、農業技術者6名、助手8名、いずれも男性。食品加工の専門職員はいない) 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由:業務上必要 理由:業務上必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(高地寒冷) 気温(-10~20℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 標高3700~4000mの高地に位置し、年間を通じて寒冷な気候であるため、相応の体力が必要。 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|--------------------|
| 要請番号(JL 060 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C301) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| ネパール | 林業・森林保全 | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 森林土壌保全省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) タナフ郡森林事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 タナフ郡ダマウリ JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北西 方向 150 Km 主要都市(ポカラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、森林保全を目的として、コミュニティレベルでの共有林運営事業を実施している政府機関の郡事務所である。主な事業は、フォレスト・ユーザー・グループ(CFUG)の組織化と共有林運営に必要な知識や技術及び森林資源を利用した収入向上に関する研修等の実施である。その他に苗木作りや国有林や郡有林の管理も行っている。現在アメリカの支援で、苗木作り関連の事業が実施されている。当配属先配賦年間事業予算は、約1,100万円。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先の指導の下、郡内には現在約500のCFUGが組織されており、共有林の保全や管理を行っている。グループ内には、女性や貧困層などネパールにおいて社会的弱者と位置づけられる人々も多く存在しており、これらの人々を巻き込んだ共有林の保全や利用法を指導できる人材の要請があった。現在JV1名(植林)が、地域住民に対する苗木作りや女性グループに対する森林資源を利用したジャム作りの指導を通して、生活改善や収入向上支援を行っている。引き続き配属先の職員とともに、同郡内のCFUGに対し、社会的に立場の弱い人々に配慮しながら、共有林資源を活用した収入向上や生活改善への支援が必要であることから今回の要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先職員やユーザー・グループのメンバーとともに、以下の活動を行う。 1.CFUGメンバーと話し合いながら、共有林保全・運営に関するニーズや課題を把握する。 2.ニーズに基づき、共有林を利用した収入向上への取組みや生活改善につながる活動の提案および実施支援を行う。 3.グループ内の貧困層や社会的に立場の弱い人々を巻き込んだグループ運営の支援を行う。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし。 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 郡事務所職員18名(所長1名40代 男性、副所長1名 40代 男性、レンジャー4名、他12名)、支部事務所 職員8名、レンジポスト(8ヶ所)職員 6名 | | | 5) 活動使用言語 (ネパール語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (いへん: D) 又は (いへん:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (林学) 理由: 森林関係の基本的知識が必要 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 森林資源を用いた活動を実施する理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 12 日

| | | | | | | |
|------------------------|------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 127-13-B-07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C301) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ソロモン | 林業・森林保全 | | | 2 | 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | 3 | 26 / 3 | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 森林・研究省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 森林・研究省 森林開発・植林課ムンダ事務所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムンダ JICA事務所の所在地(ホニアラ)から 北西 方向 300 Km 主要都市(ムンダ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は森林・研究省の地方事務所であり、「森林開発課」及び「植林事業課」の2部門で構成されている(種子管理センターも兼ねる)。林業は任国における最も重要な産業の一つであり、輸出額は全体の50%を超えている。任国の林業の形態は林業会社による天然林伐採が主であり、伐採権のライセンス料や木材輸出の際の税金など、国家財源の重要な役割も担っている。一方で、天然林伐採後の植林を法律で義務化しておらず、2020年代に天然林が枯渇する推測がされている。任国の森林・研究省では林業の産業維持及び村落住民の現金収入の確保を目的として村落造林を推進している。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同省では植林面積の拡大を推奨しているが、村落造林の拡大速度は十分とは言えず、さらなる拡大に向けた施策の検討を必要としている。ボランティアはウェスタン州ムンダ事務所を赴任地とし、拡大手法の検討及び問題点の改善を期待されている。現在苗畑の普及活動は一定の成果が上がっており、引き続き植林面積拡大に寄与することが望まれる。また初代植林隊員(2014年8月まで)が既存の造林を調査し、改善点の検討及び普及資料用のデータ収集や村落における計画の作成、ワークショップ開催や現地指導を行っている。本作業を継続、推進するとともに、国家森林計画の作成及び補助制度の見直しに際し、日本の事例を参考に情報の提供を行う。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に以下の内容について、可能な範囲での協力が期待されている。 ①農村での植林面積拡大のための普及活動(苗畑の普及) ②住民への植林の意義と技術の啓蒙 ③植林の適正な管理の促進 ④事務所スタッフの管理システム定着(PC指導)、マネジメント能力強化 ⑤林業行政計画を本省(ホニアラ事務所)と策定、伐出方法の確立 |

| | | |
|--|---|--|
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 車両、ボート(コミュニティ巡回用)、植林機材、執務室 | |
| | <table border="0"> <tr> <td>4) 配属先同僚及び活動対象者 所長兼植林課長(1名・50代) 植林課職員(4名・40~50代) 事業課長(1名・40代) 事業課職員(2名・30~40代)</td> <td>5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)</td> </tr> </table> | 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長兼植林課長(1名・50代) 植林課職員(4名・40~50代) 事業課長(1名・40代) 事業課職員(2名・30~40代) |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 所長兼植林課長(1名・50代) 植林課職員(4名・40~50代) 事業課長(1名・40代) 事業課職員(2名・30~40代) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (林学) 理由:業務遂行上必要 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:実践的な内容の指導に必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(23~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|------------------|
| 特記事項 | インターネットは可能だが不安定。 |
|------|------------------|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 318 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 | | | JOCV/SV | 日系/短期 |
| エクアドル | (コード C301) 林業・森林保全 | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) エクアドル区役所審議会 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) チンボラソ県区役所連合会 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 チンボラソ県リオバンバ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 165 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はエクアドル区役所審議会のチンボラソ県支部で、各区役所の自治能力強化を推進する機関である。県内に45ある村落に技術者を派遣し、技術支援、能力向上プログラムなどを通じて、開発プロジェクトの計画や指導を行っている。また、国内の地方自治体などとも連携を図り、地域のかかえる問題解決に向け各種提案等を行っている。予算は主に当国政府からの補助金で、年間15万2千ドル。スタッフは12名。国営銀行や国内の大学・省庁からの協力はあるが、外国からの援助はない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 チンボラソ県では森林資源の乱開発により、森林崩壊、河岸の浸食による水資源の減少、土壌流出などが起こり、崖崩れなどの災害を引き起こしている。このため、生態系・水資源の回復、土壌侵食防止などを目的として、環境省との協定に基づき、エクアドル区役所審議会が国家植林プロジェクトを開始した。このプロジェクトは配属先の協力と指導により、県内の8村落が植林エリアを決定し、自生種による植林を行うものであり、あわせて各村落にはプロジェクト担当者が配置される予定である。しかし苗木の適切な管理、苗木の病虫害対策などについての知識・技術が不足しているため、ボランティアによる技術支援が求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先スタッフと共に、技術者や住民に対して以下の活動を行う。 ① プロジェクト実施村落への巡回指導を行う。 ② プロジェクト実施村落へのワークショップなどを通じた植林全般に関する助言を行う。 ③ 河川流域の保護に関する助言を行う。 ④ 植林の基本計画更新に際して助言を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品一式、GPS | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 コーディネーター(男性、30代) 農業技師(男性、30代) プロジェクト実施村落住民 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (I・M: D) 又は (I・M:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (林学) 理由: 専門的助言が必要なため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚への研修を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(山岳高地乾燥) 気温(5-20 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 524 - 13 - B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C301) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マラウイ | 林業・森林保全 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 環境・気候変動管理省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 森林局GISユニット | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 リロングウェ市 JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 北 方向 0 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 森林局は、環境・気候変動管理省に設置されている3局(森林局の他に環境局、気象・気候変動局)の一つであり、国土の約1割92万haを占める森林保護区の管理を始め、森林・林業に関する関連業務全般を所掌している。同局のほか、3州の森林事務所及び、28県の森林事務所を有し、職員数は現場作業員を含めると5千人に及ぶ比較的大きな組織である。GISユニットは、2012年に、我が国が環境プログラム無償「森林保全計画」を通じて関連機材を供与し、新任スタッフ3名をもって再設立(2012年まで活動休止状態)された部署であり、森林情報の収集、整備や分析など企画立案に必要な諸業務を行っている。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 主要な地球規模課題の一つである地球温暖化について、気候変動枠組条約(UNFCCC)の下、森林減少対策としてREDD+と呼ばれるメカニズムの構築が議論されており、途上国の森林減少対策を、日本を含む先進国が積極的に支援していくことが合意された。日本政府は、環境プログラム無償「森林保全計画」をマラウイ政府に供与し、2012年国家レベルで森林資源状況の把握を行うためのGIS関連機材や衛星画像の供与、データ整備(17森林保護区の森林現況データ、地図の作成等)等を支援した。森林局ではこうした支援に呼応し、GISユニットを再設立した。今回ボランティアを要請するにあたり、同ユニット内で同機材を使用しての活動と、フィールドワークを担当するボランティアを分けての要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 日本政府が実施した環境プログラム無償「森林保全計画」を通じて設立されたGISユニットにおいて、同森林局に配属されている森林保全管理アドバイザーの指示を受けつつ、同じく募集予定のボランティア(コンピュータ技術)と協力して、以下の活動を行う。 ①配置された森林スタッフの能力強化(森林資源調査、森林資源情報の整備等)を行う。 ②記述的課題(森林資源調査の計画的実施、森林資源調査方法の確立等)を整理・検討し、解決に向けた対応を行う。 ③森林保全管理アドバイザーの業務(森林保護区における森林管理計画の策定等)のうち、特に森林資源調査関連の技術的課題の対応・支援を行う。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、GPS 等 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 受入責任者:森林局長 男性 50代 副局長1名(総務・事業、現在事業担当不在) 男性 40代 局長補佐5名(計画・森林開発・普及等) 男性 新任スタッフ(オフィサー)3名(GIS関連の研修を数ヶ月受けた程度で関連の業務経験は殆どなし) 男性 JICA森林保全管理アドバイザー 男性 40代 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 環境科学(特に野外調査)の知識技術 理由:フィールドワークが主な活動の為 | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 特になし | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | | |
|------------------------|------------------|--|---|--------|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 112-13-B-06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード C401) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| マーシャル | 水産開発 | | | ● 2 年 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | ○ 1 年 | 2 | 26 / 2 | |
| | | ○ ヶ月 | 3 | 26 / 3 | | | |

| | | |
|-----------------------|---|---------------------------|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) マーシャル諸島海洋資源局 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) マーシャル諸島海洋資源局 | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 マジュロ環礁デラップ地区 JICA事務所の所在地(マジュロ)から 北 方向 0. Km 主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 マーシャル諸島海洋資源局は国内のすべての海洋資源の管理を目的として1988年に設立された。局長を筆頭に、沖合漁業部、沿岸漁業部、管理部からなり、離島支部も含め、約60名のスタッフがいる。年間予算は約120万米ドルで、過去には日本の海外漁業協力財団(OFCF)から長期専門家1名が派遣されており、2010年8月まで水産物加工の短期SVが活動を行った。現在派遣中の隊員は主に、周辺環礁から搬送される漁獲量調査やデータの分析を行い、今後の漁業資源の継続利用に資するデータベースを構築中である。 | |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は、沿岸漁業開発を促進し、また水産資源の持続的利用を実現するために、漁業者参加型の漁業管理の枠組み作りを進めている。配属先には2002年より日本の海外漁業協力財団(OFCF)からの支援がなされているが、漁業管理政策に欠かすことのできない漁業構造や漁獲量に関する統計資料は整備されていない。2007年より沿岸漁業部に政策・計画・統計課を立ち上げ、OFCF支援の下、漁獲統計調査法の開発と調査の普及に取り組んでいるが、データ収集の効率化、統計情報のデータベース化や分析方法の確立のための技術開発が急務となっている。現在、3代目隊員が活動中で、引き続き水産統計の専門知識を持つ人材の支援が求められている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 漁獲量及びその他水産統計資料のデータベースの確立 2. 統計情報の分析 3. 漁獲量調査法の効率化 4. 周辺環礁の生態調査 5. 現地での補足的漁業の実態調査 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター、コピー機 |

| | |
|---|---|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 政策・計画・統計課 男性2名、女性2名(20~30代) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|---|---|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由:) ・学歴 (大卒) () 理由: 専門知識を要するため ・経歴 () () 理由:) ・水産統計学の知識を有すること 理由: 専門知識を要するため | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(海洋性熱帯) 気温(28 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

| | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 124 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード C401) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| パプア ニューギ ニア | 水産開発 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ミリンベイ州政府 2) 配属先名 (日本語) 漁業水産資源局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アロタウ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 南東 方向 360 Km 主要都市(アロタウ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 オイルパームプランテーションが盛んな地方都市であり、行政・治安は安定している。国は産業振興として、海外企業を相手にしたカツオ・マグロなどの漁業権を管理している。しかしながら、近海で漁をする漁師の生活は、漁獲量が安定しないのと販売経路が整っていないため問題点も多い。州政府は漁業組合への支援を続けており、鮮魚流通を活性化するため、2010年に日本の海外漁業協力財団(OFCF)から冷凍施設供与があった。 |
|-----------------------|---|

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 OFCFより供与された冷凍設備を含むフィッシュマーケットが、市内マーケット内に建設された。しかしながら、設備の管理技術が未熟であり、漁師からの安定した鮮魚回収ができていないため、フィッシュマーケットはほとんど活用されていない。漁師は長期間販売のために、たき火で焙って干物として魚を販売しているが、販売価格が低く現金収入に限られている。効率的な鮮魚販売を実現するため、協同組合を構成し安定した漁獲量を確保し、より需要の高い市場への販売が求められている。漁民が協力して施設を最大活用し、施設の管理、漁法技術指導、水産物加工、市場開拓等を総合的に実施して、地域漁民の生活向上、貧困削減につなげるアイデア、活動をボランティアに期待している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 期待される活動は、下記の通りである。 ① 漁業協同組合組織強化 ② フィッシュマーケットの製氷施設運営及び維持管理方法紹介 ③ 鮮魚流通の活性化による漁師の現金収入向上 ④ 漁具漁法のワークショップ実施 任地は観光地でもあり、ホテルや学校などへの鮮魚販売先は充分にある。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 20リットルX24本の製氷機、業務用冷凍庫、魚の処置台、執務室、船外機付きボート1台。 4) 配属先同僚及び活動対象者 州政府漁業オフィサー、年齢30—50才、男女 内陸・海面養殖や漁業権管理など、部門ごとに担当技術が異なる。地域漁師の生活向上は、取り組み課題ではあるが専任の部門がない。 ボランティアは、地方行政の地域担当官(20-40才)と共に、漁師の漁業組合立ち上げを行う。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|------------------|---|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 水産系大学・学部卒業者 理由: 水産の知識が必要のため | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-----------------------|--|--|

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------------------|---|

| | |
|------------------|--|
| 特 記 事 項 | |
|------------------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 642 - 13 - B - 46) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C401) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 派遣希望時期 | JOCV/SV |
| セネガル | 水産開発 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 漁業・海事省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ンブール県水産支局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ティエス州ンブール県ンブール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 南東 方向 83. Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ンブール県水産支局はセネガル南沿岸地域を管轄し、漁獲高管理、水産資源管理、水産施設の衛生管理等を行っている。同地域におけるJICAの技プロとして2006年まで「漁業資源評価管理計画」が周辺の小規模漁村(ニヤニン村、ポワントサレーン村、ウンパリン村)を対象として実施され、「漁民リーダー育成・零細漁業組織強化計画」が2013年まで実施された。同配属先には2014年1月に村落開発普及員が派遣される予定である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 セネガル国において漁業は主要な産業であるが、近年においては水産資源の減少、海浜環境の悪化が危ぶまれている。こうした問題に対処するために水産資源管理、経済活動の持続、新たな収入手段の創出、地域漁民の連帯促進等を推進する必要があり、水産資源管理の実施と地域住民の貧困緩和を目的とした総合的漁村振興に取り組むための隊員が要請された。同配属先の村落開発普及員と連携し、水産資源管理、水産物の付加価値向上のための自主的な活動を促進するために漁民や仲買人等の組合組織能力強化を支援する隊員の派遣が要請された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の活動を促進するために漁民や仲買人等の組合組織能力強化を支援する。 ①持続的漁業のための水産資源管理に関する啓発活動。 ②具体的水産資源管理活動の実施。 ③水産物の付加価値向上に係る活動。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 水産支局長 1名(40代男性) 経理担当 1名 | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 水産資源管理に関する知識 理由:活動上必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

| | | | | | | |
|---|---|--|--|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 006 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| インドネシア | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 海洋水産省 | | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) シダルジョ海洋水産専門学校 | | <input type="radio"/> NGO | | | | |
| 3) 任地 東ジャワ州シダルジョ県 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 820 Km 主要都市(スラバヤ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 シダルジョ海洋水産専門学校は、海洋水産業による経済発展に実践的に貢献することのできる卒業生を輩出することを目的とし、インドネシア海洋水産省が管轄する3年制、総教員数約40名、総生徒数約350名の高等職業教育校である。同校は養殖コース及び水産物加工コースを学生に提供している。同校は地域住民との結びつきが強く、コミュニティの養殖池を月に数1回程度訪問し、学生の実習を兼ねた養殖従事者への技術指導も行っている。年間予算は約1,750,000米ドル。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 同校の周辺に多いマングローブ林の減少により、地域の生態系が破壊され、養殖池やエビを含む沿岸部の資源が急減し、その結果、近隣住民は不安定な生活基盤を強いられている。同校は沿岸地区の再生の重要性を提起し、マングローブ林の保護と同時に養殖技術(主にエビ)の普及に努めている。養殖池の再生とマングローブ植林による養殖エビ及びミルクフィッシュの生産性向上、地域水産業の活性化、地域住民の生活基盤の安定を目指している。JVには特にエビ養殖の技術を学生及び地域住民へ助言・指導することが期待され、今回の要請に至った。 | | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 教員とともに以下の活動を行う。 1.月に1回程度配属先の同僚とともに、周辺地域のマングローブ周辺の養殖池についての現状把握調査を行う。 2.学生、地域住民に対し、エビを中心とした養殖技術について指導・助言する。 3.2年前から同校が取り組んでいる、地域住民が養殖生産するエビ、ミルクフィッシュ、海藻等の加工や販路拡大についても、可能な範囲内で協力を行う。 | | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 固定電話、机、椅子、乗用車3台、バス1台 | | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 副学長(50代、男性、院卒) 教員7名(50代男性・院卒が2名、30代・女性・院卒が1名、30代・男性・大卒が1名、20代・男性・高卒が3名) | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 養殖経験は活動上必須 理由: | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | | |
| | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | | |
|------------------------|--|---|---|---|--|---------------------------|--------|
| 要請番号(JL 012-13-B-07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| フィリピン | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | 3 | / | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 | | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 国立セントラルピコール農業大学 | | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 南カマリネス州カラバンガ町 JICA事務所の所在地(マニラ)から 南東 方向 370. Km 主要都市(ナガ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、ルソン島南部ピコール地域の南カマリネス州にある大学の農学部。同大学のメインキャンパスのあるナガ市から10Km程度離れた、サンミギエル湾に面した町に位置している。1918年に農業学校として設立され、その後の変遷を経て2009年に現在の農業大学として認可され、ピコール地域における高等農水産教育、農水産研究において主要な役割を果たしている他、地域の農水産業の発展のための農民/漁民への技術普及の拠点としての位置づけもある。大学の運営予算は年間約7千万円程度。現在外国の援助は受けていない。 | | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先では、2013年より農業省の予算を獲得し比較的大規模な水産開発プロジェクトに着手している。同プロジェクトは、サンミギエル湾に河川が流れ込んでいる汽水域近くにあるという地理的条件を活かし、約4千万円のプロジェクト予算を投入し、キャンパスの近隣に約5haの規模の養殖池を設け汽水域養殖に取り組むものである。ここで各種魚類の養殖を行い、地域住民へ水産物を低コストで供給する拠点とする他、養殖技術を地域住民に普及することで住民の収入向上につなげることを目的としている。すでにキャンパス内には稚魚を育成する設備/施設も導入しており、本格的な養殖開始に向けて進んでいる状態であるが、今後のプロジェクトの運営管理及びプロジェクト成果の地域住民への普及に係る支援を求めて、JVが要請された。なお、魚種はミルクフィッシュ、ティラピア、コイ、エビ等が試される予定である。 | | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①水産開発プロジェクトで設置した養殖池における養殖実施に係る技術的支援、及び運営管理への助言を行う。 ②養殖池を利用した養殖技術の地域住民への普及を図るため、地域住民のニーズ調査と調査結果に基づく養殖の導入に向けた支援を行う。 | | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 稚魚槽、中間育成槽はキャンパス内に完備されている。 | | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学部長:男性、50代 CP:男性、50代(博士号取得者) その他職員6名(いずれも男性) | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学配属のため必須条件 ・経歴 (実務経験) () 理由: 現場での技術的助言に必須 理由: 大学で水産関連業務実施のため | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(25~32℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 住居はキャンパス内の宿舎となる予定。 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 024 - 13- B - 21) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ラオス | 養殖 | | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | 3 | 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) チャンバサック県農林局 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 チャンバサック県バクセー郡 JICA事務所の所在地(ピエンチャン)から 南東 方向 680 Km 主要都市(バクセー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はチャンバサック県における農林業の振興・発展を目的として、畜水産課、普及課、計画協力課、総務課等から成る組織。職員数は約210名。主な活動先はバクセー中心部から8km位置する畜水産課養殖ステーションで、スタッフ7名(正職員4名)が、養殖池17池を管理している。年間予算は約40万円で、種苗生産に必要な資機材がある。同ステーションは稚魚を生産し、孵化後約1ヶ月の稚魚を一般の養殖農家に販売している。他ドナーによる養殖技術研修や学生の卒業研究などを受け入れている。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 養殖はラオスの農山村地域における食料安全保障や生計向上に直接関連する重要な産業であり、バクセー地域では、行政の役割として養殖種苗の供給や養殖技術を指導するために養殖ステーションが設けられているが、同ステーションの種苗生産能力は低く、技術指導を行うことができるスタッフも不足していることから、スタッフへの技術的助言を期待されてJICAボランティアの協力が依頼された。同地域を含む南部4県では、「南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクト」(2010-2015)により、家畜飼育、水産養殖及び農業技術の生産性向上や品質向上を実現することで農民の生計向上を図る活動が実施されており、そのプロジェクトとも連携して水産研修や現地指導にも協力することが期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 養殖ステーションが実施している養殖技術を把握し、種苗生産技術を改善するための助言を行う。 2 サブステーションで行われている在来魚種の種苗生産性向上に対する支援。 3 南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクトと連携し、プロジェクトが実施する養殖技術研修や巡回普及へ協力する。(養殖ステーションではコモンカーブ、シルバーパーブ、ティラピア、インディアンカーブ(ローフ)、ムリル)、ヒレナマス及びパンガシウス(Pangasius spp.)の稚魚生産を行っている。また、在来魚種の種苗生産開発を目的としたサブステーションは、南へ130kmのコーン郡にある。) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 種苗生産資機材一式(水温計、ホルモン剤、孵化槽等) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・ステーション場長(男性、40代、経験20年) ・同僚スタッフ(6名、男性、20~30代、経験3~10年) | | | 5) 活動使用言語 (ラオス語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) () 理由: 実務に基づく協力が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバナ) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 139 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| サモア | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 天然資源環境省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 水産局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ウポル島 ソギ JICA事務所の所在地(アピア)から 西 方向 2. Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 国の水産(資源保護、水産開発、漁港整備等)に関する政策、実施をすべて行っている機関。本要請の部署は水産資源開発に関する養殖を主に担当する部署であり、新規養殖の模索、養殖技術の安定化と改善、養殖農家普及と養殖技術研修および技術指導などを行っている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 サモアは海洋国で水産資源に恵まれ、個人漁師が小船で行う沿岸漁業が中心で、小型漁船による漁業も近海(沿岸)漁業に留まっている。沿岸で獲れるマグロは、輸出で外貨を稼いでいる。その他の漁業は国内需要を賄う程度であるが、乱獲による水産資源保護の観点から淡水魚の養殖を目指し、養殖農家の普及にも努力している。現在はテラピアの養殖が行われているが養殖農家普及と生計向上支援として、市場性の高い魚の新規養殖種を模索している(水産局は換金価値が高く、養殖農家からの要望の多いボラを希望)。水産局にはJICAボランティア(シニア海外)が過去にも養殖で派遣されていた時期があるが、残念ながら技術は根付いていない。現在新しく建設中の水産局の養殖池が2014年3月ごろ完成予定のため、これに合わせ今回の要請となった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 水産局の担当スタッフと協調しながら以下の活動を行う。 1.ボラの養殖について水産局スタッフへの指導と養殖農家への技術支援 (稚魚は海から採取して利用する計画) 2.既に行われているテラピアの養殖についての助言と養殖農家への技術指導 *養殖池は水産局(配属場所)から約15km(車で約40分)離れており毎日スタッフと首都にある配属先から水産局の車で通う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 水産局公用車(移動、養殖農家巡回用)、養殖池(2014年3月竣工予定) | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 淡水魚専門技術者5名(全員大卒、内1名は日本で水産学修士取得) 海水魚専門技術者5名(全員大卒、内3名は水産専門でない学部) 対象:水産局同僚スタッフ、養殖農家 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:実務に基づいた技術的助言が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |
| 特 記 事 項 | ボラの養殖知識があればベストだが淡水魚(マス、うなぎ他)の養殖技術・知識があれば可 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|
| 要請番号(JL 139 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| サモア | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | 3 26 / 3 | |
| 配属先 | | | | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 天然資源環境省 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| 先 | 2) 配属先名 (日本語) 水産局 | | | | |
| 概 | 3) 任地 ウポル島 ソギ JICA事務所の所在地(アピア)から 西 方向 2 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) | | | | |
| 要 | 4) 配属先の規模・事業内容 国の水産(資源保護、水産開発、漁港整備等)に関する政策、実施をすべて行っている機関。本要請の部署は水産資源開発に関する養殖を主に担当する部署であり、新規養殖の模索、養殖技術の安定化と改善、養殖農家普及と養殖技術研修および技術指導などを行っている。 | | | | |
| 要 | 1) 要請理由・背景 サモアは海洋国で水産資源に恵まれ、個人漁師が小船で行う沿岸漁業が中心で、小型漁船による漁業も近海(沿岸)漁業に留まっている。沿岸で獲れるマグロは、輸出で外貨を稼いでいる。その他の漁業は国内需要を賄う程度であるが、乱獲による水産資源保護の観点から、養殖と海藻類の養殖を目指している。現在は天然もので量的にも多く獲れないため市場での換金価値の高い海ぶどう(sea grape)の養殖が試験的に行われているが、これを本格化したい考えである。同時に市場性の高い貝類(ムール貝、しゃこ貝など)の養殖を目指しているが貝類、海藻類の養殖知識/技術に長けている職員がいないため本要請がなされた。現在新しく建設中の水産局の養殖池が2014年3月ごろ完成予定。ただし、貝類や海藻類の養殖の場合は別途適地(海岸沿い)を探す必要がある。 | | | | |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 水産局の担当スタッフと協調しながら以下の活動を行う。 1. 現行の海ぶどうの技術的支援 2. 水産局と協議し貝類もしくは海藻類の試験的養殖開始と技術的助言 3. 貝類、海藻類の養殖の適地探し(養殖池が適していればこの限りではない)(基本的に国有地というものがないため交渉は水産局が行う) *養殖池は水産局(配属場所)から約15km(車で約40分)離れており毎日スタッフと首都にある配属先から水産局の車で通う。 | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 水産局公用車(移動、養殖農家巡回用)、養殖池(2014年3月竣工予定) | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 | | | 5) 活動使用言語 | | |
| 同僚: 淡水魚専門技術者5名(全員大卒、内1名は日本で水産学修士取得) 海水魚専門技術者5名(全員大卒、内3名は水産専門でない学部) | | | (英語) | | |
| 対象:水産局同僚スタッフ、養殖農家 | | | 6) 生活使用言語 (その他) | | |
| | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| 資 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 |
| 格 | ・免許 () | | | | <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| 条 | 又は () | | | | 現職教員特別参加制度 |
| 件 | ・性別 () 理由: | | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| 等 | ・学歴 () () 理由: | | | | |
| 等 | ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:実務に基づいた技術的助言が必 理由: | | | | |
| 地 | 気候(熱帯海洋性) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 域 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特 | ムール貝、しゃこ貝養殖の経験があればベストだが代替できる技術経験でも可 | | | | |
| 記 | | | | | |
| 事 | | | | | |
| 項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 242 - 13- B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ジャマイカ | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 26 / 2 | |
| | | | | 2 26 / 3 | |
| | | | | 3 / | |
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 西インド諸島大学 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) ディスカバリーベイ海洋研究所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 セントアン教区ディスカバリーベイ JICA事務所の所在地(キングストン)から 南西 方向 123 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 西インド諸島大学の研究所で海洋科学の研究を実施している。生徒・学生、地域住民に対して海洋科学に関する環境教育も活発に行っている。研究職員は4名だが、他に西インド諸島大学の学部、大学院の学生や、提携する米国の大学から学生が訪れて、実習・研究を行っている。また、カリブ地域の沿岸データセンターとしても機能しており地域約30か国から送られるデータを管理している。サンゴ礁のモニタリング、サンゴの生態、侵入生物、潜水漁法についての啓発、タンカーからのプラスチック廃棄物の影響などの研究が行われている。研究資金は大学、ジャマイカ環境基金、GEFなどから得ている。減圧症治療用減圧タンクがある。 | | | | |
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 米州開発銀行からの資金でサンゴ増殖研究と海面養殖開発研究が開始される予定であるが、研究者、予算の不足を補い十分な研究成果を上げるためにボランティアの協力が要請された。特に、養殖開発研究については、淡水テラピア種苗生産の経験はあるが、海面養殖については経験が無いため、日本のボランティアからのインプットを大いに期待している。対象魚種はウニ(Tripneustes ventricosus)とスギ(Rachycentron canadum)である。また、飼育魚類の繁殖管理や飼育水槽など施設の有効利用、効果的な注排水施設の提案、水質の管理などの改善が望まれている。文献調査、研究提案書、報告書の作成についても協力が求められている。研究活動の一環で潜水するため、十分な潜水技術が求められる。また、塩ビパイプの配管工事などの作業ができる必要がある。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.サンゴ増殖研究と海面養殖開発プロジェクトへの支援。 2.研究施設維持管理及び改善への支援。 3.文献調査、研究提案書、報告書の作成。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 スキューバ用具、ポート、ポンプ、顕微鏡、解剖器など実験器具 | | | | |
| 資格条件等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 同僚:研究員 男性 2名 30代 熱帯生態系管理学修士、海洋科学学士 活動対象者:学部学生 | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (V^*N: B) 又は (V^*N:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 研究支援に専門性が必要 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 研究支援に必要 ・スキューバダイビングの技術 理由: 研究活動に必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 通信 | <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| ポリビア | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) オルロ県庁農牧サービス局 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オルロ県庁農牧サービス局 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 230 Km 主要都市(オルロ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 オルロ県は標高3700~4000mの高地高原地域に位置しており、寒冷で降雨量が少ないことから、農業分野では、キヌア、じゃがいもなどの栽培や、乳牛・リヤマ・アルパカ・羊の飼育などで生計を立てる零細農民が多数を占める。配属先は、同県における農業振興を目的として、農民への技術支援や、政府や援助団体の資金協力によるプロジェクトの計画・実施などを行っている。2009~2011年にJICA技術協力プロジェクト「高地高原中部地域開発計画」から、地域の気候風土に適した小規模灌漑農業に関する技術指導を受けた。配属先の2013年の予算は約93万米ドル(約9,300万円)。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 活動先は「バリア養殖センター」で、マス(主にニジマス)の養殖事業を行っている。センターはオルロ県内の貧しい農村地域での養殖事業による農民の収入増を目指して2010年に設立され、現在は28コミュニティにまで普及を拡大している。センターの屋外水槽では成魚およそ250匹を養殖し、また試験的に人工授精から孵化させた稚魚の養殖も行っているが、現在は主に他県の養殖地から稚魚を購入して養殖し、一定程度大きくなった稚魚をコミュニティに配布して、養殖についての簡単な技術指導を行っている。手作りの養殖池で稚魚から養殖を行い成魚を販売するこの手法は、1匹当り300円程度の現金収入を得られることから、コミュニティの関心も高い。配属先では、今後もこの事業を発展・拡大させることを目指しており、また適切な養殖環境を整え成魚の生存率や成長速度を高めるための技術指導をセンター職員へ行ってほしいとして、本件が要請された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) センターの同僚らと協力しながら以下の活動を行う。 1.人工授精から孵化、また稚魚・成魚の養殖方法(水質管理、餌の種類など)について改善策を提案し、また可能な範囲で改善に協力する。 2.センターに現在ある設備や機材の使用状況を確認し、今後必要な設備や使用方法改善などを助言する。 3.同僚とともに、養殖を行っているコミュニティを巡回し、養殖環境や養殖方法について現場にあるリソースでできる改善を提案・指導する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 センター内の施設・設備の全て(屋外水槽、孵化場、汲み上げポンプ、pH測定器、調理場) | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長(40代、男性、大学院卒、農業・高地高原の畜産が専門) センター責任者(40代、男性、JICA掃国研修員、養殖が専門) センター職員 11名(30~50代、男性及び女性、農業・コミュニティ開発が専門) | | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:業務上必要 マスの養殖についての知識経験 理由:業務上必要 | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(高地寒冷) 気温(-10~20 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 標高3700~4000mの高地に位置し年間を通じて寒冷な気候で、農村部を巡回するため、相応の体力が必要。 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| タンザニア | 養殖 | | | 1 26 / 1 | 2 26 / 3 |
| 年 月 日から | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 家畜漁業開発省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 水産教育訓練公団ムベガニキャンパス <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 プワニ州バガモヨ県バンデ・ムベガニ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 北 方向 60. Km 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1966年に設立された配属先は、家畜漁業開発省管轄の水産系教育訓練機関である。2011年に国内にある他の水産系教育機関と合併し、現在の漁業訓練公団(FETA)に名前を変え、新たな教育訓練機関としてスタートした。養殖、食品加工、漁業、環境、海洋工学の5部門でCertificate、Diplomaコースがあり、約350名の学生が在籍している。教員は約40名、年間予算は約2,500万円。2008年に海外漁業協力財団(OFCF)が同配属先に対し、修理修復プロジェクトを実施しており、訓練船の修理修復、技術者への指導が行われている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国は広域にわたってインド洋に面しており、潤沢な海洋資源を有する環境にあるが、海洋資源を活用する人材が十分に育成されていない。同公団は、タンザニアの海洋水産業に係わる人材を養成する主要機関であるが、適切な技術や知識を教授できる講師が慢性的に不足しており、今回の後任要請となった。現在活動中の隊員は、同僚と協働による授業、実習に加えて、実験、配属先が行っているティラピア孵化場の建設計画へのアドバイスなどを行っている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Certificateコース[Oレベル(中学2年生から高校2年生程度)卒業者を対象]とDiplomaコース(Certificateコース修了者を対象)の学生に対して、養殖に関連する授業(「飼料学」「魚病学」「遺伝学」など)や実習を実施する 2. 養殖の技術や理論を同僚や生徒などに紹介する 3. 隊員が得意とする分野を生かした養殖に関するアドバイスを行う | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、教室、実習池、PC(Windows)(12台・実習用)など | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 養殖部門講師7名(20代~50代) 活動対象者: 約80名(中等教育卒業生) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 業務遂行上必須 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地 域 概 況 | 気候(海岸性) 気温(20~35 ℃位) | | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特 記 事 項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 609 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ガボン | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | 3 26 / 3 | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 2) 配属先名 (日本語) モワイエン・オグエ州水産支局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 モワイエン・オグエ州ランバレネ市 JICA事務所の所在地(リーブルビル市)から 南東 方向 237 Km 主要都市(ランバレネ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先のランバレネ水産支局は、モワイエン・オグエ州の水産業の漁獲調査、地域振興、活性化ならびに漁具や漁法の取り締まりを行っている機関である。また、ランバレネは淡水魚の漁港として知られており、2005年に日本の無償資金協力によって支局の隣に立てられたランバレネ水産センターが水揚げ場として活発に利用されている。ランバレネ水産支局には、過去に村落開発普及員のボランティアが派遣され、漁獲量の調査などに協力していたが、現在は養殖ボランティア1名が派遣されている。2013年7月時点で、同国にはJICA長期水産専門家が1名、養殖ボランティアが1名ガボンに派遣されている。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 同国の第一次産業に携わる人口の割合は低く、特に地方においては若年層の人口流失が顕著で過疎化が問題となっている。加えて、所得においても都市部との格差が拡大している。ランバレネはコイ、ナイルアロワナといった淡水魚の漁港として知られており、乾季には漁民の活動も活性化し漁獲量があがる。一方、雨季になると魚の捕獲が難しく、漁民は仕事が減ってしまい収入が安定しない。そのため、一年を通して収入が安定できるようにと、ナマズ(ヒレナマズの1種:Clarias Gariepinus)の養殖の実験的なプロジェクトがJICA水産専門家のもと漁民とともに開始した。ボランティアは、プロジェクトのフォローアップと箱養殖の普及、水産支局の活動支援を期待されている。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・竹などで作られた浮いけす養殖設備でのナマズの養殖 ・地域住民とのナマズの箱養殖 ・ナマズ養殖用の稚魚の確保 ・地元で入手可能な養殖餌料・飼料の開発(貝類、養殖ウジ、ミズなど) ・浮き養殖場の補強・整備 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 なた、漁網、長靴など | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 水産支局長 女性 30代 同僚 4~6名 漁民、兼業漁民 複数名 | | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:水産学の基礎が必要のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(熱帯雨林) 気温(28~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 住居は複数の同性ボランティアとルームシェアをしての生活となる。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 609 - 13 - B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| ガボン | 養殖 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) チバング養殖ステーション <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ニヤンガ州チバング市 JICA事務所の所在地(リールビル市)から 南東 方向 611 Km 主要都市(リールビル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 12 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、地域の養殖事業の振興と試験場として事業を行なっている。現在は、総面積は0.53haの中で16個の養殖池と3つの容器を活用し養殖を行なっている。主にティラピアの養殖を行っており、2012年の目標として年間1トンの生産を掲げていた。養殖場は上部組織となる水産支局の管轄の下に運営されており、養殖ステーションはその指示にしたがって、運営がされている。 2013年8月現在、同国に養殖JVは1名派遣されており当養殖ステーションには、2012年12月までJVが活動していた。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ガボン国は食料自給率が低く、食料は近隣諸国をはじめとする外国からの輸入に頼っている。また同国では、物流のインフラが未整備のため内陸において魚は冷凍、干物、燻製の状態で売られており、生の魚は珍しく付加価値が高い。内陸部における養殖技術の確立は、地方都市でも鮮魚を入手、消費ができる可能性を提供することになる。配属先には3名の作業スタッフがいるが、水産を学んだ経験は無く専門性にかける状況である。ボランティアには、経験に基づき仕事をしているスタッフに対し、理論やデータを通して同僚の技術を向上させることが期待されている。 初代JVが配属先の同僚とともに年間1トンの水揚げを目指して活動していた。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <input type="radio"/> 池の管理、改善、改良(土を掘った池のため、底にヘドロが溜まり定期的に掃除が必要) <input type="radio"/> 持続的なティラピア養殖の確立 <input type="radio"/> 同僚との共同作業 <input type="radio"/> 種苗生産と雌雄別養殖 <input type="radio"/> ナマズの畜養(まだ試験的に開始した段階) <input type="radio"/> 他任地水産隊員との情報の共有、省庁への定期的な報告 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 長靴、なた、シャベルなど |

| | |
|--|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 水産支局長 40代 男性 養殖ステーション長 30代 男性 秘書 1名 女性 その他同僚 3名 男性 | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|--|--|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:活動上、必要とされるため ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(28~32 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|----------|--|

| | |
|----------|---------------------------------|
| 特記 事項 | 住居は複数の同性ボランティアとルームシェアをしての生活となる。 |
|----------|---------------------------------|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 745 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| キルギス | 養殖 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) イシククリ・バルク漁業協同組合 | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 イシククリ州トン郡 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 東 方向 320 Km 主要都市(バカンバエバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるイシククリバルク漁業協同組合は、FAO(国連食料農業機関)が実施しているProject on Support to Fishery and Aquaculture Management in the Kyrgyz Republic (2010.3~2013.8)で組織された漁業協同組合の一つであり、組合員数30名、鯉類・鯽類の養殖や、飼料の共同購入、組合員間での研修等を行っている。また組合員はFAOのプログラムで、中国、フィンランド、ハンガリー等での研修を受けている。予算は、1500米ドル/年、組合員からの会費で賄われている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 FAOより水産分野の活動についてJICAとの事業連携の申し入れがあり、FAOの推薦する優良漁業協同組合を対象に、聞き取り調査と養殖池の視察等を行った。漁業協同組合からは、FAOからも支援は受けているものの、理論を主とした座学の講義が多く、養殖の現場指導型の人材の派遣が望まれているところ本要請が行われた。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先組合員と協働し、以下の活動を行う。 1. 鯉・鯽類の稚魚の孵化技術の指導を行う。 2. 魚病対策の指導を行う。 3. 組合員に対して養殖にかかるトレーニングを実施する。 4. 組合員に対して巡回指導を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ローカルメイドの飼料混合機、揚水ポンプ、インキュベータ等 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 漁業協同組合長(男性50代) 漁業組合員(30名程度) | | | 5) 活動使用言語 (ロシア語) 6) 生活使用言語 (キルギス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(大卒)(農学) 理由:水産学の専門的な知識が必要 ・経歴(実務経験)(2年以上) 理由:淡水養殖の経験が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(大陸性) 気温(-20~25 °C位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 村でのホームステイとなる。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 745 - 13- B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C402) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| キルギス | 養殖 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 26 / 3 |
| | | | | | 年 月 から |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業省 |
| | 2)配属先名 (日本語) グルドウンドウル漁業協同組合 <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 イシククリ州チュップ郡 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 東 方向 320 Km 主要都市(カラコル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 配属先であるグルドウンドウル漁業協同組合は、FAO(国連食料農業機関)が実施しているProject on Support to Fishery and Aquaculture Management in the Kyrgyz Republic (2010.3~2013.8)で組織された漁業協同組合の一つであり、組合員数30名、鯉類・鱒類の養殖や、飼料の共同購入、組合員間での研修等を行っている。また組合員はFAOのプログラムで、中国、フィンランド、ハンガリー等での研修を受けている。予算は、1500米ドル/年、組合員からの会費で賄われている。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 FAOより水産分野の活動についてJICAとの事業連携の申し入れがあり、FAOの推薦する優良漁業協同組合を対象に、聞き取り調査と養殖池の視察等を行った。漁業協同組合からは、FAOからも支援は受けているものの、理論を主とした座学の講義が多く、養殖の現場指導型の人材の派遣が望まれているところ本要請が行われた。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先組合員と協働し、以下の活動を行う。 1. 鯉・鱒類の稚魚の孵化技術の指導を行う 2. 魚病対策の指導を行う 3. 組合員に対して養殖にかかるトレーニングを実施する 4. 組合員に対して巡回指導を行う |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ローカルメイドの飼料混合機、揚水ポンプ、インキュベータ等 |

| | | |
|---|--|--|
| 要 | 4)配属先同僚及び活動対象者 漁業協同組合長(男性50代) 漁業組合員(30名程度) | 5)活動使用言語 (ロシア語) 6)生活使用言語 (キルギス語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|---|--|--|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由:養殖に係る知識が必須 ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由:淡水養殖の経験が必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(大陸性) 気温(-20~25 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | 村でのホームステイとなる。 |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 31) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード C411) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 水産物加工 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 家畜漁業開発省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 水産教育訓練公団ムベガニキャンパス | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 プワニ州バガモヨ県パンデ・ムベガニ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 北 方向 60 Km 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1966年に設立された配属先は、家畜漁業開発省管轄の水産系教育訓練機関である。2011年に国内にある他の水産系教育機関と合併し、現在の漁業訓練公団(FETA)に名前を変え、新たな教育訓練機関としてスタートした。養殖、食品加工、漁業、環境、海洋工学の5部門でCertificate、Diplomaコースがあり、約350名の学生が在籍している。教員は約40名、年間予算は約2,500万円。2008年に海外漁業協力財団(OFCF)が同配属先に対し、修理修復プロジェクトを実施しており、訓練船の修理修復、技術者への指導が行われている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国は広域にわたってインド洋に面しており、潤沢な海洋資源を有する環境にあるが、海洋資源を活用する人材が十分に育成されていない。同公団は、タンザニアの海洋水産業に係わる人材を養成する主要機関であるが、適切な技術や知識を教授できる講師が慢性的に不足しており、今回の要請となった。21年度4次隊で漁業生産隊員が2012年3月まで活動していた。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Certificateコース[Oレベル(中学2年生から高校2年生程度)卒業者を対象]とDiplomaコース(Certificateコース修了者を対象)の学生に対して、食品加工に関連する授業(「衛生管理概論」「塩干品加工技術」など)や実習を実施する 2. 食品加工の技術や理論を同僚や学生、また中小企業などに紹介する 3. 配属先にある機材(日本の援助が多数)を効果的に使用するアドバイスを行う | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、食品加工ルーム、PC(Windows)(12台・実習用)、 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 食品加工部門講師約10名(20代~50代) 活動対象者: 学生、食品加工講師、中小企業者 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚と同等の経験が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(海岸性) 気温(20~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 56) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D222) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ボリビア | 溶接 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ペドロ・ドミンゴ・ムリージョ上級工業学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ラパス県ラパス市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同校は1942年に設立された同国でも有数の大規模職業訓練学校。工作機械科、自動車整備科、電子科、電気科、金属加工科など8学科を有し、基礎コースと上級コースを併設している。1990年代に同校に専門家、協力隊員が複数派遣され指導を行っていた実績があり、同校から約20名の教師がJICAの本邦技術研修に参加した。本年度予算は約20万米ドル。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 近年の技術進歩に伴い、同国においてもより現状に即した技術・知識を備えた人材へのニーズがますます高まってきている。この傾向を受け、同校の工作機械科では、特に溶接分野での授業内容の見直し、及び充実・改善が喫緊の課題となっており、これに併せ、機材メンテナンス及び整備などの実習環境改善も必要とされている。しかしながら、溶接分野の教員はこれらの課題に取り組むための知識・経験を十分に有しているとはいえないため、ボランティア派遣による支援が要請された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 工作機械科(溶接部門)において以下の業務を行う 1. 溶接分野の知識・技術向上のため、現在行われている同分野に関する授業の内容改善を支援する。 2. 溶接分野の機材メンテナンス及び整備に関する知識・技術向上に対する支援を行う。 3. 溶接分野に関する授業カリキュラム、実習内容の見直し、改善を支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 被覆アーク溶接機(SMAW)、MIG溶接機(GMAW)、TIG溶接機(GTAW)、プラズマ切断機等 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長 1名 同僚10名(工作機械科教員 工作機械技術者 20~40代) | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (I・N: D) 又は (I・N:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(専門学校卒) () 理由: 教員に指導するため ・経験(実務経験) (3年以上) 理由: 教員に指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(高地寒冷) 気温(5~20 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 424 - 13 - B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D222) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ヨルダン | 溶接 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 労働省 |
| | 2)配属先名 (日本語) 職業訓練公社アカバ職業訓練所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 アカバ JICA事務所の所在地(アンマン)から 南 方向 320 Km 主要都市(アカバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。現在、VTCの訓練所でJOCV4名(工作機械、経済・市場調査、服飾)及びSV3名(学校運営、経営管理、冷凍機器・空調)が活動中である。アカバ職業訓練所には金属加工・溶接、自動車整備、冷凍・空調設備、電気、木工、ホスピタリティなど10の訓練コースがあり、訓練生は約200名である。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 ヨルダンを持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。ヨルダンでは、失業率(12%)が問題となっているが、特に若年層の失業率が30-40%と高い。ヨルダンにおいてはさまざまな国家プロジェクトが進行していること、応用範囲が広いことから溶接技術の需要は高いと考えられる。しかし、職業訓練所では設備・備品の不備、最新の技術を知る機会が少ないなどの問題がある。安全教育、危険作業の防止を徹底するとともに、訓練生の学習意欲を高め、基本事項をきちんと習得できる訓練環境作りが求められている。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) アカバ訓練所の溶接コースにおいて以下の点で協力を行う。 1. 訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2. 訓練コースの補助教材作成 3. インストラクターの指導力向上のための支援 4. 訓練コースの実施に関する側面支援 (電気・ガス溶接、TIG、MIG、安全教育) |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ガス溶接機 1台、アーク溶接機 5台、TIG/MIG溶接機 各2台、プラズマカッター1台、切断機 1台、折り曲げ機械 1台、ロール機械 1台 等 |

| | |
|--|---|
| 4)配属先同僚及び活動対象者 ・校長 男性、40代 ・インストラクター2名 とともに男性、30代 ・訓練生 男性約20名、16～22歳(小学校から中学校卒業程度) | 5)活動使用言語 (アラビア語) 6)生活使用言語 (アラビア語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|--|---|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (ガス溶接・アーク溶接) 又は () ・性別 (男性) 理由: 男性向けコースのため ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: インストラクターへ指導のため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(地中海性) 気温(10～50 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---|
| 要請番号(JL 551 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D222) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ザンビア | 溶接 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キトエ職業訓練センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 コッパーベルト州キトエ郊外 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 360 Km 主要都市(キトエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.25 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1998年に設立された職業訓練センターで、板金・溶接コースの他に自動車、電気設備、服飾等のコースを有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業生)を中心に職業訓練が行われている。学生数は約170名で、板金・溶接コースには約50名の学生が在籍している。学校設立当初、自動車コースにJICAより教育省(当時)を通して実習用車両の供与があったが、現在はJICA(ボランティア含む)や他国からの援助は入っていない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国の職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、実際の現場で求められる実践的な技術を教えることが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだJVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。初代となる同JVには、学生および講師に対する溶接の基礎的な技術指導(理論も含む)が期待される。なお、他の職業訓練校に派遣されている「自動車整備」、「PCインストラクター」、「家政」等のボランティアと情報共有を図りながら、将来有望な産業人材を生み出せる学校運営、講師の人材育成を支援する。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対し、講義および実習指導を行う。 ・同僚講師の授業に対し、助言および指導を行う。 ・可能であれば、板金・溶接コースに対して、カリキュラム改善等の助言を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 溶接機器(アーク、ガス)、グラインダー、板金加工裁断機、工具一式等 | | | | |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・副校長 40代/男性 ・同僚講師 2名/30~40代/男性 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 講師として活動するため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 現役講師を指導するため ・ガス・アーク溶接講習終了 理由: 溶接の指導するため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| 地域 概況 | | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記 事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 636 - 13 - B - 32) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D222) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ルワンダ | 溶接 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 3 | 2 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省雇用開発局 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キガリ市ガテンガ職業訓練センター | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 キガリ市 JICA事務所の所在地(キガリ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(キガリ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、1976年にドンボスコ教会の支援により設立された職業訓練校。2012年現在8つのコース(木工、土木、電気・電子、配管、料理、洋裁、ウエーブはんだ、溶接)が開講され、計217名の学生が在籍している。同校は学生に技術指導を行うことに加え、企業実習や卒業後の就職支援にも積極的に取り組んでいる。年間予算は約15万米ドル。職員の総数は約40名。毎年ベルギーのドンボスコ教会から学校運営資金として約13万米ドル、ドイツから約2万米ドルを寄宿生の食費として資金援助を受けている。さらにイタリアNGOからボランティアが派遣され、企業実習・就職支援の協力を行っている。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ルワンダ国は、国家開発計画Vision2020において、知識集約型経済(Knowledge-Based Economy)の実現を掲げ、人的資源開発、とりわけ科学技術分野の人材育成に取り組んでいる。2007年に採択された経済開発・貧困削減戦略(EDPRS2008-2012)においては、教育の質向上と技能向上が重要視され、技術職業教育訓練(TVET)の強化に関する新しいモニタリング指標も加えられた。しかし、知識集約型経済・社会の実現に不可欠な科学技術社会の基盤となる人材が不足しており、ルワンダ国教育省雇用開発局(Workforce Development Authority:WDA)傘下のTVET機関も、必ずしも産業界の人材ニーズに応えられてはいない。同配属先においては、特に溶接コースにおける質の高い実習指導ができる講師が不足しており、今回のボランティア要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に溶接コースの授業を担当し、以下の活動を行う。 1. 学生に対して直接溶接実習の授業を行う。 2. 現地講師に対し、溶接実習に関する全般的な指導及びアドバイスをを行う。具体的な指導内容は、アーク溶接、ろう付け、はんだ付け、ガスシールド・アーク溶接等。 3. 溶接実習にかかる教材作成の支援を行う。 4. 必要に応じて、他の職業訓練センターの学生・講師向けに溶接実習を行う。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 溶接作業場、GMA溶接用機材(Nordika 2162, Haiwon Bx-1, Kaierda Bx-1, 等)、酸素アセチレン溶接用機材(配置予定)、マグ・ミグ溶接用機材(配置予定) | | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、神父、60代、学校長 カウンターパート:男性2名、高卒、20~30代、溶接担当講師 溶接コース学生: 24名(17~25歳、全員男子) 同僚:木工等他コース担当講師 20~30代、高卒~大卒、29名 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) () 理由:専門的なスキルが求められる 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 018 - 13 - B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D227) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タイ | 工作機械 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) サムットサーコーン技術高等専門学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サムットサーコーン県ムアンサムットサーコーン郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 南西 方向 36. Km 主要都市(サムットサーコーン市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1937年設立。高等学部3年、短大部2年制であり、機械科、自動車科、電子科、電気科、建築科、商業科の6学科からなる高専である。職員数120名、学生数3,700名。うち機械科は職員数14名、学生数120名である。学校全体の年間予算は3億6000万円。うち、機械科の予算は120万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 タイでは、製造業の発展に伴い労働者の需要が急増し、慢性的に労働者が不足している。特に工業系の知識と技術をもった人材の需要は高く、工業系高等専門学校では、電子工学、生産機械、自動車工学等の製造業関連の人材育成に努めている。しかし、授業は理論が中心であるのに対し、実際の生産現場では、即戦力となるためのCNC工作機械の操作や、CADの部品設計ができる人材が求められていることから、これらの点の強化を目的として、JVの要請が挙げられた。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 同僚教師とともに、実習の授業を担当し、以下の点のうち指導可能なものについてアドバイスをを行う。 - 汎用工作機械、CNC工作機械の操作(主に後者) - CAD/CAMを用いた部品設計に対するアドバイスをする。 2 製造現場で基本となる5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の習慣を、実習を通じ体得させ、現場に相応しい技術者が育成されるよう協力する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CNC工作機械(HERMLE UWF900 1台、RAMA M200 5台)、パソコン15台、CAD | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 機械科教員14名(全員男性、20~50代、大卒11名、大学院卒3名) なお、カウンターパートにあたる教員は、50代男性で34年の教員経験がある。 | | | 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (I^N: D) 又は (I^N:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 専門的な知識が必要のため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 現場での経験が必要のため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|--|---------------------------|--------|
| 要請番号(JL 018 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D227) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | ● 2 年 | 1 JOCV/SV | |
| タイ | 工作機械 | | | ● 1 年 | 2 | 26 / 1 |
| | | | | ○ ヶ月 | 3 | 26 / 2 |
| | | | | 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ピッサヌローク技術高等専門学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ピッサヌローク県ムアンピッサヌローク郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 379 Km 主要都市(ピッサヌローク)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1938年設立、高等学部3年、短大部2年制の学校であり、本件ボランティアの所属となる機械科を含む、10学科がある。過去に海外経済協力基金(OECF)の援助で校舎(一部)が建設され、機材も供与されている。職員数237名、学生数4,000名。学校全体の年間予算は3億円、機械科の年間予算は150万円である。2002年から2004年までJV(化学製品)が派遣された。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 タイでは、製造業の発展に伴い労働者の需要が急増し、慢性的に労働者が不足している。特に工業系の知識と技術をもった人材の需要は高く、工業系高等専門学校では、電子工学、生産機械、自動車工学等の製造業関連の人材育成に努めている。しかし、授業は理論が中心であり、企業で役に立つ実践的な演習、実習の強化が求められていると共に、実際の生産現場でもCNC工作機械を操作できる即戦力となる人材が求められていることから、配属先におけるこれらの点の強化を目的として、本件要請となった。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 同僚教師とともに、実習の授業を担当し、各種工作機械の操作方法やメンテナンスに関しアドバイスをを行う。汎用工作機械、CNC工作機械ともにあるものの、主に後者の操作に関するアドバイスが期待されている。 2 同僚教師とともに、各種工作機械の操作方法やメンテナンスに関するマニュアルを作成する。 3 製造現場で基本となる5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の習慣を、実習を通じ体得させ、現場に相応しい技術者が育成されるよう協力する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 普通旋盤12台、CNC旋盤7台、Mazak Nexus、Mazak VTC-16A、MITUTOYO Beyond、Denford CNC Simulation Laboratory | | | | | |
| 要 求 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 機械科教員 18名、男性、30~50代 | | | 5) 活動使用言語 (タイ語) | | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (タイ語) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(専門学校卒) (工学) 理由: 専門的な知識が必要 ・経歴(実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由: | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) | | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特 記 事 項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 045 - 13- B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D227) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| モンゴル | 工作機械 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | 3 26 / 3 | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 労働省 2) 配属先名 (日本語) ゴビスンベル県技術カレッジ(鉱業専科) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ゴビスンベル県チョイル JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 南東 方向 230 Km 主要都市(チョイル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 2010年設立、重機修理工、重機オペレーター、自動車整備士、溶接工等の技術者育成校。中等部卒業対象の2.5年コース、高等部卒業対象の1年コースと成人(24~40歳)対象の1年コースがあり、年間予算は約7,000万円。職員83名、うち教師41名、生徒数は624名である。鉱業分野の早急な発展に伴い全県から応募者が増加している。今までにボランティアの受入実績は無いが、オーストラリアの短期専門家3名(戦略的計画、品質管理、職業訓練校指導法)を受け入れた。校長はJICAの帰国研修員である。米国や同国民間企業の支援により資機材が整備されている。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 雇用創出は同国における重要な課題であり、その課題に資する人材育成は急務である。同国では鉱業分野が近年急速に発展しており、積極的に鉱山開発がなされている一方で、現場で必要な専門技術をもつ人材が不足している。同校は市場で必要とされている人材の調査を踏まえたコースを設定し、海外支援や民間企業支援を受ける等、その戦略的な教育方針は高く評価されている。CNC制御旋盤等の機器が導入され、当機器を活用したいが、機器の取り扱い可能な教員数及び技術が不足している。単元を職業訓練科の各コース(重機修理工、自動車整備士、溶接工、重機オペレーター養成コース)に導入するための指導法・評価法・授業計画ができていないため、JVの派遣が要請された。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 部品製造のために必要な作業を実施する。(CNC制御旋盤等を活用する。) ② 教師に対し、単元の指導法・評価法・授業計画に対して助言する。 ③ 生徒及び教師に対し、工作機械や工具の安全かつ適切な取り扱い法を身につけさせる。 ④ ロボコン大会に参加する生徒チームに、より高性能なロボット製作に必要なアドバイスや指導を行う。 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CNC制御旋盤(中国製)1台、フライス盤2台、形削盤1台、平削盤1台、ボール盤1台、溶接機(TIG、MIG、アーク)、検査機器、工具一式等 | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、30代) 同僚教師(20~40代、41名) 工作機械教師(女性、20代) 修理工教師(男性、20代・40代、2名) メカトロニクス教師(男性、40代) 関連養成科の学生(16~24歳、約130名) | | | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:業務遂行上不可欠 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:実務面での指導が必要のため 理由:単元立上げ実施のため | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(大陸性) 気温(-30~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 127 - 13 - B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D227) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ソロモン | 工作機械 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | 3 | 26 / 3 | 3 |
| 派遣希望時期 年 月 日から | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・人的資源開発省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドンボスコ・ヘンダーソン職業訓練校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ヘンダーソン JICA事務所の所在地(ホニアラ)から 東 方向 10 Km 主要都市(ホニアラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同校はローマンカトリック系の職業訓練校(2年制)で、生徒には就職に有利な技能の習得とともに人格形成の指導も行っている。技能コースは、自動車、家政、電気、建築(およその時間配分は理論30%、実習70%)があり、新学期は1月開始で、年に2学期制である。2012年12月時点で、生徒170名(男子134名、女子36名)、職員26名(内教師17名)である。生徒は中学又は高校卒業者で、年齢は18~26才程度と幅がある。教師の内9名はJVやオーストラリア人を含む外国人で、2013年1月までPCインストラクターのJVが活動中(後任要請中)である。年間予算は約1,500万円である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 機械加工技術は、インフラの発展が続くソロモンの工業界にとって必要な技術であり、この技術を有する人材の育成は重要である。同校にはこの技術を指導するための機材はあるものの、専任講師が不在であるため2年間の授業を行っていない。現在は3か月程度の短期実習を他コースの講師が指導しているのみである。 同校は、就職に役立つ機械加工技能コースを再開するために、授業内容の立案、準備、授業の実施に協力できる人材を求めている。対象となる生徒は未経験者ばかりであるため、機械加工の基礎理論と旋盤、フライス盤、ボール盤の基本操作を指導できる人材が求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①現在の短期コースに協力し、生徒に対して機械加工の基礎理論、加工技術、機械の保守管理の指導をする。 ②2年間のコースについて、生徒のレベルに合った授業内容の立案、カリキュラムの作成、その他準備に協力する。 ③コース開始後は、理論と実技の授業を担当する。(様々な制約によって派遣中に開始できない可能性もあるが、長期的な視点で活動する。) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小型旋盤【中国製CQ6230(4台)、CQ9332(3台)、BV20DL-1など全20台(数台は故障中で部品交換が必要)】/横フライス盤/ボール盤/アーク溶接機/グラインダー | | | | |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、40台)、代表者(男性、50台、神父)、事務員(男性、30代)、他教師(男性、女性計17名) 活動対象者:生徒(10~20代) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:実践的な内容の指導が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(23~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 普通旋盤加工技術の指導が活動の中心となる。グラインダーでのバイトの成形の経験も必要。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 58) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D227) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ボリビア | 工作機械 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドン・ボスコ上級職業訓練学校 エルアルト校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ラパス県エルアルト市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 西 方向 20. Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同校は、同国各地で数多くの学校(初等教育、高等教育、職業訓練校)を有するカトリック教会系団体により運営されている。工作機械科のほか、自動車整備科、産業電気科、情報処理科等8学科があり、全校生徒約1500名。短期セミナーなども開催している。工作機械科は3年間コースで生徒数約100名。同校の自動車整備科にはこれまで3名の協力隊員が派遣されている。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 近年の技術進歩により、同国の労働市場においてはより現代的な技術・知識を備えた人材へのニーズが高まっている。こうした流れを受け、同校の工作機械科では従来の授業の充実を図る一方で、自動制御等の電子工学的要素を加味した授業の導入を検討している。しかしながら、工作機械科の教師は同分野の知識を十分に有しているとは言えず、同分野へのニーズを反映させた授業作りが喫緊の課題となっているところ、ボランティアが要請された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 工作機械分野の知識・技術向上のため、現在行なわれている授業の内容改善への協力 2. 近年自動化や電子制御等のメカトロニクス化が進む工作機械分野を踏まえての、新規授業内容の検討と導入への支援 3. 実習教材等の作成協力 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 汎用旋盤15(NOSSOTI FIN18等)、CNC旋盤1(ROMI CENTUR 30D)、フライス盤6(ROMI U30等)、ボール盤2(TITEX等)、研磨機3(INGAR PL-1750等) |

| | |
|---|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 工作機械科教員7名(15~30年の経験) | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|---|--|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) () 理由: 同僚が高卒以上のため ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 教員に指導するため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(高地寒冷) 気温(5~20 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|-----------|
| 要請番号(JL 424 - 13- B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D227) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | ● 2 年 | 1 |
| ヨルダン | 工作機械 | | | ○ 1 年 | 2 |
| | | | | ○ ヶ月 | 3 |
| | | | | JOCV/SV | 日系/短期 |
| | | | | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 26 / 2 | |
| | | | | 26 / 3 | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 労働省 2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社 試験訓練所(TTI)および職業訓練技術学院(STIM) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 0 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内42の訓練所にて学生や社会人の技術向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所が対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。これに関連し、3モデル訓練所などに各分野のJVおよびSVが継続的に派遣され、現在、JV4名(工作機械、経済・市場調査、服飾)及びSV3名(学校運営、経営管理、冷凍機器・空調)が活動中である。また現在、VTCは世界銀行の支援により包括的マネジメント強化に取り組んでいる。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ヨルダンは持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。失業問題、特に若年層の失業率が30～40%と高い中、需要の高い金属・機械加工分野の人材育成が重要とされる。試験訓練所(TTI)は、12の訓練コースがあり、10年の義務教育を修了した約300名の訓練生を対象に主にSkilled Manの育成を図っている。職業訓練技術学院(STIM)は金属・機械加工分野の人材育成を目的に1997年設立され、短大卒業資格に該当するDiplomaコース及びCraftsmanコースを有する。訓練生は約100名。ヨルダン職業技術学院プロジェクト(1997年～2002年)が実施された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 試験訓練所(TTI)の金属加工コースにおいて、インストラクター及び訓練生に対し以下の点で協力を行う。 1. 訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2. インストラクターの指導力向上のための支援 3. 中部地域周辺の複数のVTIIに対する巡回指導及び合同ワークショップの実施 職業訓練技術学院(STIM)のCNCコースにおいて、インストラクター及び訓練生に対し以下の点で協力を行う。 1. CNC旋盤の操作・メンテナンス方法の指導。 2. ワークショップ内の機器のメンテナンス方法および故障修理方法などの指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 旋盤、フライス盤、研削盤、形削り盤、ボール盤、小型CNC旋盤、アーク溶接機、放電加工機、CNC旋盤・森精機 SL-200 4) 配属先同僚及び活動対象者 試験訓練所(TTI)・校長 男性、40代・インストラクター 男性、30代後半 ・訓練生 男性、16～22歳(小学校、中学校卒業レベル) 職業訓練技術学院(STIM)・校長 男性、40代・インストラクター 男性2名、40代 ・訓練生 男性、18～22歳(高校卒業レベル) 5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 男性向けコース同僚との関係 ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: インストラクター指導に必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(地中海性) 気温(0～40℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|----------|--------|
| 要請番号(JL 539 - 13 - B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D227) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 2年 | 1 26 / 1 | |
| 南アフリカ共和国 | 工作機械 | | | 1年 | 2 / | 年 月 から |
| | | | | ヶ月 | 3 / | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育訓練省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) エシャンゼニ訓練校(カニヤマザネ・キャンパス) <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムブマランガ州エシャンゼニ郡ンボンペーラ町カニヤマザネ JICA事務所の所在地(プレトリア)から 東 方向 350. Km 主要都市(ンボンペーラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は同国に50在る公立職業訓練校の一つ。活動先は同校7つのキャンパスの内の一つで、自動車科、機械科のコースを有する。両コースでは国家資格NCV: National Certificate(Vocational) レベル2~4取得をNCVプログラムを教えている。学生は9学年終了資格(日本の中学校卒業相当)以上保有者で学生約300名、教師12名である。年間予算約35百万円。姉妹キャンパスへはH18年から理数科教師、自動車整備等の隊員を派遣してきている。http://www.ehlanzenifet.co.za/kanyamazane.php |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 高い若者の失業率対策の一つとして職業訓練による技能向上が図られている同国において、職業訓練校の役割は重要であり、同配属先では、理論を中心に学び、教える教員が多く、実技をしっかりと教えられる教員が少ない。加えて教員の転職という問題も存在する。青年層への職業教育を充実させ、実社会で即戦力として役立つ技能を指導するため、本ボランティアの要請となっている。調査時点では同キャンパスや他の姉妹キャンパスに理数科教師(数学担当)、自動車整備等計3名のボランティアが派遣されており、職業教育における実技や基礎となる数学力向上への取り組みを個別に、時にはお互いに協力しながら展開している。それぞれの活動に対する配属先の評価も高く、新たに本キャンパスからも本件と自動車整備の要請があった。他キャンパスや他州職業訓練校からの隊員派遣要請もあり、ボランティア同士のさらなる協力も期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 工作機械科の授業全般に関し、同僚教員の指導力強化に協力する。主として実習のサポートだが状況に応じ授業も担当する。 1 旋盤、ドリル、木工機械など基本工作機械の操作技術 2 上記機械の安全かつ適切な取扱いについて 3 ワークショップ施設内の整理整頓、機材メンテナンスや管理に関する協力 4 その他配属先から依頼される関連業務 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 旋盤フライス盤(EMIL HQ800)、卓上旋盤、立て型ボール盤(ZJ4116H)、重量ボール盤(DK14F)、ハックソーマシン(電動のこぎり盤)、平面研削盤、電動のこぎり、CNC旋盤等 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:女性講師1名、20代、経験5年、中級レベル 学生:18~30歳位、約80名 |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上 ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 同僚と同等又はそれ以上 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 講師への指導を行うため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(5~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

特記事項 住居は職員住宅で隊員同士又は現地職員との同居となる予定。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 227 - 13 - B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D230) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| エルサルバドル | 電気・電子機器 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 2 | 26 / 2 | | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 国立工業技術高校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サンサルバドル県サンサルバドル市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1955年に創立された国内唯一の工業専科の国立高校である。電気、電子、自動車、機械、コンピュータの5学科からなり、学生数は昼間部約1500名、夜間部(電子科、自動車科)約200名、教師約90名である。これら3年制の専門課程を卒業すると中等技術者資格が与えられ、就職あるいは進学(高等技術者養成機関の2年編入もしくは大学)する。これまで電気・電子機器、自動車整備、工作機械など8職種、約30名のJICAボランティアの派遣実績のほか、日本政府による機材供与など、日本との結びつきが非常に強い。本要請の前任者となるJVは2013年1月まで活動していた。2013年の年間予算は約120万米ドル。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先の電気科では一般科目に加え電子基礎、電動機、機械加工・溶接、PLC、冷凍機器・空調などを3年間で習得するカリキュラムに沿い、指導が行われている。国内における電気分野の労働需要は高く、学生のほとんどが卒業後就職するため、実践的な授業内容が求められている。前任者は配属先との合意の下、最新PLC(CP1シリーズ:オムロン)、PICマイクロコントローラ、油・空気圧、の3つの制御技術の導入に力を入れ、該当PLCの機能とその応用を同僚教員に指導したほか、3年生にはPICマイクロコントローラの実習授業を行った。現在では同僚教員が継続してPICマイクロコントローラ技術を指導しているものの、油・空気圧機器の制御に至っては未着手であり、制御技術の更なる強化のためボランティアの協力を引き続き得たいとしている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.電気科教員に対し、PICマイクロコントローラの応用技術を伝授し、単独で授業を行えるよう指導・育成する 2.油・空気圧機器の制御技術の理論の指導、実習計画の考案を行い、同僚教師が授業を行えるよう応用技術を指導・育成する | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気科の実習室、空気圧発生装置、PICKIT3(Microchip)、PLC(オムロンCP1L)、パソコン、オシロスコープ、電子計測器デジタルテスター、三相誘導電動機、直流安定化電源(単電源、両電源) | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:男性、50歳代 ・電気科教員:男性5名、経験年数平均25年 ・電気科生徒:約200名(学生の大半は男子) | | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教員への指導を行うため ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚教員への指導を行うため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 住居は原則ホームステイとする。 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 239 - 13 - B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D230) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/ISV | 日系/短期 |
| ホンジュラス | 電気・電子機器 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> / | 1 26 / 1 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ラモン・ロサ技術中高校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 レンビーラ県グラシアス市 JICA事務所の所在地(テグシガルパ市)から 北西 方向 425 Km 主要都市(サン・ペドロ・スーラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 レンビーラ県のグラシアス市に若者の技術教育を目的に1880年に設立された。生徒数は約1000名。基礎科(中学1年～3年と同等レベル)と高等科(高校1年～3年と同等レベル)があり、両科とも3年制。専門分野は家政科、電気科、溶接科、ビジネスアドミニストレーション科、農業科、商業教育科がある。電気科の高等科は人気学科であり、220名の生徒が在学中。年間予算は23千米ドル。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 職業訓練を通して各種技術に関する人材を育成している。電気科は人気学科の一つとなっている。5年前にヨーロッパ連合より、電気科において新築の校舎が建設され実習機材が導入された。これらの機材と教材は、実習授業で使用されているものの、基礎的な使用に留まっており、各機能、使用法を十分に理解している教官がほほいしない状況である。卒業生は、地域の企業の工場などで電気設備の管理などの仕事に就くケースが多いが、とくにPLC制御回路についての知識が求められているもの、同技術中高校で対応できていない実情がある。そのため、PLC制御回路等の機材について指導できる人材が求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業観察を行いながら適切な助言を行う。 2. 新規導入された機材を実習授業で有効活用できるよう基礎技術の指導支援を行う。 3. 実地訓練先の企業を訪問し、PLCの操作及びPLCを用いた制御回路のプログラム作成・開発の状況を確認する。 4. 生徒の理解を深めるための新たな授業・実習内容の提案を行い、同僚教官と共に授業(週30時間程度。1クラス25から30名)を実施する。 5. 上記に関する教材の作成を支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PLCや電子回路の実習機材(DE LORENZO, Lab Volt, Lucas Nuelle製) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 電気科教師、男性8名、女性1名、大卒もしくは大学在学中、30～50代、平均15年の実務経験。カウンターパートは国立教育大学で技術教育を専攻し電気科で勤続20年。 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (電気・電子) 理由: 電気科教師への指導のため ・経歴 () () 理由: () 理由: | | | 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (イベ・N: C) 又は (イベ・N:) | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15～30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 239 - 13 - B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D230) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ホンジュラス | 電気・電子機器 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) アレハンドロ・フロレス技術中高校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 エル・パライス県エル・パライス市 JICA事務所の所在地(テグシガルバ市)から 南西 方向 114 Km 主要都市(テグシガルバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1961年に設立されたエルパライス県最大規模の技術中高校で、基礎科(7年生から9年生)と高等科(10年生から12年生)において技術教育と普通教育を実施している。高等科レベルの専門科目は、電気工業学科、自動車整備学科、農業学科、商業教育学科がある。全校生徒数は約600名。現在、JV(2012年3月から2014年3月)が、授業指導とともに、他ドナーから贈与された機材の授業への活用法の検討を進めているところである。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 教官の間では、教育技術を高めたいという希望がある。また、学校にはヨーロッパ連合の支援により電気工業学科の教室が建設され、実習機材の贈与がなされたが、新しい機材についての知識不足や、贈与の際の指導不足があり、有効活用されていない状態がある。この状況を踏まえ、2011年からJVが活動を開始し、授業指導だけでなく機材の有効活用の検討を進めているが、残り一年の任期で完了することは困難であり、継続的な支援が必要なことから、今回の要請に至った。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.他の教官に対して電気分野の技術指導を行うとともに、生徒に対して日本の技術等について講話を行う。 2.実習場所への訪問を行い、必要とされる技術の調査を行う。 3.寄贈された機材の有効活用のための技術指導を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気機械練習機(Lorenzo)、三相交流練習機(Lucas Nulle)、自動制御練習機(Lucas Nulle)、コイル巻機(dmb1005e)等 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート 40代後半男性、教官、経験25年 同僚教官は20代後半から50代前半 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (電気・電子) 理由: 専門分野の指導を行うため ・経歴 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(16~33 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---------------------------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 306 - 13 - B - 64) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード D230) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 | | |
| ボリビア | 電気・電子機器 | | | ● 2 年 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | ○ 1 年 | 2 | 26 / 2 | |
| | | ○ ヶ月 | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ガブリエル・レネ・モレノ自治大学理工学部 | | | | <input type="radio"/> NGO | | |
| | 3) 任地 サンタクルス県サンタクルス市 JICA事務所の所在地(ラバス市)から 南東 方向 550. Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) | | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 サンタクルス市内にキャンパスを置き、13の学部を擁する国立大学。理工学部は、電気工学、電子学、機械学、土木建築学、オフィスオートメーション学、農地測量学の6つの学科から運営されている。活動先となる電気工学科は、3年制で、講師数32名、生徒数約500名。同科の卒業生は、県内の工場の生産ライン設置・メンテナンス業務や電気工事士として活躍している。予算は年間約7万米ドル。現在、同職種のSV1名が活動中。(～2014.9) | | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 電気工学科では、1年で退学する学生が多く、卒業するのは毎年20名程度である。学生の残存率を増加させ、より現場のニーズに即した人材を育成するためには、より新しい技術を導入した実習室の整備が必要となっている。校舎の増築に伴い、新しい実習室を設置する計画であるが、配属先の講師は最新技術の知識が十分ではないため、そこで、技術力の高い日本の現場を知るボランティアが要請された。ボランティアには、既存の機器・機材の有効活用や、学生の探究心を高め問題解決能力を養成するための研究ゼミ設置への協力も期待されている。 | | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先である電子工学科において、以下の活動を行う。 1.実習室において必要機材の導入と機材の活用法についてアドバイスを行う。 2.実習機器・機材の使用手順マニュアルを作成する。 3.3年生を対象にした研究ゼミの設置を支援する。 | | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習機器・機材、パソコン1台、プリンタ1台 | | | | | | |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(男性、40代、大卒) 同僚講師・実習室担当(男性、30代) 同僚講師・プロジェクト担当(男性、40代) | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高等専門学校卒) (電気・電子) 理由: 活動遂行上必要なため ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 活動遂行上必要なため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | |
| 資格 条件 等 | | | | | | | |
| 地域 概況 | 気候(亜熱帯) 気温(10~35 ℃位) | | 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | | | | |
| 特記 事項 | 教室型 | | | | | | |
| 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 636 - 13 - B - 33) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D230) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ルワンダ | 電気・電子機器 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省雇用開発局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ニヤンザ技術学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 南部県ニヤンザ郡キゴマ村 JICA事務所の所在地(キガリ市)から 南 方向 70 Km 主要都市(キガリ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2002年に開校した寄宿制の後期中等教育レベルの公立技術学校。生徒数600名、教員数24名。同国における技術学校のモデル校となっており、5つの技術コース(電子、電気、建設、自動車整備、公共サービス)を開設している。生徒は専門コースを一つ選択して、基礎理論と実技を学ぶ。同校への外部支援は活発であり、過去にアフリカ開発銀行が建設の資金提供、機材供与、ボランティア派遣を行い、世銀が校舎の増設を行った。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 技術学校では、教員給与が低く、質の高い技術者はほとんど民間に流れる現状があり、同校においても、各コース関連分野で幅広い知見を有する講師の確保には至っていない。特に電気・電子機器コースに関しては、生徒に質の伴った授業を提供できていない。電子コースの充実の継続を目的として、隊員の継続要請があった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・基礎的な電子コース専攻の実技と理論の指導。 ・同僚教員と授業内容や進度を相談しながら、教員たちのレベルアップの一助を担う。 ・電子回路における基礎知識と実践への応用を授業に取り入れることが求められている。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習場、オシロスコープ、半田ゴテ・テスター、抵抗器、テレビトレーナー、ラジオトレーナー、ブレッドボード及び基本的な電子部品、基本的な機材及び道具 | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 電子コース教師(4名、20~30代) その他教師(20名) 生徒(後期中等教育レベル) | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) (電気・電子) 理由: 職業訓練校教員の最低学歴 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 学生、教員へ指導を行うため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|----------------|--|---|--------|---------|--------|
| 要請番号 (JL 066 - 13 - B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード: D231) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| スリランカ | 電気・電子設備 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 青年問題省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ワウニア県職業訓練センター <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ワウニア県ワウニア JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北 方向 250 Km 主要都市(アヌラダプラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練センターは1996年に設立された若者を対象とした就業促進のための就職訓練機関である。ワウニア県職業訓練センターは2009年に設立され、県内5か所に設置されたセンターの本部機能も有している。2011年現在、溶接、PCソフトウェア、PCハードウェア、冷蔵庫・空調、電気設備の5コースを運営している。外国からの援助はなし。 |

| | |
|---|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 長年の紛争で荒廃した同国北部地域はほかの地域に比べ経済・社会開発が遅れており、民族間の和解を念頭においた復興支援が求められている。 電気設備コースは定員30名。授業内容は屋内配線一般。生徒はセンターにて半年(1月～6月、7月～12月)の授業を受けた後、企業にて半年の実地トレーニングを受け、卒業する。配属先は日本から新しい技術を取り入れるため、また、授業のレベルを上げるためにボランティアを要請した。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚講師とともに屋内配線の授業を進めていく。授業内容は主に屋内配線についての知識・技術全般であるが、卒業生が就職後、電気機器の修理を求められることが良くあるため、簡単な電気機器の修理の授業も行っている。復興中の任校には屋内配線のための機材は限られたものしか備わっていない。技術的にレベルが高い人材よりは、限られた機材を使って、わかりやすい授業を行うための工夫ができる、柔軟で創造的な発想ができる人材が求められている。授業はタミル語で行われる。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用配線ボード、スイッチ、電線、簡単なセンサー、テスター、工具など ※5)について本邦語学訓練では英語学習、現地語学訓練ではタミル語学習となる。 |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:講師、男性1名、30代 指導対象者(生徒):男性がほとんどで、年齢は17～25歳 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (第一種電気工事士) ・性別 (男性) 理由: 慣習上女性の活動が難しいため ・学歴 (高等専門学校卒) () 理由: 電気科教師として活動するため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 電気科教師として活動するため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25～33℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 066 - 13- B - 44) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D231) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| スリランカ | 電気・電子設備 | | | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 青年問題省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) ウツェラワヤ職業訓練センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 モナラーガラ県ウツェラワヤ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 東 方向 140 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 任地モナラーガラ県はスリランカの中でも最も貧しい県のひとつ。配属先であるウツェラワヤ職業訓練センターは、モナラーガラ県に12ある職業訓練センターの中核センターとして約10年前に設立された。ウツェラワヤ市街地から7km程離れた場所に作られている。本センターは本地域の若者に、就職に必要な技術を身につけさせることを目的としており、PCソフトウェア、アルミニウム加工、自動車整備、溶接、木工、電気、電子等の科を有している。予算は非公開。約5年前にカナダのボランティア派遣団体から機材供与を受けた実績がある。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 本要請は本センターの電気科からの要請。電気科は本地域の若者に電気に関する技術を身につけさせる目的で開設された。コースはセンターでの授業が1年、その後工場等での実地研修を1年行う合計2年であり、毎年1月と7月にコースがスタートする。定員は15名。 日本の技術を導入することによって同科の技術レベルを高めること。同センターにある木工用等の機械についての電氣的な整備を行うことで機械を有効利用させること、更に、電気技術を通して日本とモナラガラ間の友好を促進するため、ボランティアの要請が上がった。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚電気科講師とともに電気の授業、主に実技を担当する。同科では主に屋内配線技術の授業を行っている。 ・日本の新しい電気技術を同科に紹介する。 ・現在、同科はモーターコントロール、発電機、配電盤等の技術を求めている。 ・近年LED、LCDテレビがスリランカに入ってきており、この修理技術が求められている。電子分野ではあるが、LED、LCDテレビ修理技術を持っている人材が望ましい。 ・同センターに導入され、故障している、または整備が必要な機械類の整備・修理を行う。 ・電気技術を通じて、モナラーガラ県の住民と日本人との友好を深める。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用配電盤 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 電気科講師:男性1人、授業経験8年。 生徒:男子生徒が多い。19-22歳。学歴は中学卒業。 | | | 5)活動使用言語 (シンハラ語) 6)生活使用言語 (シンハラ語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (第1種電気工事士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由:同僚講師と同等の学歴が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:活動は実技指導が中心となる為 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(22~34 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---|
| 要請番号(JL 527 - 13 - B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D231) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/VSV 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| ナミビア | 電気・電子設備 | | 日系/短期 年 月 から | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ルンドゥ職業訓練センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 カバング州ルンドゥ JICA事務所の所在地(Windhoek)から 北 方向 750 Km 主要都市(Ojivarongo)までの交通手段及び所要時間(車 で約 5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1994年に教育省傘下に移行した職業訓練センターで、2010年より教育省傘下NTA(Namibia Training Authority)が管理運営している。同職業訓練センターは、電気・自動車整備・レンガ工・家具建具・秘書事務・配管などの講座を開設しており、訓練生400名程度、職員数46名である。センター敷地内には、訓練生用の寮もある。ボランティアもセンター敷地内の教員住宅に住むことになる。年間予算額:N\$2,000,000.(US\$285,000.)程度。JOCVは、2011年まで電気電子設備隊員1名が活動したが、その他の外国援助はない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国は、1990年の独立以降、国造りの基礎として国民教育を行っている。特に次世代を担う青少年の教育に重点が置かれているが、アパルトヘイト時代に黒人が言語以外の教育を受けられなかったことから教育者の絶対的な人材難があり、良質な教員の確保が困難な状況にある。職業訓練分野においても同様で、十分なノウハウ・経験・知識を有する適当な指導教官・インストラクターの確保が容易でない。 同国の職業訓練センターは、義務教育の12年生(Grade12)修了者が入学することができ、貧困削減・雇用機会改善のため様々な職種における職業訓練が実施されているが、人材不足をボランティアの配属により補完し、人材育成に向けた良質な訓練の実施、ナミビア人教官の質向上を目指すことを目的としている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ナミビア人職員と共に一般家庭・商業建築物などの屋内配線・必要配電機器設置方法・手順などを中心とした実践的な指導訓練を担当する。 ・同訓練センターは3年間コースであり、訓練生の実力など諸事情に合致した講座計画の策定など融通性と工夫が必要。 ・一般家庭用電気機器の故障箇所特定・修理方法などについての指導訓練も行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 訓練教室及び電気工具一式 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先スタッフ: センター長、電気科スタッフ2名(高~大卒、20~40歳代。) 指導対象者: 訓練生、15~30歳。初心者のレベル。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (第一種電気工事士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由: 専門的知識が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 実践的ノウハウが不可欠 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(乾燥サバンナ) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記 事項 | 住居はセンター敷地内の教員住宅で、同性の隊員や同僚とルームシェアする可能性がある。(トイレ、シャワー、台所、居間が共有) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 10 日

| | | | | | |
|---|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 539 - 13- B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D231) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| 南アフリカ共和国 | 電気・電子設備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| 1)受入省庁名 (日本語) 高等教育訓練省 | | | | | |
| 2)配属先名 (日本語) エشانゼニ職業訓練校(ムルマチ・キャンパス) | | <input type="radio"/> NGO | | | |
| 3)任地 ムプマランガ州エشانゼニ郡コマジ町カムスシュワ JICA事務所の所在地(プレトリア)から 東 方向 400 Km 主要都市(ネルスプリット)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | | |
| 4)配属先の規模・事業内容 配属先は同国に50在る公立職業訓練校の一つ。活動先は同校7つのキャンパスの内の一つで、ビジネス科とエンジニアリング科に分かれ計6コースを教えている。(国家資格NCV: National Certificate(Vocational)レベル2~4取得を目的とするNCVプログラム等を提供) 学生は9学年終了資格(日本の中学校卒業相当)以上保有者。学生数約800名、教師数約25名。年間予算約3千万円。平成18年から同キャンパスへ隊員を派遣し、これまでに十数名を派遣。同校姉妹キャンパスへも理数科教師等の隊員を派遣中。(www.ehlanzenifet.co.za/mlumati.php) | | | | | |
| 1)要請理由・背景 高い若者の失業率対策の一つとして職業訓練による技能向上が図られている同国において、職業訓練校の役割は重要である。同配属先では、理論を中心に学び、教える教員が多く、実技をしっかりと教えられる教員が少ない。また、全日制のほかに3か月単位で開講される夜間コースも担当し、十分な授業準備をする時間がない教員も多い。加えて教員の転職という問題も存在する。青年層への職業教育を充実させ、実社会で即戦力として役立つ技能を指導するため、本ボランティアの要請となっている。調査時点では同キャンパスや他の姉妹キャンパスに理数科教師(数学担当)、自動車整備等計3名のボランティアが派遣されており、職業教育における実技や基礎となる数学力向上への取り組みを個別に、時にはお互いに協力しながら展開している。なお、他キャンパスや他州職業訓練校から自動車整備、電子工学等の隊員要請もあり、ボランティア同士の協力も期待されている。 | | | | | |
| 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 隊員自身が学校で学んだことに基づき次のような電気・電子設備科目の授業を同僚教員と協力して担当する。(主に実技) 1 単相230V/三相400V屋内電気工事の設計・施工及び検査 2 シーケンス制御装置、小発電装置、変圧器、電動機等の運転、施工及び検査指導 3 電気・電子測定装置についての実技指導 4 最新技術の紹介や授業法、教材の助言など、同僚教員の知識及び技能強化のための協力。 5 施設の整備や機材メンテナンス等の管理に関する協力 ※今後PLCを活用したモータ制御等の実技指導も行われる予定であるため、PLCについても経験があるとよい。 | | | | | |
| 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気パネル、AC/DC電動機、電気・電子計測器(オシロスコープ、テスター、絶縁抵抗計(メガー)、アースループテスター他)、コンピュータ(Windows 7)、PLC | | | | | |
| 4)配属先同僚及び活動対象者 同僚: 30代男性講師1名(電気設備)、40代男性講師1名(電子) 共に実技は中級程度 学生: 17~30歳程度(ストレートで入学する場合は17歳) | | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上 ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由: 配属先要件 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 経験に基づく指導が必要 第2種電気工事士 理由: 確実な知識・技能が必要 | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(ステップ) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 住居は複数の同性隊員とルームシェアになる予定 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 75) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D231) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| タンザニア | 電気・電子設備 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | 3 | / | 日系/短期 |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 地域開発ジェンダー児童省 2) 配属先名 (日本語) ンジョンベ職業訓練校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ンジョンベ州ンジョンベ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 南西 方向 585 Km 主要都市(ンジョンベ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 タンザニア国内に約50ある地域開発ジェンダー児童省管轄の職業訓練校の1つ。草の根レベルで農村部の青少年を対象に各種の職業訓練コースを提供している。2012年6月現在、生徒数約160名、スタッフ数22名。屋内配線コースの他に、溶接、裁縫、自動車整備、農業、料理、木工、シングルマザーのコースが開講されている。年間予算は約2千万円。当案件の他に、自動車整備のJVポストも申請が同募集時期に出ている。外国の援助は入っていない。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 同訓練校には屋内配線のコースがあるものの、教員不足のため正規教員の配属がない状況であったため、前任者にあたるJVが22年度に派遣された。JVの他に臨時教員がいるが、知識や技術が満足ではない現状である。生徒に適切な屋内配線の技術を身に付けさせる授業を継続的に実施するため、当ポストのJVが要請された。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 屋内配線工事に関する基本的な授業を同僚とともに実施する。 ② 職業訓練校内の配線修理を同僚や生徒とともに実施する。 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 黒板、チョーク、簡単な電気チェッカー、電源装置、電線、スイッチ、ランプホルダー | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 屋内配線について教える教師1名は30代女性。担当コースの生徒は約60名。 | | | | 5) 活動使用言語 (スワヒリ語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (第1種電気工事士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:業務遂行上必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行上必要 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(内陸性) 気温(10~25 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 76) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D231) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 電気・電子設備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公団ソングエア校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ルブマ州ソングエア市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 南西 方向 820 Km 主要都市(ソングエア市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1985年に設立された職業訓練公団傘下の職業訓練校である。2005年に現在の場所に移転しており、校舎と設備はまだ新しい。現在、溶接科、自動車整備科、裁縫科、電気科など8つの長期コースがあり、加えてコンピュータメンテナンスなど3か月の短期コースがある。年間予算は約3千5百万円。同校には23年度派遣でコンピュータ技術のJVが派遣され、2012年6月現在、活動を実施している。外国の援助は入っていない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同校の電気科には2名の教員が配置されているが、電気設備とその設置に関する新しい情報と技術を持っていない。このため、より高度な授業と実技指導を学生に提供できるJVの派遣が要請されている。同校の電気科には実習に使用する設備が幾つかあるものの、日本の職業訓練校の設備と比べ、かなり乏しい状況である。同校には、自動車整備とコンピュータ技術の隊員が過去に派遣されており、長期JVの活動には高い評価がある。今回、新たな職種である当ポストの要請があった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 電気に関する理論、屋内配線に関する基本的な授業を実施する。 ② 実技として新築の建物の屋内配線工事を同僚や生徒とともに実施する。 ③ 電気・電子設備の分野における新たな情報を、同僚と生徒に提供する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 3相モーター、分電盤、制御盤、オシロスコープ、テスター、ソーラーシステム、可変トランス、ボール盤、グラインダー、ハンドドリル | | | | |
| 要請等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚は、30代男性1名と40代男性1名の計2名。 担当コースの生徒は2学年合計で、約40名。 | | | 5) 活動使用言語 (スワヒリ語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (第1種電気工事士) 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の希望 ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由: 業務遂行上必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 業務遂行上必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 77) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D231) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 電気・電子設備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公団モシ職業訓練センター <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 キリマンジャロ州モシ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 北西 方向 450 Km 主要都市(モシ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 キリマンジャロの麓モシ市に位置し、1983年に設立された職業訓練公団傘下の職業訓練校。電子、溶接、ホテル・ケーターリング、冷蔵・空調設備、機械、ディーゼル機械など多岐に渡るコースを抱え、生徒数合計は約500名の規模の大きい訓練機関となっている。同校には、21年度派遣でコンピュータ技術のJVが派遣された。同校の年間予算は、日本円で約7千万円。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校の電子科には2名の教員が配置されているが、エレクトロニクスに関する新たな知識と技術を持っていない。このため、十分な知識と経験を有する日本人技術者が、より高いレベルの授業を学生に提供することが期待されている。また、同校の電子科が教材と設備を購入する上で、その選定についても助言が求められている。一般的に同国における職業訓練校の設備は、我が国の職業訓練校の設備と比べ、かなり乏しい状況ではあるが、職業訓練公団傘下の各校は、徐々に設備を拡充してきている。21年度派遣でコンピュータ技術の長期JVが派遣されたが、その活動が高く評価された経緯もあり、新たな職種として当ポストの要請が出された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 電子科の学生を対象として、エレクトロニクスに関する授業と実習を実施する。 ② 電子分野の教材、設備、工具の選定について、同僚教員に助言を行う。 ③ 電子科所属の2名の教員に、エレクトロニクス分野における最新の情報を提供し、知識と技術の向上を支援する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ドライバー、ハンドドリル、電気ドリル、オシロスコープ、シグナル発信機、スペクトル分析器 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (第1種電気工事士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由:業務遂行上必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行上必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15~30 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|---|---|---|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D233) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| モンゴル | 建設機械 | | | 2 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 労働省 2) 配属先名 (日本語) ドルノド県技術カレッジ <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ドルノド県チョイバルサン JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 北東 方向 660 Km 主要都市(チョイバルサン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1924年設立の同校は88年の歴史を持つ東部地域主要の技術専門学校で、国内企業から機械・農業系の労働人材育成を請け負っている。年間予算は約1,000万円。今年度は、22の専門クラスに677名、技術クラスに55名、職業訓練クラスに307名、合計1039名の学生が在籍しており、初級・中級・上級レベル別の専門的技術教育を実施、要請のある企業へ卒業生を就職させている。総務部、鉱山石油部、農業産業部、技術サービス部に総勢52名の教師、31名の職員が在籍し、農業・鉱山分野で、国内の企業から人材育成の依頼を受け、育成した人材を就職させている。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 同校は2007年から情報技術、機械修理、英語、農業分野で米国ピースコー、韓国ボランティア(KOICA)を受け入れてきた結果、教師陣と学生の質が高まり、教育環境が改善される等、ボランティア活動から高い成果を実感しているため、今回新たな分野でJICAボランティアを受け入れ、建設機械コースでのレベルアップを計りたいと考えている。教育環境は整っているが建設機械における幅広い知識と専門的人材育成の必要性から今回派遣を要請した。ボランティアから経験と知識を吸収し、教師陣の質と学生の技術を向上させたいと考えている。 | | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 生徒に対し、専門科目(工業重機、鉱山・農業機器の修理、部品の組立、モーター・機械の注油や始動方法、保守作業等)を教え、就職後、専門的な技術を生かせる人材に育てる。 ② 学内にある農業・工業機械の修理、保守作業を学生に指導する。 ③ 同僚教師に最新の機械の情報を紹介する。 | | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 修理実習用重機部品(エンジン、コンプレッサー、ポンプ、トランスミッションギア等)・工具(レンチセット)一式、重機シミュレータ | | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 同僚教師(男性、40代、自動車修理、運転、トラクター運転等の実習授業を担当) (男性、20代、農業エンジニア) 活動対象者 生徒(16~35歳、1クラス約20~25名) | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:実践的な内容の指導に必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | | |
| 地域概況 | 気候(大陸性) 気温(-30~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 048 - 13 - B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D233) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ブータン | 建設機械 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 中央機械ユニット | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ブムタン県ブムタン町 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 東 方向 257. Km 主要都市(ブムタン町)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.25 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 農林省管轄の下、ブータン国内の全ての県(20県)を対象にした農道整備や土地開発、灌漑設備建設に必要な土木工作機械の配備、点検・整備を行っている。2008年から始まった第10次五か年計画において幹線道路の整備が喫緊の課題として挙げられ、2013年7月から始まる第11次五か年計画においても同配属先に期待されることは大きい。2006年には無償資金協力により5億円相当の道路建機が多数供与されている。2011年10月まで道路建機維持管理のSVが活動していた。その他外国等からの援助は入っていない。年間予算は約124百万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 2011年10月まで同配属先で活動していたSVにより基本的なメンテナンス作業や修理は配属先スタッフでも対応可能となっている。しかし、簡易なメンテナンスだけでは効率的に運用できないほか、建設機械の稼働量の増加に伴い、高度な修理技術を要する故障のトラブルシューティングが必要となってきている。配属先では整備工場を建設し、本格的な修理を行える環境を整備しているが、多様なトラブルに対応できる技術が不足しているためJVの要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは主に点検・整備を担当し以下の活動を行う。 1. 配属先にある土木工作機械の油圧系回路および電気系回路の保守点検 2. 上記機械の一般的な修理 3. 地方で稼働中の土木工作機械の保守点検作業(地方巡回) 4. 同僚への指導ならびにアドバイス、および簡易マニュアルの作成 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CATERPILLAR エキスカベーター (320C, 311, 304)、CATERPILLAR ブルドーザー (D6R)、KAWASAKI ホイールローダー、SAKAI 振動ローラー等が稼働中 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(男性) ・同僚(40代:男性)(実務経験22年) ・修理担当者10名/建設機械オペレーター50名(20代~40代)(実務経験5年~15年) 主な活動対象者 ・配属先スタッフ | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (I・N: C) 又は (I・N:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の男性比率が高いため ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚への実践指導を含むため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯性) 気温(-5~25 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 特になし | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 30) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D234) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 船舶機関 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 家畜漁業開発省 |
| | 2)配属先名 (日本語) 水産教育訓練公団ムベガニキャンパス <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 プワニ州バガモヨ県バンデ・ムベガニ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 北 方向 60 Km 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 1966年に設立された配属先は、家畜漁業開発省管轄の水産系教育訓練機関である。2011年に国内にある他の水産系教育機関と合併し、現在の漁業訓練公団(FETA)に名前を変え、新たな教育訓練機関としてスタートした。養殖、食品加工、漁業、環境、海洋工学の5部門でCertificate、Diplomaコースがあり、約350名の学生が在籍している。教員は約40名、年間予算は約2,500万円。2008年に海外漁業協力財団(OFCF)が同配属先に対し、修理修復プロジェクトを実施しており、訓練船の修理修復、技術者への指導が行われている。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 同国は広域にわたってインド洋に面しており、潤沢な海洋資源を有する環境にあるが、海洋資源を活用する人材が十分に育成されていない。同公団は、タンザニアの海洋水産業に係わる人材を養成する主要機関であるが、適切な技術や知識を教授できる講師が慢性的に不足しており、今回の要請となった。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1Certificateコース[Oレベル(中学2年生から高校2年生程度)卒業者を対象]とDiplomaコース(Certificateコース修了者を対象)の学生に対して、トロール訓練船のエンジン、その他周辺機器に関連する授業(「ディーゼル機関の保守・整備」「冷凍機器の仕組み」など)や実習を実施する 2トロール船のエンジン、その他周辺機器の修理修復の技術を同僚に紹介する |

| | |
|--------|--|
| 要 求 | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 訓練船3艘[トロール船(21m、主エンジン:YANMAR Model 6HA2M-DTEyYX120L)、トロール船2艘(12m、主エンジン:YANMAR model 4CHKHTxYX50N)]など |
| | 4)配属先同僚及び活動対象者 同僚: 技術者5名(20代~50代) 活動対象者: 学生約25名 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:専門的な知識、経験を要する 理由: | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (スワヒリ語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
| | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |

| | |
|----------|---|
| 地域 概況 | 気候(沿岸性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記 事項 | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|----------|
| 要請番号 (JL 018 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タイ | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) サラブリー技術高等専門学校 <input type="radio"/> NGO | | | | |
| 先概 | 3) 任地 サラブリー県ムアンサラブリー郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北東 方向 107 Km 主要都市(サラブリー市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| 要 | 4) 配属先の規模・事業内容 1938年設立。高等学部3年、短大部2年制の高専であり、自動車科、電気科、電子科、建築科、商業科等、計11学科からなる。職員数142名、学生数4,000名。うち自動車科は職員数15名、学生数550名である。多くの卒業生は、日系企業が多く進出しているアユタヤの工業団地に就職している。学校全体の年間予算は1億5000万円。過去にKOICA(韓国国際協力団)のボランティアが活動していた。 | | | | |
| 要 | 1) 要請理由・背景 タイでは、製造業の発展に伴い労働者の需要が急増し、慢性的に労働者が不足している。特に工業系の知識と技術をもった人材の需要は高く、工業系高等専門学校では、電子工学、生産機械、自動車工学等の製造業関連の人材育成に努めている。しかし、授業は理論が中心であるのに対し、企業で役に立つ実践的な演習、実習の強化が求められていることや、日系企業に就職する卒業生が多いこともあり、JVの要請が挙げられた。 | | | | |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 同僚教師とともに、ハイブリッドシステムや電子制御システムについての講義や、エンジンの分解組み立て等の基本的な実習指導を行う。 2 5Sの定着を支援する。 3 可能であれば、バイクの修理の実習指導も行う。 4 多くの卒業生が日系企業に就職するため、現場で利用する専門用語や企業で通じるビジネス習慣に係る日本語を紹介する。 | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 修理用車両3台、実習用エンジン(トヨタ24Valve Twin Cam、日産16Valve Twin Cam、ホンダDOHC VEC等)、ギアオートマチック | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車科 教員 15名(全員男性 大卒 30~50代) なお、カウンターパートにあたる教員は、40代で20年の教員経験がある。 | | 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 専門的な知識が必要なため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 現場での経験が必要なため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 018 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タイ | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | 3 26 / 3 | |
| 配属先 | | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ガビンブリ産業地域教育高等専門学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 プラーチーンブリー県ガビンブリ郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北東 方向 150 Km 主要都市(プラーチーンブリー市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1997年設立と比較的歴史が浅いが、タイ国内のロボットコンテスト2位の成績など、教育に非常に力を入れている高専である。高等学部3年、短大部2年制であり、自動車科、電気科、商業科等、計6学科からなる。職員数は55名、全学生数は2,073名であり、自動車科には高校生約300名、短大生約60名、教師7名がいる。年間予算は1億8000万円。現在、中国人の中国語教師、フィリピン人の英語教師がいて、過去にはKOICA(韓国国際協力団)の韓国語教師も活動していた。 | | | |
| 要請 | | 1) 要請理由・背景 タイでは、製造業の発展に伴い労働者の需要が急増し、慢性的に労働者が不足している。特に工業系の知識と技術をもった人材の需要は高く、工業系高等専門学校では、電子工学、生産機械、自動車工学等の製造業関連の人材育成に努めている。ガビンブリ郡には、工業団地が5か所あり、2,000もの工場がある。工業団地には日系企業も多く、学生は日系企業に就職する人も多いことから、企業で即戦力となって働くための実践的な演習や実習をして欲しいとの要望が挙げられ、本要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 同僚教師とともに、ガソリンエンジンの電子制御システム、構造、分解組み立て等の基本的な実習指導を行う。 2 5Sの定着を支援する。 3 エコカーコンテストやロボットコンテストの作品製作のためのアドバイスをする。 4 多くの卒業生が日系企業に就職するため、現場で利用する専門用語や企業で通じるビジネス習慣に係る日本語を紹介する。 | | | |
| 概要 | | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 修理用車両4台、トラクター(クボタL2000)1台、Electric Fuel Injection Training Board | | | |
| 要 | | 4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車科 教員 7名(全員男性 大卒 30~50代) なお、カウンターパートにあたる教員は、30代後半 大学院卒である。 | | 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G-D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 専門的な知識が必要のため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 現場での経験が必要のため 理由: | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|---------|-----------|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 19) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| モンゴル | 自動車整備 | | | 1 | JOCV/SV | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 1 | |
| | | 3 | 26 / 2 | | | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 労働省 | | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) ドルノゴビ県立職業訓練校 | | | | <input type="radio"/> NGO | | |
| 3) 任地 ドルノゴビ県サインシャンド JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 南西 方向 460 Km 主要都市(サインシャンド)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 1986年に設立された県立職業訓練学校で、当初、建築及び農業専門校として開校し、1992年以降、管轄省庁下の県立職業訓練校となり、約1600名の卒業生を輩出している。生徒数は約700名(中学・高校卒業生対象)、教師スタッフは約60名。年間予算は約6,000万円。訓練コースは現在、建築・重機・鋸業・自動車整備・料理等、13種類のコースが用意されており、公立ゆえに学費は免除されている。外国人ボランティア受入経験はない。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 中小企業育成や雇用創出は、同国における重要な課題であり、その課題に資する人材育成は急務である。同校では、中・高等部卒業生を対象に各種職業訓練コース(座学・実習)を設けて各分野の人材を育成しており、今後更なる需要が見込まれている。このような状況下、訓練コースの中でも特に生徒数が多い自動車整備コースの拡充を図るため、今回JVが要請された。 | | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 【赴任初期】 ① 同僚の行う授業に参加し、手助けしながら、既存の自動車整備コース(主にガソリン車対象)内容を理解する。 【活動中期～後期】 ② 生徒に対し、適切なメンテナンス実施について授業を担当する。 ③ 上記メンテナンス指導に加え、カリキュラム策定に対して同僚及び上司にあたるスタッフに助言する。 ※ 担当授業数は、赴任後、配属先と相談しながら決めるが、週5時間以上は期待されている。 | | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 車両昇降機・タイヤ脱着器・実習用車両(韓国製・HYUNDAI)・実習用エンジン・実習用トランスミッション・各種工具等 | | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 コース責任者(男性、40代、実務経験10年以上) 同僚講師(女性、20代、実務経験1年以上) 指導対象生徒(男女、中高等部卒業生、60名程度) | | | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:カリキュラム策定に必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:実践的な内容の指導に必要 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 気候(大陸性) 気温(-30~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 066 - 13- B - 45) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| スリランカ | 自動車整備 | | | 1 | JOCV/SV | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 1 | |
| 3 | 26 / 2 | | | | | |
| | | | ヶ月 | 3 | 26 / 3 | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 青年問題省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) バドゥッラ職業訓練センター | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 バドゥッラ県バドゥッラ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 東 方向 130 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 任地バドゥッラ県はスリランカの中でも最も貧しい県のひとつ。配属先であるバドゥッラ職業訓練センターはバドゥッラの市街地から約6km離れた場所に位置しており、バドゥッラ県に7つある職業訓練センターの中核センターとして1983年に設立された。自動車整備、PCソフトウェア、PCハードウェア、美容、機械、木工、配管、産業電気、ラジオ・TVメンテナンス、アルミ加工等の科を有している。本センターは本地域の若者に、就職に必要な技術を身につけさせることを目的としている。予算は非公開。外国からの援助は受けていない。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 本要請は本センターの自動車整備科からの要請。自動車整備科は本地域の若者に自動車整備技術を身につけさせる目的で本センター開設時(1983年)に開設された。コースはセンターでの授業が1年、その後工場等での実地研修を1年行う合計2年であり、毎年1月と7月にコースがスタートする。定員は15名。 日本の技術を導入することにより、同科の技術レベルを高めること、また、自動車整備技術を通して日本とバドゥッラ間の友好を促進するため、ボランティアの要請が上がった。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚自動車整備講師とともに自動車整備の授業、主に実技を担当する。 ・日本の新しい自動車整備技術を同科に紹介する。特にEFI(Electric Fuel Injection)についての技術を講師に伝えることが求められている。 ・同センター講師は既にインターネットを通じて、日本の自動車整備技術を学んでいるが、これをサポートすることも求められている。 ・自動車整備を通じて、バドゥッラ県の住民と日本人との友好を深める。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各種エンジンモデル。トランスミッションモデル。ステアリングモデル。サスペンションモデル。 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車整備科講師:男性2人、20~30代、授業経験2~6年。講師のうち1名は全日本学生フォーミュラ大会(静岡県)参加経験あり。 生徒:男子生徒が多い。19-22歳。学歴は中学卒業。 | | | 5) 活動使用言語 (シンハラ語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (工学) 理由: 同僚講師と同等の学歴が必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 実技指導が中心となるため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯) 気温(20~34 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|--|---|--|--|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 106 - 13- B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| フィジー | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 1)受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化/芸術省 | | | | | | |
| 2)配属先名 (日本語) ヴィヴェカナンダ職業訓練校 | | <input type="radio"/> NGO | | | | |
| 3)任地 ナワイゾンバ JICA事務所の所在地(スバ市)から 北西 方向 190. Km 主要都市(ナンディ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間) | | | | | | |
| 4)配属先の規模・事業内容 同配属先はインド系宗教団体(ラーマクリシュナ)を母体とした職業訓練校であり、1981年設立、自動車整備、木工、農業、ケータリングコースを、政府系職業訓練校よりも安価に、農村の青年層を対象に提供している。幹線道路から2キロほど内陸部の農村部に位置している。職業訓練コースの内容は教育省の指導要領に基づいているが、実践的なスキル習得に重点を置いている。洪水の被災地に野菜の種子を配布する事業を実施するなど、慈善活動も行っている。EUやニュージーランドからの資金協力や、日本大使館による草の根無償協力で校舎の援助を受けている。年間予算は訓練校全体で約1,100万円。 | | | | | | |
| 1)要請理由・背景 フィジーでは、日本から年式の古い中古車を輸入してきた経緯があるが、近年、製造後5年以内の車両しか輸入できなくなり、急速に電子制御エンジンの比率が増えている。よって、電子制御エンジンに対する知識・技術を有した技術者のニーズは高まりつつある。 同訓練校の自動車整備コースはEUからの資金協力を得て、エンジンスキャナーやラジエーター圧テスター、エンジンベンチといった機材を導入、電子制御エンジンを含む車両修理技術を取得する環境を整えてきた。しかし、これら機材を使いこなしつつ、自動車整備を十分に指導できる人材が揃っていない。さらに、外部からの車両も受け入れ、容易な修理は生徒が対応することで実践的な技術を磨き、同時に学校運営資金を賄う計画もあるが、修理行程を監督できる経験を講師陣は有していない。このような背景から、JV要請に至った。 | | | | | | |
| 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 自動車整備コースの内容を充実させるために、以下の活動を同僚講師陣と共にを行う。 1.自動車コースにおいて(2年コース)、自動車整備の実習を主に担当する。特に、電子制御エンジンやオートマチック車、電装についての指導を行い、活動を通じて、同僚講師のスキルアップを図る。 2.実習に必要な知識向上に向けた、コンピューターソフト(CDX Automotive Resource Kit Plus)を用いた補習を補佐する(ソフトの利用自体は難しくなく、動画、イラストが多用されたマルチメディア教材)、また、学校に持ち込まれた車両の故障診断・修理に協力する。 | | | | | | |
| 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 エンジベンチ(ガソリン、ディーゼル)、エンジンスキャナー(Launch X431)、ラジエーター圧テスター、コンプレッサー、溶接機、タイヤチェンジャー、ホイールバルンサー、実習用パソコン | | | | | | |
| 4)配属先同僚及び活動対象者 自動車整備コース主任講師:31歳:男性:経験4年 アシスタント講師:32歳:男性:経験1年 指導対象生徒:16~18歳の生徒 | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:故障診断の実習に必要な理由: | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | | |
| | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------|----------------------|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 109 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | ○ グループ型 ● 個別 | ○ 新規 ● 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| キリバス | 自動車整備 | | | ● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 労働・人材育成省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キリバス職業技術訓練校 | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 ベシオ JICA事務所の所在地(アンボ)から 西 方向 14 Km 主要都市(バイリキ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 キリバスで唯一の総合職業訓練校であり、教養・ビジネス・コンピュータ・経理・木工・電気・自動車工学科などがある。年間予算は4500万円。2009年に自動車整備短期JVを派遣しており、その後任の位置づけでの長期JVの派遣。2006年にEUから、校舎・ワークショップの建築と資機材の供与を受けた。運営建直しのため2009年から2012年にかけてオーストラリア人校長が派遣され、その後、2012年からキリバス人校長が着任した。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 自動車整備技術の取得は、雇用機会を広げる意味で国内・国外を問わず、大きなメリットがある。自動車工学科では、基礎から学ぶ自動車整備の授業が開設されている。しかし、自動車整備の授業内容が、同国技術者が出稼ぎにでる近隣諸国で増加している新しい車種に対応しているとはいえず、キリバス人講師もそうした技術を持ち合わせていない。2009年4月には短期JVが、2011年1月には長期(1年)JVが派遣され、週15時間ほどの実技実習等を学生及び同僚教員への技術移転を行った。キリバス人教師と共に生徒への授業や実習を担当し、自動車整備の授業内容の改善や同僚のスキルアップを行う。2代目の長期JVとなる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 国内及び出稼ぎ先の近隣諸国の自動車整備産業で通じるレベルの知識や技術を生徒に指導できるよう、同僚講師のサポートを行う。 ② より充実した自動車整備授業が行えるよう、必要な備品のアドバイスや新しい技術情報を提供する。 ③ 生徒(1~3年約50名)に自動車整備実習全般を行う。(自動車工学科の授業内容のうち6割程度が自動車整備に関連)・生徒に対して自動車の構造や理論の授業を同僚と打ち合わせながら分担して行う。 ④ 電子式燃料噴射、電子制御システム、トランジスター点火・充電システムに関する、理論・修理技術に関する知識の伝達が求められている。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 不動エンジン、船外機エンジンモデル、油圧プレス、万カバイス、ベンチグラインダー、電気溶接機、トヨタカット作動モデル、卓上ボール板等及びコンプレッションテスターやギアブローラー等を含む工具一式 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車工学科長(40代) 非常勤講師(30代 教員経験4年) 生徒は高校卒業(17~18歳)以上で約20名。その他に短期コースでの生徒も学ぶ。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (機械工学) 理由: 同僚の技術レベルを考慮 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 生徒に指導するため ・ 2級整備士(G-D) 理由: 業務遂行上必要であるため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| | 地域概況 気候(熱帯海洋性) 気温(25~ 35 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | | | | |
| 特記事項 | 住居は他のボランティア(JVまたは海外)と同居になる可能性がある。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 124 - 13 - B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| パプア ニューギ ニア | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) クワトコミュニティー専門学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 アロタウ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 南東 方向 360 Km 主要都市(アロタウ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 キリスト教系の3年制技術専門学校。教会では他にも乳児園と幼稚園の運営も行っている。2013年度の生徒数は151名(内寮生36名)、男女比は半々。木工・建築・観光・家政のコースが実施されている。12歳から受け入れており、中学・高校での学業不振により編入する生徒も多い。1年目は全コースの基礎を受講し、2~3年生で各コースに編入されていく。2006年開学で教員もボランティアであったが、2012年に学校として正式登録され、教師の正式雇用を進めている。年間予算はK200,000(約920万円)で、学費に加えて教会メンバーからの寄付も募っている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 援助機関や政府からの支援を受けて学校施設は整備されており、近々コンピュータ教室も開く予定で40台のパソコンも準備されている。機械系のコースはないが、地域住民を対象とした技術指導なども行っており、車両のメンテナンス及び小型ボート船外機の日常点検の指導ニーズが高い。離島部などは車両を本島に持ち込むのも困難で、修理工場なども存在しないため、整備不良のまま走っているケースも多い。ボランティアには、日常点検による故障予防から、故障箇所の判断、修理技術などが求められる。また、小型船外機は整備不良による故障も多く、日常点検レベルの指導が求められる。車両・船外機共に、本格的な修理が必要な場合は、地元ディーラーに取り次いで出張修理依頼することも可能である。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 派遣されるボランティアには下記の活動が期待されている。 ①車両のトラブルシューティング、メンテナンス技術の指導。 ②小型ボート船外機の日常点検の指導。 ③離島村落部を訪問しての、技術ワークショップの開催。 ④故障箇所判定による、ディーラー修理への取り次ぎ。 ⑤専門学校学生に対する技術学習の取り組み。 将来的に、整備士コースの設立につながれば理想的である。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、事務用品、共用パソコンなど。修理器具は最低限しかなく、派遣後に学校側と相談して導入を進める。村人のボート船外機は、主にYAMAHA製の15~80馬力の4サイクル・2サイクルエンジン。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 校長・副校長+教員数8名で25-45才 教員は大卒で本業の傍らで教鞭をとるボランティアがほとんど。今後、正式な教員として採用を進める。農業コースは、担当できる教員が不在となってしまったため、追加採用する予定。 | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車/自乗車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------------|----------------------|--|----------|
| 要請番号(JL 224 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | ○ グループ型 ● 個別 | ○ 新規 ● 交替 2 代目 | ○ 2 年 | 1 26 / 2 |
| ドミニカ共和国 | 自動車整備 | | | ○ 1 年 | 2 26 / 3 |
| | | | ○ ヶ月 | 3 / | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 職業技術訓練庁 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 職業技術訓練庁 中央地域事務所 | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 サント・ドミンゴ特別区 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 北 方向 0 Km 主要都市(サントドミンゴ特別区)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 国内の労働市場に対しニーズに即した職業技術訓練を行い、技術者要請を行う国家レベルの中核機関。略称は、INFOTEP。訓練生は、14~30才を中心に、幅広い年齢層から募集され、多様な訓練コースを実施している。日本や台湾からの機材援助、JICA、KOICA(韓国国際協力団)からのボランティアの受け入れをしている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 当国では、多くの日本製中古車が走っている。しかし、定期点検の習慣がないため、整備不良のまま使用されている。部品も中古を使っているため、壊れやすいなどの問題を抱えている。中古車は、20~30年前の車を使っているにもかかわらず、定期的なメンテナンスを行っていないため、故障が多い。整備士たちは、動かなくなった車を動かすための修理をするしかないため、その修理が別の場所の不具合につながり、新たな故障箇所を増やすこともある。ボランティアには、同配属先の同僚教師と共に、直接生徒に授業を行うことで、各生徒の技術の向上、知識の向上を促すことが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 電子制御式燃料噴射装置(ガソリン・ディーゼル)の整備指導 ② 電気・電子系統の整備指導 ③ 自動車科の教官と共に生徒に実習などを通じた講義を実施 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 MEGACHEM社のディーゼル・エンジン(614)前輪駆動シャーシ(525)AUTOWINNER INDUSTRIAL社の四気筒4サイクルガソリンエンジン(A11A2)ディーゼルエンジン(A13A2) | | | | |
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート 男性 30代後半 経験20年 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (スペイン語) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 指導的な立場になるため 自動車整備士2級 G・D 理由: | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | | | | 活動上の單車/自転車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 | |
| | | | | ○ 可 ● 不可 | |
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 ℃位) | | | 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | |
| | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 □ 無線) | | | 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | |
| 特 記 事 項 | インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 248 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ニカラグ ア | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドン・ボスコ青年センター | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 マナグア県マナグア市 JICA事務所の所在地(マナグア)から 北 方向 0. Km 主要都市(マナグア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1958年に設立された教会系非営利団体Don Boscoが運営する職業訓練校。自動車整備科、電気科、溶接科、木工科、コンピュータ科等全13の職業訓練コースを有している。教員数25名、生徒数953名。USAID、EU、サレジオ会等からの支援を受けており、今年度の予算は210万USD。スタッフ2名がJICAの日本での研修コースを受講しており、日本への造詣も深い。2008年に大規模な自動車修理工場を建設し、3年制の自動車整備コースを立ち上げた。同整備工場は施設が整っている為、AUDIの販売店と契約して必要な際には設備を貸し出している。施設内に野球、サッカー、バスケットボール等のグラウンドを有する。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では自動車の数が急増しており、特に日本車や韓国車が増えている。しかしながら、最新の技術を理解し整備指導できる人材が乏しい。今後自動車整備士も最新の車両に対応することが求められるため、日本の最新技術を導入することを望んでいる。2010年の開設以来、自動車整備コース(3年制)の人気は高く、177名(男性175名、女性2名)の生徒が学んでいる。実習用の自動車修理工場は塗装専用ルームやクレーンなども有し、ほとんどの機材が整っていると思われる。3名の教員は一般的な自動車整備の経験はあるが、特に駆動系統(ハンドル、変速機、ブレーキ、サスペンション、車輪)での最新技術についての知識経験が乏しいため、この分野を中心とした自動車整備全般の知識を有した人材から最新の知識を学ぶことを希望している。また日本の整備工場の整理整頓や事故防止の手法についても積極的に導入したい考えである。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 同僚教員への指導方法/指導技術助言 2) 教員/生徒向けの講習会実施(日本車の技術、故障予防メンテナンス、駆動系メンテナンス/修理、インジェクター等) 3) 毎週の教員会議での技術指導/情報共有(特に駆動系、その他電気系統、電気制御系統、塗装、エンジン等) 4) 現場でのSS活動指導監督 5) コースカリキュラム改善への助言 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般整備用工具一式、実習用車両(2000現代ソナタ、2000トヨタセル、2000日産パトロール)、実習用エンジン(ホンダ、シボレー、VOLVO)、実習用変速機等 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育コーディネーター:40代男性、経験年数8年 カウンターパート:40代男性、2年次担当教員、経験年数15年 他自動車整備担当教員2名: ①40代男性、3年次担当教員、経験15年、 ②40代男性、1年次担当教員、経験14年 自動車整備コース(3年制)生徒177名(15~25歳) | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 同僚教員との活動となるため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 同施設では余暇のスポーツ活動が非常に盛んであり、可能であれば野球の指導経験か競技経験があればなお良い。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 55) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ポリビア | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドン・ボスコ上級職業訓練学校 エルアルト校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ラパス県エルアルト市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 西 方向 20 Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はイタリアのカトリック教会系団体(サレジオ会)で運営されており、ポリビア各地で数多くの学校(小学校、中学校、高等教育、職業訓練校)を有し、配属先はその内の一校(職業訓練校)である。同校の工業部門には自動車整備科の他に工作機械科、電気・電子科、グラフィックアート科など8学科があり、全校生徒は約1500名。各学科の正規の3年間コース以外にも短期セミナーなどを実施している。自動車整備科の生徒数は約120名(18歳から25歳)、本年度予算は約50,000米ドル。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校の自動車整備科には、これまで3代にわたり電子制御ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンが専門のボランティアが派遣されてきた。同国は輸入中古車が市場の広範囲を占めており、そのうち80%以上は日本車が占めている。昨今同国の自動車における輸入制限が改正されたことで、今後、製造後5年以内のモデルのみ輸入が認められることとなった。このような状況下、前任者はそれに対応すべく最新技術・知識に関する指導を同僚及び生徒に対し行ったものの、引き続き技術の強化と定着を図るためにボランティアの要請に至った。今回、特にCANシステムやハイブリッドなどの電子制御システム関係の知識・経験を有するボランティアが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 自動車整備科で以下の活動を実施する。 1.電子制御燃料噴射システム及び電子制御システム(OBD・CAN・ハイブリッド)に関する知識・技術の指導。 2.上記1.の技術が反映された新授業カリキュラム(座学・実技)の策定を支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 車両6台、ガソリン・ディーゼルエンジン各10台、AT6基、各種工具、測定器(専用テスター・オシロスコープなど)、教室、プロジェクター | | | | |
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長(大卒)、男性、50代 自動車整備科教員7名(11年~26年の経験)、男性6名、女性1名 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚への指導を行うため ・ 2級整備士(G・D) 理由: 同僚への指導を行うため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(高地寒冷) 気温(5~20 °C位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 57) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ボリビア | 自動車整備 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) アヤクチョ職業訓練学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ラパス県ラパス市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1981年に設立された首都に位置する公立の職業訓練校。情報システム科、機械科、建築科、自動車整備科、秘書科、マーケティング科の6学科からなり、現在670名の生徒が在籍しており、教員数は44名である。現在、情報システム科で協力隊員1名が教師及び生徒に対する技術指導を行っている。また、草の根無償資金による工作機械科の機械購入及び実習室の改修プロジェクトが進行中。本年度予算は約23,000米ドル。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は設立より28年の歴史がある職業訓練校だが、これまで受けた外国からの援助は現在派遣中のJICAボランティアの受入のみである。近年の技術進歩に伴い、同国でもより現状に即した技術・知識を備えた人材へのニーズがますます高まってきている。この傾向を受け、同校の自動車整備科では、授業内容の見直し、及び充実・改善が喫緊の課題となっており、これに併せ、機材メンテナンスや実習室の環境改善も必要とされている。しかしながら、自動車整備科の教員はこれらの課題に取り組むための知識・経験を十分に有しているとはいえないため、ボランティア派遣による支援が要請された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 自動車整備科において以下の業務を行う 1. 同科教員に対して自動車整備全般に関する知識・技術向上のための講習を立案・実施する。 2. 自動車整備科実習室の環境改善、メンテナンスに係る助言を行う。 3. 授業カリキュラム、教材、授業内容の改善に関する支援を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ガソリンエンジン(Nissan NA20, Toyota EF15)、ディーゼルエンジン(Toyota 2C)、トランスミッションシステム、サスペンションシステム、工具類(負圧計、テスター、タコメーター他) |

| | |
|--|---|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 男性 50代 自動車整備科同僚 男性 6名(30~40代) 学生約30名 | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|--|---|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 教員に指導するため 2級整備士(G・D) 理由: 教員に指導するため | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(高地寒冷) 気温(5~20 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 424-13-B-21) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ヨルダン | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 1)受入省庁名 (日本語) 労働省 2)配属先名 (日本語) 職業訓練公社 マシャーレア職業訓練所 <input type="radio"/> NGO 3)任地 マシャーレア JICA事務所の所在地(アンマン)から 北西 方向 80 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) 4)配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校にて学生や社会人の技術向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。現在、VTCの訓練所でJOCV4名(工作機械、経済・市場調査、服飾)及びSV3名(学校運営、経営管理、冷凍機器・空調)が活動中である。マシャーレア職業訓練所には、自動車整備、自動車電装、電気配線、金属加工・溶接、冷凍・空調機器、木工などの男性コースがあり、訓練生は約300名である。 | | | | | | |
| 1)要請理由・背景 ヨルダンは持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。 ヨルダンでは失業率が問題となっているが、特に若年層の失業率が30～40%と高い。 ヨルダンには多くの自動車整備工場があり自動車整備士の需要も高い。しかし、訓練機関で学ぶことなく自動車整備工場に就職するものも多く、自動車整備士の技術レベルは低い。誤った作業により故障が発生したり、不十分な故障診断により不完全な修理しかできない場合があるため、正しい整備知識を持った整備士育成が必要である。 | | | | | | |
| 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) マシャーレア職業訓練所(VTI)の自動車整備コース及び自動車電装コースにおいて、インストラクターおよび訓練生に対し、以下の点で協力を行う。 1.訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2.訓練コースの補助教材作成 3.インストラクターの指導力向上のための支援 4.訓練コースの実施に関する側面支援 5.北部地域周辺の複数のVTIに対する巡回指導及び合同ワークショップの実施 | | | | | | |
| 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ETIシミュレーション、ABSシミュレーション、ガスアナライザー、A/Cサービス用機材、エンジン故障診断装置 | | | | | | |
| 4)配属先同僚及び活動対象者 ・校長(男性40代) ・担当インストラクター2名(男性40代) ・訓練生 約20名(男性 10代後半～20代前半) ・他コースの指導員、事務員など(男女約30名) | | | | 5)活動使用言語 (アラビア語) 6)生活使用言語 (アラビア語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G-D)) 又は () ・性別 (男性) 理由: 男性向けコースのため ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: インストラクター指導のため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 気候(地中海性) 気温(10～50℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 7 日

| | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 472 - 13 - B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| スーダン | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | 3 26 / 3 | |
| 配属先名 (日本語) ハルツーム職業訓練センター <input type="radio"/> NGO | | | | | |
| 3) 任地 ハルツーム JICA 事務所の所在地(ハルツーム)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハルツーム)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 全国に展開する国立職業訓練センターのうち、最大となる職業訓練センター。1964年、当時西ドイツ政府の全面協力により設立された。生徒数約1200名、教師45名。修業年限3年。自動車(ディーゼル・ガソリン・電装)、電気(電気設備・TV/ラジオ)、木工、溶接、機械、金属加工、設計、空調(空調設備・エアコン/冷蔵庫)等の科がある。現在、技術協力プロジェクト「北部スーダン職業訓練強化プロジェクト」(~2013/12)、およびJV(~2014/10)が活動中。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 2008年度、JICAは自動車科を含む主要な科に無償資金協力による機材を導入し、同時に指導者の育成が求められ、JVの派遣となった。過去2代の短期JV派遣を経て、現在は長期派遣ボランティアが活動中で、長期派遣として本案件は2代目となる。主な活動は指導者への助言・アドバイスが中心で、講師として生徒への直接指導も期待されている。また他の職業訓練校との技術交流や、他機関への自動車メンテナンスを通じた業務連携など、職業訓練センター自体の活性化を目指した課外活動も重要となる。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 座学、実習、他との連携等を通じた、以下のような指導や助言を行う。 1. 既存カリキュラムの実施やアップデート 2. 新しい技術の紹介や実践 3. 他の職業訓練校との技術交流を通じた同センターの活性化 4. 他機関への出張等による同センターの活性化 その他、課外活動などを通じた技術指導が期待されている。 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用韓国車、アライメントテスタ、タイヤチェンジャ&バランサ、グラインダ、サーキットテスタ、ダイアグノシス、インジェクタノズルテスタ、コンプレッションゲージ、マイクロメータ、カーリフト等 | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:ディーゼル科4名、ガソリン科4名、電装科3名 指導対象:生徒16~18歳くらい | | | | 5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 経歴によるアドバイスが必要 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(砂漠気候) 気温(30~45 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 503 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ポツワナ | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育技能開発省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) マウン技術短期大学 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 マウン JICA事務所の所在地(ハボロネ)から 北西 方向 915 Km 主要都市(ハボロネ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 11 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 マウン技術短期大学は国内に7つある技術短期大学の一つである。3年制の同校は自動車、機械、建設、観光、ビジネス、コンピュータの6つのコースを持ち、それぞれの国家資格を取得を目指している。年間予算は約1.2億円。24年度2次隊コンピュータ技術隊員が活動中。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ポツワナ国内では多数の日本車が利用されている。そのため日本車の中古車整備・修理の技術は職業に就くため重要なスキルである。昨今の自動車は電子制御の部品が多く、配属先では整備・修理のための技術を持ったスタッフが不足している。配属先が所有する機材が十分に利用されている状況ではない。そこで最新の日本の自動車に関する知識、整備・修理技術を持ったボランティアが求められている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 訓練生への効果的指導を目的とした実習指導。特に電気部分を中心として。 2. 訓練生と講師の技術向上のためのアドバイスをを行う。 3. その他自動車整備士として勤務するために必要な知識と技術を講師と協力し生徒に教育する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 トヨタ・ハイラックス、Alternator and Starter Tester、Armature Growler、Battery High Rate Discharge Test、等 |

| | |
|---|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長: 40代後半、技術短期大学勤務20年 自動車整備士 講師: 11名(整備5、電装1、板金5)、概ね30代から40代前半、高学歴だが現場での経験は少ない 生徒: 全生徒72名、16歳以上、3年制 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|---|--|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G-D)) 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の希望 ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 同僚とのバランス ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 業務遂行上必須 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|----------|---|
| 地域 概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|----------|---|

| | |
|----------|--|
| 特記 事項 | |
|----------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|--|--------------------|
| 要請番号(JL 503 - 13- B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| ボツワナ | | | | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育技能開発省 2) 配属先名 (日本語) マロペラ職業訓練校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マロペラ JICA事務所の所在地(ハポロネ市)から 北東 方向 500. Km 主要都市(フランシスタウン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ボツワナ国内には約50のブリゲードと呼ばれる職業訓練学校がある。中学校卒業から就学が可能であり、16歳から25歳前後の生徒が様々な職業技術を学んでいる。当校には自動車科、木工科、コンピュータ科、会計・ビジネスのコースがある。年間予算約4500万円。 |
|-----------------------|--|

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ボツワナでは日本車が相当数利用されており、適切な技術を身につけることで職業を得、生活を安定させることができる。当職業訓練校ではスタッフの整備技術向上及び生徒への指導のためボランティアが要請された。現代の自動車に用いられている電子制御のエンジン、オートマチックの構造の説明や修理技術の指導及び生徒への授業、実習の補助が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の業務が期待されている。 1.自動車科に外部から持ち込まれた車両の修理を生徒たちと実習しつつ訓練をする。 2.工具の使い方、管理等を指導する。 3.生徒の国家資格受験に向けた自動車の構造、製図、経理(資金管理)の学科授業を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Lift, Engine model, Analyser, Ramp, Air Gauge、基本工具(レンチ、テスター、ラジオペンチ等) |
|------------------|---|

| | | |
|---|--|--|
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 部署責任者1名 男性 40代 レクチャラー3名 男性 40~50代 活動対象者は、18-25歳(高卒以上) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |
|---|--|--|

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(専門学校卒) () 理由: 専門分野の基礎が必要 ・経歴(実務経験) (2年以上) 理由: 実践的知識と技術が必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-----------------------|---|---|

| | |
|------------------|--|
| 地 域 概 況 | 気候(サバンナ) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------------------|--|

| | |
|------------------|--|
| 特 記 事 項 | |
|------------------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | |
| エチオピア | 自動車整備 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) アディスアベバ市役所 |
| | 2)配属先名 (日本語) 生産性向上センター <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 アディスアベバ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(アディスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 同センターは、国営及び民間企業の生産性向上を目的に、トレーニング、技術相談、技能テスト、メンテナンスなどを行っている。現在、皮革加工、木工、服飾、建設、電気電子機器、溶接、金属部品制作、自動車整備、10セクションにおいて数週間から数か月のコースを実施している。全体の予算規模は約14,000,000ETB(約6,000万円)/年である。同センターでは、零細企業からのトレーニング受講生、市の支援による職業訓練性、NGOの支援によるストリートチルドレン等が主に訓練を受講している。皮革加工コースでも長期JOCVボランティアが継続して派遣されている。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 同国に於いて、近年自動車の台数は増加する一方、整備士の技術レベルは必ずしも高くなく、技術者の養成、技術向上は急務である。配属先となる自動車整備コースでは、受講者に対するトレーニング、政府車両のメンテナンス、技術テストの実施などを行っている。現在、実施しているトレーニングに於いても、基礎的な知識、技術は指導しているものの、自動車技術の進歩につれて、講師の技術力の向上も必要とされている。自動車整備コースで運営されている業務をサポートする中で、受講者や講師に対し、知識、技術を移転することを期待され、同要請に至った。※同センターの皮革加工コース、服飾コースからも、JOCVボランティア要請がある。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.受講者に対するトレーニングの支援(10日間から1ヶ月間のコースがあり、エンジンG/D・シャシ・電装の一通りを行う) 2.修理・メンテナンス車両に対する技術アドバイス 3.技能テスト実施に対するサポート 4.上記1~3を支援する中で、技術や知識の移転を行う ※今後、EFIやATIに関しての知識向上も目指しており、必要に応じて支援を行う。(現在EFIやATIに関しての実習機材は無い。今後診断機などをそろえる予定。ATIに関しては、テキスト上のみで指導を行っている。) |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用エンジン・M/Tミッション・デフ、ハンドツール、インジェクションポンプテスター、ノズルテスター、マイクロメーター、ボアゲージ、ボール盤、コンプレッサー、カットモデル(ポンプ等)、その他 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (機械工学) 理由:自動車整備の専門知識が必須 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:実際の修理も行う為 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|----------|--|

| | |
|----------|--|
| 特記 事項 | |
|----------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

| | | | | | | |
|------------------------|--|-----------------|----------------------|--|--------|-------|
| 要請番号(JL 512-13-B-03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | ○ グループ型 ● 個別 | ○ 新規 ● 交替 2 代目 | ● 2 年 | ○ 1 年 | |
| ガーナ | 自動車整備 | | | ○ 2 年 | ○ 1 年 | ○ 2 年 |
| | | | | 1 | 26 / 1 | |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | | 3 | / | |
| 年 月 日から | | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) クマシ技術短期大学 ○ NGO 3) 任地 アシヤンティ州クマシ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北西 方向 250 Km 主要都市(クマシ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ガーナ国内各州に1校ある高等技術教育機関で、日本の短期大学に相当する。19学科あり、生徒数は約8,000人、教員総数は約300名の大規模校。入学資格は高校卒業者で、卒業後に国家資格が取得できる。服飾科と自動車科、電子工学科にそれぞれJICAボランティアを派遣した実績があり、現在も自動車科と電子工学科でJVとSVが活動している。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先では専門技術教育が行われているものの、理論に偏ったものとなっている。そこで、授業における実践的な内容の強化と、ガーナ全体として遅れている電子制御システムに対する、理解と整備方法の指導が期待されている。前任者は授業の他にも5Sに注力し、実習環境の改善に貢献しており、配属先からは、後任にも引き続き5Sの指導を継続し、生徒およびスタッフに定着させることが求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒に対して、電子制御システムの基本的な仕組みに関する指導 2. 生徒に対して、故障原因の特定方法、整備方法の指導 3. 生徒および同僚に対して、5Sの指導 4. 同僚との技術共有や助言 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教材用日産サニーEX saloon(2006)、コンピューターラボ(シミュレーター、デモンストレーター等)、インテリジェントテスター4台(日産Consult II)、マルチメーター、工具一式 4) 配属先同僚及び活動対象者 学部長(経験年数30年、50代) 学科長(経験年数6年、40代) シニアスタッフ3名(経験年数35年、60代) スタッフ(経験年数1年、30代) 主な指導対象者:高校卒業者 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:体系的な知識が必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:経験から得た実践技術が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○単車 ○自転車 ●不要 現職教員特別参加制度 ○可 ●不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○安定 ●不安定 ○なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|-------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV 26 / 1 |
| ガーナ | 自動車整備 | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | / |
| 年 月 から | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 雇用・労政省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) クマシ職業訓練センター <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 アシヤンティ州クマシ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北西 方向 250 Km 主要都市(クマシ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1970年に地域の青少年の雇用機会向上を目的とし、地域住民組織により設立された職業訓練校。ガーナ第2の都市にあり、職業訓練校としては比較的大規模である。自動車整備をはじめ、印刷、調理など8つのコースが設けられている。生徒数は約650名で講師の数は19名。今年度の予算規模は約2,600万円。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 配属先は、自動車に関連して、自動車整備、自動車電装、自動車板金の3つのコースを有する。生徒数も全生徒の約半数を占めており、重点が置かれている。しかしながら、電子制御システムおよびオートマチック・トランスミッションに対する、理解と実務が遅れており、指導を期待されている。同時に同僚にも最新の知識や技術を指導して欲しいとの要望により、今回の要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.生徒に対して、電子制御システムおよびオートマチック・トランスミッション構造の授業と実習の実施 2.生徒に対して、故障原因の特定方法、整備方法の指導 3.同僚との技術共有や助言 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、プリンター、カット模型(ガソリンエンジン、クラッチ・トランスミッション)、工具一式 | | | | |
| 要請条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚3名(経験年数5年~9年、30代) 主な指導対象者: 中学校卒業生 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:体系的な知識が必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:経験から得た実践技術が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35℃ 位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| | 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|-----------|--|
| 要請番号(JL 512 - 13- B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ガーナ | 自動車整備 | | | 1 26 / 1 | 年 月 から | |
| | | | | 2 26 / 2 | | |
| | | 3 / | | | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 運輸省 2) 配属先名 (日本語) 国立技術訓練センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 グレーター・アクラ州アクラ市 JICA事務所の所在地(アクラ)から 南 方向 5 . Km 主要都市(アクラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 ガーナ国内唯一の運輸省直轄4年制自動車整備士養成学校で、1968年に西ドイツ政府の援助を得て設立された。「自動車整備」「自動車電気装置整備」「自動車車体整備・塗装」「溶接加工」「自動車運転工学」の5つ専門コースに分かれ、1～2年生はこれら全ての基礎を学び、3～4年次にそれぞれの専門性を深める。2013年7月現在の生徒数は95名。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 運輸省直轄の自動車整備士養成学校で、他国からの援助により自動車診断機を始めとした機材が揃っているにもかかわらず、主に座学を通して自動車整備を学んできた同校の講師は、それら機材の活用法に関して不慣れである。JICAボランティアには、これら機材の活用法を同校講師陣に指導するとともに、生徒に対する自動車整備一般に掛かる授業を受け持つことが期待されている。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同校講師を対象に、自動車診断機の活用法に関する指導を行う。 2. 生徒対象の座学と実技の授業を受け持つ。(ボランティア本人の得手・不得手に応じて柔軟に対応。) 3. 同校講師を対象に、可能な範囲で塗装ブースを利用した塗装方法の指導を行う。 | | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本工具一式、基本計測器一式、自動車診断機、塗装ブース、排気ガス測定器、ホイールアライメント測定器、自動車シザリフト等 | | | | | |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 2013年7月現在: 指導対象者: 中学校卒業程度の生徒 同校講師(平均年齢37歳): 日本の専門学校卒かそれ以上の資格を有する 自動車整備 - 4名 / 自動車電気装置整備 - 3名 / 自動車車体整備・塗装 - 2名 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (\checkmark) 又は (\checkmark) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 実践的な知識と技術が必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 同僚が経験豊富であるため ・ 自動車診断機に関する知識と技術 理由: 実践的な知識と技術が必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35℃) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 塗装に関しては、可能な範囲での対応で可。 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 515 - 13- B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ケニア | 自動車整備 | | | 2 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 3 | 26 / 2 | | | |
| | | 0 ヶ月 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) グシ技術専門学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キシカウンティキシイ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 西 方向 350 Km 主要都市(キシイ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) |
| 要請概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 1971年に設立された技術専門学校。自動車整備、電気、電子科など30種類のディプロマコース(3年)、11種類のショートコース(1年)が設定されている。中等教育終了資格を有するものが入学できる。生徒数約1370名。教師数151名。年間予算は約7000万円。ドイツより金属加工、木工、建築の各コースに機材供与を受けた経緯がある。 |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ケニアにおいて日本車が占める割合は9割以上と非常に高く、また8年前以前に生産された車両の輸入制限が加わり、地方都市においても年式の新しい車両が街中を行交っている。こうした状況の中、配属先では自動車科の実習棟を新築するなど教育レベルの向上に取り組んでいる。しかし新型車両の知識を正しく伝えらる人材が不足しており、特に実習授業における教育レベルの向上が急務とされている。ボランティアは生徒に対して授業を実施するだけでなく、同僚教師に対しての技術指導も求められる。 |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは自動車科に所属し以下の業務を担当する。 <ul style="list-style-type: none"> ・週10時間程度の実習授業を担当。 ・外部診断機を用いての故障診断、修理の指導。 ・工具、機材の正しい利用方法の指導。 |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 工具一式、実習用エンジン(可動)トヨタ5A-FE (不動)トヨタ2C 外部診断機:Auto Boss V30 |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車科教師15名(30歳代~50歳代) 自動車科生徒約70名(20歳~28歳) |
| 要請概要 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|---|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:ディプロマの生徒指導に必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:配属先教師の技術レベル同等 整備士2(G-D) 理由:学校での指導に必要なため。 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|---|---|

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(高温多湿) 気温(15~ 35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号 (JL 515 - 13 - B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| ケニア | 自動車整備 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 環境・水・天然資源省 | | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) ケニア野生生物公社 ナイロビ中央工場 | | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| 3) 任地 ナイロビカウンティナイロビ JICA事務所の所在地(ナイロビ(中心部))から 南西 方向 20. Km 主要都市(ナイロビ(中心部))までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はケニアの国立公園・保護区を所管する政府機関で、野生生物の保全と持続的利用を目的に、公園施設運営・管理、密猟取締り等の各種調査&モニタリング、環境教育活動を行う。これまでに同公社には自動車整備、生態調査、環境教育、視覚教育などの協力隊が合計約70名派遣されている。KWS全体の2010年の事業予算は18億5千万。2011年度のナイロビ中央工場の予算は1500万円。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 配属先はKWSの車両を維持管理する最大の工場で、取り扱い車両は一般車両をはじめ大型バス、動物輸送用の特殊車両、更には公園内の道路整備を行う建設機械まで多岐に渡る。同工場はその規模のみならず日常の整理整頓やPCで管理された在庫部品など、他のケニアの整備工場と比べると卓抜した運営を行っている。しかし整備士個々の作業は繊細さに欠けるため、整備完了後短期間での再修理、二重作業などが発生し、また大型車両が作業の大変を占めることから多額の維持管理費用が必要となっている。ボランティアは確実な整備技術の指導を通して、経済的な工場運営を支援することが求められる。 | | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは現場監督として以下の作業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・大型車両、建設機械に対しての適切な整備指導。 ・特殊工具の適切な使用方法の指導。 ・測定機器の適切な使用方法の指導。 ・上記1~3を実践することによる工場運営経費の削減。 ・電子制御ディーゼルエンジン整備に対する助言。 | | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 KWS取扱車種:いすゞ・フォワードFTS4WD、いすゞD-MAX、UD大型バス、トヨタランドクルーザー、ハイラックス。建設機械:コマツ、CAT、三菱などのモーターグレーダー、ホイールローダーなど | | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 工場責任者をはじめ、事務所スタッフ約10名 各部門現場監督5名 現場整備士27名 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 現場監督として活動するため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 気候(高原) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号 (JL 527 - 13 - B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| ナミビア | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方行政・住宅・地域開発省 2) 配属先名 (日本語) オジョ役場 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 クネネ州 オジョ JICA事務所の所在地(ウイントフック)から 北 方向 320 Km 主要都市(ウイントフック)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4.0 時間) | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 ナミビア国最大の代表的野生動物保護区エトーシャ国立公園への入口に位置する、人口12,000人程度の町にある行政機関。年間予算はUS\$2,350,000程度で、職員数87名(うち女性17名)である。2013年4月より3代目JV(測量)が活動予定。 | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 同役場技術部は総勢60名程度、うち整備課は5名の職員がいるが、老朽化した重機等工事車両の整備・管理に必要な技術・ノウハウ・経験をもつ専門性の高い技師が不足しており、工事車両の整備などを迅速に行うことが出来ず、これが他業務の遅延の原因となっており、同時に財政圧迫をもたらす結果となっている。同要請は、JVを要請することで、重機等工事車両および一般車両の整備・管理に必要な技術を役場職員が学び、役場職員の技術向上によって役場所有車両の適正かつ迅速な整備・管理を行う。また、将来的に経費削減につながることを期待されている。 | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・役場管理の工事車両(重機)の整備・管理を役場職員と行う。 ・役場職員に対する工事車両整備の指導。 ・整備工場内の車両整備マニュアルや整備用機材などをMSエクセルを使用してデータベース化を行う。 | | | | |
| 要請 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気工具一式、整備工場(リフト等機材あり)。主な整備・管理対象となる車種は次の通り。トヨタ、日産、マツダ、REM(中国メーカー)、キャタピラー。 | | | | |
| 要請 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 マネージャー(専門学校卒)1名実務経験30年。チームリーダー1名は実務経験10年程度、専門性は高いが最近のIT化した自動車整備の知識・経験が乏しい。一般職員は3名おり実務経験は2~3年程度。 | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G-D)) 又は () ・性別 (男性) 理由: 配属先の希望 ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 実践的ノウハウが不可欠なため ・ PCの基本的知識とスキル 理由: 整備・管理の電子化に不可欠 | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(乾燥高原サバンナ) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 10 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 539 - 13- B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| 南アフリカ共和国 | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | / |
| | | | | 3 | / |

| | | |
|-----------------------|---|---------------------------|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・訓練省 | <input type="radio"/> NGO |
| | 2) 配属先名 (日本語) ウォーターバーグ職業訓練校(エンジニアリング&技能研修センター) | |
| | 3) 任地 リンポポ州カプリコーン郡レベレ・ンケンビ町レボワホモ JICA事務所の所在地(プレトリア)から 北東 方向 200 Km 主要都市(ポロクワネ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は同国に50在る公立職業訓練校の一つである。ビジネス、IT・コンピュータサイエンス、エンジニアリング&技能研修の3つのセンター(キャンパス)を有する。9学年終了資格(日本の中学校卒業相当)以上保有者を対象に、国家資格NCV: National Certificate(Vocational)レベル2~4取得を目的とするNCVプログラムや技能研修プログラム等合計18のコースを開講し職業訓練機会を提供している。学生数は3センター合計で約2600人。職員数は約220人。年間予算は約412百万円(共に2010年実績)(www.waterbergcollege.co.za) | |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 若者の高い失業率対策の一つとして職業訓練による技能向上が図られている同国において、職業訓練校の役割は重要である。同配属先NCVプログラムではエンジニアリング&デザイン、土木・建築、電気設備の3コースを教えている。エンジニアリング&関連デザインコースではエンジニアリングの基礎知識のほか、さらに選択制で溶接と自動車整備に学習内容が分かれている。本要請では、3年間の自動車整備科における実習内容の改善が求められている。実習場には、生徒と協力して作成したカットモデル(実動可能)やガソリンエンジン教材、2柱リフト、実習車(乗用車)等があるが、生徒数に比べて教材数が少なく、十分に教材を活用した実習授業を展開できていない。このため、実務経験に基づくアドバイスをしながら実習環境を整備・実施できる人材が要請された。なお、同校からは電子工学、数学教育の隊員の要請もあり、隊員同士の協力も期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 隊員には以下のような活動が期待されている。 1 実習授業指導内容の確認と問題分析、及び改善案の策定 2 単元に応じた実習教材・工具の調達支援、整備 3 講師と協働した生徒への実習指導 ※本職業訓練校のほかエシヤンゼニ職業訓練校派遣隊員(ムブマランガ州)と協力した活動も期待されている。 ※主な実習範囲: EFI装置も含むガソリンエンジン・駆動装置・各種電気部品の分解組み立て、各種測定器具の利用方法 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ガソリンエンジン、2柱リフト、各種ジャッキ、スパナ等の工具類、コンプレッサー、故障診断器(Launch 431 Master) 他 |

| | | |
|------------------|---|--|
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 自動車整備担当講師(男性 30歳代) 学生(9学年終了資格取得者以上、同国では留年があるため年齢の幅があるが概ね19~21歳) | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (英語) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上 ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 知識に基づく説明が必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実務に基づく助言が必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(温暖湿潤) 気温(5~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------------------|--|
| 特 記 事 項 | 住居は配属先教員住宅やホームステイとなる予定。教員住宅の場合には同性隊員との同居の可能性がある。 |
|------------------|--|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 8 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|-------------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公団 ドマ職業訓練校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ドマ州ドマ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 西 方向 400 Km 主要都市(ドマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、タンザニアにおける主要な職業訓練機関である職業訓練公団VETA(Vocational Education and Training Authority)の直轄校の1つで、首都ドマの市内に位置し、自動車整備、溶接工、木工、配電工など17種類の訓練コースが運営されている。生徒数約450名、教師数約30名、スタッフ約20名の中規模校。年間予算は約6000万円。22年度4次隊で自動車整備JV(初代)が活動していた。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 国内車両の9割以上が日本製(中古車)であるタンザニアにおいて、日本車の車両整備に係る需要は非常に高い。そのため、日本車整備の知識のある修理工の育成が急務であり、同職業訓練校に対するタンザニアにおける期待は高い。しかし、電子制御システムなど、近年の日本車整備に関して適切な指導が可能な講師が不足しており、前任のJVに引き続き指導ができるボランティアが期待され、今回の要請が上げられた。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生に対する自動車整備に関わる座学と実技 2. 同僚に対する電子制御システムの技術移転 3. ワークショップ運営(工場化)に向けてのアドバイス 4. 一般車両故障診断 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ピット、車両用リフト、油圧ジャッキ、ホイールバランス調整機、タイヤ交換機、充電器、訓練用カットモデル等 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、40代) 自動車整備科科长(男性、40代) 自動車整備科指導員(男性、1名) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性気候) 気温(15~30℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | ボランティアが使用する機材(続): Engine Model 3S EFI(Electronic fuel Injection) Toyota Serial No:456214 | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 609 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ガボン | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 大統領府 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 国立公園庁 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 エスチュエール州リーブルビル市 JICA事務所の所在地(リーブルビル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リーブルビル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2002年に制定された13の国立公園(283万ha、国土の約10%)の管理行っており、同公園内における野生動植物の保護を目的としたパトロールが主な業務であるが、調査研究活動やエコツーリズムの推進等も行っている。本部(首都)以外に13の国立公園の内外に複数の事務所や簡易基地を構えている。予算は約970万ドル(2012年)。ポンガラ国立公園及びムカラバ・ドウドゥに生態調査のボランティアを派遣中。環境プログラム無償資金協力「森林保全計画」にて四輪駆動車3台が供与された。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 現在の国立公園庁の主な業務は、野生動植物の保護を目的とした密猟対策のパトロールであり、公園内外の未舗装路や悪路を巡回することから、車両に故障や不具合(ギヤボックス、ブレーキ、サスペンション等)が生じることが多く、車両の寿命は3~4年ほどである。本部(首都)に3名の修理及び整備を行うスタッフがいますが、同庁が所有する車両が年々増えていることもあり(2013年6月時点で83台)、整備や修理に支障を来している状況であり、スタッフの整備技術の向上、運転手のメンテナンスの知識向上等を目的にボランティアの要請が出されるに至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、主に本部(首都)において以下の活動を行う。 ・配属先の車両管理責任者(オペレーション局長)とともに車両整備技術向上に係る活動計画を立て、実行に移す。 ・修理・整備を担当するスタッフとともに、配属先所有の車両の整備及び修理を行い、同スタッフの技術向上を支援する。 ・本部付運転手の行うメンテナンス方法を確認し、運転手のメンテナンスや点検に係る知識や技術向上を支援する。 ・地方の国立公園を計画的に巡回し、車両の整備や修理を行うとともに、各国立公園事務所付の運転手に対してもメンテナンスや点検に係る知識や技術向上を支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 LAND CRUISER 24台、PRADO 7台、HILUX 6台、GRAND-VITARA 15台、PATROL 5台、PAJERO GL 9台、LAND ROVER DEFENDER 10台他 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 オペレーション局長(男性50代)、本部の修理・整備スタッフ(3名、男性)、本部及び各国立公園事務所所属の運転手 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(28~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記 事項 | 住居は複数の同性ボランティアとルームシェアをしての生活となる。 ※配属先の車両整備施設を首都郊外の水森林学校内に建設する予定があり、勤務場所が同施設になる可能性あり。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|--|---|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号 (JL 636 - 13 - B - 23) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ルワンダ | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 3 | 年 月 から |
| | | | | | 2 / | |
| | | | 3 / | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省雇用開発局 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キガリ市ガチュリロ職業訓練センター | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 キガリ市ガチュリロ JICA事務所の所在地(キガリ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(キガリ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、1973年に設立された公立職業訓練校。2012年現在7つのコース(溶接、配管工、電子、美容師、料理、自動車整備、木工)が開講され、合計350名の学生が在籍している。教員の総数は21名。年間予算は約9.5万米ドル。外国の援助状況は、学校長が2009年に職業訓練能力強化に関するJICA研修を日本で1ヶ月受講している他、自動車整備講師2名が2か月間シンガポールで研修を受けている。また、KOICAボランティアが美容師コースで活動している。さらに日本のNGOリボーン京都が同校と協力し、近隣の貧しい女性に対して洋裁の指導を行った実績がある。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ルワンダ国は、国家開発計画Vision2020において、知識集約型経済(Knowledge-Based Economy)の実現を掲げ、人的資源開発、とりわけ科学技術分野の人材育成に取り組んでいる。2007年に採択された経済開発・貧困削減戦略(EDPRS2008-2012)においては、教育の質向上と技能向上が重要視され、技術職業教育訓練(TVET)の強化に関する新しいモニタリング指標も加えられた。しかし、知識集約型経済・社会の実現に不可欠な科学技術社会の基盤となる人材が不足しており、ルワンダ国教育省雇用開発局(Workforce Development Authority:WDA)傘下のTVET機関も、必ずしも産業界の人材ニーズに答えられてはいない。同配属先においては、青年の雇用促進を図るべく、特に自動車整備コースの質の向上を目指しており、今回のボランティア要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に自動車整備コースの授業を現地教員と共に担当し、以下の活動を行う。 1. 現行の実習授業を見直すと共に学生に対して直接自動車整備実習の授業を行う。 2. 現地講師に対し、自動車整備実習に関する全般的な指導及びアドバイスを行う。 3. 自動車実習にかかる教材作成の支援を行う。 4. インターン中の学生のサポート及び学生の就職支援を行う。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業場、FIATエンジン(3台)、Diesel FORD ESCORTエンジン(3台)、タイヤ空気圧調整機、溶接機、電気配線モデル、測定機器、油圧プレス、ガスアナライザー、コンプレッサー、各種工具 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者: 男性、大卒、30代、学校長 カウンターパート: 男性2名、高卒、30代、自動車整備担当講師 自動車整備コース学生: 30名(16-24歳、全員男性) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (いへん: D) 又は (いへん:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G-D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| | 地域 概況 気候(熱帯性) 気温(15~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|------------------------|
| 要請番号(JL 636 - 13- B - 27) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 3 / |
| ルワンダ | | 自動車整備 | | 1 26 / 3 2 / 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省雇用開発局 2) 配属先名 (日本語) 南部県ニヤマガベ郡ムセベヤ職業訓練センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 南部県ニヤマガベ郡ムセベヤ村 JICA事務所の所在地(キガリ市)から 南 方向 180 Km 主要都市(キガリ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間) | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、1986年にルワンダ・バプティスト教会によって設立された私立職業訓練校。2012年現在4つのコース(木工、建築、洋裁、自動車整備)が開講され、合計145名の学生が在籍している。教職員の総数は14名。年間予算は約1.7万米ドル。これまで外国からの援助を受けたことはない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ルワンダ国は、国家開発計画Vision2020において、知識集約型経済(Knowledge-Based Economy)の実現を掲げ、人的資源開発、とりわけ科学技術分野の人材育成に取り組んでいる。2007年に採択された経済開発・貧困削減戦略(EDPRS2008-2012)においては、教育の質向上と技能向上が重要視され、技術職業教育訓練(TVET)の強化に関する新しいモニタリング指標も加えられた。しかし、知識集約型経済・社会の実現に不可欠な科学技術社会の基盤となる人材が不足しており、ルワンダ国教育省雇用開発局(Workforce Development Authority:WDA)傘下のTVET機関も、必ずしも産業界の人材ニーズに応えられてはいない。同配属先においては、青年の雇用促進を図るべく、特に自動車整備コースの質の向上を目指しており、今回のボランティア要請に至った。 | | | | |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に自動車整備コースの授業を現地教員と共に担当し、以下の活動を行う。 1. 現行の実習授業を見直すと共に学生に対して直接自動車整備実習の授業を行う。 2. 現地講師に対し、自動車整備実習に関する全般的な指導及びアドバイスを行う。 3. 自動車実習にかかる教材作成の支援を行う。 4. インターン中の学生のサポート及び学生の就職支援を行う。 | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 中古自動車2台(日産2400ピックアップ1999年製造、SUBARU Samurai 1989年製造)、各種工具(スパナ、ドライバー、ペンチ、ハンマー、ジャッキ等) | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者: 女性、大卒、40代、学校長 カウンターパート: 男性3名、高卒、20~30代、自動車整備担当講師 自動車整備コース学生: 32名(16-24歳、全員男性) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | (空欄) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 21 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 745 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D235) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| キルギス | 自動車整備 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 青年・労働・雇用省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 第27職業訓練学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ビシュケク市 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 西 方向 20 Km 主要都市(ビシュケク市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1975年のソ連時代に設立された職業訓練学校で、無料と有料の2つのコースがある。無料コースは16歳から300名が3年間、有料コースでは18歳からの100名の学生が1年間職業訓練を学ぶ。無料コースでは、高校の授業と自動車について、そして有料コースでは自動車整備について専門に学ぶ。また、同校には視覚障害者のための職業訓練コースもあり、32人の学生が美容師、コックを目指し訓練を受けている。同校は、これまでカナダ、EU、ドイツの支援を受けて来た。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 当国では、従来ドイツ車を中心とするヨーロッパの中古車が流通していたが、近年、日本の中古車・新車(ハイブリットカーを含む)も出回り始めている。ヨーロッパ車に関しての修理技術はあるものの、現在日本製の車が増加している事から、幅広く整備経験のある人材が求められている。日本車に対するサービスを向上させ、2013年9月からコンピュータを使った故障診断コースが始まる予定である。幅広い人材の育成、講師の知識の向上、コース内容の充実の為にボランティアの要請が上がった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の同僚と共に以下の活動を行う。 1. コンピュータ故障診断コースで、電子制御燃料噴射装置や電気系統のメンテナンス知識を教える。 2. 日々の授業の中で、実技におけるアドバイスをを行う。 3. 新設のコンピュータを使った故障診断コース運営の為、必要な情報を学校・同僚にアドバイスする。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 自動車整備に必要な設備、工具一式、実習用車両等 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 講師 18名(20歳~74歳、1年~30年の経験) 学生 100名 C/P(33歳、高卒、11年の経験) | | | 5) 活動使用言語 (ロシア語) 6) 生活使用言語 (ロシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 専門知識が必要なため ・ ガソリン2級整備士、ジーゼル2級整備士 理由: 専門知識が必要なため | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(-20~40 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 2 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 012 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D252) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| フィリピン | 木工 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | / | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドウエニヤス総合高校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 イロイロ州ドウエニヤス町 JICA事務所の所在地(マニラ)から 南東 方向 500. Km 主要都市(イロイロ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、パナイ島イロイロ州ドウエニヤス町にある4年制(日本の中学1年~高校1年。2015年から6年制に移行する予定)の公立総合高校である。毎日の授業に職業訓練の時間を取り入れているため、職業訓練高校と呼ばれることもある。職業訓練のための科目は、家具製作・農業・溶接・調理・服飾・コンピューターの6科目。生徒はこれらの科目から選択する事ができ、毎日2時間の授業を受講する。全体の生徒数は約1400名、教員数71名、各クラスにおける生徒数は約20名~30名である。年間の予算は2,123,000ペソ(約470万円)で、他国からの援助は入っていない。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 家具製作科では、製図の授業から材料費の見積もり、安全管理、手工具および機械の使用法、テーブル・イス・キャビネット等の製作実習といった、家具製作全般を学ぶカリキュラムになっている。しかしながら、工具や機材不足および故障等の為、手工具での作業が多く、非効率な指導・実習がなされている状態である。前任者は5SIによる実習環境の改善・整理整頓また安全な作業、実践的な技術指導等の活動を行ってきたが、卒業後にその知識・技術を生かせる就職の機会が無いという課題に直面している。そこで、町役場等と連携し、卒業生や失業中の住民に対する雇用創出プロジェクトの企画・実施に向けた支援が期待され今回の要請となった。学校内での活動にとどまらず、町の住民との交流から生まれるアイデアを基に、地域における就職支援等も期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 家具製作に関する知識や技術の指導 2 安全で効率的・実践的な実習環境の改善提案 3 卒業生や地域住民に対する、ワークショップや雇用創出プログラムの提案 4 卒業生への就職支援 ・ワークショップや雇用創出プログラムについては、同地域の町役場に派遣されるJVとの連携が期待される |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 糸のご盤・ボール盤・横切丸のご盤・ラジアルソー・バンドソー・木工旋盤・昇降丸のご盤 電動鉋3台・ルーター・トリマー・電動ドリル・ジグソー・ミニサンダー3台、電動丸のこ、西洋鉋・鋸・鑿・ハンマー等 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師: 52歳男性 経験年数26年 学校に教員数は71名。そのうち約15名が職業訓練の科目を担当している(3分の2が女性、20代2名、50代3名) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高等専門学校卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 現場での経験実績が必要 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| | | |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯性) 気温(25-35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------------------|---|
| 特 記 事 項 | 個別案件であるが、JL012-13-B-11案件の隊員と連携した活動が見込まれている。 |
|------------------|---|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 12 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 066 - 13 - B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D252) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| スリランカ | 木工 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 2 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | 3 26 / 3 | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 社会福祉省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) テレンプヤーヤ職業訓練校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ハンバントタ県テレンプヤーヤ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南東 方向 200 Km 主要都市(マータラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 テレンプヤーヤ職業訓練校は、全国に5校存在する障害者のみを対象とした職業訓練校の一つであり、1981年に設立されて以来、30年以上にわたって障害者の自立支援のための職業訓練を実施している。 訓練コースは5コース(電子機器、農業、木工、縫製、IT)あり、各コースに10~25名程度の障害者が在籍している。コースは全て2年制。年間予算は約500万円。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 起業や就職につながりやすい木工コースには常時20名前後の学生が在籍しており、中退者の多い他コースと比べ、入学者の大半が卒業し、仕事を得ている。在籍中の学生の9割がろう者であり、1名の講師が手話を使用しながら指導を行っている。同コースでは、現在は限られた数種類の木工製品のみ作成指導を行っていることから、新たなデザインや技法の提案、及び訓練内容の多様化が求められており、本要請の提出に至った。 なお、学生の9割がろう者であるが、カウンターパートに当たる講師は手話ができるため、学生に指導する際は同講師を通して内容を伝えるか、身振り手振りをういた指導を行うことで十分対応可能。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 障害者を対象とする職業訓練校の木工コースにおいて以下の活動を行う。 ・学生や講師に対して新しいデザインや木工技法を紹介する。 ・製作の過程で、より質の高いものを作るよう指導する。 ・同コースで学んだ卒業生へのフォローアップ支援に取り組む。 ・木工品展示会の企画・実施に協力する。 ・必要に応じて、他地域の職業訓練校にも出向き出張講座等を実施する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 金槌、のこぎり、かんな、電動のこぎり、電動グラインダー、電動ドリルなど | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、大卒、50代、校長 カウンターパート:男性、大卒、20代、木工コース講師 活動対象者:木工コースに通う生徒(16~29歳の障害のある青少年)約20名 | | | 5) 活動使用言語 (シンハラ語) | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (シンハラ語) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由:活動対象者が男性のため ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:実務経験が活動に直結する為 理由: | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(27~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 現職教員特別参加制度 | |
| | | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 12 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|-----------------|--------------------|--------|----------|
| 要請番号(JL 066 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D252) | ○ グループ型 ● 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | ● 2 年 | 1 26 / 1 |
| スリラン カ | 木工 | | | ○ 1 年 | 2 26 / 2 |
| | | ○ ヶ月 | 3 26 / 3 | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 社会福祉省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) アムヌクンプラ職業訓練校 ○ NGO |
| | 3) 任地 ガンバハ県アムヌクンプラ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北東 方向 60. Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 アムヌクンプラ職業訓練校は、全国に5校存在する障害者のみを対象とした職業訓練校の一つであり、1996年に設立されて以来、15年以上にわたって障害者の自立支援のための職業訓練を実施している。 訓練コースは6コース(農業、木工、石工(セメント工)、ココナツ繊維加工、空調、縫製)あり、各コースに8~15名程度の障害者が在籍している。コースは全て2年制。年間予算は約450万円。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同訓練校では、全てのコースに10名前後の障害者(主に知的障害)が在籍し、各技能習得に向けて訓練を受けている。起業や就職につながりやすい木工コースでは、机や椅子などの家具及びキーホルダーなどの作製を指導しているが、生徒の大半は知的障害者や学習遅進者であり、複雑な作業を長時間指導することは困難なため、作製可能な製品の種類が限定的である。このような状況下、同訓練校では、シンプルかつ新しい製品作りの提案や、卒業生のフォローアップ指導にかかる支援を希望し、本要請の提出に至った。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 障害者を対象とする職業訓練校の木工コースにおいて以下の活動を行う。 ・学生や講師に対してシンプルかつ新しいデザインや木工技法を紹介する。 ・製作の過程で、より質の高いものを作れるよう指導する。 ・同コースで学んだ卒業生へのフォローアップ支援に取り組む。 ・木工品展示会の企画・実施に協力する。 ・必要に応じて、他地域の職業訓練校にも出向き出張講座等を実施する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 金槌、のこぎり、かんな、電動のこぎり、電動グラインダー、電動ドリルなど |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、大卒、30代、校長 カウンターパート:男性、大卒、40代、木工コース講師 活動対象者:木工コースに通う生徒(17~27歳の障害のある青少年)約10名 |

| | | |
|-----------------------|---|-----------------------------------|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 活動対象者が男性のため ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 実務経験が活動に直結する為 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ● 自転車 ○ 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | ○ 可 ● 不可 |

| | |
|----------|---|
| 地域 概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) |
|----------|---|

| | |
|----------|--|
| 特記 事項 | |
|----------|--|



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 242 - 13- B - 27) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D252) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ジャマイカ | 木工 | | | 2 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保険省 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同協会は1956年に知的障害者への教育を政府に先立って始めたNGOである。1974年に教育省が特別支援教育に参入し、現在では同協会と共同で全国28か所の拠点において無償で教育を提供している。一昨年、学校教育を終えた卒業生が通える作業所が開設された。年間予算は約1億3千万円で過去に20名を超えるボランティアが派遣され、現在は2拠点で4名のボランティアが活動している。 |
|-------|---|

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 木工は生徒への授業及び卒業生対象の職業訓練所での訓練科目であるが、適切な技術を持つ教師が不足しているため、ボランティアの要請となった。教師と協働して授業をする他に系列学校教師の木工指導技術向上のために、同協会が開催するワークショップでの技術の共有が求められている。特に職業訓練施設は、生徒が卒業後コミュニティに参加するための技術を訓練する場と位置づけられており、重要なプロジェクトとして認識されている。また、配属先が現在運営している作業所との連携から、木工製品を製作する作業所の開設も目指している。同協会では、障害児教育のSVと手工芸隊員、地方の系列学校では手工芸と体育の隊員が活動している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同協会本部に派遣されているSVや他校のボランティアと連携して、以下の活動をする。 1. 同僚教師と協力して軽度から中程度の障害を持った生徒と卒業生に木工技術を指導する。 2. ワークショップや系列学校への巡回活動を通じて、新しい製品の開発や指導法の改善を行う。 3. 現地で入手できる竹や木を利用した作品のアイデア提供、対象者の障害にあわせた作品製作を支援する。 4. 製品の商品化について、マーケット調査などを支援する。 |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 木工実習のための作業室と各種機材 4) 配属先同僚及び活動対象者 本部:事務局長(女性)教育開発担当(女性)など計7名。学校:校長教員、スタッフ80名、生徒数300名、1クラス生徒数約10名。職業訓練所:訓練生15名、教員2名 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|--|---|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 木工品の製作経験 理由: 製作指導が求められるため | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|--|---|

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(22~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 242 - 13- B - 28) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード D252) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ジャマイカ | 木工 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | 3 | 26 / 2 | | |
| | | | 26 / 3 | | |

| | |
|---|---|
| 配 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保険省 |
| 属 | 2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会 ランダイロ特別支援学校 <input checked="" type="radio"/> NGO |
| 先 | 3) 任地 ウェストモアランド教区サブラマ JICA事務所の所在地(キングストン)から 西 方向 206 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) |
| 概 | 4) 配属先の規模・事業内容 同協会は、政府に先がけ1956年から知的障害者教育を始めたが、教育省は同協会と連携する形で1974年から特別支援教育を開始した。障害者が社会参加できることを目的に学校教育を施し、卒業後の社会参加促進のための事業も実施している。同協会へは過去に20名以上のボランティアが派遣された。年予算約6千万円。配属先は協会傘下の特別支援学校で1976年に創立した。同国西部の中心校として、近隣の学習センターと特別支援学級を合わせ約260名の生徒(3歳~21歳)を教育している。同校の生徒数は約130名。技術科の授業として木工、美術、手工芸、服飾、園芸などがある。現在、手工芸と体育のボランティアが活動している。 |

| | |
|---|---|
| 要 | 1) 要請理由・背景 配属先はキングストンの本校に次いで規模の大きな学校であり、同じクラスターに位置するほかの2校も管轄している。主に5~20歳の知的障害者を対象に特別支援教育を行っている。また、同協会は就職も出来ず、卒業後家に引きこもることの多かった障害者が社会に関われる機会として作業所を開設した。その作業所との連携をはじめ、木工製品を製作する作業所の開設も目指している。現在、手工芸と体育の隊員が活動中である。 |
| 請 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同協会本部に派遣されているSVや他校のボランティアと連携して、以下の活動をする。 1. 同僚教師と協力して軽度から中程度の障害を持った12~18歳の生徒に木工技術を指導する。 2. ワークショップや巡回活動を通じて、系列学校の教師とともに新しい製品の開発や指導法の改善を行なう。 3. 現地で入手できる竹や木を利用した作品のアイデア提供、対象者の障害にあわせた作品製作を支援する。 4. 製品の商品化について、マーケット調査などを支援する。 |
| 概 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 木工実習のための作業室と各種機材 |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 木工教師 校長・副校長、教員11名、補助教員11名、事務員2名、用務員6名。生徒は軽度から中程度の知的障害児。生徒数130名程度、11クラス |
| | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|---|--|--|
| 資 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 木工品の製作経験 理由: 製作指導が求められる | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| 格 | | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| 条 | | 現職教員特別参加制度 |
| 件 | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|---|--|
| 地 | 気候(熱帯性) 気温(22~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 域 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 概 | |
| 況 | |
| 特 | |
| 記 | |
| 事 | |
| 項 | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 248 - 13 - B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D252) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ニカラグ ア | 木工 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 外務省 | | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) ロス・ミゲリートス | | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 マサヤ県マサヤ市 JICA事務所の所在地(マナグア)から 南 方向 30 Km 主要都市(マナグア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 ロス・ミゲリエートの正式名称は、「児童の社会的地位向上および職業訓練協会」。職業訓練による所得の向上や、地域や家族におけるリーダーシップ醸成など、地域において青少年の技能育成を推進するNGOである。具体的には、活動の柱である職業訓練コース(木工、手工芸、彫刻、絵画)や、その他セミナー、スポーツ等を通じて、青少年に表現力、判断力、協調性、目標設定などを身に付けさせ、より良い人生を送るよう支援している。職業訓練コースは、生徒数57名、教員数4名。スイスからの援助を受けており、年間予算は約US\$34,000である。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 同NGOがあるマサヤ市は、木工や手工芸で有名な町であり、それら民芸品が集まる市場は全国的に有名であり多くの買い物客や観光客が集まる。木工分野の強化により完成度の高い商品や新たなデザインの商品を開発することは、住民の収入アップに直接繋がるものである(地域住民の多くが同産業に従事しており、間接的に他住民への波及効果も期待できる)。同NGOは職業訓練の4つのコース(木工、手工芸、彫刻、絵画)を運営している。木工コースの生徒は貧しい家庭で十分に教育を受けていなかった者が多く、測定、デザイン、製品の仕上げなどの部分で向上が必要である。コースには2名の教員がいるが、経験のみに頼っており、理論や最新技術の知識に欠ける。教員の指導技術向上、生徒の学習能力向上、さらには教室の整理整頓/安全性向上のためのSS導入などを目的とし、ボランティアを要請するものである。 | | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.テーブル、椅子など一般的な家具作成の新たな技術の導入 2.木工製品品質向上のための技術指導(仕上げなど) 3.教員への指導方法のアドバイス 4.SSの考え方の導入 5.新たな商品デザイン作成 | | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ラップトップPC、デスクトップPC(いずれもソフトはMicrosoft Officeのみ)、のこぎり盤、ボール盤、グラインダー、エアコンプレッサー、彫刻刀、やすり、定規、コンパス等 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 会長:40代男性(経験6年) カウンターパート:30代男性現場責任者兼木工コース指導者(経験14年) 他同僚教師4名(すべて男性、木工、手工芸、木彫り、絵画の各コース担当) 12歳から19歳の生徒25名(男性19人、女性8人) | | | | 5)活動使用言語 (スペイン語) 6)生活使用言語 (スペイン語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:同僚への指導を行うため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(22~32 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|---|---|----------|--------|
| 要請番号 (JL 548 - 13 - B - 44) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード D252) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 木工 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 3 | |
| | | | 3 / | | | |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) タンザニア刑務所課 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ダルエスサラーム JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 西 方向 18. Km 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 内務省所轄の刑務所課では、地域の安全への貢献と犯罪者社会復帰を目的とし、タンザニア国内の主要都市に刑務所を設立、運営している。年間予算は約7500万円。従業員は約11,600人。本部はダルエスサラームにある。 |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 隊員はダルエスサラームにあるウコンガ刑務所にて活動を行う予定。同刑務所は1952年に設立され、犯罪者の収容と更生を行っており、犯罪者への更生プログラムの一つとして家具製作を指導している。隊員は木工担当刑務官への指導を通して収容者の社会復帰へ貢献することが期待される。同刑務所の家具は質の高さからタンザニア国内で高い評価を得ており、配属先の予算の一部をまかなうことに貢献している。更なる家具の質向上に向けた技術指導が隊員に求められることから今回の要請となった。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 刑務官への家具製作の技術指導 2. 刑務官と共に収容者への家具製作指導。 |

| | |
|---|--|
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業場、プレス機械、研磨盤、造型機など |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:木工担当刑務官5名(男性、30代~50代) |

| |
|--|
| 5) 活動使用言語 (英語) |
| 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) |
| 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| | ・免許 () 又は () | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | ・性別 (男性) 理由: 対象が男性のため | 現職教員特別参加制度 |
| | ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 現場での経験実績が必要 理由: | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(海岸性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|